



《文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト》

# 日本版 General Social Surveys

## 基礎集計表・コードブック

### JGSS-2006

編 集

大阪商業大学 比較地域研究所  
東京大学 社会科学研究所

発 行

大阪商業大学 比較地域研究所

2008年3月

## はじめに

これで 6 回目の JGSS 調査であるが、2006 年実施のこの調査の最大の特徴は、モジュールとして、第 1 回 EASS (East Asian Social Surveys) が組み込まれていることである。

台湾、韓国、中国、そして日本で、同一の調査票を用いて調査を行い、東アジア域内での比較研究を行おうという計画をたて、それぞれ GSS (台湾の場合は、TSCS: Taiwan Social Change Survey) を実施しているチームが集まって調査の企画を始めたわけだが、実に大変だった。それぞれ調査環境、調査方法が異なり (日本は、留置法と面接法併用だが、他は面接法など) また、文化的に共通性がある反面、違いも大きいなかで、英語を共通語として調査企画を進めていくことの落とし穴もあった。時には、黒板を持ち出し、漢字表記で各チームで実際に使う設問を確認しあうなど、さまざまな工夫が必要であった。

もっとも苦労したのは、選択肢の尺度の設計である。他のチームは、GSS を範としていることもあり、strongly agree にはじまる 5 点尺度法を用いることが多い。だが、日本では、これを直訳すると真ん中に回答が集中してしまう。そこで、意見項目などでは真ん中を除いた 4 点尺度、それも agree からはじまる形で設問を設計することが多い。この尺度設計をどうするかを巡って激論をかわしたが、結論がでない状況が続いた。結局、問題解決のために、strongly agree からはじまる 7 点尺度法で設問をたてるという提案を JGSS から行い、紆余曲折はあったが、それしかないということで、ようやく合意が成立した。

他のチームでは、上記の一般的な 5 点尺度で回答分布になんの問題もないということであり、東アジアといっても、文化的相違は大きいと思知らされた。

この議論を決着させるプロセスで、調査専門家同士であるから、証拠を示そうということでプリテストを行った。これによって明らかとなった日本での回答分布状況が各チームに問題を認識させ、合意につながるようになった。その後も、意見の相違が生じるたびにプリテストを行って証拠を示す作業を行ってきたが、その結果、通常の調査以上にプリテストの負荷が大きくなる傾向にある。これは、経費の問題とともに、事務局の負担を増すことに繋がっており、はなはだ心苦しいところであるが、EASS が成果を収めるためにはやむなしということで乗り切ってもらっている。JGSS が発展していくためには、もっと大きな支援が必要な段階に来ていると思う。

第 1 回の EASS モジュールのテーマは家族である。東アジア地域の一つの特徴は家族重視的な文化にあると考えられてきたので、このテーマは第 1 回調査としては自然であろう。現実には、調査を行ってみると、上記の尺度をめぐる議論でも明らかになったように、意外と違いも大きく、近くて遠い国という事情が明らかになってくるかもしれない。データを活用して優れた研究成果が生まれることを期待したい。

JGSS 研究代表 仁田 道夫

## 目 次

## はじめに

. JGSS-2006 調査概要	
1 . JGSS-2006 プロジェクト委員会メンバー .....	1
2 . 調査の内容 .....	3
3 . 調査の方法 .....	13
4 . 回収率ならびに欠票の分析 .....	19
5 . データセットの重み付けについて .....	25
6 . JGSS 関連の文献 .....	33
7 . データの公開状況と入手方法 .....	61
. JGSS-2006 集計と索引	
1 . 基礎集計・コード表：面接調査票 .....	65
2 . 基礎集計・コード表：留置調査票 A 票 .....	123
3 . 基礎集計・コード表：留置調査票 B 票 .....	167
4 . 事項索引 .....	209
5 . 変数名索引 .....	245
. JGSS-2006 資料	
1 . 抽出地点リスト .....	255
2 . 産業コード .....	261
3 . 職業コード .....	263
4 . 国際標準産業分類 (ISIC) .....	271
5 . 国際標準職業分類 (ISCO) .....	273
6 . GSS・世論調査と調査項目 (面接調査票) の対応表 .....	283
7 . GSS・世論調査と調査項目 (留置調査票) の対応表 .....	289
8 . フローチャート .....	313
9 . 面接調査票 原票	
10 . 面接調査票 回答票 (サンプル)	
11 . 留置調査票 A 票 原票	
12 . 留置調査票 B 票 原票	
13 . 依頼状 (調査へのご協力をお願い)	
14 . パンフレット	
15 . 調査要領	

## . JGSS-2006 調査概要

## . 1 JGSS-2006 プロジェクト委員会メンバー

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授
代表幹事	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
副代表幹事	保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 講師
幹事	前田 幸男	東京大学大学院情報学環 准教授 (社会科学研究所と兼任)
	穴戸 邦章	大阪商業大学総合経営学部 講師

### 研究メンバー

榎木 美樹	大阪商業大学 JGSS ポスト・ドクトラル研究員
本田 由紀	東京大学大学院教育学研究科 准教授
池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
稲葉 太一	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 講師
岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
片山 隆男	大阪商業大学経済学部 教授
木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
小磯 かをる	大阪商業大学総合経営学部 准教授
小島 宏	早稲田大学社会科学総合学術院 教授
林 妙音	大阪商業大学総合経営学部 准教授
松井 博	東京大学社会科学研究所 准教授
栢永 佳甫	大阪商業大学総合経営学部 准教授
湊 邦生	大阪大学外国語学部 非常勤講師
三輪 哲	東京大学社会科学研究所 准教授
中尾 啓子	首都大学東京都市教養学部 教授
大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
佐野 茂	大阪商業大学経済学部 准教授
篠崎 武久	早稲田大学理工学術院創造理工学部 講師
杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 准教授
孫 飛舟	大阪商業大学総合経営学部 准教授
高橋 和子	敬愛大学国際学部 准教授
田辺 俊介	東京大学社会科学研究所 助教
田崎 公司	大阪商業大学経済学部 准教授
都村 聞人	大阪商業大学 JGSS ポスト・ドクトラル研究員
安野 智子	中央大学文学部 准教授

研究メンバー（JGSS-2006/EASS 2006 期間限定）

相澤 真一	東京大学社会科学研究所 研究支援推進員
平尾 桂子	上智大学文学部 教授
菊地 真理	奈良女子大学大学院人間文化研究科 大学院生
南部 広孝	長崎大学アドミッションセンター 准教授
野崎 祐子	広島大学地域経済研究センター 助教
田淵 六郎	上智大学総合人間科学部 准教授
筒井 淳也	立命館大学産業社会学部 准教授

事務局責任者

岡本 司	大阪商業大学 学術研究事務室 室長
------	-------------------

事務局メンバー

樋口 環	大阪商業大学
幸野 友美	大阪商業大学
西尾 ひとみ	大阪商業大学

（所属は 2008 年 3 月現在）

## . 2 調査の内容

### 1. はじめに

JGSS-2006 は、JGSS プロジェクトが最初に実施した第 1 回本調査 (JGSS-2000) から数えると、第 6 回目の調査にあたる。第 1 回本調査の調査票は、時系列の変化を見るために継続的に組み込む設問と、調査年度において社会の争点となっている問題について尋ねるいくつかの時事的な設問群から構成されていた。JGSS-2003 では、留置調査票を 2 種類に分け、A 票には、継続設問と時事設問を、B 票にはネットワーク設問を組み込んだ。JGSS-2005 からは、JGSS に組み込むにふさわしい設問を、広く国内外の研究者に呼びかけて公募し、採択した設問を組み込んでいる。JGSS-2006 からはさらに、EASS (東アジア社会調査: East Asia Social Survey) プロジェクトの開始により、留置 B 票に台湾・韓国・中国と共通する設問を組み込んでいる。このように、JGSS の調査内容は現在では、継続設問、時事設問、公募設問、東アジア共通設問から構成されている。本稿では、JGSS 調査票の出発点となる JGSS-2000 の調査票が確定されるまでの経緯と、その後の調査項目の変遷についてふれた上で、JGSS-2006 に組み込んだ調査項目を紹介する。

### 2. JGSS の調査方法と調査票の確定まで

#### 2.1 2 回の予備調査による検討

JGSS は、GSS に範を取り、国際比較を視野に入れているが、日本の社会と人々の意識や行動の実態を把握することに主眼をおいている。調査対象者の世帯構成、就業や生計の状況、両親や配偶者の職業、対象者の政治意識、家族観、人生観、死生観、宗教、余暇活動、犯罪被害など広範囲の調査項目を網羅し、さまざまな問題関心から分析ができる調査データの構築を目指している。GSS は平均 90 分を要する面接調査であるが、JGSS では、日本の調査環境を考慮して、面接法と留置法を併用し、所要時間はそれぞれ 20 分程度としている。

第 1 回本調査である JGSS-2000 に組み込む項目の選択にあたっては、GSS の 1996 年度の Cumulative Codebook を基に、過去に使用された全調査項目を検討した上で、1990 年以降の 5 回の調査における出現頻度や重要性から判断して、必要な項目を抽出した。さらに、日本における近年の各種の世論調査を参照し、関心が高い項目、あるいは時系列の観察が必要と思われる項目を加えている。JGSS の調査データは、社会科学の多くの問題について基礎的な資料を提供し、多岐にわたる変数の関連を分析することを可能にする。その反面、GSS と同様に、一つの問題関心について詳細な情報を提供することは出来ない。ただし、調査年によってトピックを設定して、その関連の設問を増やす場合もある。

JGSS プロジェクト委員会は、調査項目と調査方法論上の検討を行うために、第 1 回予備調査を 1999 年 3 月に首都圏と大阪府において、さらに同年 11 月に第 2 回予備調査を全国規模で実施した。第 1 回予備調査と第 2 回予備調査から得た結果の概要は以下のとおりである。

#### 2.2 面接調査と留置調査の併用の可能性・実施順序

GSS は平均 90 分を要する面接調査で、途中 15 分ほど、自記式 (対象者自身が調査票に記入する) の部分がある。これは、International Social Survey Programme (ISSP) のための調査票を GSS に組み込んだ

でいるからである。日本の調査環境を考えると、GSS のやり方をそのまま持ち込むことは難しい。そこで JGSS では、面接調査法と留置調査法を併用し、それぞれの所要時間を約 20 分とし、全体として 40 分ほどで調査が終了することを目指した。

日本では、面接と留置を組み合わせた全国調査は少なく、ほとんどの場合、どちらか一方が採用されている。JGSS では、GSS や NSFH (National Survey of Families and Households) を参照して、面接法と自記式を併用することにした。ただし、自記式を面接の途中に組み込むのではなく、面接調査の前あるいは後に、留め置いた調査票への記入を依頼する形をとった。就労状況、政党支持、婚姻歴、世帯構成など、設問が複雑であったり、枝分かれの多い調査項目は、面接調査票に入れている。一方、面接で尋ねると、社会的望ましさの方向へ回答が振れやすい設問は、留置調査票に入れている。

第 1 回予備調査では、面接調査と留置調査のどちらを先に実施するのがよいかを検討した。split-ballot の方法を用いて、対象者の半数には面接 留置、残りの半数には留置 面接の順に依頼した。ただし、対象者の都合や希望で順序を変更してもよいこととし、調査員には実際に実施した順序を記録させた。この結果、58.7% のケースでは面接を先に、41.3% のケースでは留置を先に行っており、どちらかという、面接調査を先に実施する方が、調査がスムーズに運ぶようであった。調査終了後に調査員から聞き取りを行ったところ、対象者の都合や希望に任せる方が調査を実施しやすいという意見が少なかった。

そこで第 2 回予備調査からは、実施順序は、調査員の状況判断に任せている。どの年度においても、面接を先に行うケースがほぼ 4 分の 3 を占める。また、面接と留置のうちの片方しか実施できなかったケースは非常に少ない。結論として、面接法と留置法の併用は成功したといえよう。

### 2.3 測定尺度と選択肢の検討

GSS と共通する質問項目を JGSS に組み込むに際しては、GSS で採用されている測定尺度をそのまま採用するのか、あるいは日本の世論調査でなじみのある測定尺度に変更すべきなのかを検討する必要がある。また、尺度そのものの特性や分析方法との兼合いなどについても検討する必要がある。そこで、第 1 回予備調査と第 2 回予備調査では、選択肢やスケール、回答の方法などが一部異なる A 票と B 票の 2 種類の留置調査票を用意して、split-ballot の方法で調査を実施した。全体の半分では A 票を、残りの半分では B 票を使用した。面接調査票は 1 種類である。A 票には GSS と互換性がある選択肢とスケールを、B 票には日本の調査でよく用いられる選択肢やスケールを組み込んだ。

第 1 回予備調査は都市部のサンプル、第 2 回予備調査は全国サンプルという違いはあるが、2 つの調査はいずれも共通した傾向を示した。第 2 回予備調査では、第 1 回予備調査で検討した項目に加えて、選択肢における「中の中」(階層帰属意識)の有無と選択肢の呈示順序(昇順/降順、性別)についても検討している。

このふたつの予備調査で得た知見に基づいて、JGSS-2000 の調査票の選択肢やスケールを確定した。すなわち、選択肢の用語については、「強く」という言葉を使わずに、日本の調査で使われることの多い「どちらかといえば」という表現を用いる。日本で選択率の高い「場合による」は用いない。「わからない」に関しては、法律の知識を必要とする設問についてはこのカテゴリーを設け、それ以外の設問では設けない。スケールの対称性の問題とスケールか用語かという問題については、両端にのみカテゴリーを記入する左右対称のスケールを採用する。選択肢の数については、3 点尺度ではなく 5 点尺

度を用いる。中間値の有無については、意見項目に関しては「どちらともいえない」を設けない 4 点尺度とし、階層帰属意識に関しては「中の中」を設けて 5 点尺度とする。選択肢の提示順序については、支配的なカテゴリーを最後にもってくる。選択式か記述式かについては、具体的な情報を得られる記述式を用いる。家事の測定に関する絶対尺度と相対尺度については、頻度を尋ねる絶対尺度を用いる。このように JGSS では、GSS の選択肢やスケールをそのまま用いるのではなく、JGSS 独自の選択肢やスケールを組み込むことにした。

予備調査の結果の詳細は、『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 1 回予備調査 基礎集計表・コードブック』と『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査 基礎集計表・コードブック』に記録している。

### 3. JGSS の調査項目の変遷

#### 3.1 公募設問の開始

JGSS-2005 以降は、調査票に組み込む設問の公募を行っている。募集の目的は、研究者が関心のある設問を組み込むことで、JGSS の調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとする、また、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げるためである。応募資格、設問のテーマ・条件、選考方法などは、表 1 (次頁) のとおりである。JGSS 研究プロジェクト委員会のメンバーであっても、設問の組み込みを希望する場合は、募集要項に沿って応募しなければならない。JGSS-2005 では、研究者 4 名、大学院生 8 名、JGSS 委員会メンバー 5 名からの応募があり、研究者 3 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー 3 名(うち 2 名は過去の設問の復活)の設問を採択した。「自動車の保有・利用」、「心のケア」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期のライフスタイル」である。JGSS-2006 では、研究者 2 名、大学院生 16 名、JGSS メンバー 5 名から応募があり、大学院生 2 名、JGSS メンバー 3 名(うち 2 名は過去設問の復活・アレンジ)の設問を採択した。「中学 3 年時にならなかった職業」、「離婚後の親子関係」、「海外援助」である。

#### 3.2 EASS プロジェクトの開始

JGSS-2006 以降は、留置票を常に 2 種類作成し、そのうちの一方(留置 B 票)に EASS モジュールを組み込むことになっている。EASS とは、East Asian Social Surveys (東アジア社会調査)の略であり、欧米の研究者が中心になりがちな国際比較調査において、東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を行おうとするプロジェクトである。

このプロジェクトは 2003 年 6 月に大阪商業大学において開催した「JGSS 国際シンポジウム 2003」を契機として立ち上がったものである。JGSS 以外に、GSS に範を取る台湾の TSCS (中央研究院社会学研究所チーム)、韓国の KGSS (成均館大学 Survey Research Center (SRC)チーム)、中国の CGSS (香港科技大学・中国人民大学調査研究チーム)がこのプロジェクトに参加している。

EASS プロジェクトの方法的な特徴は、独自の国際比較調査を新たに作り出すのではなく、それぞれの国・地域ですでに継続的に実施されている社会調査の中に、共通の設問群(モジュール)を組み入れることで国際比較を行うという点にある。2006 年を初めとしてその後 2 年に 1 度、継続的にこのモジュールの組み入れを行う計画である。すでに実績のある継続調査を活用することで効果的・安定的に国際比較調査を継続できることを狙っている。第 1 回となる EASS 2006 のテーマは「家族 (Families

in East Asia)」である。EASS プロジェクトの参加チームは、ソウル、台北、北京、大阪で数回のミーティングを重ね、EASS 2006 のモジュールを完成させた。

表 1 JGSS の設問の公募

<p>〈応募資格〉</p> <p>大学または研究機関の研究者、大学院生。</p> <p>〈設問のテーマ・条件〉</p> <p>テーマは総合的社会調査にふさわしいもの。設問は質問文・選択肢ともに完成したもの。設問の量は 1 問から可能。分量に特別な上限は設けないが、分量が多い場合、全体ではなく一部が採択されることがある。</p> <p>〈応募方法〉</p> <p>指定の用紙を JGSS の HP からダウンロードし、氏名、所属、連絡先、分析課題、設問、設問を挿入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参照文献・調査を明記して、郵送またはメールに添付して提出。</p> <p>〈選考方法と発表〉</p> <p>選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、中立なる審査・選考を行う。選考では、設問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮する。</p> <p>〈採択者の義務〉</p> <p>採択された設問に関連するデータのクリーニングを行い、JGSS 研究論文集に掲載する論文を提出する（論文集：毎年 3 月 31 日に刊行、原稿〆切：毎年 1 月中旬）。調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うことがあり、設問の調整・調査票の作成のために、指定された日時に大阪商業大学でのミーティングに参加することもある。日時は約 1 ヶ月前に連絡する（大学院生の場合は、往復の旅費を支給）。</p> <p>〈留意事項〉</p> <p>採択者は、データの一般公開前の特別利用が認められる。ただし、データが一般公開されるまでは、学会での報告にとどめ、JGSS 論文集以外での論文発表はできない。採択された設問は、JGSS の調査票に帰属する（考案者の名前は明記しない）。</p>
--

### 3.3 調査項目の主な変更点

表 2 は、JGSS-2000 から JGSS-2006 までの設問の変遷を示している。JGSS の面接調査票は、調査対象者の属性に関する設問が中心であり、留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心である。

JGSS-2000 から JGSS-2005 までの調査項目の主な変更点は以下の通りである。JGSS-2006 の内容については、次節で詳しく扱う。

JGSS-2000 と JGSS-2001 の調査票は、ほぼ同一である。これは、JGSS-2000 のデータと JGSS-2001 のデータを合わせることによって、性別、年齢、地域、職業などについて、より詳細な分析が可能となるためである。JGSS-2001 での変更は、面接票に「初職に就いた時期」、「初職の求職方法」、「配偶者の兄弟姉妹の数」の設問を加え、留置票に「サッカーくじ」、本人と配偶者が「家族を介護した経験」の設問を加え、「少年法の改正」の設問を除いた点のみである。

表2 JGSSの中心的な設問と時事的な設問

面接調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006
現職	○	○	○	○	○	○
副業	○	○	○	○	○	○
初職	○	+時期/求職方法	+時期/求職方法	x	+時期	+時期
最終職	○	○	○	x	x	x
学歴	○	○	○	○	○	○
収入	○	○	○	○	○	○
婚姻上の地位	○	○	○	○	○	○
配偶者の職業/学歴/収入	○	○	○	○	○	○
父母の学歴	○	○	○	○	○	○
世帯構成/世帯収入	○	○	○	○	○	○
きょうだいの構成	○	+配偶者のきょうだい	+配偶者のきょうだい	x	+配偶者のきょうだい	+配偶者のきょうだい
政党支持	○	○	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)
婚姻歴	○	○	○	x	x	○(留置B)
子の出生年	○	○	○	x	x	x
15歳時の両親の職業	○	○	○	○	○	○
15歳時の居住地域	○	○	○	○	○	○
住居形態/面積	○	○	○	住居形態のみ	住居形態のみ(留置)	住居形態のみ(留置)
社会的地位	○	○	○	○	○	○
労働組合	○	○	加入の有無のみ	加入の有無のみ	○	加入の有無のみ
居住地域の特徴(調査員記入)	x	x	x	○	○	○
時事的な設問群	職業訓練	職業訓練	学部/学科、教育費、住宅関連の支出	通勤手段/時間、休日	通勤手段/時間、休日、自動車の保有、働き方の意識	EASS2006Familyモジュール(同居・別居家族の婚姻・就労の有無、親や子どもとの居住距離・接触頻度など)、教育費

留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006	
				A票	B票		A票	B票
幸福感/満足感	○	○	○	○	○	○	○	○
結婚幸福感/配偶関係満足度	○	○	○	○	○	○	○	○
健康状態	+配偶者の健康状態	+配偶者の健康状態	+配偶者の健康状態	○	○	○	○	+配偶者・親の健康状態
トラウマの経験	○	○	○	○	x	○	○	○
家計の状態	○	○	○	○	○	○	○	○
社会階層	○	○	○	○	○	○	○	○
宗教	○	○	○	○	x	○	○	○
性別役割分業観	○	○	○	○	○	○	○	○
理想の子ども数/性別	○	○	○	○	x	○	○	○
家事頻度	+配偶者の家事頻度	+配偶者の家事頻度	+配偶者の家事頻度	○	x	○	○	+配偶者の家事頻度
夫婦別姓	○	○	○	○	x	x	x	○
政治についての考え方	○	○	○	○	○	○	○	○
所属集団	○	○	○	○	○	○	○	x
一般的信頼感/組織への信頼	○	○	○	○	x	○	○	x
余暇活動	○	○	○	○	x	○	○	○
犯罪被害	○	○	○	○	x	○	○	x
飲酒/喫煙	○	○	○	○	x	○	○	x
読書頻度(本、新聞)	○	○	+新聞名	+新聞名	x	+新聞名	○	○
情報機器の利用	○	○	○	○	x	○	○	x
安楽死	○	○	○	○	x	○	○	○
外国人	○	○	○	○	x	増加の賛否のみ	+個別好感度	x
環境問題	○	○	○	○	○	x	○	x
高齢化/社会保障	○	○	○	○	x	○	○	○
アレルギー疾患	x	x	○	○	x	○	x	○
居住年数/永住意識	x	x	x	○	x	○	○	○
時事的な設問群	墓、ベットの援助交際、裁判所の判決、少年法の改正、死刑制度、女性知事、臓器提供意思表示カード、暴行被害、死後の世界、道徳/倫理観(ポルノ、婚外関係)	JGSS-2000に加え、介護経験(本人/配偶者)、サッカー学習、学校教育から得たもの、ギャング(ポルノ、婚外関係)	環境と消費行動、ボランティア活動、英語学習、学校から得たもの、ギャンブル、カジノ	消費行動、英語学習、いじめ、少年法、カジノ、代理母、女性知事と相模	社会的ネットワーク(悩み事、政治、仕事について相談する相手とその属性)、政治についての考え	自動車利用、心のケア、遺伝子組換え食品、クレジットカード、消費者金融、ボランティア活動、寄付・募金、高齢期のライフスタイル	なりたかった職業、外国語学習、開発途上国援助、憲法第9条・女性天皇についての考え、防犯意識、ボランティア活動への参加、自殺についての考え、教育意識	EASS2006Familyモジュール(配偶者との出会い・夫婦関係・世帯間援助の状況や親関係についての考え、ベットの介護経験(本人/配偶者)、教育意識、外食・中食の頻度)

○:設問あり、◎:設問多い、+:○に加えて、x:設問なし

一方、JGSS-2002では、面接調査票の一部と留置調査票のかなりの部分を変えている。JGSSの中心的な設問を残し、争点となっている時事的な設問を組み込んだ。面接票では、「教育訓練や研修」についての設問を除き、新たに、「高校の学科」、「進学率」、「大学の専攻分野」、「教育費の支出」、「住宅関連の支出」の設問を加えた。留置票では、JGSSの基本設問を残し、その他は新規設問群「英語教育」、「ボランティア活動」、「環境と消費行動」、「ギャンブル」、「カジノ」、「余暇活動」、「アレルギー疾患」、「購読新聞」、「学校教育から得たもの」と入れ替えた。

JGSS-2003では、面接調査票の設問数を大幅に減らし、留置調査票を2種類用いている。JGSSの基

本形を踏襲した調査票（A票）と、対象者のネットワークについての設問を中心とする調査票（B票）である。後者は、悩み事、政治、仕事のそれぞれに関して相談する相手（最大4人）について詳しく尋ね、この3つのネットワークの重なりについても把握するという、大規模調査では、世界でも初めての試みである。JGSS-2003の面接票は、JGSS-2002までと比較して、設問数を思い切って削減している。これは、面接調査票を短くすることにより、対象者に対する負担を少しでも減らそうと考えたからである。ネットワークについて尋ねる留置B票は、冒頭部分を面接で行う必要があり、記入に関する説明にも時間を要し、対象者への負担が従来よりも大きくなるのではないかと思われたからである。一方、留置A票においても、一部の設問は「いじめ」、「代理母」、「女性知事による相撲の表彰」、「消費行動」、「英語を学習する意欲」などの新規設問群との入れ替えを行っている。

JGSS-2005では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を変更した。これまでは、「同居家族（一時的に別居している家族を含む）」と「子ども（同別居に関わらず）」について尋ねていたが、JGSS-2005では、「父母」、「子ども」、「その他の同居家族」、「一時別居家族」の順に尋ねている。また、JGSS-2003で外していた「初職」と「配偶者のきょうだい」の設問を復活した。「住居形態・住居の所有形態」については、面接票から留置票に移した。設問の公募を通して、「自動車の保有・利用」、「心のケア」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期のライフスタイル」を新たに加えた。「寄付・募金」の設問については、JGSS-2002に組み込んだ「ボランティア活動」の設問に変更を加えて復活させた。また、JGSS-2000以来組み込んでいる「ITの利用」に関する設問は、現状に合うように変更した。

#### 4. JGSS-2006の調査項目の概要

JGSS-2006は留置票を2種類用いている。JGSSの基本形を踏襲した留置調査票A票と、EASS 2006のテーマである「家族」モジュールを組み込んだ留置調査票B票である。「家族」モジュールの一部は、面接調査票にも組み込んでいる。以下に各調査票の特徴を述べる。

##### 1) 面接調査票

JGSS-2006の面接調査票は、対象者の属性に関する設問が中心である（16頁、86問、259変数）。対象者の学歴、収入、就労状況、過去の就労経験、婚姻上の地位、世帯構成、世帯収入、兄弟姉妹の数、子どもの数、子どもの性別や年齢、15歳の頃の居住地、子どもの教育費などの設問がある。

就労に関しては、就労形態や事業所について詳細に尋ねているほか、通勤時間と通勤手段、初職に就いた時期、初職就労状況、現在の仕事への満足感、労働組合加入の有無等について尋ねている。現在就労していない対象者には、過去の就労経験や離職年齢について尋ねている。また、現在就労していない人も含めて全員に、現在、仕事を探しているかどうかを尋ねている。

配偶者のいる対象者には、配偶者の就労状況・兄弟姉妹の数・学歴について尋ねている。

対象者の両親に関しては、学歴や対象者が15歳の頃の職業を尋ねている。

面接票では、調査員に対して、対象者の調査への協力度、質問への理解度、対象者の住んでいる地域の特徴、調査の実施に際して気づいた点についての記入を求めている。

なお、EASSの「家族」モジュールに関連して、以下の設問を面接調査票に加えた。回答者と配偶者の主な仕事以外からの収入を含む年収（非就労者も含む）、同居家族員・子ども・父母（配偶者の父母

含む)の婚姻状態や就労有無、別居している子どもや父母(配偶者の父母含む)との地理的距離や接触頻度、別居している父母(配偶者の父母含む)の世帯状況等である。

## 2) 留置調査票 A 票

留置調査票 A 票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心であり、JGSS の基本形を踏襲している(14 頁、165 問、198 変数)。継続設問に加えて、JGSS-2006 で新たに組み込んだ設問は、「携帯電話の通話・携帯メール・PCメールの頻度」、「学びたい第2外国語」、「国別好感度」、「開発途上国への援助」、「憲法第9条改正の賛否」、「女性天皇の賛否」、「中学3年時になりたかった職業(公募設問)」、「第1子への教育費」、「防犯活動」、「防犯対策への賛否」、「地域でのボランティア活動」、「自殺に関わる意識」である。また、「学歴観」や「英語学習」に関する過去の JGSS 設問を復活させている。

それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

生活習慣：喫煙、飲酒、テレビの視聴時間、新聞の購読、読書量、家庭で夕食をとる回数、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出しなどの家事に従事する頻度など。

団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティアグループ、市民団体、宗教の団体、スポーツ・クラブ、趣味の会などへの所属の有無など。

余暇活動：ドライブ、カラオケ、映画鑑賞、音楽鑑賞、テレビゲーム、園芸・庭いじり、将棋・囲碁、宝くじ、パチンコ・パチスロ、スポーツ、友人との会食、旅行、読書、テレビの視聴時間、余暇の過ごし方に対する満足感など。

ITの利用：パソコン(職場・自宅)、携帯電話/PHS、電子メール(パソコン・携帯)、インターネットによる情報検索、ショッピング、バンキング、HPの作成、インターネットの自殺サイトの賛否、インターネットの書き込み内容の監視の賛否など。

人間観・信頼観：人間の本性、他人への信頼観、官僚、学者などの職業集団に対する信頼観、学校、警察、医療機関、金融機関などの機関に対する信頼観など。

死生観、信仰、宗教活動：信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属の有無、信仰の程度、宗教団体への信頼観、安楽死の賛否、自殺意識など。

家族・ジェンダー：家計の状況、性別役割分業観、結婚・離婚観、三世同居観、家庭生活に対する満足感、希望する子どもの性別、家事、女性天皇への意識など。

社会階層：階層帰属意識、世帯収入についての主観的水準、この2~3年に生じた経済状態の変化、家計に対する満足感、生活水準を向上させる機会への期待、対象者が15歳の頃の家族の生活水準、第1子にかけた教育費、就業継続意向、失業・再雇用の可能性、学歴観、進学断念経験、中学3年の頃になりたかった職業など。

政治や政府に対する意識と評価：支持政党、政権担当能力のある政党、政治的態度、高齢者問題(生活保障、医療・介護)や子どもの教育や保育・育児における政府の役割、所得税の負担感、所得格差の是正、年金の受給額の予測など。

医療関係：健康状態、心理的トラウマの経験、健康状態に対する満足感、高齢者の医療・介護の責任の所在など。

法律関係：安楽死を認める法案についての意識、憲法第9条改正の賛否など。

地域環境：空き巣やひったくり・強盗の被害経験の有無、住居形態、地域での居住年数、将来にわ

たる居住希望、地域に外国人が増えることへの賛否、居住地域への満足感、地域の清掃活動・リサイクル活動・パトロール活動、路上の監視カメラの設置、防犯活動など。

幸福感・満足感：幸福感、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計への満足感、友人関係への満足感、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感。

英語学習：英語を使用する機会、英語の会話力・読解力、英語学習意欲、英語以外の外国語の学習意欲など。

海外援助：日本の海外援助に対する賛否、開発途上国への募金・送金経験、開発途上国に対するボランティア経験、国別好感度など。

学歴アスピレーション：中学3年の頃になりたかった職業、学歴観など。

時事問題：憲法第9条改正の賛否、女性天皇の賛否、防犯活動・防犯対策、インターネットの自殺サイトの賛否、自殺意識など。

### 3) 留置調査票 B 票

留置調査票 B 票は、JGSS の基本設問の一部と、EASS の「家族」モジュールが組み込まれている（14 頁、137 問、161 変数）。EASS の「家族」モジュール以外で新たに組み込んだ設問は、「離婚後の親子関係（公募設問）」、「介護を行った相手」、「外食・中食の頻度」、「ペットの死」である。また、「高齢者問題（生活保障、医療・介護）、子どもの教育や保育・育児における政府の役割」、「子どもの性別選好」、「健康状態」、「結婚生活満足度」は、EASS に参加する他のチームとの比較を考えて、選択肢の表現や設問のワーディングをこれまでのものから変更している。

それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

生活習慣：テレビの視聴時間、新聞の購読、読書量、家庭で夕食をとる回数、炊事・洗濯・買い物・掃除・ゴミ出しなどの家事に従事する頻度（配偶者の家事の頻度も含む）、外食頻度など。

死生観、信仰、宗教活動：信仰している宗教、家の宗教、信仰の程度、安楽死の賛否など。

社会階層：階層帰属意識、世帯収入についての主観的水準、家計に対する満足感、対象者が 15 歳の頃の家族の生活水準、第 1 子にかけた教育費、学歴観など。

政治や政府に対する意識と評価：支持政党、政治的態度、高齢者問題（生活保障、医療・介護）や子どもの教育費や保育・育児における政府の役割、夫婦別姓など。

医療関係：健康状態（回答者・配偶者・回答者の父母、配偶者の父母）、心理的トラウマの経験、健康状態に対する満足感、高齢者の医療・介護の責任の所在、アトピーやアレルギーの有無（回答者本人・同居家族）、介護経験（配偶者を含む）など。

地域環境：住居形態、地域での居住年数、居住地域への満足感など。

幸福感・満足感：幸福感、居住地域への満足感、余暇の過ごし方への満足感、家庭生活への満足感、家計への満足感、友人関係への満足感、健康状態への満足感、配偶者との関係への満足感、結婚生活の満足度、生活全般の満足度など。

EASS 家族モジュール：理想の子どもの数と性別、三世代同居観、親に対する経済的支援意識、経済的・実践的世代間援助（実親 回答者、義親 回答者、回答者 子ども）、老親の世話の責任、家継承意識、父系優先意識、性別役割分業意識、結婚観、離婚観、家族一緒のレジャー頻度、結婚年齢、結婚回数、配偶者の家事頻度、配偶者との情緒的サポートの状況、夫婦間の意思決定（子ど

ものしつけ・親の世話・家計の管理・高価な品物の購入)、配偶者との出会い、結婚時の親の意向の影響、結婚後の実親・義親からの経済援助など。

離婚：離婚後の親子関係にかかわる意識など。

ペット：飼っているペットの種類、ペットの死の経験、ペット観など。

(岩井 紀子)

### . 3 調査の方法

JGSS-2006 の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、2種類の留置調査票の割り振り方、留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録の観点に分けて、以下にまとめる。

#### < 調査設計 >

実査時期 : 2006 年 10 ~ 12 月

母集団 : 2006 年 9 月 1 日時点で全国に居住する満 20 ~ 89 歳の男女個人  
(大正 5 年 9 月 2 日 ~ 昭和 61 年 9 月 1 日に生まれた男女)

標本数 : 8,000

地点数 : 526 地点

抽出方法 : 層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳 : 選挙人名簿

抽出間隔 : 抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### < 層化の方法 >

全国の市町村を 6 つの地域ブロックに区分した。さらに、各ブロック内の市郡規模によって 4 つに区分した。計 24 層となる。JGSS-2005 までの市郡規模は、「大都市(東京都区部と政令指定都市)」、「その他の市」、「郡部」の 3 区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006 以降は「その他の市」を「人口 20 万人以上の市」と「人口 20 万人未満の市」の 2 つに分けている。地域ブロックと市郡規模の区分の仕方は下記のとおりである。

#### < 地域ブロック >

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

#### < 市郡規模 >

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

- 2) 人口 20 万人以上の市
- 3) 人口 20 万人未満の市
- 4) 郡 部

#### <標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 8,000 の標本を比例配分した。2005 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2000 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

#### <地点の抽出方法>

- 1) 平成 12 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
- 2) 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 前後になるように設定した。
- 3) 各層ごとに抽出間隔（層における母集団人口の合計÷層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の人が属する基本単位区を抽出した。
- 4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省（旧自治省）設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別（24 層）の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 1 のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表 2 のとおりである。

表 1 各層の母集団人口・標本数・調査地点数

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡 部	計
北海道・東北	2,310,246 182 (12)	2,457,687 193 (13)	5,017,226 395 (26)	2,535,841 199 (13)	12,321,000 969 (64)
関 東	12,458,419 979 (65)	7,909,757 622 (41)	10,775,255 847 (56)	2,040,742 160 (10)	33,184,173 2,608(172)
中 部	2,302,150 181 (12)	5,577,472 439 (29)	8,566,142 673 (44)	2,190,400 172 (11)	18,636,164 1,465 (96)
近 畿	5,070,114 399 (26)	4,999,758 393 (26)	5,368,792 422 (28)	1,097,468 86 (6)	16,536,132 1,300 (86)
中国・四国	898,558 71 (5)	2,909,760 229 (15)	4,481,513 352 (23)	1,167,603 92 (6)	9,457,434 744 (49)
九 州	1,871,381 147 (10)	2,840,154 223 (14)	4,916,094 387 (25)	1,998,384 157 (10)	11,626,013 914 (59)
計	母集団人口 24,910,868 標本数(地点数) 1,959(130)	26,694,588 2,099(138)	39,125,022 3,076(202)	11,030,438 866 (56)	101,760,916 8,000(526)

(市町村の合併状況は 2006 年 9 月末時点まで反映)

表 2 各層の母集団人口の構成割合（全体%）

	大都市	20万以上の市	20万未満の市	郡部	計
北海道・東北	2.3	2.4	4.9	2.5	12.1
関東	12.2	7.8	10.6	2.0	32.6
中部	2.3	5.5	8.4	2.2	18.3
近畿	5.0	4.9	5.3	1.1	16.2
中国・四国	0.9	2.9	4.4	1.1	9.3
九州	1.8	2.8	4.8	2.0	11.4
計	24.5	26.2	38.4	10.8	100.0

## &lt;対象者の抽出方法&gt;

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（14～16名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

## 1) 地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正5年9月2日～昭和61年9月1日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

## 2) 50音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正5年9月2日～昭和61年9月1日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最

初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

### 3) 男女別の台帳の場合

スタート番号が偶数の場合

対象者が16名の地点：男8名(対象番号01～08)、女8名(対象番号09～16)

対象者が15名の地点：男8名(対象番号01～08)、女7名(対象番号09～15)

対象者が14名の地点：男7名(対象番号01～07)、女7名(対象番号08～14)

スタート番号が奇数の場合

対象者が16名の地点：男8名(対象番号01～08)、女8名(対象番号09～16)

対象者が15名の地点：男7名(対象番号01～07)、女8名(対象番号08～15)

対象者が14名の地点：男7名(対象番号01～07)、女7名(対象番号08～14)

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または50音順の方法に従う。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

- ・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
- ・50音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

なお、526地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった43地点（山口県・秋田県・神奈川県・東京都・奈良県で各1地点、北海道2地点、大阪府4地点、広島県5地点、京都府6地点、兵庫県21地点）では、住民基本台帳から抽出を行った。

#### < 2種類の留置調査票の割り振り方 >

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査票は、A票（青色）またはB票（ふじ色）のどちらかを用いる。A票とB票を対象者全体の約半数ずつにランダムに配付するために、以下のような手続きを用いた。

地点番号が偶数の場合：対象者番号順に、A、B、A、B、...で振り分ける。

地点番号が奇数の場合：対象者番号順に、B、A、B、A、...で振り分ける。

各地点における留置調査票の使用順序は、地点ごとの対象者名簿にあらかじめ印刷している。

#### < 留置調査と面接調査の実施順序 >

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか

(留置 面接)を記録させる。

#### <対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方>

JGSS-2006 では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

##### 1) 謝礼の渡し方の変更

謝礼は2つ用意している。図書カードとペンセット(3本組)である。図書カードは500円のもの2枚用意しており、1枚は依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡しした。もう1枚は面接調査と留置調査の両方に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500円分)とペンセットを御用意しております」と記している。ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

##### 2) 依頼状の変更

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトに変更した。謝礼の先渡しに反発を招かないように、文面をさらに丁寧なものへと変更した。

##### 3) パンフレットの作成

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレットを同封した。

##### 4) 封筒の変更

依頼状とパンフレットの入った封筒がすぐに捨てられないことがないように、A4の入る淡いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。

#### <調査員の訪問ルール・訪問記録>

JGSS-2005 では、調査員に対して、1)対象者と会えるまで4日以上訪問する、2)平日と休日の両方に訪問する、という2つの訪問ルールを求めている。しかし、JGSS-2005の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったため、この制約を外した。したがって、JGSS-2006では、「対象者と会えるまで4日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めている。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人(本人、家族のみ、不在)の記録を求めている。ただし、訪問が10回を超えた場合は、11回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース(調査不能のケース)については、面接調査票の表紙の裏の頁(2頁目)に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類(一戸建て、集合住宅など)を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

< 実査 >

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。

( 岩井 紀子・穴戸 邦章 )

## I.4 回収率ならびに欠票の分析

## &lt;回収率&gt;

## 1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

## 2) JGSS-2006 の回収率

JGSS-2006 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）：A 票 4,002 ケース

B 票 3,998 ケース

有効回収数：A 票 2,124 ケース

B 票 2,130 ケース

回収率：A 票 59.8%

$$2,124 / (4,002 - \text{住所不明 } 71 - \text{転居 } 164 - \text{長期不在 } 71 - \text{病気 } 76 - \text{入院 } 43 - \text{死亡 } 9 - \text{その他 } 14) = 2,124 / 3,554 = 59.8\%$$

B 票 59.8%

$$2,130 / (3,998 - \text{住所不明 } 83 - \text{転居 } 151 - \text{長期不在 } 60 - \text{病気 } 72 - \text{入院 } 48 - \text{死亡 } 8 - \text{その他 } 16) = 2,130 / 3,560 = 59.8\%$$

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

## 3) 抽出標本の年齢層分布

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の年齢層分布と比較することで確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している推計人口分布（2006年10月1日現在）と考え、この推計人口分布をもとに期待標本サイズや期待回答者数を算出している。

抽出標本の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

表1が抽出標本の偏りを示す集計結果である。残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール（参考：日本規格協会,1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、80代が有意に少ない。判定の結果は調査年度ごとにやや異なるが、その違いは標本サイズの違いにも依存するので、傾向が変わったとはいえない。若年層と高齢層の抽出が少なく、50～60代の壮年層の抽出が多い傾向は共通している。

表1 母集団と標本数の年齢階級別分布表

年齢	推計人口比率 (2006.10)	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差
20-29	.14915	1122	1193.22	-2.06
30-39	.18410	1429	1472.80	-1.14
40-49	.15256	1234	1220.47	0.39
50-59	.18728	1611	1498.26	2.91
60-69	.15344	1312	1227.55	2.41
70-79	.11897	962	951.79	0.33
80-89	.05449	330	435.91	-5.07
合計	1.00000	8000	8000.00	

表2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答者数	期待 回答者数	残差
20-29	436	634.49	-7.88
30-39	703	783.16	-2.86
40-49	644	648.98	-0.20
50-59	873	796.70	2.70
60-69	845	652.75	7.52
70-79	585	506.11	3.51
80-89	168	231.80	-4.19
合計	4254	4254.00	

#### 4) 回答者の年齢層分布

回答者の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出している。期待回答者数は、期待標本サイズと同様の方法で、全回答者を各年齢層に比例配分して算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

表2が回答者の偏りを表す集計結果である。3シグマルールに従うならば、20代の若年層と80代の高齢層の回答者が少なく、60～70代の回答者が多い。これらの偏りの傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じである。前回調査（JGSS-2005）と比べれば偏りが大きいのが、これは標本サイズの違いによるものである。近い規模の標本サイズ（7,200）で実施したJGSS-2003と比べれば、偏りは緩和されており、回収率が向上した効果が表れているものと考えられる。

### <欠票の分析>

#### 1) 欠票の性・年齢層分布

JGSS-2006では、面接調査票か留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の2頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、3,746である（計画標本サイズ8,000－回収票数4,254）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表3のとおりである。全体的な傾向は、これまでのJGSSと同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造に依存している。参考のために、回答者の性別・年齢層別の分布を表4に示しておく。

表3 欠票の性別・年齢層別分布

単位：ケース数 (%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	349 (18.1)	401 (20.8)	337 (17.4)	399 (20.7)	228 (11.8)	161 (8.3)	57 (3.0)	1932
女性	337 (18.6)	325 (17.9)	253 (13.9)	339 (18.7)	239 (13.2)	216 (11.9)	105 (5.8)	1814
合計	686 (18.3)	726 (19.4)	590 (15.8)	738 (19.7)	467 (12.5)	377 (10.1)	162 (4.3)	3746

表4 回答者の性別・年齢層別分布

単位：ケース数 (%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	205 (10.3)	325 (16.4)	285 (14.3)	413 (20.8)	403 (20.3)	288 (14.5)	68 (3.4)	1987
女性	231 (10.2)	378 (16.7)	359 (15.8)	460 (20.3)	442 (19.5)	297 (13.1)	100 (4.4)	2267
合計	436 (10.2)	703 (16.5)	644 (15.1)	873 (20.5)	845 (19.9)	585 (13.8)	168 (3.9)	4254

## 2) 欠票理由の分布

性別・年齢層別の欠票理由の分布は表5、6のとおりである。拒否を理由とする欠票が5割以上を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じであるが、前回調査(JGSS-2005)と比べると拒否の割合が減っている。

表5 年齢層別欠票理由比率（男性）

単位：ケース数 (%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	66 (18.9)	25 (7.2)		13 (3.7)	101 (28.9)	138 (39.5)		4 (1.1)	2 (0.6)	349
30-39	50 (12.5)	25 (6.2)		16 (4.0)	109 (27.2)	192 (47.9)	1 (0.2)	3 (0.7)	5 (1.2)	401
40-49	24 (7.1)	15 (4.5)		14 (4.2)	72 (21.4)	203 (60.2)	3 (0.9)	5 (1.5)	1 (0.3)	337
50-59	29 (7.3)	14 (3.5)		23 (5.8)	81 (20.3)	234 (58.6)	2 (0.5)	7 (1.8)	9 (2.3)	399
60-69	9 (3.9)	8 (3.5)	4 (1.8)	10 (4.4)	37 (16.2)	142 (62.3)	11 (4.8)	7 (3.1)		228
70-79	2 (1.2)	2 (1.2)	6 (3.7)	2 (1.2)	13 (8.1)	109 (67.7)	10 (6.2)	16 (9.9)	1 (0.6)	161
80-89	2 (3.5)	1 (1.8)	4 (7.0)		6 (10.5)	21 (36.8)	8 (14.0)	15 (26.3)		57
合計	182 (9.4)	90 (4.7)	14 (0.7)	78 (4.0)	419 (21.7)	1039 (53.8)	35 (1.8)	57 (3.0)	18 (0.9)	1932

表6 年齢層別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（%）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	58 (17.2)	15 (4.5)		23 (6.8)	109 (32.3)	127 (37.7)		2 (0.6)	3 (0.9)	337
30-39	39 (12.0)	14 (4.3)		6 (1.8)	77 (23.7)	180 (55.4)	4 (1.2)	4 (1.2)	1 (0.3)	325
40-49	6 (2.4)	6 (2.4)		6 (2.4)	51 (20.2)	172 (68.0)	4 (1.6)	7 (2.8)	1 (0.4)	253
50-59	12 (3.5)	8 (2.4)	2 (0.6)	6 (1.8)	63 (18.6)	228 (67.3)	5 (1.5)	9 (2.7)	6 (1.8)	339
60-69	10 (4.2)	13 (5.4)		6 (2.5)	25 (10.5)	168 (70.3)	5 (2.1)	12 (5.0)		239
70-79	5 (2.3)	7 (3.2)	1 (0.5)	4 (1.9)	15 (6.9)	141 (65.3)	17 (7.9)	25 (11.6)	1 (0.5)	216
80-89	3 (2.9)	1 (1.0)		2 (1.9)	7 (6.7)	39 (37.1)	21 (20.0)	32 (30.5)		105
合計	133 (7.3)	64 (3.5)	3 (0.2)	53 (2.9)	347 (19.1)	1055 (58.2)	56 (3.1)	91 (5.0)	12 (0.7)	1814

## &lt;補足&gt;

## 1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表7の通りである。面接を先に行ったケースが8割以上の大多数を占めている。留置票の種類による差異は認められない。前回調査（JGSS-2005）と比べても、ほぼ同じ分布である。

表7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（%）

面接が先	留置が先	無回答	合計
3573 (84.0)	656 (15.4)	25 (0.6)	4254

## 2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表8のとおりである（時間が不明のケースを除く）。全体的に20分強が平均的な所要時間であるが、高齢者ほど時間が長くなる傾向がある。前回調査（JGSS-2005）と比べて、差異は認められない。

表8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	20.8 (7.39)	21.3 (6.80)	21.6 (7.53)	23.1 (7.48)	24.0 (9.63)	27.5 (11.80)	26.0 (8.28)	23.3 (8.87)
女性	19.8 (7.20)	22.0 (6.88)	23.1 (7.20)	24.3 (8.15)	24.3 (8.22)	26.6 (11.56)	28.5 (12.37)	23.8 (8.74)
合計	20.3 (7.30)	21.7 (6.85)	22.4 (7.38)	23.7 (7.86)	24.1 (8.91)	27.1 (11.68)	27.4 (10.94)	23.5 (8.80)

注：カッコ内は標準偏差

## 3) 訪問回数

JGSS-2005 以降は、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表 9 は、回収票について、回答者本人に会える（または欠票が決定する）までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。若年者に対する訪問回数が多い（なかなか会えない）ことが分かる。男女差は大きくないが、30～60 代では男性の方が、やや訪問回数が多い。前回調査（JGSS-2005）と比べて、差異はほとんど認められない。

また、表 10 は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様である。前回調査（JGSS-2005）と比べると、大きな差異は認められないが、やや標準偏差が大きい。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が 0 として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表 9 性別・年齢層別の平均訪問回数（回収票）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.1 (1.92)	2.9 (1.72)	2.7 (1.64)	2.7 (1.70)	2.5 (1.58)	1.9 (1.22)	1.9 (1.28)	2.6 (1.66)
女性	3.0 (1.90)	2.6 (1.78)	2.5 (1.61)	2.4 (1.49)	2.2 (1.49)	1.9 (1.18)	1.8 (1.18)	2.4 (1.59)
合計	3.1 (1.91)	2.7 (1.76)	2.6 (1.62)	2.5 (1.60)	2.3 (1.54)	1.9 (1.2)	1.8 (1.22)	2.5 (1.63)

注：カッコ内は標準偏差

表 10 性別・年齢層別の平均訪問回数（欠票）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.6 (2.56)	3.7 (2.48)	3.4 (2.33)	3.3 (2.26)	3.1 (2.36)	2.1 (1.82)	2.2 (2.39)	3.3 (2.40)
女性	3.9 (2.69)	3.3 (2.29)	3.5 (2.55)	3.0 (2.30)	2.4 (2.17)	2.0 (1.89)	2.0 (1.78)	3.0 (2.41)
合計	3.8 (2.63)	3.5 (2.40)	3.4 (2.42)	3.1 (2.28)	2.7 (2.29)	2.1 (1.86)	2.0 (2.01)	3.2 (2.41)

注：カッコ内は標準偏差

(保田 時男)

## 5 データセットの重み付けについて

この節では、JGSS-2006 データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、今回行った【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1 JGSS-2006 の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している（「3 調査の方法」参照）。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる<sup>1)</sup>。

一方、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りが無いことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている<sup>2)</sup>。

補助情報を用いる推定法では、乗率 = 「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注 1) ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

2) 清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

## 2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2006 データセットには、推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票1枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の14区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2006年10月1日現在推計人口」(総務省)の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2006 回答者数」}$$

表1 男女、年齢階級別ウエイト計算表 - JGSS-2006

		人口(千人)	回答者数	ウエイト
男	20-29	7,622	205	37,180
	30-39	9,394	325	28,905
	40-49	7,761	285	27,232
	50-59	9,482	413	22,959
	60-69	7,560	403	18,759
	70-79	5,443	288	18,899
	80-89	1,918	68	28,206
女	20-29	7,286	231	31,541
	30-39	9,136	378	24,169
	40-49	7,659	359	21,334
	50-59	9,604	460	20,878
	60-69	8,117	442	18,364
	70-79	6,736	297	22,680
	80-89	3,659	100	36,590

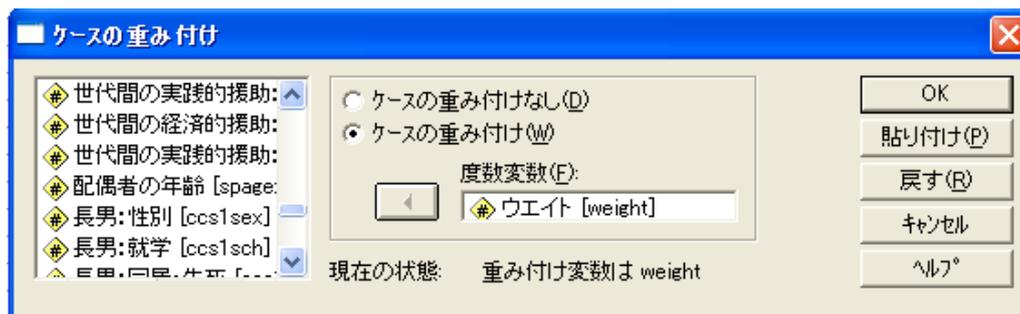
算出されたウエイトの値を男女別で比較すると、70歳以上の階級を除けば、各年代とも男性で高い。年齢で比較すると、男女とも若い年齢層で高く、それ以降年齢が上がるにつれて低下して60歳代で最も低くなり、それ以上の年代では再び上昇している。ウエイトの最大値は20歳代の男性の37,180、最小値は60歳代の女性の18,364で、最大値は最小値のほぼ2倍になっており、このウエイトによる補正の効果がうかがわれる。

ウエイトの値の差は、調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層、特に男性で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、高齢になると再度低下していることを意味している。なお、70歳以上の階級で女性のウエイトのほうが男性より高くなっていることには、それぞれの年齢階級において女性の平均年齢のほうが高く、回収率が低下していることが影響しているものと思われる。

### 3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」 「ケースの重み付け (W)」を選択
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (E)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」
- (3) 通常どおりに集計・解析



### 4 推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2006 の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表 2 のとおりである。表には参考として、JGSS-2006 と同じころに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する）。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。
- (2) 配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査をかなり上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。
- (3) これに対し、就業状態の「従業」はむしろウエイトを用いない場合のほうが比較対象とした労働力調査に近い値となっている。しかし、「家事」、「学生」については、ウエイトを用いた場合のほうが労働力調査により近い推定値が得られており、この場合は、調査方法の違いの影響が大きかったのではないかと推察される。
- (4) ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる項目、例えば、生活の程度に対する意識や政治意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値には表 2 に示す程度の差が生じる。

表2 推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較 - JGSS-2006

	単純集計	ウエイト付集計	参考値	
<b>男女【SEXA】</b>				
男	46.7	48.5	48.5	2006年10月現在推計人口（総務省）
女	53.3	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>				2006年10月現在推計人口（総務省）
20～29歳	10.2	14.7	14.7	
30～39	16.5	18.3	18.3	
40～49	15.1	15.2	15.2	
50～59	20.5	18.8	18.8	
60～69	19.9	15.5	15.5	
70～79	13.8	12.0	12.0	
80～89	3.9	5.5	5.5	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>				2005年10月国勢調査（総務省）
有配偶	73.6	69.7	64.0	
離死別 未婚	11.5 14.9	11.6 18.7	13.0 23.0	
<b>就業状態【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】</b>				2006年9月労働力調査（総務省） 注）参考値は、日本人以外及び90歳以上の者を含む。
従業	60.8	62.7	60.0	
休業	1.0	1.0	1.0	
失業	1.6	1.8	2.6	
家事	21.6	20.5	16.1	
学生 その他	0.9 14.2	1.3 12.7	2.0 18.4	
<b>生活の程度【OP5LEVK】</b>				2006年10月国民生活に関する世論調査（内閣府） 注）「わからない・無回答」は除いて集計している。参考値は、日本人の20歳以上の者。
上	0.5	0.5	1.1	
中の上	9.9	9.8	11.2	
中の中	45.7	45.5	54.9	
中の下 下	35.4 8.5	35.7 8.5	26.7 6.1	
<b>政治意識（保革5段階） 【OP5RADCA】</b>				注）「無回答」は除いて集計している。
1：保守的	7.0	7.0		
2	19.3	19.3		
3	53.5	53.1		
4	16.4	16.8		
5：革新的	3.7	3.9		

注1)「単純集計」はウエイトを用いないで集計した結果、「ウエイト付集計」はウエイトで重み付けを行って集計した結果である。

2) 現在推計人口及び国勢調査人口は、20～89歳の日本人人口である。

3)「生活の程度」の質問文はJGSSと国民生活に関する世論調査で異なる。JGSSでは「かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどこに入るとお考えですか」とあり、国民生活に関する世論調査では「お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください」とある。また、JGSSでは留置調査で尋ねられており、国民生活に関する世論調査では面接で尋ねられている。

## 付 ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000 以来、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分）」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、その計算方法について全面的な見直しを行うことにした。

見直しの結果、JGSS-2006 のウエイトは既に述べたとおりの方法で計算することにし、また、JGSS プロジェクトの第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトについても、同様な方法で計算した値に改定することにした。ウエイトの新しい作成方法及び改定の経緯は、次のとおりである。

## 1 JGSS-2005 データセットの推定用ウエイト変数【WEIGHT】の改定について

JGSS-2005 データセットの推定用ウエイト変数【WEIGHT】については、調査票 1 枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算した値に改定した。なお、基準人口としては、「2005 年 10 月 1 日国勢調査」（総務省）の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2005 回答者数」}$$

付表 1 男女、年齢階級別ウエイト計算表 - JGSS-2005

		人口（人）	回答者数	ウエイト
男	20-29	7,768,365	90	86,315
	30-39	9,166,607	125	73,333
	40-49	7,821,427	136	57,510
	50-59	9,383,638	187	50,180
	60-69	7,655,795	206	37,164
	70-79	5,274,602	137	38,501
	80-89	1,768,544	39	45,347
女	20-29	7,459,404	132	56,511
	30-39	8,943,847	167	53,556
	40-49	7,737,809	168	46,058
	50-59	9,514,613	214	44,461
	60-69	8,233,926	224	36,759
	70-79	6,580,185	146	45,070
	80-89	3,472,587	52	66,781

## 2 ウエイトの作成方法の改定に当たっての検討の経緯

- (1) 市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウエイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。
- (2) また、これまでの区分の仕方だと、標本数が 0 又はごくわずかになる区分があり、そのためにウエイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。
- (3) このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの 2 つの区分を除き、「男女×年齢階級」の区分だけでウエイトを作成することが提案された。  
 年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の 2 つに区分することにした。その理由は、この 2 つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、2 つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。
- (4) JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウエイトを計算し、それをを用いて集計を行って見たところ、附表 2 のとおり、従来のウエイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。なお、地域ブロックで違いが大きくなっているのは、従来のウエイトが地域ブロックもウエイト作成の補助情報としていたからである。
- (5) 以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウエイトの計算方法を「男女(2 区分)×年齢階級(7 区分)」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。
- (6) 同時に、第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

(松井 博)

付表2 推計方法(単純集計及び新旧ウエイト付集計)による構成比の比較 - JGSS-2005

	単純集計	旧ウエイト	新ウエイト	参考値	
<b>地域ブロック【BLOCK】</b>					
北海道・東北	14.2	12.0	13.9	12.1	2006年10月国勢調査(総務省)
関東	26.9	32.9	27.4	32.7	
中部	23.1	18.4	22.9	18.3	
近畿	13.8	16.3	13.9	16.2	
中国・四国	10.2	9.2	10.0	9.2	
九州	11.9	11.3	11.9	11.4	
<b>男女【SEXA】</b>					
男	45.5	48.5	48.5	48.5	2005年10月国勢調査(総務省)
女	54.5	51.5	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>					
20～29歳	11.0	15.3	15.1	15.1	2005年10月国勢調査(総務省)
30～39	14.4	18.1	18.0	18.0	
40～49	15.0	15.5	15.4	15.4	
50～59	19.8	18.7	18.8	18.8	
60～69	21.3	15.6	15.8	15.8	
70～79	14.0	12.8	11.8	11.8	
80～89	4.5	4.0	5.2	5.2	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>					
有配偶	72.8	69.3	69.4	64.0	2005年10月国勢調査(総務省)
離死別	11.8	10.9	11.1	13.0	
未婚	15.4	19.9	19.5	23.0	
<b>就業状態【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】</b>					
従業	60.6	63.7	63.8	60.2	2005年9月労働力調査(総務省) 注)参考値は、日本人以外及び 90歳以上の者を含む。
休業	1.0	1.1	1.1	1.0	
失業	1.4	1.9	1.7	2.6	
家事	22.6	20.6	20.7	16.3	
学生	0.7	1.1	1.0	2.0	
その他	13.6	11.7	11.8	17.9	
<b>生活の程度【OP5LEVK】</b>					
上	0.5	0.5	0.5	0.8	2006年10月国民生活に関する世 論調査(内閣府) 注)「わからない・無回答」は除 いて集計している。参考値 は、日本人の20歳以上の者。
中の上	9.6	10.0	9.8	9.1	
中の中	43.9	42.8	42.8	56.3	
中の下	36.8	38.1	37.6	26.1	
下	9.2	8.6	9.2	7.6	
<b>政治意識(保革5段階) 【OP5RADCA】</b>					
1:保守的	7.9	7.2	7.4		注)「無回答」は除いて集計している。
2	20.5	20.4	20.3		
3	50.5	49.9	50.0		
4	16.4	17.5	17.4		
5:革新的	4.6	5.1	5.0		

注1)「単純集計」はウエイトを用いずに集計した結果、「旧ウエイト」は「JGSS-2005 コードブック」で、「新ウエイト」は本書で説明しているウエイトで重み付けを行って集計した結果である。

2) 国勢調査のデータは、20～89歳の日本人人口である(国籍不詳及び年齢不詳人口の補正は行っていない)。「JGSS-2005 コードブック」に掲載されている値には日本人以外も含まれているので、若干差がある。

3)「生活の程度」の質問文はJGSSと国民生活に関する世論調査で異なる。JGSSでは「かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどこに入るとお考えですか」とあり、国民生活に関する世論調査では「お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください」とある。また、JGSSでは留置調査で尋ねられており、国民生活に関する世論調査では面接で尋ねられている。

## . 6 JGSS 関連の文献

## 白書・政府刊行物

中小企業庁編, 2005, 『中小企業白書 2005 年版』ぎょうせい.

内閣府編, 2006, 『平成 18 年版経済財政白書』pp.276-278.

内閣府編, 2007, 『平成 19 年版国民生活白書 つながりが築く豊かな国民生活』p16, p.49.

## 図書

阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規, 2006, 『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 88p.

赤川学, 2004, 『子どもが減って何が悪いか!』(ちくま新書 511) 筑摩書房, 222p.

安藏伸治, 2008, 「少子社会における結婚観」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.73-89.

青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2001, 『青森生活意識調査第一回調査報告』.

青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2002, 『青森生活意識調査第二回調査報告』.

青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2003, 『青森生活意識調査第三回調査報告』.

青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2003, 『青森生活意識調査第四回調査報告』.

朝井友紀子・佐藤博樹・田中慶子・筒井淳也・中村真由美・永井暁子・水落正明・三輪哲, 2007, 『家族形成に関する実証研究』SSJ Data Archive Research Paper Series 37 (SSJDA-37), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 94p.

同志社大学文学部社会学科社会学専攻, 2002, 『社会現象を読み解く JGSS データの二次分析を中心に』(2001 年度社会調査実習報告書, 指導担当: 藤本昌代).

玄田有史・斎藤珠里, 2007, 『仕事とセックスのあいだ』(朝日新書 024) 朝日新聞社, 205p.

橋本健二, 2006, 『階級社会 現代日本の格差を問う』講談社, 226p.

橋本健二, 2007, 『新しい階級社会 新しい階級闘争』光文社, 239p.

本田由紀, 2005, 「子どもというリスク」橋木俊詔編『現代女性の労働・結婚・子育て』ミネルヴァ書房, pp.65-93.

本田由紀, 2008, 「高校教育・大学教育のレリバンス」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.211-223.

池田謙一, 2008, 「社会関係資本と政治意識」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.273-294.

INOBUCHI, Takashi and FUJII, Seiji, 2007, *The AsiaBarometer: Its Aim, Its Scope and Its Development*.

石田浩, 2003, 「社会階層と階層意識の国際比較」樋口美雄・財務省財務総合政策研究所編『日本の所得格差と社会階層』日本評論社, pp.105-126.

ISHIDA, Hiroshi, 2005, "Class Mobility and Subjective Social Status in Japan," 尾嶋史章編『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』同志社大学文学部, pp.141-159.

- 石田浩, 2006, 「学校から職場への移行」労働政策研究・研修機構編『現代日本人の視点別キャリア分析 日本社会の劇的な変化と労働者の生き方』pp.9-38.
- ISHIDA, Hiroshi, 2007, "Japan: Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education," SHAVIT, Yossi, ARUM, Richard and GAMORAN, Adam [eds.], *Stratification in Higher Education: A Comparative Study*, Stanford University Press, pp.63-86.
- 石井研士, 2007, 『データブック 現代日本人の宗教』新曜社, pp.30-32.
- 岩井八郎, 2008, 「儀礼としての体罰 「体罰」に対する意識の分析」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.313-328.
- 岩井紀子, 2000, 「日本の総合社会調査 Japanese General Social Surveys」佐藤博樹・石田浩・池田謙一編『社会調査の公開データ: 2次分析への招待』東京大学出版会, pp.83-87.
- 岩井紀子・佐藤博樹編, 2002, 『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』有斐閣, 326p.
- 岩井紀子・保田時男, 2007, 『調査データ分析の基礎 JGSS データとオンライン集計の活用』有斐閣, 296p.
- 岩井紀子, 2008, 「墓 意識の多様化の背景」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.103-118.
- 岩井紀子, 2008, 「JGSS の調査票の設計」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.399-406.
- 岩井紀子・稲葉太一, 2008, 「調査対象者に謝礼を渡すタイミングの影響」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.423-433.
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2008, 「21世紀初頭における日本人の意識と行動の変化」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.19-43.
- 岩井紀子・杉田陽出, 2008, 「JGSS 調査票の測定尺度と選択肢」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.407-422.
- 川上淳之・玄田有史, 2006, 『就業二極化と性行動 出生現象のミクロ的背景』DISCUSSION PAPER SERIES J-147, 東京大学社会科学研究所, 25p.
- 木村雅文, 2005, 「若者のころを探る」永井広克編著『若者と現代社会』学文社, pp.163-180.
- 木村雅文, 2008, 「新聞読者層の社会的構成と政治意識」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.295-309.
- 小磯かをる, 2008, 「英語力習得への道 英語学習経験と現在の英語使用」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.369-381.
- 小島宏, 2008, 「日本・韓国・台湾における子どもの必要性意識と性別選好」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.59-72.
- LONG, Susan Orpett, 2005, *Final days: Japanese culture and choice at the end of life*, University of Hawaii Press.

- 前田幸男, 2007, 「性別役割分業と政治参加」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.97-118.
- 松田茂樹, 2005, 「現代日本における母親の就労の子どもへの影響に関する規範意識」渡辺秀樹編, 叢書 21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 6 『現代日本の社会意識 家族・子ども・ジェンダー』慶應義塾大学出版会, pp.85-105.
- 三輪哲, 2007, 「なぜ離婚リスクは社会階層により異なるのか」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.29-43.
- 三輪哲, 2008, 「教育達成過程にみられる出身階層の影響」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.225-236.
- 中尾啓子, 2008, 「正規雇用者の転職と地位達成」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.135-150.
- 中尾啓子, 2008, 「社会ネットワークの重複と複合ネットワーク」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.255-271.
- 西村幸満・石田浩, 2001, 「JGSS-2000 調査 (2000 年 11 月) 職業・産業コーディングインストラクション」SSJ Data Archive Research Paper Series 18 (SSJDA-18), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 22p.
- 西村幸満, 2008, 「減少する自営業の現在 初職と現職の就業選択」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.151-163.
- 仁田道夫・篠崎武久, 2008, 「労働組合の賃金効果の検証」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.121-133.
- 大橋正彦, 2005, 「循環型社会におけるエコ価格政策とその診断 2002 年 JGSS データの解析結果より」日本経営診断学会編『経営診断学の基礎理論と未来展望』同友館.
- 大橋正彦, 2008, 「消費者の環境行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.345-354.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2004, 『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2006, 『JGSS Colloquium 2005 報告書』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 1 回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 19 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 21 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2004, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 23 集, 東京大学社会科学

研究所.

- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2006, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2005』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 でみた日本人の意識と行動』東京大学社会科学研究所資料 第 20 集, 東京大学社会科学研究所, 204p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS でみた日本人の意識と行動』東京大学社会科学研究所資料 第 22 集, 東京大学社会科学研究所, 249p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2004, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS でみた日本人の意識と行動』東京大学社会科学研究所資料 第 24 集, 東京大学社会科学研究所, 289p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS でみた日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 317p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2006, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS でみた日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 202p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[6] JGSS でみた日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 192p.
- PEKKANEN, Robert, 2006, *Japan's Dual Civil Society: Members Without Advocates*, Stanford University Press, p.126.
- 佐藤博樹・石田浩・池田謙一編著, 2000, 『社会調査の公開データ: 2次分析への招待』東京大学出版会, 260p.
- 佐藤香, 2008, 「働きかたの多様性と社会的格差」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.179-191.
- 島田貴仁, 2008, 「犯罪リスク知覚と犯罪被害の測定 JGSS と他の犯罪被害者調査との比較」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.329-342.
- 清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14 (SSJDA-14), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 17p.
- 清水誠, 2008, 「所得と出産行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.47-57.
- 篠崎武久, 2008, 「非在学・非就業・非求職中の若年無業者(ニート)の特徴」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.165-178.

- 穴戸邦章, 2008, 「高齢者の社会的ネットワーク」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.91-102.
- 杉田陽出, 2008, 「ペットブームの背景」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.355-367.
- 橘木俊詔・浦川邦夫, 2006, 『日本の貧困研究』東京大学出版会, 358p.
- 高橋和子, 2008, 「コーディングの自動化」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.459-471.
- 谷岡一郎, 2000, 『「社会調査」のウソ リサーチ・リテラシーのすすめ』文藝春秋, 222p.
- 谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編, 2008, 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, 483p.
- 谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子, 2008, 「日本人の意識と行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.3-18.
- 谷岡一郎, 2008, 「宝くじは社会的弱者への税金か Friedman = Savage モデルの日本における検証を兼ねて」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.383-395.
- 東洋大学社会学部社会調査室, 2002, 『2001 年度社会調査および実習 21 調査報告書 家族・ジェンダー関係についての社会学的考察』(担当教員: 西村純子).
- 東洋大学社会学部社会調査室, 2002, 『2001 年度社会調査及び実習 31 調査報告書 社会階層と社会的ネットワーク』(担当教員: 竹之下弘久).
- 東洋大学社会学部朝靄校舎社会調査室編, 2004, 『2003 年度社会調査及び実習 19 「職業生活と家族生活に関する計量社会学」調査報告書』(担当教員: 竹之下弘久).
- 都村聞人・岩井八郎, 2008, 「家計における教育費負担」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.195-210.
- 筒井淳也, 2007, 『親密性の社会学: 縮小する家族のゆくえ』世界思想社, 239p.
- 山本耕資, 2007, 「標本調査における性別・年齢による層化の効果: 100 万人シミュレーション」東京大学社会科学研究所『パネル調査プロジェクトディスカッションペーパーシリーズ』No.1, 38p.
- 保田時男, 2008, 「低下する回収率と回収不能の要因」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.447-458.
- 保田時男・稲葉太一, 2008, 「サンプルの抽出と代表性」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.435-446.
- 安野智子, 2006, 『重層的な世論形成過程 メディア・ネットワーク・公共性』東京大学出版会, 210p.
- 安野智子, 2008, 「政党支持と政党評価の規定要因」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.239-253.

## 論文

- 會田陽久・石田章・陰山善照・矢部光保, 2007, 「有機農産物の購入変化と消費者の属性分析」『農業市場研究』第 16 巻第 1 号 (通巻 65 号), pp.68-72.
- 相澤優子, 2007, 「保革意識と争点態度 JGSS-2000 にみる身近な争点の影響」大阪商業大学比較地域

- 研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[6] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.169-179.
- 赤川学, 2005, 「人口減少社会における選択の自由と負担の公平: 男女共同参画と子育て支援の最適配分をめぐる」『社会学評論』Vol.56 No.1, pp.20-37.
- 安藤理, 2006, 「世代間学歴移動の社会的効果 再分配政策への賛否に着目して」『教育社会学研究』第79集, pp.47-65.
- 安藏伸治, 2001, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) と人口学研究への応用」人口学研究会編『人口学研究会紀要』No.43, p.8.
- 安藏伸治, 2002, 「離婚の推移とその要因 アメリカと日本の離婚について」『統計』10月号, pp.16-22.
- 安藏伸治, 2003, 「離婚とその要因 わが国における離婚に関する要因分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.25-45.
- 安藏伸治, 2004, 「少子社会の結婚 JGSS-2000, JGSS-2001, および JGSS-2002 を用いて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.13-28.
- 安藏伸治, 2005, 「未婚化、晩婚化、非婚化の実証分析 なぜ『いい人』がいないのか」『ESTRELA』2005年5月(No.134), pp.3-11.
- 朝倉真粧美, 2006, 「無回答の発生要因」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.13, pp.41-54.
- 朝倉真粧美, 2007, 「訪問調査におけるデータの偏り 住居形態が及ぼす影響」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.14, pp.69-81.
- CHIAVACCI, David, 2007, “The Social Basis of Developmental Capitalism in Japan: From Post-war Mobilization to Current Stress Symptoms and Future Disintegration,” *Asian Business & Management*, 6, pp.35-55.
- DE BOER, Connie, 2003, “Recent Books in the Field of Public Opinion Research,” *International Journal of Public Opinion Research* 2003, 15 (2), pp.226-227.
- 藤澤由和, 2005, 「ソーシャル・キャピタルと主観的健康の関連性」近藤克則(研究代表者)『社会経済的因子による「健康における不平等」の研究』平成14年度～平成16年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書, pp.271-276.
- 福田友子, 2007, 「外国人との接触経験と「地域の国際化」」玉野和志(研究代表者)『都市の構造転換とコミュニティの変容に関する実証的研究 平成15年度～平成17年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書』pp.207-219.
- 玄田有史・川上淳之, 2006, 「就業二極化と性行動」『日本労働研究雑誌』No.556, pp.80-91.
- HARA, Hitomi and KAWAGUCHI, Daiji, 2006, “What Do Unions Do in Japan?” *COE/RES Discussion Paper Series*, No.171, pp.1-46.
- 橋本健二, 2006, 「アンダークラス化する若年層 近代的階級構造の変貌」『社会学年報』No.35, pp.19-46.
- 橋本健二, 2006, 「教育機会の不平等と、平等のための教育 社会政策」『月刊 世界の労働』11月号(第

- 56 巻第 11 号), pp.38-45.
- 橋本健二, 2007, 「格差社会と教育格差」『消費者情報』2007.4 (No.380), pp.12-13.
- 林拓也, 2004, 「職業志向の多元的構造を捉える枠組み プロファイル法によるコンジョイント分析モデルの適用に向けて」『人文学報』349号, 東京都立大学, pp.67-88.
- 本田由紀, 2002, 「継続教育訓練経験の国際比較 JGSS-2000 と国際成人識字調査結果より」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.69-80.
- 本田由紀, 2003, 「若年労働市場における非典型雇用の拡大とその背景 JGSS-2000 と JGSS-2001 の統合データを用いて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.47-59.
- 本田由紀, 2004, 「高校教育・大学教育のレリバンス」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.29-44.
- 星野崇宏・前田忠彦, 2006, 「傾向スコアを用いた補正法の優位抽出による標本調査への応用と共変量の選択法の提案」『数理統計』Vol.54, No.1, pp.191-206.
- 池田謙一, 2005, 「政治的・非政治的ネットワークは社会関係資本を育み、政治のリアリティを規定するか JGSS-2003 ソーシャルネットワーク項目群の分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.169-203.
- 稲葉太一, 2002, 「全国調査での層化 2 段抽出法における最適な地点数割り当て法 JGSS-2000 の地点数割り当ての評価」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.185-191.
- 稲葉太一, 2005, 「JGSS でみる層化 2 段抽出法の地点数割当数の精度評価 JGSS-2000 での割り当てを例にとって」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.219-224.
- 石田章・會田陽久, 2005, 「消費者の有機農産物購買行動に関する一考察 JGSS・2002 データを用いて」日本農業市場学会編『農業市場研究』第 14 巻第 2 号 (通巻 62 号), pp.45-54.
- ISHIDA, Hiroshi, 2006, "The Persistence of Social Inequality in Postwar Japan," *Social Science Japan* (Newsletter of the Institute of Social Science, University of Tokyo) No.35, pp.7-10.
- 石田浩, 2002, 「世代間移動からみた社会的不平等の趨勢 JGSS-2000 にみる最近の傾向」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.17-31.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, "Inequality in Access to Higher Education in Post-war Japan," *ISS Discussion Paper Series*, No. F-111, Institute of Social Science, University of Tokyo, pp.1-35.
- 石田浩, 2004, 「社会的不平等と階層意識の国際比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.149-161.
- 石田浩, 2005, 「後期青年期と階層・労働市場」『教育社会学研究』第 76 集 (2005 年), pp.41-57.
- 石田光規, 2007, 「誰にも頼れない人たち JGSS2003 から見る孤立者の背景」『季刊家計経済研究』No.73,

pp.71-79.

- 石井将智, 2004, 「人間観と厳罰観について」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.215-226.
- 石倉裕美, 2006, 「子育て解放期の余暇活動の現状および関連要因の検討」『大正大学大学院研究論集』第30号, pp.274-261.
- 岩井八郎, 2002, 「加齢と生活保障 JGSS-2000 による高齢者の分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.45-54.
- 岩井八郎, 2003, 「経験の連鎖 JGSS-2000/2001 による「体罰」に対する意識の分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.113-125.
- 岩井八郎, 2007, 「高齢者の社会的地位の変化と幸福感 「ライフコースと階層」研究の視点から」財団法人長寿社会開発センター『生きがい研究』第13号, pp.47-72.
- 岩井紀子, 2000, 「<プロジェクト概要>日本版 GSS の構想と経過報告 1999~2003 年度共同研究」『Milepost』第3号, pp.1-2.
- 岩井紀子, 2000, 「アメリカにおける公開データを利用した研究と教育の現状と JGSS データのもたらす可能性」, SSJ データ・アーカイブ第4回公開セミナー『公開データを利用した研究と教育のあり方: データ・アーカイブと2次分析』(11月20日; 東京大学社会科学研究所) SSJ Data Archive Research Paper Series 13 (SSJDA-13), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.30-34.
- 岩井紀子, 2001, 「< JGSS 発 > 第1回本調査 ( JGSS-2000 ) の実施」『Milepost』第6号, 大阪商業大学比較地域研究所, pp.5-6.
- 岩井紀子, 2001, 「 JGSS プロジェクトの紹介と予備調査の結果から」『中央調査報』No.528, pp.1-4.
- 岩井紀子, 2001, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) と家族測定項目 第1回予備調査データの検討」『家族社会学研究』第12号, pp.261-270.
- 岩井紀子, 2001, 「家族意識についての実証的研究 JGSS-2000 の結果から」大阪商業大学商経学会第224回研究発表会『大阪商業大学論集』第124号, p.165.
- 岩井紀子, 2002, 「<墓>意識の多様化の背景 JGSS-2000 データ分析を通して」『大阪商業大学論集』第124号, pp.57-72.
- 岩井紀子, 2002, 「生涯学習と余暇」『東大阪市生涯学習情報ニュース』No.8, p.1.
- 岩井紀子, 2003, 「<墓>意識の多様化の背景 JGSS-2000/2001 のデータ分析を通して」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.163-178.
- 岩井紀子, 2003, 「 JGSS プロジェクト ( 2 ) 調査方法と調査項目」『統計』11月号, pp.48-55.
- 岩井紀子, 2004, 「 Japanese General Social Surveys: Beginning and Development, 4th edition」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.241-271.
- 岩井紀子, 2004, 「 JGSS プロジェクト ( 7 ) JGSS データの活用と展望」『統計』4月号, pp.53-56.
- IWAI, Noriko, 2004, " Japanese General Social Survey: Beginning and Development, " ZA ( Zentralarchiv für

- Empirische Sozialforschung an der Universität zu Köln ) -*Information* No.55, pp.99-113.
- IWAI, Noriko, 2005, " Japanese General Social Surveys ( 2 ) Methodological Experiments in Administering the Questionnaire, Incentives, Scales and Wording, " *ZfA*( Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung an der Universität zu Köln ) -*Information*, No.57, pp.83-102.
- 岩井紀子・稲葉太一, 2006, 「住民基本台帳の閲覧制度と社会調査 JGSS-2005 での抽出からみた問題点と対応」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.161-177.
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-17.
- IWAI, Noriko and SHISHIDO, Kuniaki, 2007, " Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003, " 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.25-43.
- HAYO, Bernd and ONO, Hiroyuki, 2007, " Comparing Public Attitudes Towards Providing for the Livelihood of the Elderly in Two Aging Societies: Germany and Japan, " paper submitted to Faculty of Business Administration and Economics, Philipps-University Marburg, No.03-2007.
- JONSSON, Jan O., GRUSKY, David B., DICARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard and BRINTON, Mary C., 2007, " Micro-Class Mobility: Social Reproduction in Four Counties, " Mannheimer Zentrum Für Europäische sozialforschung ( MZES ) , paper submitted to MZES, in July 2007, 47p.
- JONSSON, Jan O., GRUSKY, David B., DICARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard and BRINTON, Mary C., 2006, " The Role of Occupational Inheritance in the Social Mobility Process, " Institute of Sociology of the Academy of Science of the Czech Republic, paper were discussed at sociology seminars at the University of Umeå and Gothenburg in March 2005, revised on February 19, 2006, 42p.
- 香川めい, 2007, 「学校から職業への移行に関する二つの経路 「間断」のない移行と「学校経由」の就職」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第 46 巻, pp.155-164.
- KAWAGUCHI, Daiji and MIYAZAKI, Junko, 2005, " Working Mothers and Son 's Preferences Regarding Female Labor: Direct Evidence from Stated Preferences, " *Discussion Paper Series* ( Hitotsubashi University ) No.110.
- KIM, Joon Young, 2007, " Escaping the Nonstandard Jobs Trap: A Study of the Effect of Initial Labor Market Entry on Career Prospects in Japan, " Governance Problems on the Process of Economic Development: Young Scholars ' Contributions from *the Beijing Workshop*, *Discussion Paper* no.141, pp.40-59.
- KIM, Sang-Wook, 2004, " A Comparison of the Characteristics of General Social Surveys in East Asia, " Academy of East Asian Studies, *Sungkyun Journal of East Asian Studies*, 4 ( 2 ) , pp.137-154.
- 木村雅文, 2002, 「現代日本人の宗教意識 JGSS-2000 からのデータを中心として」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.125-134.
- 木村雅文, 2003, 「現代日本人と“家の宗教” JGSS-2000/2001 からのデータを中心として」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ]

- JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.145-162.
- 木村雅文, 2004, 「現代日本の新聞読者層 JGSS-2002 からのデータをもとにして」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.59-75.
- 小磯かをる, 2005, 「日本人英語学習者の動機付け JGSS-2003 のデータ分析を通して」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.79-91.
- 小磯かをる, 2005, 「成人教育としての英語教育に関する一考察 - JGSS 等の世論調査から見える特性と問題点」『大阪商業大学論集』第 138 号, pp.13-23.
- KOISO, Kaoru, 2006, “ The Characteristics of Motivation of Japanese Adult English Learners from JGSS-2003 Data, ” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.95 -104.
- 小磯かをる, 2006, 「英語学習経験と英語使用が日本人の英語力に及ぼす影響 - JGSS のデータ分析を基に」『日本英語コミュニケーション学会紀要』第 15 巻第 1 号, pp.141-149.
- 小島宏, 2002, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」『よろん・日本世論調査協会報』89 号, pp.13-16.
- 小島宏, 2003, 「子どもに関する意識の規定要因 人口問題意識調査 ( 1990/1995 ) と JGSS- 2000/2001 の比較分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-24.
- 小島宏, 2004, 「子どもに関する意識の規定要因 JGSS-2000/2001/2002 と台湾社会変遷基本調査 2001 の比較分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-11.
- 小島宏, 2004, 「日本・韓国・台湾における子どもに関する意識の規定要因 JGSS-2000/2001/2002、KNFS-2000、TSCS-2001 の比較分析」『韓国・台湾・シンガポール等における少子化と少子化対策に関する比較研究平成 15 年度総括研究報告書』 pp.26-54.
- 小島宏, 2004, 「中立的回答選択の規定要因 JGSS 予備調査 Split Ballot の分析」『よろん・日本世論調査協会報』第 93 号, pp.11-15.
- 小島宏, 2005, 「アレルギー疾患の規定要因 JGSS-2002 の予備的分析と探索的コンテクスチュアル分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.47-77.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, “ A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan, ” *F-GENS Journal*, No.5, pp.324-336.
- KONDO, Ayako, 2006, “ Does the First Job Really Matter? State Dependency in Employment Status in Japan, ” 大阪大学社会経済研究所森口賞入選論文.
- KONDO, Ayako, 2007, “ Does the First Job Really Matter? State Dependency in Employment Status in Japan, ” *Journal of the Japanese and International Economies*, 21 ( 3 ) , pp.379-402.
- KUMLIN, Johanna, 2007, “ The Sex Wage Gap in Japan and Sweden: The Role of Human Capital, Workplace Sex Composition, and Family Responsibility, ” Oxford University Press, *European Sociological Review*, 23( 2 ),

- pp.203-221.
- LEE, Kristen Schultz and ONO, Hiroshi, 2006, "Specialization and Happiness: A U.S.-Japan Comparison," *SSE/EFI Working Paper Series in Economics and Finance*, No. 631.
- 前田幸男, 2006, 「就業と家庭における性役割分業が政治参加に与える影響について」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤 人間関係』SSJ Data Archive Research Paper Series 35 (SSJDA-35), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.32-57.
- 松本涉, 2004, 「NPO の組織化原理と環境状況」東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻学位論文, 217p.
- 松本涉, 2004, 「NPO に参加する人々の背景要因の解明」東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター『多様な働き方の構造分析』SSJ Data Archive Research Paper Series 30, pp.71-110.
- 松本涉, 2006, 「組織に対する信頼の安定性 JGSS 累積データ 2000-2003 を用いた多母集団同時分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.59-69.
- 松本涉, 2007, 「ボランティア活動や非営利組織への参加と就労観 JGSS-2005 を用いたデータ分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.83-94.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2007, "To give, or not to give; to volunteer, or not to volunteer, that is the question: Evidence on Japanese philanthropic behavior revealed by the JGSS-2005 data set," 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.69-81.
- 松谷満, 2002, 「宗教性と社会意識 キリスト教信者アンケート調査を事例に」『ソシオロジ』第 47 巻第 1 号, pp.91-108.
- 松谷満, 2004, 「社会意識の規定因としての宗教 「信者」層・「家の宗教」層・「無宗教」層の比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.187-198.
- 松沢陽子, 2007, 「クレジットカードの利用に関する一考察 JGSS-2005 の分析から」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.107-118.
- 湊邦生, 2007, 「東アジアにおける国際比較社会調査とその課題 世界価値観調査、ISSP、アジア・バロメーター、東アジア価値観国際比較調査から EASS へ」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-23.
- MIWA, Satoshi, 2005, "Educational Homogamy in Contemporary Japan," *Social Science Japan*, No. 33, Institute of Social Science, The University of Tokyo, pp.9-11.
- 三輪哲, 2005, 「父不在・無職層の帰結 将来の地位達成格差とその意味」平成 15 年度～平成 16 年度 科学研究費補助金 基盤研究 (B)(1) 研究成果報告書 (尾嶋史章代表)『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』pp.223-234.
- 三輪哲, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる現代日本の世代間社会移動パターン」大阪商業大学

- 比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.47-58.
- 三輪哲, 2006, 「離婚と社会階層の関連にかんする試論的考察」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤 夫婦関係』SSJ Data Archive Research Paper Series 34 (SSJDA-34), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.45-30.
- 宮田尚子, 2006, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク」2005 年度修士論文 同志社大学大学院文学研究科社会学専攻, 73p.
- 宮田尚子, 2007, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク 組織的適応期における複合的な相談ネットワークの効果」大阪大学大学院人間科学研究科『年報人間科学』第 28 号, pp.99-116.
- 水落正明, 2006, 「保育サービスの量的・質的充実が女性の就業と出産に与える影響」『東北経済学会誌』2005 年度版, pp.45-49.
- 水落正明, 2006, 「卒学直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」『生活経済学研究』第 22・23 巻合併号, pp.167-176.
- MOROZUMI, Ryoko, 2007, "An Empirical Study of Health-related Consumption and Subjective Health Status," Doctoral dissertation, Graduate School of Economics, the University of Tokyo.
- MOROZUMI, Ryoko, 2007, "Testing Unitary Models of Labor Supply on Decision-making Systems: Evidence from Japan," *Working Paper* ( Faculty of Economics, University of Toyama ) No.217, 32p.
- 長崎千津香・石田章・横山繁樹, 2007, 「コンビニエンスストアの利用頻度と消費者属性に関する考察」『農業生産技術管理学会誌』第 14 巻第 2 号, pp.115-120.
- 中尾啓子, 2002, 「地位達成過程における転職 JGSS-2000 調査データを用いての検討」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.1-16.
- 中尾啓子, 2002, 「階層帰属意識と生活意識」『理論と方法』Vol.17, No.2, pp.135-149.
- 中尾啓子・池田謙一・安野智子, 2003, 「JGSS-2003 ネットワークモジュールに向けて 予備調査の結果報告」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.193-232.
- 中尾啓子, 2005, 「複合ネットワークの概要 3 種類の社会ネットワークの複合と重複」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.131-152.
- 中澤涉, 2007, 「在日外国人の多寡と外国人に対する偏見との関係」『ソシオロジ』第 52 巻第 2 号, pp.75-91.
- 西川真規子, 2002, 「夫婦の労働供給に関する一考察 JGSS-2000 データによる検討」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.33-44.
- 西村幸満, 2001, 「書評『社会調査の公開データ: 2 次分析への招待』」『ESTRELA』( 4 月 ), pp.58-59.
- 西村幸満, 2002, 「就業者における所得関数の計測 JGSS-2000 からみた日本の雇用システムの一側面」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.55-68.

- 西村幸満, 2003, 「自営業：就業選択と所得関数の推計 JGSS-2000 と JGSS-2001 を利用して」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.61-74.
- 西村幸満, 2004, 「収入決定における教育、職業、役職の効果 JGSS データにみる長期雇用存続の検証」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.135-147.
- 西村幸満, 2004, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差 ( 1 ) 個票データを用いた因果モデルの時点間比較」関西国際大学高等教育研究所『高等教育研究叢書』No.5, pp.1-17.
- 西村幸満, 2005, 「老後の不安 - 不安要因のトレンドと規定要因の変遷」『季刊社会保障研究』第 41 巻 1 号, pp.4-11.
- 西村幸満, 2006, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差 ( 1 ) 個票データを用いた因果モデルの時点間比較」『ユニバーサル段階における“大学第一世代”への学習支援に関する基礎的研究』平成 15 ~ 17 年度科学研究費補助金基盤研究 ( B ) ( 2 ) 研究成果報告書, pp.5-19.
- 野崎祐子, 2006, 「男女間賃金格差の要因分解 学歴別検証」『生活経済学研究』第 22・23 巻合併号, pp.151-166.
- 野崎祐子, 2007, 「雇用不安時代における女性の高学歴化と結婚タイミング JGSS データによる検証」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.131-146.
- 野崎祐子, 2007, 「女性の高学歴化と経済格差に関する研究」広島大学博士論文, pp.47-65, pp.67-86.
- NUKAGA, Misako, 2006, “Xenophobia and the Effects of Education: Determinants of Japanese Attitudes toward Acceptance of Foreigners,” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.191-202.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 データにみるわが国消費者のエコ諸行動とその規定因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.93-107.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 年データによる持続可能な価格政策に関する実証研究」大阪商業大学商経学会『大阪商業大学論集』第 133 号, pp.25-47.
- 大橋正彦, 2005, 「わが国消費者の情報探索行動とその規定因 JGSS-2003 データによる検証結果」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.17-32.
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における環境行動の規定因と持続可能マーケティング JGSS-2002 のデータより」『大阪商業大学論集』第 141 号, pp.123-139.
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における情報探索行動の規定因と経営診断 JGSS-2002 年データによる検証結果」『経営診断のニューフロンティア - 日本経営診断学会論集』同友館, pp.106-118.
- 大橋正彦, 2008, 「わが国消費者における生活・買い物志向の実態とその規定因 JGSS-2003 年データより」『大阪商業大学論集』第 147 号, p.91-109.
- 大槻茂実, 2006, 「外国人接触と外国人意識 JGSS-2003 データによる接触仮説の再検討」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS

- で見た日本人の意識と行動』 pp.149-159.
- OKUTSU, Mari, 2007, " Career Analysis of Today's Japanese from Different Angles: Dramatic Change of the Japanese Society and Workers ' Way of Life, " *Japan Labor Review*, Vol.4, No.2, pp.121-138.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト(5) 海外の社会調査 : 米国とオーストラリア」『統計』2月号, pp.52-59.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト(6) 海外の社会調査 : 韓国・中国・台湾」『統計』3月号, pp.55-61.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS 国際シンポジウム 2003 <報告>」『Milepost』第11号, pp.9-11.
- 大澤美苗, 2004, 「JGSS の表彰 <報告>」『Milepost』第11号, p.12.
- 大澤美苗, 2005, 「第2期 JGSS プロジェクトの構想」『Milepost』第13号, pp.1-2.
- 尾崎裕子, 2004, 「飼育動物の選択には何が影響を与えるか 日本版総合社会調査を用いて」『Animal Nursing』Vol.8, No.2, pp.12-24.
- 尾崎裕子, 2004, 「ペット飼育の規定要因 日本版総合社会調査マイクロデータを用いて」『生活経済学研究』第19巻, pp.21-34.
- 尾崎裕子, 2006, 「家計のペット飼育選択に関する実証的研究」日本女子大学博士学位論文, 230p.
- Rønsen, Marit, 2004, " Fertility and family policy in Norway: A reflection on trends and possible, " Max Planck Institute for Demographic Research, *Demographic Research*, 10, pp.265-286.
- 佐野茂, 2005, 「地域への愛着と子どもへの関わりに関する一考察 JGSS-2003 データより」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [4] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.33-46.
- 佐野茂, 2006, 「家庭教育の変容に関する一考察 戦前と戦後の比較考察論から」『大阪商業大学論集』第142号, pp.51-62.
- SATO, Hiroki, 2000, " The Japanese General Social Survey: Aims and Rational, " *Social Science Japan*, No.19, Institute of Social Science, The University of Tokyo, pp.27-29.
- 佐藤博樹, 2000, 「データアーカイブと『実証的』な社会科学研究」『ESTRELA』(6月), pp.2-6.
- 佐藤博樹, 2001, 「日本版 GSS と社会科学研究」『よろん・日本世論調査協会報』87号, pp.5-9.
- 佐藤博樹, 2003, 「JGSS の授業への利用 : 日本社会学会での報告・議論を参考に」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [2] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.233-236.
- 佐藤香, 2004, 「JGSS-2002 にみる働きかたの多様化・雇用条件・職業観」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [3] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.109-120.
- 佐藤香, 2005, 「多様化する働きかたとライフスタイル 2003年 JGSS 調査データより」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [4] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-15.
- 佐藤香, 2006, 「働きかたの多様化とライフスタイル JGSS 累積データ 2000-2003 による分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [5] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.19-31.
- 佐藤朋彦・佐藤博樹, 2006, 「データアーカイブの役割とSSJデータアーカイブの現状 : 実証研究に

- おける再現性を担保するために」『日本労働研究雑誌』 pp.42-54.
- 佐藤智子, 2006, 「市民社会における学級・講座の意義 社会教育と地方行政の計量分析」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第 45 巻, pp.317-324.
- 佐藤嘉倫・吉田崇, 2007, 「貧困の世代間連鎖の実証研究 所得異動の観点から」『日本労働研究雑誌』第 563 号 (2007 年 6 月号), pp.75-83.
- 重松洋司・谷岡一郎, 2001, 「男性的文化 (マッチョ・カルチャー) と麻雀 特に囲碁および宝くじとの比較研究を中心として」『Gambling & Gaming』 pp.15-35.
- 島田貴仁, 2004, 「JGSS による犯罪リスク知覚と犯罪被害の測定 他の犯罪被害調査との比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [3] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.227-240.
- 嶋崎尚子, 2006, 「社会調査教育におけるデータアーカイブの活用 JGSS 2 次分析演習の事例」『ESTRELA』2006 年 6 月 (No.147), pp.10-13.
- 清水誠, 2002, 「所得が出生に及ぼす影響 JGSS-2000 への Butz and Ward Model の適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.149-158.
- 清水洋平, 2005, 「労働時間はいかにして決まるか? 個人の意識を規定要因とした分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [4] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.257-271.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察 日本版総合社会調査 (JGSS) から見る NEET、失業者、就業者の比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [3] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.121-134.
- 篠崎武久, 2005, 「再分配政策への支持を決定する要因 先行研究の結果と JGSS データを用いた分析結果の比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [4] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.205-218.
- 篠崎武久, 2006, 「JGSS から見た主観的階層の経年変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [5] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.33-45.
- 宍戸邦章, 2006, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」 JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [5] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.119-134.
- 宍戸邦章, 2007, 「高齢期における幸福感規定要因の男女差について JGSS-2000/2001 統合データに基づく検討」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [6] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.45-56.
- SMITH, Tom W., KIM, Jibum, KOCH, Achim and PARK, Alison, 2005, " Social-Science Research And The General Social Surveys, " Zentrum für Umfrage, Methoden und Analysen ( ZUMA ), ZUMA-Nachrichten, 56, pp.68-77.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの存在感に関する一考察: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2

- 回予備調査のデータを基に」『大阪商業大学論集』第 124 号, pp.73-86.
- 杉田陽出, 2002, 「JGSS-2000 のデータにみる同居世帯人数がペットの評価に及ぼす影響：同居している子どもの有無の観点から」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.135-147.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの飼育時間に影響を及ぼす要因について：飼育者の属性を中心として」『大阪商業大学論集』第 126 号, pp.51-64.
- 杉田陽出, 2003, 「犬の飼育と犬に対する愛着度が飼い主の身体的健康と精神的健康に及ぼす効果：JGSS-2001 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.127-143.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト ( 3 ) 測定尺度と選択肢」『統計』12 月号, pp.49-56.
- 杉田陽出, 2004, 「JGSS-2000 と JGSS-2001 のデータに見る犬の飼い主の健康状態」『大阪商業大学論集』第 132 号, pp.101-122.
- 杉田陽出, 2004, 「英語の学習経験が日本人の英会話力に及ぼす効果：JGSS-2002 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.45-57.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての犬の役割に関する一考察：JGSS のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.111-129.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての猫の役割に関する一考察：犬に関する分析結果との比較を含めて」『大阪商業大学論集』第 138 号, pp.25-40.
- SUGITA, Hizuru, 2006, “ The relationship between the presence of children and the degree of attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data, ” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.105 -118.
- 孫飛舟, 2007, 「JGSS-2005 から見た自動車の保有と使用に関する社会意識 都市と地方、保有者と非保有者の差異を中心に 」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.57-68.
- 孫郁雯, 2007, 「運動頻度を規定する要因 JGSS-2003 による分析 」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.147-157.
- 田鹿鈴子, 2005, 「イデオロギーの果たす役割 保革イデオロギーは支持政党・政策態度の決定に影響しているか？日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の分析から 」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.273-284.
- TAKAGI, Emiko and SILVERSTEIN, Merrill, 2006, “ Intergenerational Coresidence of the Japanese Elderly: Are Cultural Norms Proactive or Reactive? ” *Research on Aging*, 28 ( 4 ) , pp.473-492.
- 高木竜輔, 2007, 「政治意識と政治参加」玉野和志 ( 研究代表者 ) 『都市の構造転換とコミュニティの変容に関する実証的研究 平成 15 年度～平成 17 年度科学研究費補助金 ( 基盤研究 C ) 研究成果報告書』pp. 229-236.

- 高橋和子, 2002, 「JGSS-2000 における職業・産業コーディング自動化システムの適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.171-183.
- 高橋和子, 2003, 「JGSS-2001 における職業・産業コーディング自動化システムの適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.179-191.
- 高橋和子, 2004, 「職業コーディングにおける ROCCO システムと SVM の組み合わせ」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.163-174.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「ルールベース手法と機械学習による自由回答の分類 職業コーディング自動化の方法」『理論と方法』 Vol.19 No.2 , pp.177-196.
- 高橋和子・須山敦・村山紀文・高村大也・奥村学, 2005, 「職業コーディング支援システム (NANACO) の開発と JGSS-2003 における適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.225-241.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2005, 「機械学習とルールベースの組み合わせによる自動職業コーディング」『言語処理学会論文誌 自然言語処理』 Vol.12 No.2, pp.4-23.
- 高橋和子, 2006, 「統計処理に向けたテキスト型データのコーディング方法 カテゴリーに自動分類する場合」原純輔編『学術資源学の構想 平成 15~17 年度科学研究費補助金 (萌芽) 論文集』 pp.57-70.
- 高橋和子, 2007, 「機械学習を用いた自由回答分類の高度化に関する研究」東京工業大学博士学位論文, 106p.
- 高山育子, 2002, 「就学前教育の制度化と「三歳児神話」 JGSS-2000 データによる規定要因分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.159-169.
- 田辺俊介, 2001, 「外国人への排他性と接触経験」『社会学論考』第 22 号, pp.1-14.
- 田辺俊介, 2004, 「国別好感度から見る「日本人」の世界認知 JGSS 第一次予備調査を用いて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.199-213.
- 田中豊, 2007, 「JGSS でみる日本人の遺伝子組換え食品に対する態度」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.95-106.
- 谷岡一郎, 2002, 「将棋を好む人、囲碁を好む人 どう違うのか、なぜ違うのか / 『余暇活動における代替行動選択』仮説の検証」大阪商業大学アミューズメント産業研究所『Gambling & Gaming』 vol.4, pp.1-14.
- 谷岡一郎, 2002, 「宝くじは社会的弱者への税金か? JGSS-2000 データによるナンバーズ・ミニロトとの比較研究: 「Friedman=Savage モデル」の日本における検証を兼ねて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.107-124.

- 谷岡一郎, 2003, 「マッチャ・カルチャーと犯罪被害経験 JGSS-2001 データによるルーティーン・アクティビティ・セオリーの検証: 暴行、空き巣、強盗の比較を兼ねて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.93-112.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト ( 1 ) 誕生とその背景」『統計』10月号, pp.47-54.
- 谷岡一郎, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識 JGSS-2002 データによる地域差、都市化レベル、そして社会的属性の研究」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.77-92.
- 谷岡一郎・大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト ( 4 ) 調査方法の国際比較」『統計』1月号, pp.47-54.
- 谷岡一郎・梁亨恩, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識 JGSS-2002 データより」『ギャンブリング・ゲーミング学研究』創刊号, pp.40-47.
- 谷岡一郎, 2005, 「パチンコ・パチスロをする人々 JGSS-2002 によるプレイ比率、頻度、そして使用金額に関する研究」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.93-109.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2005, 「国際比較可能なマイクロデータの提供を目指して JGSS プロジェクトの意義と課題」『ESP ( Economy Society Policy )』3月号, pp.68-74.
- 谷岡一郎, 2006, 「力の誇示・英雄願望 ( マッチャ・カルチャー ) の発露としてのカラオケ JGSS-2001 データによるカラオケ選択とプレイ頻度に関する仮説実証研究」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.83-94.
- 戸口愛泰, 2003, 「結婚観における因子的不変性の検討 JGSS2000 データを用いて」『人間科学』第59号, pp.191-203.
- 都村聞人, 2006, 「教育費負担に影響を及ぼす諸要因 JGSS-2002 データによる分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.135-148.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2005, " Factors of Late Marriage; A Survival Analysis of Life Courses for Marriage in Japan, " *NUCB Journal of Economics and Information Science*, Vol.49, No.2, pp.223-234.
- 渡辺朝子, 2006, 「母親の就業が子どもに与える影響 その意識を規定する要因の分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.179-189.
- 山田憂子, 2007, 「『勝ち組・負け組』論の真実 JGSS-2002 データにおける幸福感規定要因分析からの考察」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.159-167.
- 山本理子, 2007, 「無農薬・有機栽培野菜の購入を規定する要因 JGSS-2002 を用いた分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.181-192.
- 保田直美, 2007, 「JGSS-2005 にみる日本の心理主義 心理学知識と心理還元主義の擬似相関」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 6 ]

- JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.119-130.
- 保田時男, 2004, 「大規模サンプルに対する一般化<sup>2</sup> 適合度検定 JGSS データへの適用例」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 3 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.175-186.
- 保田時男, 2005, 「JGSS データによる父学歴の欠損メカニズムの分析 わからない と 無回答 の 違い」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.243-256.
- 保田時男, 2006, 「反復横断調査としての JGSS の意義 調査間隔の短さがもつ利点」早稲田社会学会編『社会学年誌』 47 号, pp.19-33.
- 保田時男, 2006, 「社会調査のデータ解析テキストをめぐる問題 学生インタビューの結果から」『大阪商業大学論集』 第 142 号, pp.87-98.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「JGSS-2000 にみる有権者の政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.81-105.
- 安野智子, 2003, 「JGSS-2001 にみる有権者の政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 2 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.75-91.
- 安野智子, 2005, 「JGSS - 2003 にみるパーソナル・ネットワークと政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 4 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.153-167.
- 安野智子, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる政党支持および政党評価の規定要因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 [ 5 ] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.71-82.

## 報告要旨

- 相澤真一, 2007, 「日本人の「なりたかった職業」の形成要因とその行方 JGSS-2006 データの分析から」『日本教育社会学会第 59 回大会発表要旨収録』 pp.223-224.
- 相澤真一, 2007, 「後期中等教育拡大期の学歴と職歴の連関 世代内移動と職業構造の変化に基づく探索的時期区分を手がかりとして」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨』 p.189.
- 相澤真一・香川めい, 2007, 「後期中等教育拡大期における高卒就職者の世代内移動 社会移動研究における時系列的探索分析の試み」『第 55 回関東社会学会大会報告要旨集』 pp.36-37.
- AKABAYASHI, Hideo, 2007, “Who suffered from the superstition in the marriage market? The case of Hinoeuma in Japan,” presented at American Economic Association Annual Meeting.
- 安蔵伸治, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (5) GSS と JGSS を用いた分析例と課題」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.23.
- 安蔵伸治, 2000, 「共通論題 A 情報化時代の人口統計: 人口研究発展のための個票レベルのデータの公開」『第 52 回日本人口学会大会』 pp.40-42.
- 安蔵伸治, 2001, 「離婚に関する要因分析: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査を用い

- て」『第 53 回日本人口学会大会』 p.128.
- 安藏伸治, 2002, 「離婚の要因と背景」『日本人口学会第 54 回大会要旨集』 pp.17-19.
- 朝倉真粧美, 2004, 「社会調査における「不明回答」」『第 77 回日本社会学会大会報告要旨』 p.132.
- 朝倉真粧美, 2005, 「面接調査と留置調査の無回答」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』 pp.222-223.
- 朝倉真粧美, 2006, 「住居形態による回答者属性と回答の差異」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨』 p.261.
- DE BOER, Connie, 2003, “Recent Books in the Field of Public Opinion Research,” *International Journal of Public Opinion Research* 2003, 15 ( 2 ) , pp.226-227.
- ENOKI, Miki and IWAI, Noriko, 2007, “Pretest Results of EASS 2008 Culture Module and Proposed Changes by JGSS,” EASS 2007 Drafting Group Meeting in Osaka.
- 古谷嘉一郎・浦光博, 2006, 「犯罪防止に役立つ地域内活動・地域間活動・インターネットのチカラ 地域内・地域間活動・インターネット利用は犯罪防止に役立つのか？」『日本グループダイナミックス学会 第 53 回大会論文集』 pp.82-85. (日本グループダイナミックス学会 優秀発表賞)
- FUSE, Kana, 2006, “Daughter Preference in Japan: A Reflection of Shift in Gender Role Attitudes ( or not ) ? ” paper presented at session 57 ( Implications of Gender Interactions and Ideologies for Reproductive Behavior ) at Population Association of America 2006 Annual Meeting Program, Los Angeles, California, March 30-April, 2006.
- 稲葉太一・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 2 ) JGSS 第 2 回予備調査の回収率と欠票の分析」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.26.
- ISHIDA, Hiroshi, 1999, “Social Science Japan Data Archive and Japanese General Social Surveys,” Japan Sociologists Network Panel, 94th Annual Meeting of the American Sociological Association, Chicago.
- ISHIDA, Hiroshi, 2000, “Doing Social Science Research in Japan: Data Archives and Japanese General Social Surveys,” 4th Annual Asian Studies Conference Japan.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan,” 98th Annual Meeting of the American Sociological Association August 16-19 2003, Atlanta, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan,” Research Committee 28 on Social Stratification, International Sociological Association, New York, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Class Structure, Intergenerational Mobility and Status Consciousness in Japan and Industrial Nations,” Thematic Lecture Series on East Asia [ Theme 3 ] : Social Inequality, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- ISHIDA, Hiroshi, 2004, “Does Class Matter in Japan? Demographics of Class Structure and Class Mobility in Comparative Perspective,” Conference on Researching Social Class in Japan, Center for Japanese Studies, University of Michigan, March 20-21, Michigan, USA.
- 岩井八郎, 2007, 「子どもとの同居は幸せか JGSS-2002 による高齢者の経済的地位・家族形態・幸福感の分析」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』 pp.96-97.
- 岩井八郎, 2007, 「儀礼としての体罰 JGSS による「体罰」に対する意識の計量分析」『日本教育社会学会第 59 回大会発表要旨収録』 pp.277-278.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 GSS の第 1 回予備調査を用いた家族測定項目の検討」『第 9 回日本家族社会学

- 会大会報告要旨』 pp.82-83.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 3 ) Split-Ballot による質問項目の検討」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.21.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 1 ) JGSS 第 2 回予備調査の目的と方法」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.25.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) 第 2 回予備データによる調査方法論上の検討 謝礼のタイミングの影響および Split-Ballot による質問項目の検討」『日本社会心理学会第 41 回大会発表論文集』 pp.118-119.
- 岩井紀子, 2001, 「 < 墓 > 意識の多様化の背景 JGSS 第 1 回本調査 ( JGSS-2000 ) のデータ分析を通して 」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』 p.218.
- 岩井紀子, 2003, 「配偶関係と幸福感の関係から」日本健康心理学会第 16 回大会会員企画シンポジウム 心と体の健康を創る：QOL の視点から 『第 16 回大会発表論文集』 p.55.
- IWAI, Noriko, 2003, “ Research Designs for the JGSS, ” Thematic Lecture Series on East Asia [ Theme 1 ] Social Surveys in East Asia, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2003, “ Japanese General Social Surveys: Beginning and Development, ” 『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』 ( 2004 ) 大阪商業大学比較地域研究所, pp.161-184.
- IWAI, Noriko, 2003, “ Research Designs for the JGSS, ” Thematic Lecture on Japanese and Korean Social Surveys, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taiwan.
- IWAI, Noriko, 2004, “ Japanese General Social Surveys: Beginning and Development, ” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], *36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts ( Papers Presented in Sessions )* , pp.82-83.
- IWAI, Noriko, 2004, “ The Diversification of Attitudes toward Graves : Based on Japanese General Social Surveys ( JGSS-2000/2001 ) , ” *Proceedings for EASS Conference 2004*, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea, p.20.
- IWAI, Noriko, 2005, “ Gender Differences in Attitudes toward Graves: Based on Japanese General Social Surveys ( JGSS-2000/2001 ) , ” *Abstract Book for Women’s Worlds 2005: 9th International Interdisciplinary Congress on Women*, Ewha Womens University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2006, “ On East Asian Social Surveys, ”大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2005 報告書』 pp.25-29.
- 岩井紀子, 2006, 「 Japanese General Social Surveys ( JGSS ) の取り組みと最近の成果の紹介」, 第 326 回 関西社会心理学研究会 ( 2006.5.20 大阪商業大学 ) .
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2006, 「日本人の意識と行動の変化 JGSS 累積データ 2000-2003 にみるトレンド 」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨』 p.48.
- IWAI, Noriko and SHISHIDO, Kuniaki, 2006, “ Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003, ” EASS Conference 2006 , Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- IWAI, Noriko, 2007, “ Trends in doing housework and factors affecting doing housework based on JGSS data, ” EASS Symposium on East Asian Societies & the Family, July 17, 2007, Hong Kong.

- 岩井紀子, 2007, 「家事頻度からみたライフスタイル JGSS 累積データ 2000-2006 の分析」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨』 p.243.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki and TABUCHI, Rokuro, 2007, “ Analysis of Intergenerational Assistance to/from Parents and Parents-in-law: First trial using JGSS-2006, ” EASS Symposium on East Asian Societies & the Family, July 17, 2007, Hong Kong.
- 岩井紀子・保田時男・宍戸邦章・田淵六郎, 2007, 「JGSS-2006 にみる実親および義親との世代間援助関係」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』 pp.58-59.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki and TABUCHI, Rokuro, 2007, “ Analysis of Intergenerational Assistance to/from Parents and Parents-in-law, ” EASS 2007 Drafting Group Meeting in Osaka.
- KASUYA, Masashi and SEKITA, Yasuyoshi, 2005, “ Empirical Analyses of Household Income and Well-being for Family Caregivers, ” presented at the 5th World Congress of International Health Economics Association.
- KIM, Ki Hun, 2004, “ Trends and Differentials in School Transitions in Korea and Japan, ” paper presented at the conference “ Inequality and Stratifications: Broadening the Comparative Scope ” of Research Committee 28 ( Social stratification and Mobility ) of International Sociological Association, Rio de Janeiro, Brazil, August 7-9, 2004, 49p.
- KIM, Ki Hun and MIWA, Satoshi, 2005, “ System Context Revisited: Educational Reform and Inequality in Japan and Korea, ” paper presented at the conference “ Inequality and Mobility in Family, School, and Work ” of Research Committee 28 ( Social stratification and Mobility ) of International Sociological Association, August 18-20, 2005, 32p.
- 木村雅文, 1999, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 2 ) JGSS 予備調査の目的と方法」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.20.
- 小磯かをる, 2005, 「世論調査にみる日本人英語学習者と動機付け」日本英語コミュニケーション学会 第 31 回関西支部フォーラム.
- 小磯かをる, 2005, 「日本人の英語能力とその規定要因 - JGSS のデータ分析を基に」日本英語コミュニケーション学会第 14 回年次大会.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “ The Development of the Japanese General Social Surveys and Its Relevance to Korea, ” The Academy of Korean Studies Colloquium, Seoul, Korea.
- 小島宏, 2001, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」日本世論調査協会 2001 年度研究大会.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “ Determinants of Japanese Attitudes toward Fertility and Policy Interventions: A Comparative Analysis of the IPP 1990/1995 Surveys and the JGSS-2000, ” 2001 Second Annual Meeting of the Population Association of Korea, Yonsei University, Seoul, Korea.
- KOJIMA, Hiroshi, 2002, “ Who Are More Likely to Make a Neutral Choice in Japan?: The Case of Opinion about Non-Obligation to Have Children After Marriage, ” International Conference on Improving Surveys ( ICIS 2002 ), 25-28 August 2002, University of Copenhagen, Denmark.
- 小島宏, 2002, 「一般的理想子ども数の規定要因 人口問題意識調査 ( 1990/1995 ) と JGSS-2000 の比較分析」『第 75 回日本社会学会大会報告要旨』 p.231.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “ Determinants of Attitudes toward Children in Japan: An Analysis of Split-Ballots in

- the JGSS, " Paper presented at the 54th Session of the International Statistical Institute, 13-20 August 2003, Berlin, Germany.
- 小島宏, 2003, 「中立的回答選択の規定要因 JGSS 予備調査 Split Ballot の分析 」2003 年度日本世論調査協会研究大会, p.9.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, " Determinants of Japanese Attitudes toward Children, "Seminar on Japanese Marriage and Fertility and Japanese Attitude towards Children, Institute of Policy Studies, Singapore.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, " Determinants of Attitudes toward Children: A Comparative Analysis of the JGSS-2000/2001 and the Taiwan Social Change Survey 2001, " Max Planck Institute for Demographic Research Seminar, Rostock, Germany.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, " Determinants of Gender Preference for Children in Japan: A Comparison with Korea, " Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], *36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts ( Papers Presented in Sessions )* , pp.82-83.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, " Determinants of Attitudes toward Children in Japan and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS-2000/2001/2002 and TSCS-2001, " Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ ed. ], *36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts ( Papers Presented in Sessions )* , pp.101-102.
- 小島宏, 2004, 「社会調査による疫学的研究の可能性 JGSS-2002 を用いたアレルギー性疾患要因分析」『2004 年度統計関連学会連合大会講演報告集』 pp.255-256.
- 小島宏, 2005, 「日本・台湾・韓国における子どもに対する意識の規定要因」『第 14 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.38-39.
- 小島宏, 2005, 「東アジアにおける宗教と出生意識」『日本人口学会 第 57 回大会報告要旨集』2005 年 6 月 4 日・5 日, 神戸大学, pp.45-46.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, " Gender Preference for Children in Japan, Korea and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS, " *Abstracts of Women's Worlds 2005, 9th International Interdisciplinary Congress on Women*, Ewha Womens University, Seoul, Korea, June 19-24, 2005, p.56.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, " Determinants of Attitudes toward Children in Japan, Korea and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS, " *Proceedings of the IUSSP XXV International Population Conference*, Tours, France, pp.1-10.
- 小島宏, 2005, 「JGSS-2002 によるアレルギー疾患要因のコンテクスチュアル分析」『環境経済・政策学会 2005 年大会報告要旨集』( CD-ROM ) , pp.116-117.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, " A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan, " *Proceedings of the International Conference on Low Fertility and Rapid Aging in East and South East Asian Societies*, Dong-A University, Pusan, Korea, pp.1-25.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, " A Contextual Analysis of Allergies in Japan, Drawing on the JGSS-2002 Micro-Data and the PRTR Macro-Data, " *Proceedings of the International Workshop on Spatio-Temporal Modelling (METMA3)* , Pamplona, Spain, 27-29 September 2006, pp.197-201.
- 小島宏, 2006, 「外国人に関する意識の規定要因 ESS と JGSS の比較分析 」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨』 p.344.

- KOJIMA, Hiroshi, 2007, “ A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan, ” EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, 2007, Hong Kong.
- KOJIMA, Hiroshi, 2007, “ A Comparative Analysis of Attitudes toward Immigration among Europeans and Japanese, drawing on the ESS-2002/2003 and the JGSS-2003, ” *Proceedings of the European Sociological Association 8th Conference*, September 3-6, 2007, Glasgow, UK, p.304.
- 小島宏, 2007, 「日本・韓国・台湾における子どもの必要性と性別選好 JGSS、KNFS、TSCS の比較分析」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨』p.244.
- KONDO, Ayako, 2005, “ State Dependency in Employment Status in Japan – Does the First Step Matter? ” 日本経済学会 2005 年度春季大会.
- 松本涉, 2004, 「NPO 参加者の背景分析」『2004 年度組織学会研究発表大会報告要旨集』pp.49-52.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2006, “ Is time more variable than money? ” The 35th Annual ARNOVA Conference Association for Research on Nonprofit Organizations and Voluntary Action ( ARNOVA ) .
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2007, “ Is Japanese Participation in Philanthropic Activities a Beneficial Consequence of Social Capital Accumulation? ” the 2007 ARNOVA Conference paper, Nov.15-17, Atlanta, USA.
- 裕永佳甫, 2007, 「日本人の慈善行為とソーシャルキャピタル 孤独なボーリング第 7 章と JGSS-2005 による検証」NPO 研究フォーラム, 12 月 16 日 (大阪大学).
- 裕永佳甫, 2007, 「日本人の慈善行為とソーシャルキャピタル 孤独なボーリング第 7 章と JGSS-2005 による検証」ソーシャル・キャピタル政策展開研究会 (自主的な地域経営の再構築: 住民自らの知恵と資源を活かす “信頼” “規範” “ネットワーク” の醸成) 12 月 19 日 (株式会社日本総合研究所東京本社).
- 湊邦生, 2007, 「日本人の開発援助観 JGSS-2006 データからの検討」『第 18 回国際開発学会全国大会報告論文集』pp.237-240.
- 宮田尚子, 2007, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク 組織適応期における相談ネットワークの型と密度」『第 58 回関西社会学会大会報告要旨集 2007』p.18.
- 水落正明, 2007, 「統計から見える高齢女性の姿 経済格差とその変動」『F-GENS Journal』No.7, p.116.
- 中尾啓子, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (4) 国際比較上の問題点 (GSS との比較)」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』p.22.
- 中尾啓子, 2001, 「階層帰属意識と生活意識」『日本行動計量学会第 29 回発表論文抄録集』pp.38-39.
- 中尾啓子, 2002, 「選択肢の選択: 日米調査データにおける職業価値観の比較から得られた知見」『日本行動計量学会第 30 回大会発表論文抄録集』pp.352-353.
- 仁平典宏, 2003, 「<市民> と「ボランティア」の間 参加とネオリベリズムの共振に関する一考察」『日本教育社会学会第 55 回大会発表要旨集録』pp.70-71.
- 西村幸満, 2002, 「JGSS-2000 を利用した講義分析 3 大学 (学部) 間の比較」『第 75 回日本社会学会大会報告要旨』p.196.
- 野崎祐子, 2006, 「晩婚化・未婚化に関する一考察」生活経済学会 第 22 回研究大会 (小樽商科大学).
- 野崎祐子, 2006, 「女性の高学歴化と経済格差」2006 年度生活経済学会中国部会 (広島県立大学).
- 野崎祐子, 2007, 「マクロ経済要因が及ぼす結婚行動への影響」2007 年度日本経済学会秋季大会 (日本大学).

- 大橋正彦, 2006, 「日米消費者の環境行動と持続可能マーケティング JGSS-2002 より 」, 日本経営診断学会第 135 回関西西部会 (久留米大学) .
- 大井方子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (5) 情報化と所得格差と学校教育: JGSS データを用いて」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.29.
- OMORI, Takashi and YONEZAWA, Akiyoshi, 2002, “ Measurement of Social Capital in Japan, ” paper presented at Social Capital Measurement Conference held jointly by the OECD and the UK Office of National Statistics.
- ONO, Hiroshi and LEE, Kristen Schultz, 2006, “ Specialization and Happiness: A U.S.-Japan Comparison, ” 日本経済学会 2006 年度秋季大会 (大阪市立大学) .
- ONO, Hiromi, 2004, “ Shifting Influence of Education and Children on Divorce Risks Over Historical Time in Japan and the U.S., 1946-1999, ” paper presented at session 71 ( Asian and Asian-American Families in Historical Perspective ) of Population Association of America 2004 Annual Meeting Program, Boston, Massachusetts, April 1-3, 2004.
- 大澤美苗, 2001, 「データの信頼性に関する実務的留意点と使いやすいデータへの配慮」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』 p.192.
- ROEMER, Michael, 2006, “ Do Religious Beliefs and Membership Affect Life Satisfaction and Happiness in Japan? ” presented at the annual meeting of the American Sociological Association.
- 阪口祐介, 2006, 「犯罪リスク知覚の規定構造 国際比較からみる日本の特殊性 」『第 57 回関西社会学会大会報告要旨』 p.61.
- 佐藤博樹, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (1) JGSS の目的と意義」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.19.
- SATO, Yoshimichi, 2006, “ Trust and Social Mobility: An Empirical Study of the Effect of Job Change on Trust, ” presented at the 101st Annual Meeting of the American Sociological Association.
- 重松洋司・谷岡一郎, 2000, 「男性的文化とギャンブル/ゲーミング行動 麻雀、囲碁、宝くじの比較研究を中心として 」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.192.
- 嶋崎尚子, 2004, 「女性のキャリアを取り巻く情勢を知ろう」J-CAREER WASEDA PROJECT SESSION 2 (於早稲田大学) .
- 清水誠, 2001, 「JGSS 第 1 回本調査における比推定の試み」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』 p.193.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察」日本経済学会 2004 年度秋季大会.
- 宍戸邦章, 2005, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」に関する研究 JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析 」『第 78 回日本社会学会大会報告要旨』 p.79.
- 宍戸邦章, 2006, 「国際比較調査における選択肢の検討 韓国・台湾・中国との比較に関する JGSS プロジェクトの経験 」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨』 p.106.
- 宍戸邦章, 2006, 「中高年齢者の余暇生活満足度を規定する要因 JGSS データを用いた分析 」『第 16 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.40-41.
- 宍戸邦章, 2007, 「高齢者の社会的ネットワークと余暇生活満足度 JGSS データに基づく分析 」『大阪商業大学論集』第 147 号, p.151.

- 穴戸邦章, 2007, 「JGSS 累積データ 2000-2006 にみる家族に関わる意識の変化」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』 pp.36-37.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (3) Split-Ballot による質問項目の検討」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.27.
- 杉田陽出, 2001, 「日本人のペットに対する意識とその傾向: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査をもとに」『ヒトと動物の関係学会第 7 回学術大会予稿集』 p.24.
- 杉田陽出, 2001, 「コミュニケーション相手としてのペットの存在感に関する一調査: 日本人のペットに対する意識とその傾向」『日本コミュニケーション学会第 31 回年次大会プログラム』 p.22.
- 杉田陽出, 2002, 「同居世帯人数にみるペットの存在感: 同居している子どもの有無を中心として」『ヒトと動物の関係学会第 8 回学術大会予稿集』 p.45.
- 杉田陽出, 2002, 「『子ども』としてのペットの存在感に関する一考察: 同居している子どもの有無と年齢の観点から」『日本コミュニケーション学会第 32 回年次大会プログラム』 p.30.
- 杉田陽出, 2005, 「飼主の子どもの有無と愛着度に見る犬の役割」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』 pp.196-197.
- SUGITA, Hizuru, 2006, "The effects of children on attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data," 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2005 報告書』 pp.31-45.
- SUGITA, Hizuru, 2007, "The effect of life stages on the pet keeping rate and on the perceptions of pets in Japanese households," *Proceedings: 11th International Conference on Human-Animal Interactions*, p.44.
- TABUCHI, Rokuro, 2007, "Parental housing assistance as a determinant of parent-child proximity: Japanese case," EASS 2007 Drafting Group Meeting in Osaka.
- 高橋和子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (4) 産業・職業コーディング自動化支援システム」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.28.
- 高橋和子, 2002, 「職業・産業コーディング自動化システムの活用」『言語処理学会第 8 回年次大会発表論文集』 pp.491-494.
- 高橋和子, 2002, 「職業・産業コーディング自動化システムの活用」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』 2002-NL-147 (8), pp.47-53.
- 高橋和子, 2003, 「機械学習による職業コーディング ルールによる自動コーディングシステムとの比較」『第 36 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.68-71.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「機械学習とルールベースによる職業コーディング」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』 2004-NL-159 (9), pp.53-60.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「機械学習とルールベースの組み合わせによる職業コーディング」『言語処理学会第 10 回年次大会発表論文集』 pp.737-740.
- 高橋和子・須山敦・村山紀文・高村大也・奥村学, 2004, 「職業コーディング支援システム (NANACO) の開発」『第 37 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.20-23.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2005, 「分類スコアに基づいたクラス事後確率の推定」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』 2005-NL-170 (16), pp.97-104.
- TAKAHASHI, Kazuko, TAKAMURA, Hiroya and OKUMURA, Manabu, 2005, "Automatic Occupation Coding with Combination of Machine Learning and Hand-Crafted Rules," *Proceeding: the 9th International*

- Conference on Pacific-Asia Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-05)*, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, Lecture Notes in Artificial Intelligence Vol. 3518, pp.269-279.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2006, 「分離スコアに基づいたクラス事後確率の推定」『言語処理学会』第 12 回年次大会発表論文集』 pp.376-379.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2007, 「複数の分類スコアを用いたクラス所属確率の推定」『言語処理学会』第 13 回年次大会発表論文集』 pp.542-545.
- TAKAHASHI, Kazuko, TAKAMURA, Hiroya and OKUMURA, Manabu, 2007, “ Estimation of Class Membership Probabilities in the Document Classification, ” *Proceeding: the 11th International Conference on Pacific-Asia Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-07)*, Lecture Notes in Artificial Intelligence Vol. 4426, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, pp.284-295.
- 田中慶子, 2007, 「全国データによる家族意識の規定要因の比較 JGSS と NFRJ を用いて 」東京大学社会科学研究所日本社会研究情報センター2006 年度二次分析報告会( 家族形成に関する実証研究 ) ( 2007.2.2 東京大学社会科学研究所 ) .
- TANAKA, Kimiko and JOHNSON, Nan E., 2005, “ Childlessness, Only Children, and the Second Demographic Transition in Japan, ” *Conference Papers, American Sociological Association, 2005 Annual Meeting*, pp.1-30.
- 谷岡一郎, 2000, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) 計画の進捗状況報告と今後の発展可能性について」『日本犯罪学会第 27 回大会報告要旨集』 pp.59-61.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “ The Reason People Buy a Lottery Ticket: A test of ‘Friedman-Savage model’ of Gambling Behavior in Japan through JGSS-2000 Data, ” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], *36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts* ( Papers Presented in Sessions ) , pp.82-83.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “ Attitude Toward the Legalization of Casino Gaming in Japan: The Difference in Regions, Urbanization Levels, and by Socio-Economic Background, ” EASS Conference 2004, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 都村聞人, 2003, 「女性の社会的地位の変化と子どもの教育達成」『日本教育学会第 55 回大会発表要旨集録』 pp.90-91.
- 都村聞人, 2006, 「家計の教育費に影響を及ぼす諸要因 JGSS-2002 データを用いた分析」『日本教育学会第 58 回大会発表要旨集録』 pp.47-48.
- 都村聞人, 2007, 「親の教育意識が家計の教育費負担に及ぼす影響 JGSS-2006 データによる分析」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨』 p.186.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2005, “ Factors Affecting Life Courses of Young Adults in Japan: Possible Causes for Late Marriage in Recent Years, ” paper presented at the American Sociological Association 100th Annual Meeting.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2007, “ An Alternate Model for the Comparative Analysis of the Mate-Selection Process, ” EASS General Meeting at the Hong Kong University of Science and Technology.
- 筒井淳也, 2007, 「配偶者の選択方法の趨勢と帰結 : JGSS-2006 による分析」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』 pp.94-95.

WESTLUND, Hans and CALIDONI-LUNDBERG, Federica, 2007, " Social Capital and the Creative Class: Civil Society, Regional Development and High-Tech Industry in Japan, " paper presented at Joint Congress of the European Regional Science Association ( 47th Congress ) and Association de Science Régionale de Langue Française ( 44th Congress ) , Paris, August 29-September 2, 2007, Abstract No.294.

保田時男, 2004, 「一般化<sup>2</sup> 適合度検定の可能性 大規模サンプルの共有公開データが引き起こす問題への対処」『第37回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.14-17.

保田時男, 2006, 「測定理念の実現を妨げる被調査者との乖離」『第79回日本社会学会大会報告要旨』p.105.

保田時男・宍戸邦章・岩井紀子・都村聞人, 2007, 「回収率はなぜ向上したのか：JGSS-2005 と 2006 の比較」『第80回日本社会学会大会報告要旨』p.30.

## ホームページ

Emory University General Libraries:

[http://einstein.library.emory.edu/courses/ps490S-05P\\_S06.html](http://einstein.library.emory.edu/courses/ps490S-05P_S06.html)

Social Science Data and Software (SSDS) Blog: :ICPSR News Archives:

[http://www.stanford.edu/group/ssds/weblog/archives/data/icpsr\\_news/index.html](http://www.stanford.edu/group/ssds/weblog/archives/data/icpsr_news/index.html)

Northwestern University Library:

<http://www.library.northwestern.edu/data/subject16.html>

UCLA Institute for Social Science Research Data Archives:

<http://www.sscnet.ucla.edu/issr/da/index/titlej.htm>

Wikipedia 日本語版「社会調査」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E8%AA%BF%E6%9F%BB>

## 新聞記事・テレビ報道

毎日新聞, 2005. 3. 2, 「『女性が土俵に』賛成多数 各年齢層で 大阪商大調査」

毎日新聞, 2006. 12. 4, 「大阪商業大学 JGSS プロジェクト 信頼できる社会調査を」

産経新聞, 2007. 6. 14, 「性犯罪歴のある人の住所公表 4人に3人が賛成」

読売テレビ, 2007. 6. 25 13:55-16:43, 「情報ライブ ミヤネ屋」

## 7 データの公開状況と入手方法

### < データセットの公開方針 >

現在作成済みの JGSS の公開データセットは、2 回の予備調査と 6 回の本調査 (JGSS-2000, 2001, 2002, 2003, 2005, 2006) および JGSS-2000~2003 のデータをひとまとまりにした JGSS 累積データ 2000-2003 です。今後、新しいデータを追加した累積データを作成するかは未定です。

データセットを寄託しているデータ・アーカイブは、国内では、東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センターの SSJ データ・アーカイブです。海外では、アメリカの ICPSR (Inter-university Consortium for Political and Social Research) およびドイツの ZA (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung, Universität zu Köln) に寄託しています。1999 年に実施した予備調査のデータセットだけは、SSJ データ・アーカイブにしか寄託していません。他は全てのアーカイブに同じデータセットを寄託しています。

### < データセットの内容 >

寄託しているデータセットには、SPSS 形式のデータ・ファイル (OS に依存しない portable file) および ASCII (テキスト) 形式のデータ・ファイルが含まれています。分析に必要な関連資料 (『基礎集計表・コードブック』の PDF ファイルなど) も含まれています。データセットの本質的な内容は、どのデータ・アーカイブでも同じですが、アーカイブによっては寄託したファイルを一部加工した上で公開しています。例えば、ICPSR で公開されているものには、STATA と SAS のデータ読み取りフォーマットが含まれています。

それぞれのデータセットは、日本語版と英語版が一組になっています。国内、海外いずれのデータ・アーカイブでも、日本語版・英語版両方のデータが 1 つのデータセットに含まれています。当初は日本語のみのデータセットを作成していましたが、現在は同時に英語版のデータを作成しています。英語版の作成は、全ての調査について遡及して行いましたので、現在公開されているデータセットには、全て日本語版と英語版が含まれています (予備調査を除く)。

### < データセット利用者の留意事項 >

JGSS では、データセットの利用者について以下のような制限・義務を設けています。ただし、データ・アーカイブによって若干方針に違いがあります。基本的に、詳細は各アーカイブの指示に従ってください。

学術研究目的の利用である限り、大学などの研究機関の研究者、大学院生、および教員の指導を受けている大学生は、データセットを利用することができます。また、教員は授業などの教育目的でデータセットを利用することも可能です。

研究目的の利用の場合、使用期間の期限はありませんので、一度入手したデータセットはそのまま使い続けることができます。一方、教育目的でデータセットを入手した場合、その使用期限は 1 年間です。つまり、同じ授業を毎年行う場合、毎年利用の申請を行ってください。これは、データに触れる学生にも誓約が必要なことと、教育目的の利用の程度を把握するためです。

利用者は、データ・アーカイブの定める誓約事項（目的外の利用の禁止、個別データの秘密保護、第三者への提供の禁止、利用期限終了後の対処など）を厳守しなければなりません。特に、データセットを利用して研究成果を論文などで発表する際には、acknowledgement（謝辞）を明記する必要があります。ことに注意してください。

また、論文などを発表した場合は、データ・アーカイブの定める所に従い、その成果をアーカイブに報告する必要があります。SSJDA でデータを入手した場合は、アーカイブ宛に論文などのコピーを2部送付してください。ICPSR や ZA でデータを入手した場合は、その利用の成果が JGSS 事務局まで届きません。お手数ですが、別途、発表された論文などのコピー（1部）を、郵送かメールの添付ファイルで、下記宛に送付ください。

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4 丁目 1-10  
大阪商業大学比較地域研究所 JGSS 事務局  
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

また、データ内容などに修正が発生した場合、JGSS のホームページから随時情報を発信しています。2005 年 4 月以降に発生した修正は、データ・アーカイブで公開中のデータセットには反映されていません。分析の前に必ず修正の有無を各自でご確認下さい。修正が必要な場合は、JGSS のホームページから SPSS の修正用シンタックスをダウンロードし、お持ちのデータに適用していただくことで修正が反映されます。

#### <データセットの入手方法>

データセットの具体的な入手方法は、データ・アーカイブによって異なります。利用の制限や義務についても、若干の違いがありますので、それぞれのアーカイブでご確認ください。

SSJ データ・アーカイブ <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>  
ICPSR\* <http://icpsr.umich.edu/>  
ZA <http://gesis.org/en/za/>

\* ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従ってください。詳細については、所属機関の担当部署にお問い合わせください。

以下に、参考のために SSJ データ・アーカイブから JGSS のデータセットを入手する手順の概要を記します。詳細な手続きは、SSJ データ・アーカイブのホームページの「個票データの利用」のページに記されています。そちらに従ってください。

JGSS のデータセットを入手するためには「収録調査の検索」のページで、調査名に「JGSS」と入力し、検索をします。表示される一覧から利用するデータセットを探し、調査番号等を控えてください。

「利用申請書」のページから申請書をダウンロードし、必要な事項を記入します。誓約事項が特殊なため、JGSS 専用の申請書が用意されています。間違えないように注意してください。データセットを共同利用する場合は、共同利用者全員の自署・押印が必要となります。教育目的で利用する場合、教員が代表で申請しますが、受講者全員の自署・押印も必要となります。記入・押印漏れがある場合は、再提出となります。

記録用の生 CD-R と返信用封筒を同封した封書を SSJ データ・アーカイブまで郵送すると、追ってデータセットが記録された CD-R が返信されます。『基礎集計表・コードブック』の残部がある場合には、冊子が 1 部同封されます。申請書の受領から返信までには、1 ヶ月程度を要しますので、早めに申請をする必要があります。

データを利用して論文などを発表する場合は、acknowledgement（謝辞）を明記します。JGSS の acknowledgement は、下のように定められています（SSJ データ・アーカイブから入手した場合）ので、このまま記載してください。また、研究成果はそのつどアーカイブに報告します。論文などのコピー 2 部に利用報告書を添え、アーカイブに提出してください。SSJ データ・アーカイブからデータを入手した場合は、JGSS 事務局への送付は必要ありません。

JGSS の acknowledgement（日本語・英語のいずれかを明記）

JGSS-2003 以前のデータセットのみを利用した場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2003 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：佐藤博樹・岩井紀子、事務局長：大澤美苗）。The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Hiroki SATO and Noriko IWAI with Project Manager, Minae OSAWA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2003 academic years.

JGSS-2005 以降を含むデータセットを利用した場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて（1999-2008 年度）、東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである（研究代表：谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事：岩井紀子、副代表幹事：保田時男）。The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Noriko IWAI and Tokio YASUDA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2008 academic years.

（保田 時男）

. JGSS-2006 集計と索引

## . 1 基礎集計・コード表：面接調査票

## BLOCK 地域ブロック

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道・東北	516	12.1
2	関東	1259	29.6
3	中部	900	21.2
4	近畿	633	14.9
5	中国・四国	439	10.3
6	九州	507	11.9
計		4254	100.0

## PREF 都道府県名

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道	205	4.8
2	青森	56	1.3
3	岩手	48	1.1
4	宮城	86	2.0
5	秋田	31	0.7
6	山形	54	1.3
7	福島	36	0.8
8	茨城	118	2.8
9	栃木	75	1.8
10	群馬	55	1.3
11	埼玉	229	5.4
12	千葉	179	4.2
13	東京	357	8.4
14	神奈川	246	5.8
15	新潟	92	2.2
16	富山	66	1.6
17	石川	29	0.7
18	福井	50	1.2
19	山梨	33	0.8
20	長野	72	1.7
21	岐阜	83	2.0
22	静岡	163	3.8
23	愛知	245	5.8
24	三重	67	1.6
25	滋賀	33	0.8
26	京都	88	2.1
27	大阪	266	6.3
28	兵庫	167	3.9
29	奈良	26	0.6
30	和歌山	53	1.2
31	鳥取	26	0.6
32	島根	22	0.5
33	岡山	84	2.0
34	広島	95	2.2
35	山口	67	1.6

36	徳島	38	0.9	
37	香川	26	0.6	
38	愛媛	42	1.0	
39	高知	39	0.9	
40	福岡	163	3.8	
41	佐賀	35	0.8	
42	長崎	51	1.2	
43	熊本	57	1.3	
44	大分	54	1.3	
45	宮崎	40	0.9	
46	鹿児島	66	1.6	
47	沖縄	41	1.0	
		計	4254	100.0

SIZE 市郡規模

コード		ケース数	%	
1	大都市	892	21.0	
2	人口 20 万人以上の都市	1114	26.2	
3	人口 20 万人未満の都市	1747	41.1	
4	町村	501	11.8	
		計	4254	100.0

SIZE2K 市郡規模(2000 年時点)

コード		ケース数	%	
1	13 大市	800	18.8	
2	その他の市	2521	59.3	
3	町村	933	21.9	
		計	4254	100.0

SEXA 性別

コード		ケース数	%	
1	男	1987	46.7	
2	女	2267	53.3	
		計	4254	100.0

DOBYEAR 生年

この変数の単純集計は記載していません。

AGEB 年齢

コード		ケース数	%	
(実数記入)	20~29 歳	436	10.2	
	30~39 歳	703	16.5	
	40~49 歳	644	15.1	
	50~59 歳	873	20.5	
	60~69 歳	845	19.9	
	70~79 歳	585	13.8	
	80~89 歳	168	3.9	
		計	4254	100.0

MARC 配偶者 (DOMARRY の転記)

D 欄: 婚姻状態 (面接調査票 問 15 に対する回答を転記)

この変数の単純集計は記載していません。

問 15 DOMARRY の集計をご覧ください。

FORM 留置票の種類

E 欄: 留置票

コード		ケース数	%
1	留置 A	2124	49.9
2	留置 B	2130	50.1
		計	4254 100.0

問 1-1 [回答票 1] 先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK 先週の就労経験

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	2588	60.8
2	(イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	42	1.0
3	(ウ) 仕事をしていない	1624	38.2
9	無回答	0	0.0
		計	4254 100.0

「3 (ウ) 仕事をしていない」の場合

問 1-2 [回答票 2] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP 不就労の理由

コード		ケース数	%
1	(ア) 失業中	67	4.1
2	(イ) 定年などで仕事をやめた	410	25.2
3	(ウ) 学生	38	2.3
4	(エ) 主に家事をしている	917	56.5
5	(オ) その他	130	8.0
6	わからない	2	0.1
9	無回答	60	3.7
		計	1624 100.0
8	非該当	2630	
		計	4254

問 1-3 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

XWORK 就労経験

コード		ケース数	%
1	はい	1497	92.2
2	いいえ	127	7.8
9	無回答	0	0.0
		計	1624 100.0
8	非該当	2630	
		計	4254

「1 はい」の場合

問1-4 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK 離職年齢

コード		ケース数	%
(実数記入)	18～19歳	7	0.5
	20～29歳	275	18.4
	30～39歳	132	8.8
	40～49歳	105	7.0
	50～59歳	283	18.9
	60～69歳	514	34.3
	70～79歳	91	6.1
	80～89歳	4	0.3
999	無回答	86	5.7
		計	1497
888	非該当	2757	100.0
		計	4254

問1-1に「1(ア)仕事をした」「2(イ)仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

問2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

XJOBHWK 就労時間数/週

コード		ケース数	%
(実数記入)	0時間	1	0.0
	1～9時間	96	3.7
	10～19時間	173	6.6
	20～29時間	304	11.6
	30～39時間	341	13.0
	40～49時間	961	36.5
	50～59時間	403	15.3
	60～69時間	191	7.3
	70～79時間	78	3.0
	80時間以上	46	1.7
999	無回答	36	1.4
		計	2630
888	非該当	1624	100.0
		計	4254

SZSJBHWK 副業就業時間数/週

コード		ケース数	%
(実数記入)	0時間	2560	97.3
	1～9時間	22	0.8
	10～19時間	19	0.7
	20～29時間	2	0.1
	30～39時間	4	0.2
	40～49時間	1	0.0
	50時間以上	2	0.1
999	無回答	20	0.8
		計	2630
888	非該当	1624	100.0
		計	4254

問 3-1〔回答票 3〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPJOB 就労形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	187	7.1
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	1320	50.2
3	(ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	570	21.7
4	(エ) 派遣社員	64	2.4
5	(オ) 自営業主・自由業者	359	13.7
6	(カ) 家族従業者	128	4.9
7	わからない	2	0.1
9	無回答	0	0.0
		計	2630
8	非該当	1624	
		計	4254

「2(イ) 常時雇用の一般従業者」の場合

問 3-2〔回答票 4〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPJOBP 役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	838	63.5
2	(イ) 職長・班長・組長など	93	7.0
3	(ウ) 係長(係長相当)	147	11.1
4	(エ) 課長(課長相当)	142	10.8
5	(オ) 部長(部長相当)	71	5.4
6	(カ) その他の役職(具体的に )	4	0.3
7	わからない	4	0.3
9	無回答	21	1.6
		計	1320
8	非該当	2934	
		計	4254

問 4〔回答票 5〕あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT 通勤の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) およそ__時間__分	2214	84.2
2	(イ) 住まいと職場は同じ	332	12.6
3	(ウ) 日によって行き先が違う	78	3.0
9	無回答	6	0.2
		計	2630
8	非該当	1624	
		計	4254

通勤時間:「1(ア) およそ\_\_時間\_\_分」の場合

SZCMTHR 通勤時間:時間

この変数の単純集計は記載していません。

コード  
(実数記入)

88 非該当  
99 無回答

SZCMTMIN 通勤時間:分

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
(実数記入)	
888	非該当
999	無回答

SZCMTTL 通勤時間:合計

コード		ケース数	%
(計算による実数)	1~9分	351	15.9
	10~19分	632	28.5
	20~29分	314	14.2
	30~39分	297	13.4
	40~49分	188	8.5
	50~59分	70	3.2
	1時間~1時間半未満	282	12.7
	1時間半~2時間未満	64	2.9
	2時間以上	16	0.7
9999	無回答	0	0.0
		計	2214
8888	非該当		2040
		計	4254

問5〔回答票6〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

TP4WPLA 事業所形態

コード		ケース数	%
1	(ア)官公庁	216	8.2
2	(イ)単独事業所(他に事業所などはない)	1179	44.8
3	(ウ)支店・支所(本社・本店は他にある)	708	26.9
4	(エ)本社・本店(他に支店・支所などがある)	403	15.3
5	わからない	50	1.9
9	無回答	74	2.8
		計	2630
8	非該当		1624
		計	4254

問6 あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL 業種

コード		ケース数	%
10	農業	103	3.9
20	林業	2	0.1
30	漁業	11	0.4
40	鉱業	2	0.1
50	建設業	227	8.6
60	製造業	523	19.9
70	電気・ガス・熱供給・水道業	18	0.7
80	運輸業	109	4.1
91	卸売業	120	4.6
92	小売業	318	12.1
93	飲食店	104	4.0
100	金融・保険業	91	3.5

110	不動産業	32	1.2	
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	25	1.0	
130	情報・通信サービス業	74	2.8	
140	医療・福祉サービス業	258	9.8	
150	教育・研究サービス業	107	4.1	
160	法律・会計サービス業	11	0.4	
170	その他のサービス業	391	14.9	
180	公務	81	3.1	
190	分類不能の産業	4	0.2	
999	無回答	19	0.7	
		計	2630	100.0
998	非該当	1624		
		計	4254	

## XXWPLE 業種 (ISIC)

注) JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISIC, revision3 を用いてこの変数を作成した。集計は Tabulation category にまとめたものを掲載した。

コード		ケース数	%	
	Agriculture, hunting and forestry	50	3.8	
	Fishing	5	0.4	
	Mining and quarrying	2	0.2	
	Manufacturing	265	20.3	
	Electricity, gas and water supply	8	0.6	
	Construction	114	8.7	
	Wholesale and retail trade	232	17.7	
	Hotels and restaurants	59	4.5	
	Transport, storage and communications	71	5.4	
	Financial intermediation	54	4.1	
	Real estate, renting and business activities	118	9.0	
	Public administration and defence	38	2.9	
	Education	59	4.5	
	Health and social work	131	10.0	
	Other community, social and personal service activities	90	6.9	
	Private households with employed persons	1	0.1	
	Extra-territorial organizations and bodies	1	0.1	
999	分類不能、不明、無回答	10	0.8	
		計	1308	100.0
888	非該当	822		
		計	2130	

問7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。  
(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

## XXJOB 職種

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	36	1.4
504	建築・土木技術者	26	1.0
505	農林技術者	5	0.2
506	情報処理技術者	41	1.6
507	その他の技師・技術者	6	0.2
508	医師	4	0.2
509	歯科医師	1	0.0

510	薬剤師	12	0.5
511	助産師（助産婦）	1	0.0
512	保健師（保健婦）	1	0.0
513	栄養士	2	0.1
514	看護師（看護婦・看護師）	55	2.1
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	9	0.3
516	その他の保健医療従事者	46	1.7
518	その他の法務従事者	1	0.0
519	公認会計士、税理士	2	0.1
520	幼稚園教員	5	0.2
521	小学校教員	18	0.7
522	中学校教員	8	0.3
523	高等学校教員	16	0.6
524	大学教員	5	0.2
525	盲・ろう・養護学校教員	3	0.1
526	その他の教員	5	0.2
527	宗教家	8	0.3
528	文芸家、著述家	4	0.2
529	記者、編集者	3	0.1
530	彫刻家、画家、工芸美術家	2	0.1
531	デザイナー	10	0.4
532	写真家、カメラマン	3	0.1
533	音楽家（個人に教授するものを除く）	1	0.0
534	俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）	3	0.1
537	保育士（保母、保父）	19	0.7
538	社会福祉事業専門職員	11	0.4
539	個人教師	43	1.6
541	経営コンサルタント	3	0.1
543	図書館司書	3	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	7	0.3
545	管理的公務員	6	0.2
547	地方議員	1	0.0
548	会社役員	30	1.1
549	その他の法人・団体の役員	4	0.2
550	会社・団体等の管理職員	29	1.1
552	郵便局長、電報・電話局長	1	0.0
553	その他の管理的職業従事者	4	0.2
554	総務・企画事務員	261	9.9
555	受付・案内事務員	32	1.2
556	出荷・受荷事務員	24	0.9
557	営業・販売事務員	80	3.0
558	その他の一般事務員	27	1.0
559	会計事務員	137	5.2
560	郵便・通信事務員	11	0.4
561	集金人	3	0.1
562	その他の外勤事務従事者	4	0.2
563	運輸事務員	3	0.1
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	5	0.2
565	電子計算機等操作員	14	0.5
566	小売店主	59	2.2
567	卸売店主	14	0.5
568	飲食店主	14	0.5

569	販売店員	100	3.8
570	行商人、呼売人、露天商	1	0.0
571	再生資源卸売人・回収人	1	0.0
572	商品仲立人	6	0.2
573	外交員（保険、不動産を除く）	81	3.1
574	保険代理人・外交員	24	0.9
575	不動産仲買人・売買人	12	0.5
576	質屋店主・店員	1	0.0
577	その他の販売類似職業従事者	4	0.2
578	家政婦、家事サービス職業従事者	33	1.3
579	理容師、美容師	28	1.1
580	クリーニング職、洗張職	11	0.4
581	料理人	69	2.6
583	給仕係	41	1.6
585	接客社交係	4	0.2
586	娯楽場等の接客員	17	0.6
587	旅行・観光案内人	1	0.0
588	その他の個人サービス職業従事者	2	0.1
589	旅館主人・番頭、ホテル支配人	1	0.0
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	8	0.3
591	ファッションモデル	1	0.0
592	その他のサービス職業従事者	27	1.0
593	自衛官	11	0.4
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	3	0.1
595	消防員	2	0.1
596	看守、守衛、監視員	13	0.5
597	その他の保安職業従事者	1	0.0
599	農耕・養蚕作業	93	3.5
600	植木職、造園師	10	0.4
601	畜産作業	3	0.1
602	林業作業	2	0.1
604	漁業作業	10	0.4
607	自動車運転者	70	2.7
612	鉄道員	2	0.1
614	その他の運輸従事者	2	0.1
616	有線通信士	1	0.0
617	電話交換手	6	0.2
618	郵便・電報外務員	5	0.2
619	その他の通信従事者	1	0.0
623	陶磁器工、絵付作業	2	0.1
624	石工	3	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業	5	0.2
626	その他の窯業・土石製品製造作業	2	0.1
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	3	0.1
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	4	0.2
629	化学製品製造作業	9	0.3
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	19	0.7
631	鉄工、板金工	18	0.7
632	金属溶接工	8	0.3
633	一般機械組立工・修理工	53	2.0
634	電気機械器具組立工・修理工	37	1.4
635	自動車組立工・整備工	25	1.0

636	鉄道車両組立工・修理工	3	0.1	
637	船舶ぎ装工（他に分類されない）	2	0.1	
638	航空機組立工・整備工	2	0.1	
639	自転車組立工・修理工	2	0.1	
640	その他の輸送機械組立・修理作業	1	0.0	
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	7	0.3	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	17	0.6	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	50	1.9	
647	酒類製造工	2	0.1	
649	織布工、紡織作業	5	0.2	
650	漂白工、染色工	4	0.2	
651	洋服・和服仕立職	6	0.2	
652	縫製工、裁断工	13	0.5	
653	製材工、木工	4	0.2	
654	指物職、家具職、建具職	5	0.2	
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	1	0.0	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	5	0.2	
658	印刷・製本作業	12	0.5	
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	10	0.4	
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	2	0.1	
661	塗装工、画工、看板工	14	0.5	
665	貴金属・宝石・甲・角等細工	1	0.0	
666	印判師	1	0.0	
668	かばん・袋物製造工	2	0.1	
669	がん具製造工	1	0.0	
670	製図工、現図工	7	0.3	
672	その他の技能工・生産工程作業	42	1.6	
673	汽かん士、汽かん火夫	3	0.1	
674	起重機・建設機械運転作業	10	0.4	
675	その他の定置機関運転作業	6	0.2	
676	発電員、変電員	1	0.0	
677	電気工事・電話工事作業	28	1.1	
678	土木・建築請負師	19	0.7	
679	左官、とび職	5	0.2	
680	れんが積工、配管工	31	1.2	
681	畳職	2	0.1	
682	土工、道路工夫	20	0.8	
684	現場監督、その他の建設作業	23	0.9	
685	倉庫夫、仲仕	24	0.9	
686	運搬労務者	32	1.2	
687	清掃員	31	1.2	
688	その他の労務作業	27	1.0	
689	分類不能の職業	1	0.0	
701	スーパーなどのレジスター係員・キャッシャー	23	0.9	
702	大工	20	0.8	
703	教員	7	0.3	
704	製品製造作業	4	0.2	
705	会社員	1	0.0	
999	不明、無回答	4	0.2	
		計	2630	100.0
998	非該当		1624	
		計	4254	

XXJOBE 職種 (ISCO)

注) JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISCO-88 を用いてこの変数を作成した。  
集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード		ケース数	%
	Legislators, senior officials and managers	38	2.9
	Professionals	126	9.6
	Technicians and associate professionals	182	13.9
	Clerks	286	21.9
	Service workers and shop and market sales workers	203	15.5
	Skilled agricultural and fishery workers	56	4.3
	Craft and related trades workers	155	11.9
	Plant and machine operators and assemblers	147	11.2
	Elementary occupations	109	8.3
	Armed forces	4	0.3
99999	分類不能、不明、無回答	2	0.2
		計	1308
88888	非該当	822	100.0
		計	2130

問 8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

XJOBDWK 就労日数/週

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 日	1	0.0
	1 日	24	0.9
	2 日	66	2.5
	3 日	138	5.2
	4 日	252	9.6
	5 日	1302	49.5
	6 日	641	24.4
	7 日	168	6.4
99	無回答	38	1.4
		計	2630
88	非該当	1624	100.0
		計	4254

問 9 あなたの仕事は、規則や契約で 1 週間に働く時間が決められていますか。決められている場合は、その時間数を教えてください。

XJOBREG 契約就労時間の有無

コード		ケース数	%
1	週合計で__時間と決められている	1252	47.6
2	決められていない	1360	51.7
9	無回答	18	0.7
		計	2630
8	非該当	1624	100.0
		計	4254

「1 週合計で\_\_\_時間と決められている」の場合

XJOBREGH 契約就労時間数/週

コード		ケース数	%
(実数記入)	1~9 時間	18	1.4
	10~19 時間	40	3.2
	20~29 時間	127	10.1
	30~39 時間	201	16.1
	40~49 時間	784	62.6
	50~59 時間	32	2.6
	60~69 時間	15	1.2
	70~79 時間	6	0.5
	80 時間以上	1	0.1
999	無回答	28	2.2
		計	1252
			100.0
888	非該当	3002	
		計	4254

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR 就労年数

コード		ケース数	%
(実数記入)	1 年未満	210	8.0
	1~4 年	616	23.4
	5~9 年	443	16.8
	10~19 年	552	21.0
	20~29 年	338	12.9
	30 年以上	459	17.5
999	無回答	12	0.5
		計	2630
			100.0
888	非該当	1624	
		計	4254

問 11〔回答票 7〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SZTTLSTA 企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1 人	123	4.7
2	(イ) 2~4 人	406	15.4
3	(ウ) 5~9 人	235	8.9
4	(エ) 10~29 人	367	14.0
5	(オ) 30~99 人	313	11.9
6	(カ) 100~299 人	247	9.4
7	(キ) 300~499 人	107	4.1
8	(ク) 500~999 人	122	4.6
9	(ケ) 1,000~1,999 人	71	2.7
10	(コ) 2,000~9,999 人	154	5.9
11	(サ) 1 万人以上	110	4.2
12	(シ) 官公庁	216	8.2
13	わからない	133	5.1

99	無回答		26	1.0
		計	2630	100.0
88	非該当		1624	
		計	4254	

問 12〔回答票 8〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

JOINUNI 労働組合加入の有無

コード		ケース数	%
1	(ア) 職場の労働組合に入っている	422	16.0
2	(イ) 職場以外の労働組合に入っている	55	2.1
3	(ウ) 入っていない	2086	79.3
4	わからない	59	2.2
9	無回答	8	0.3
		計	2630
8	非該当		1624
		計	4254

問 13〔回答票 9〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

ST5JOB 現在の仕事の満足度

コード		ケース数	%
1	(ア) 満足している	694	26.4
2	(イ) どちらかといえば満足している	1017	38.7
3	(ウ) どちらともいえない	610	23.2
4	(エ) どちらかといえば不満である	218	8.3
5	(オ) 不満である	81	3.1
6	わからない	10	0.4
9	無回答	0	0.0
		計	2630
8	非該当		1624
		計	4254

問 14 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB 求職の有無(全員)

コード		ケース数	%
1	はい	333	7.8
2	いいえ	3892	91.5
9	無回答	29	0.7
		計	4254
			100.0

問 15〔回答票 10〕あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

DOMARRY 結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	3115	73.2
2	(イ) 離別	160	3.8
3	(ウ) 死別	328	7.7
4	(エ) 未婚	635	14.9
5	離婚を前提に別居中	4	0.1
6	同棲中	12	0.3
9	無回答	0	0.0
計		4254	100.0

「1 (ア) 現在、配偶者がいる」の場合

問 16〔回答票 11〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK 先週の就労経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事をした	1862	59.8
2	(イ) 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	15	0.5
3	(ウ) 仕事をしていない	1238	39.7
9	無回答	0	0.0
計		3115	100.0
8	非該当	1139	
計		4254	

問 17 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

SSJBHRWK 就労時間数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 時間	1	0.1
	1～9 時間	38	2.0
	10～19 時間	123	6.6
	20～29 時間	167	8.9
	30～39 時間	181	9.6
	40～49 時間	782	41.7
	50～59 時間	287	15.3
	60～69 時間	133	7.1
	70～79 時間	72	3.8
	80 時間以上	30	1.6
999	無回答	63	3.4
計		1877	100.0
888	非該当	2377	
計		4254	

SSSJBHWK 副業就労時間数/週(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	0 時間	1816	96.8
	1～9 時間	11	0.6
	10～19 時間	6	0.3
	20～29 時間	0	0.0
	30～39 時間	0	0.0
	40～49 時間	0	0.0
	50 時間以上	1	0.1
999	無回答	43	2.3
		計	1877
888	非該当	2377	100.0
		計	4254

問 18-1〔回答票 12〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOB 就労形態(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 経営者・役員	120	6.4
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	965	51.4
3	(ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	352	18.8
4	(エ) 派遣社員	24	1.3
5	(オ) 自営業主・自由業者	271	14.4
6	(カ) 家族従業者	144	7.7
7	わからない	0	0.0
9	無回答	1	0.1
		計	1877
8	非該当	2377	100.0
		計	4254

「2(イ)常時雇用の一般従業者」の場合

問 18-2〔回答票 13〕配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

SSTPJOBP 役職(配偶者)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) 役職なし	534	55.3
2	(イ) 職長・班長・組長など	81	8.4
3	(ウ) 係長(係長相当)	122	12.6
4	(エ) 課長(課長相当)	121	12.5
5	(オ) 部長(部長相当)	62	6.4
6	(カ) その他の役職(具体的に )	4	0.4
7	わからない	34	3.5
9	無回答	7	0.7
		計	965
8	非該当	3289	100.0
		計	4254

問 19 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX 業種(配偶者)

コード		ケース数	%
10	農業	95	5.1
20	林業	3	0.2
30	漁業	10	0.5
50	建設業	178	9.5
60	製造業	391	20.8
70	電気・ガス・熱供給・水道業	11	0.6
80	運輸業	101	5.4
91	卸売業	71	3.8
92	小売業	203	10.8
93	飲食店	68	3.6
100	金融・保険業	49	2.6
110	不動産業	28	1.5
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	15	0.8
130	情報・通信サービス業	42	2.2
140	医療・福祉サービス業	142	7.6
150	教育・研究サービス業	84	4.5
160	法律・会計サービス業	16	0.9
170	その他のサービス業	223	11.9
180	公務	93	5.0
190	分類不能の産業	2	0.1
999	無回答	52	2.8
		計	1877
998	非該当		2377
		計	4254

SSXXHQXE 業種(配偶者)(ISIC)

注) JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISIC, revision3 を用いてこの変数を作成した。集計は Tabulation category にまとめたものを掲載した。

コード		ケース数	%
	Agriculture, hunting and forestry	47	5.1
	Fishing	4	0.4
	Manufacturing	198	21.5
	Electricity, gas and water supply	3	0.3
	Construction	84	9.1
	Wholesale and retail trade	143	15.5
	Hotels and restaurants	37	4.0
	Transport, storage and communications	53	5.7
	Financial intermediation	29	3.1
	Real estate, renting and business activities	74	8.0
	Public administration and defence	52	5.6
	Education	43	4.7
	Health and social work	66	7.2
	Other community, social and personal service activities	57	6.2
	Private households with employed persons	1	0.1
	Extra-territorial organizations and bodies	2	0.2
999	分類不能、不明、無回答	29	3.1
		計	922
888	非該当		1208
		計	2130

問 20 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。  
 (例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

SSXXJOB 職種(配偶者)

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	28	1.5
504	建築・土木技術者	15	0.8
505	農林技術者	1	0.1
506	情報処理技術者	23	1.2
507	その他の技師・技術者	10	0.5
508	医師	5	0.3
509	歯科医師	2	0.1
510	薬剤師	5	0.3
513	栄養士	4	0.2
514	看護師(看護婦・看護師)	25	1.3
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	8	0.4
516	その他の保健医療従事者	19	1.0
517	裁判官、検察官、弁護士	1	0.1
518	その他の法務従事者	1	0.1
519	公認会計士、税理士	7	0.4
520	幼稚園教員	5	0.3
521	小学校教員	25	1.3
522	中学校教員	8	0.4
523	高等学校教員	7	0.4
524	大学教員	6	0.3
525	盲・ろう・養護学校教員	2	0.1
526	その他の教員	4	0.2
527	宗教家	4	0.2
529	記者、編集者	2	0.1
530	彫刻家、画家、工芸美術家	2	0.1
531	デザイナー	3	0.2
532	写真家、カメラマン	1	0.1
533	音楽家(個人に教授するものを除く)	1	0.1
534	俳優、舞踊家、演芸家(個人に教授するものを除く)	1	0.1
535	職業スポーツ家(個人に教授するものを除く)	1	0.1
537	保育士(保母、保父)	13	0.7
538	社会福祉事業専門職員	6	0.3
539	個人教師	10	0.5
541	経営コンサルタント	4	0.2
544	その他の専門的・技術的職業従事者	4	0.2
545	管理的公務員	5	0.3
548	会社役員	17	0.9
550	会社・団体等の管理職員	40	2.1
553	その他の管理的職業従事者	3	0.2
554	総務・企画事務員	208	11.1
555	受付・案内事務員	18	1.0
556	出荷・受荷事務員	13	0.7
557	営業・販売事務員	79	4.2
558	その他の一般事務員	13	0.7
559	会計事務員	67	3.6
560	郵便・通信事務員	6	0.3
561	集金人	4	0.2

562	その他の外勤事務従事者	2	0.1
563	運輸事務員	5	0.3
564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	3	0.2
566	小売店主	33	1.8
567	卸売店主	6	0.3
568	飲食店主	10	0.5
569	販売店員	81	4.3
570	行商人、呼売人、露天商	7	0.4
572	商品仲立人	5	0.3
573	外交員（保険、不動産を除く）	57	3.0
574	保険代理人・外交員	12	0.6
575	不動産仲買人・売買人	19	1.0
577	その他の販売類似職業従事者	2	0.1
578	家政婦、家事サービス職業従事者	26	1.4
579	理容師、美容師	23	1.2
580	クリーニング職、洗張職	9	0.5
581	料理人	42	2.2
583	給仕係	33	1.8
585	接客社交係	2	0.1
586	娯楽場等の接客員	6	0.3
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.1
589	旅館主人・番頭、ホテル支配人	1	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	7	0.4
592	その他のサービス職業従事者	13	0.7
593	自衛官	4	0.2
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	5	0.3
595	消防員	3	0.2
596	看守、守衛、監視員	3	0.2
597	その他の保安職業従事者	2	0.1
599	農耕・養蚕作業	87	4.6
600	植木職、造園師	5	0.3
601	畜産作業	4	0.2
602	林業作業	2	0.1
604	漁業作業	9	0.5
606	電車・機関車運転士	3	0.2
607	自動車運転者	60	3.2
613	船員	2	0.1
617	電話交換手	3	0.2
618	郵便・電報外務員	5	0.3
623	陶磁器工、絵付作業	1	0.1
624	石工	3	0.2
625	ガラス・セメント製品製造作業	4	0.2
626	その他の窯業・土石製品製造作業	1	0.1
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	1	0.1
629	化学製品製造作業	6	0.3
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	16	0.9
631	鉄工、板金工	12	0.6
632	金属溶接工	5	0.3
633	一般機械組立工・修理工	36	1.9
634	電気機械器具組立工・修理工	26	1.4
635	自動車組立工・整備工	20	1.1
636	鉄道車両組立工・修理工	1	0.1

637	船舶ぎ装工（他に分類されない）	1	0.1	
638	航空機組立工・整備工	2	0.1	
640	その他の輸送機械組立・修理作業	3	0.2	
641	時計組立工・修理工	2	0.1	
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	5	0.3	
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	13	0.7	
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造業者	27	1.4	
647	酒類製造工	2	0.1	
648	製糸業者	1	0.1	
649	織布工、紡織業者	2	0.1	
650	漂白工、染色工	2	0.1	
651	洋服・和服仕立職	3	0.2	
652	縫製工、裁断工	10	0.5	
653	製材工、木工	5	0.3	
654	指物職、家具職、建具職	3	0.2	
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造業者	5	0.3	
658	印刷・製本業者	7	0.4	
659	ゴム・プラスチック製品製造業者	9	0.5	
661	塗装工、画工、看板工	13	0.7	
669	がん具製造工	1	0.1	
670	製図工、現図工	7	0.4	
672	その他の技能工・生産工程作業	16	0.9	
673	汽かん士、汽かん火夫	1	0.1	
674	起重機・建設機械運転業者	8	0.4	
675	その他の定置機関運転業者	2	0.1	
676	発電員、変電員	1	0.1	
677	電気工事・電話工事業者	25	1.3	
678	土木・建築請負師	14	0.7	
679	左官、とび職	6	0.3	
680	れんが積工、配管工	16	0.9	
682	土工、道路工夫	14	0.7	
683	鉄道線路工夫	1	0.1	
684	現場監督、その他の建設業者	28	1.5	
685	倉庫夫、仲仕	14	0.7	
686	運搬労務者	19	1.0	
687	清掃員	26	1.4	
688	その他の労務業者	16	0.9	
701	スーパーなどのレジスター係員・キャッシャー	8	0.4	
702	大工	26	1.4	
703	教員	9	0.5	
704	製品製造業者	9	0.5	
705	会社員	2	0.1	
999	不明、無回答	23	1.2	
		計	1877	100.0
998	非該当		2377	
		計	4254	

SSXXJOBE 職種(配偶者)(ISCO)

注)JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISCO-88 を用いてこの変数を作成した。集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード		ケース数	%
	Legislators, senior officials and managers	31	3.4
	Professionals	92	10.0
	Technicians and associate professionals	121	13.1
	Clerks	202	21.9
	Service workers and shop and market sales workers	139	15.1
	Skilled agricultural and fishery workers	49	5.3
	Craft and related trades workers	116	12.6
	Plant and machine operators and assemblers	100	10.8
	Elementary occupations	61	6.6
	Armed forces	2	0.2
99999	分類不能、不明、無回答	9	1.0
		計	922
88888	非該当		1208
		計	2130

問 21 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

SSJBDWK 就労日数/週(配偶者)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0日	1	0.1
	1日	11	0.6
	2日	35	1.9
	3日	88	4.7
	4日	143	7.6
	5日	890	47.4
	6日	543	28.9
	7日	129	6.9
99	無回答	37	2.0
		計	1877
88	非該当		2377
		計	4254

問 22 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR 就労年数(配偶者)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0~4年	434	23.1
	5~9年	268	14.3
	10~19年	394	21.0
	20~29年	340	18.1
	30年以上	419	22.3
999	無回答	22	1.2
		計	1877
888	非該当		2377
		計	4254

問 23〔回答票 14〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

## SSSZSTFA 企業規模(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	99	5.3
2	(イ) 2~4人	329	17.5
3	(ウ) 5~9人	147	7.8
4	(エ) 10~29人	202	10.8
5	(オ) 30~99人	196	10.4
6	(カ) 100~299人	139	7.4
7	(キ) 300~499人	46	2.5
8	(ク) 500~999人	53	2.8
9	(ケ) 1,000~1,999人	62	3.3
10	(コ) 2,000~9,999人	86	4.6
11	(サ) 1万人以上	76	4.0
12	(シ) 官公庁	150	8.0
13	わからない	277	14.8
99	無回答	15	0.8
		計	1877
88	非該当		2377
		計	4254

## SPAGEX 配偶者の年齢

FF[01-09]REL、FF[01-09]AGE、SPAGEZ から作成した変数

コード		ケース数	%
(計算による実数)	20~29歳	93	3.0
	30~39歳	488	15.7
	40~49歳	541	17.4
	50~59歳	750	24.1
	60~69歳	696	22.3
	70~79歳	429	13.8
	80~89歳	77	2.5
	90歳以上	4	0.1
999	無回答	37	1.2
		計	3115
888	非該当		1139
		計	4254

問 24-1 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY 家族人数(本人除く)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0人	341	8.0
	1人	1143	26.9
	2人	964	22.7
	3人	936	22.0
	4人	465	10.9
	5人以上	404	9.5
999	無回答	1	0.0
		計	4254
			100.0

問 24-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。

A あなたからみた続柄を順に教えてください。

FF[01-09]REL 家族[1-9]:続柄

この変数の単純集計は記載していません。

続柄コード表

コード		コード		コード	
0	本人	29	五女	60	祖父
1	夫	30	孫(男)	61	祖母
2	妻	31	孫(女)	62	義理の祖父(配偶者の祖父)
3	子	32	孫の配偶者	63	義理の祖母(配偶者の祖母)
10	子(男)	33	ひ孫(男)	64	兄の子
11	長男	34	ひ孫(女)	65	弟の子
12	次男	35	孫	66	姉の子
13	三男	40	父	67	妹の子
14	長男の妻	41	母	68	甥
15	次男の妻	42	義父(配偶者の父)	69	姪
16	三男の妻	43	義母(配偶者の母)	71	父母の兄弟姉妹
17	四男	44	兄の妻	72	父母の兄弟姉妹の配偶者
18	四男の妻	45	弟の妻	73	おじ
19	五男	46	姉の夫	74	おば
20	子(女)	47	妹の夫	75	おじ・おばの子
21	長女	50	兄	76	曾祖父
22	次女	51	弟	77	曾祖母
23	三女	52	姉	80	親(男)
24	長女の夫	53	妹	81	親(女)
25	次女の夫	54	配偶者の兄	88	非該当
26	三女の夫	55	配偶者の弟	90	使用人・雇い人
27	四女	56	配偶者の姉	97	続柄がその他のもの
28	四女の夫	57	配偶者の妹	99	無回答

B その方の性別を順に教えてください。

FF[01-09]SEX 家族[1-9]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男性
2	女性
8	非該当
9	無回答

C その方の年齢を順に教えてください。

FF[01-09]AGE 家族[1-9]:年齢

この変数の単純集計は記載していません。AGEB の集計をご覧ください。

コード	
888	非該当
999	無回答

D〔回答票 15〕 その方は、現在、結婚していますか。この中から選んで、順に教えてください。

FF[01-09]MG 家族[1-9]:結婚状況

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア) 現在、配偶者がいる
2	(イ) 離別
3	(ウ) 死別
4	(エ) 未婚
5	離婚を前提に別居中
6	同棲中
8	非該当
9	無回答

E その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。順に教えてください。

FF[01-09]JOB 家族[1-9]:就労の有無

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	している
2	していない
8	非該当
9	無回答

問 25-1 あなたには、ここにあげるような理由で（〔回答票 16〕を見せる）一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。いらっしゃる場合、何人ですか。

（〔回答票 16〕については、FFO[01-06]WHY のコードを参照）

SZFFOUT 一時的な別居家族の人数

コード		ケース数	%
(実数記入)	0人	3595	84.5
	1人	494	11.6
	2人	115	2.7
	3人	30	0.7
	4人	16	0.4
	5人以上	3	0.1
999	無回答	1	0.0
		計	4254 100.0

問 25-2 その全員について、うかがいます。

A あなたからみた続柄を順に教えてください。

FFO[01-06]REL 一時的な別居家族[1-6]:続柄

（86 ページの「続柄コード表」参照）

この変数の単純集計は記載していません。

B〔回答票 16〕その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由は何ですか。この中から選んで、順に教えてください。

FFO[01-06]WHY その他の家族[1-6]:別居理由

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	(ア)あなたの仕事の都合
2	(イ)あなたの学業
3	(ウ)家族の仕事の都合
4	(エ)家族の学業
5	(オ)長期入院
6	(カ)老人・福祉施設に入所
7	(キ)その他( )
8	非該当
9	無回答

問 26 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

FFHEAD 世帯主

コード		ケース数	%
00	本人	2028	47.7
01	夫	1464	34.4
02	妻	2	0.0
11	長男	109	2.6
12	次男	14	0.3
13	三男	1	0.0
14	長男の妻	1	0.0
17	四男	1	0.0
21	長女	5	0.1
22	次女	3	0.1
24	長女の夫	19	0.4
25	次女の夫	3	0.1
26	三女の夫	1	0.0
27	四女	1	0.0
40	父	416	9.8
41	母	71	1.7
42	義父(配偶者の父)	54	1.3
43	義母(配偶者の母)	4	0.1
45	弟の妻	1	0.0
50	兄	9	0.2
51	弟	5	0.1
52	姉	2	0.0
56	配偶者の姉	1	0.0
60	祖父	11	0.3
61	祖母	1	0.0
62	義理の父(配偶者の祖父)	1	0.0
69	姪	1	0.0
73	おじ	1	0.0
97	続柄がその他のもの	2	0.0
99	無回答	22	0.5
		計	4254
			100

問 27-1〔回答票 17〕現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

(多重回答) INCSELF~INCNOKN 現在の収入源:(全員) 共通(変数名は下記参照)

コード		該当者数	4254
0	非選択		
1	選択		
		<u>選択者数</u>	<u>%</u>
INCSELF	1 (ア) 自分の収入	2594	61.0
INCSP	2 (イ) 配偶者の収入	1825	42.9
INCPAR	3 (ウ) 親の収入	471	11.1
INCFAM	4 (エ) 配偶者・親以外の家族の収入	573	13.5
INCPEN	5 (オ) 年金	1552	36.5
INCUEB	6 (カ) 失業保険	22	0.5
INCSAVE	7 (キ) 貯蓄	193	4.5
INCSOC	8 (ク) 社会福祉(生活保護、福祉手当等)	40	0.9
INCIRR	9 (ケ) 不定期的な仕事	28	0.7
INCOTHER	10 (コ) その他( )	100	2.4
INCNOKN	11 わからない	1	0.0

問 27-2〔回答票 17〕そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

INCMAIN 現在の収入源:中心となるもの(全員)

コード		ケース数	%
1	(ア) 自分の収入	1530	36.0
2	(イ) 配偶者の収入	1101	25.9
3	(ウ) 親の収入	286	6.7
4	(エ) 配偶者・親以外の家族の収入	205	4.8
5	(オ) 年金	960	22.6
6	(カ) 失業保険	11	0.3
7	(キ) 貯蓄	27	0.6
8	(ク) 社会福祉(生活保護、福祉手当等)	23	0.5
9	(ケ) 不定期的な仕事	0	0.0
10	(コ) その他( )	28	0.7
11	わからない	21	0.5
99	無回答	62	1.5
計		4254	100.0

問 28〔回答票 18〕かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入るとお考えですか。

OP10LVL 自分の位置する階層

コード		ケース数	%
1	一番上	14	0.3
2	・	52	1.2
3	・	248	5.8
4	・	418	9.8
5	・	1537	36.1
6	・	683	16.1
7	・	544	12.8
8	・	413	9.7
9	・	132	3.1
10	一番下	133	3.1
99	無回答	80	1.9
計		4254	100.0

問 29-1〔回答票 19〕昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

## SZHSINCM 世帯年収

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	11	0.3
2	(イ) 70 万円未満	26	0.6
3	(ウ) 70～100 万円未満	41	1.0
4	(エ) 100～130 万円未満	53	1.2
5	(オ) 130～150 万円未満	67	1.6
6	(カ) 150～250 万円未満	246	5.8
7	(キ) 250～350 万円未満	362	8.5
8	(ク) 350～450 万円未満	365	8.6
9	(ケ) 450～550 万円未満	352	8.3
10	(コ) 550～650 万円未満	272	6.4
11	(サ) 650～750 万円未満	237	5.6
12	(シ) 750～850 万円未満	229	5.4
13	(ス) 850～1,000 万円未満	242	5.7
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	166	3.9
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	87	2.0
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	50	1.2
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	28	0.7
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	19	0.4
19	(テ) 2,300 万円以上	36	0.8
20	回答したくない	505	11.9
21	わからない	827	19.4
99	無回答	33	0.8
計		4254	100.0

問 29-2〔回答票 19〕そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

## SZINCOMA 本人年収:全体

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	495	11.6
2	(イ) 70 万円未満	308	7.2
3	(ウ) 70～100 万円未満	357	8.4
4	(エ) 100～130 万円未満	233	5.5
5	(オ) 130～150 万円未満	166	3.9
6	(カ) 150～250 万円未満	473	11.1
7	(キ) 250～350 万円未満	460	10.8
8	(ク) 350～450 万円未満	291	6.8
9	(ケ) 450～550 万円未満	222	5.2
10	(コ) 550～650 万円未満	151	3.5
11	(サ) 650～750 万円未満	116	2.7
12	(シ) 750～850 万円未満	115	2.7
13	(ス) 850～1,000 万円未満	73	1.7
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	41	1.0
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	10	0.2
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	6	0.1
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	5	0.1
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	3	0.1

19	(テ) 2,300 万円以上	10	0.2
20	回答したくない	451	10.6
21	わからない	164	3.9
99	無回答	104	2.4
		計	4254 100.0

問 29-3 (仕事をしている方にのみ質問)〔回答票 19〕あなたの収入は、先ほどいかがだった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

SZINCOMX 本人年収:主な仕事

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	48	1.8
2	(イ) 70 万円未満	171	6.5
3	(ウ) 70~100 万円未満	208	7.9
4	(エ) 100~130 万円未満	142	5.4
5	(オ) 130~150 万円未満	93	3.5
6	(カ) 150~250 万円未満	283	10.8
7	(キ) 250~350 万円未満	292	11.1
8	(ク) 350~450 万円未満	243	9.2
9	(ケ) 450~550 万円未満	189	7.2
10	(コ) 550~650 万円未満	138	5.2
11	(サ) 650~750 万円未満	97	3.7
12	(シ) 750~850 万円未満	106	4.0
13	(ス) 850~1,000 万円未満	66	2.5
14	(セ) 1,000~1,200 万円未満	36	1.4
15	(ソ) 1,200~1,400 万円未満	7	0.3
16	(タ) 1,400~1,600 万円未満	5	0.2
17	(チ) 1,600~1,850 万円未満	3	0.1
18	(ツ) 1,850~2,300 万円未満	1	0.0
19	(テ) 2,300 万円以上	9	0.3
20	回答したくない	334	12.7
21	わからない	84	3.2
99	無回答	75	2.9
		計	2630 100.0
23	仕事はしていない	1624	
		計	4254

問 29-4 (現在、配偶者がいる方にのみ質問)〔回答票 19〕配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

SSSZINCA 配偶者年収:全体

コード		ケース数	%
1	(ア) なし	400	12.8
2	(イ) 70 万円未満	187	6.0
3	(ウ) 70~100 万円未満	242	7.8
4	(エ) 100~130 万円未満	128	4.1
5	(オ) 130~150 万円未満	91	2.9
6	(カ) 150~250 万円未満	242	7.8
7	(キ) 250~350 万円未満	245	7.9
8	(ク) 350~450 万円未満	189	6.1
9	(ケ) 450~550 万円未満	171	5.5
10	(コ) 550~650 万円未満	119	3.8

11	(サ) 650～750 万円未満	88	2.8	
12	(シ) 750～850 万円未満	61	2.0	
13	(ス) 850～1,000 万円未満	61	2.0	
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	31	1.0	
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	16	0.5	
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	3	0.1	
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	4	0.1	
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	3	0.1	
19	(テ) 2,300 万円以上	7	0.2	
20	回答したくない	341	10.9	
21	わからない	280	9.0	
99	無回答	206	6.6	
		計	3115	100.0
22	配偶者はいない	1139		
		計	4254	

問 29-5 (配偶者が仕事をしている方に) [回答票 19] 配偶者の方の収入は、先ほどうかかった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

SSSZINCM 配偶者年収:主な仕事

コード		ケース数	%	
1	(ア) なし	28	1.5	
2	(イ) 70 万円未満	87	4.6	
3	(ウ) 70～100 万円未満	131	7.0	
4	(エ) 100～130 万円未満	80	4.3	
5	(オ) 130～150 万円未満	53	2.8	
6	(カ) 150～250 万円未満	137	7.3	
7	(キ) 250～350 万円未満	161	8.6	
8	(ク) 350～450 万円未満	155	8.3	
9	(ケ) 450～550 万円未満	153	8.2	
10	(コ) 550～650 万円未満	109	5.8	
11	(サ) 650～750 万円未満	80	4.3	
12	(シ) 750～850 万円未満	57	3.0	
13	(ス) 850～1,000 万円未満	56	3.0	
14	(セ) 1,000～1,200 万円未満	28	1.5	
15	(ソ) 1,200～1,400 万円未満	14	0.7	
16	(タ) 1,400～1,600 万円未満	3	0.2	
17	(チ) 1,600～1,850 万円未満	4	0.2	
18	(ツ) 1,850～2,300 万円未満	4	0.2	
19	(テ) 2,300 万円以上	5	0.3	
20	回答したくない	265	14.1	
21	わからない	199	10.6	
99	無回答	68	3.6	
		計	1877	100.0
22	配偶者はいない	1139		
23	仕事はしていない	1238		
		計	4254	

問 30 あなた（と配偶者）のご両親のうち、現在もご存命の方はどなたですか。

A その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。

PPLVTG 父親：同居・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	514	12.1
2	別居	1138	26.8
3	死亡	2602	61.2
9	無回答	0	0.0
計		4254	100.0

MMLVTG 母親：同居・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	742	17.4
2	別居	1636	38.5
3	死亡	1876	44.1
9	無回答	0	0
計		4254	100.0

PPLLVTG 義父：同居・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	132	4.2
2	別居	866	27.8
3	死亡	2117	68.0
9	無回答	0	0.0
計		3115	100.0
8	非該当	1139	
計		4254	

MMLLVTG 義母：同居・生死

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	同居	250	8.0
2	別居	1322	42.4
3	死亡	1543	49.5
9	無回答	0	0.0
計		3115	100.0
8	非該当	1139	
計		4254	

問 31 あなた(と配偶者)のご両親のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのみうかがいます。  
 注) 問 31 は別居している親についてのみ尋ねているが、データ上、A~Dには問 24-2 の同居している親についての回答を補填している。そのため、問 31C には「0 あなた(回答者本人)」というコードを追加している。E~G については、データ上も別居している親のみが対象者である。

A その方の年齢を順に教えてください。

PPAGE 父親:年齢

コード		ケース数	%
(実数記入)	40~49 歳	44	2.7
	50~59 歳	362	21.9
	60~69 歳	510	30.9
	70~79 歳	437	26.5
	80~89 歳	225	13.6
	90 歳以上	35	2.1
999	無回答	39	2.4
		計	1652
888	非該当(父親は亡くなっている)	2602	100.0
		計	4254

MMAGE 母親:年齢

コード		ケース数	%
(実数記入)	40~49 歳	91	3.8
	50~59 歳	492	20.7
	60~69 歳	602	25.3
	70~79 歳	556	23.4
	80~89 歳	451	19.0
	90 歳以上	145	6.1
999	無回答	41	1.7
		計	2378
888	非該当(母親は亡くなっている)	1876	100.0
		計	4254

PPLAGE 義父:年齢

コード		ケース数	%
(実数記入)	40~49 歳	6	0.6
	50~59 歳	109	10.9
	60~69 歳	297	29.8
	70~79 歳	296	29.7
	80~89 歳	174	17.4
	90 歳以上	38	3.8
999	無回答	78	7.8
		計	998
888	非該当(現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている)	3256	100.0
		計	4254

MMLAGE 義母:年齢

コード		ケース数	%
(実数記入)	30～39歳	1	0.1
	40～49歳	6	0.4
	50～59歳	206	13.1
	60～69歳	393	25.0
	70～79歳	428	27.2
	80～89歳	330	21.0
	90歳以上	99	6.3
999	無回答	109	6.9
	計	1572	100.0
888	非該当(現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている)	2682	
	計	4254	

B【回答票20】その方は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。

PPMG 父親:結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア)現在、配偶者がいる	1444	87.4
2	(イ)離別	58	3.5
3	(ウ)死別	132	8.0
4	(エ)未婚	0	0.0
5	離婚を前提に別居中	1	0.1
6	同棲中	0	0.0
9	無回答	17	1.0
	計	1652	100.0
8	非該当(父親は亡くなっている)	2602	
	計	4254	

MMMGM 母親:結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア)現在、配偶者がいる	1444	60.7
2	(イ)離別	102	4.3
3	(ウ)死別	804	33.8
4	(エ)未婚	0	0.0
5	離婚を前提に別居中	4	0.2
6	同棲中	0	0.0
9	無回答	24	1.0
	計	2378	100.0
8	非該当(母親は亡くなっている)	1876	
	計	4254	

PPLMG 義父:結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア)現在、配偶者がいる	843	84.5
2	(イ)離別	13	1.3
3	(ウ)死別	111	11.1
4	(エ)未婚	0	0.0
5	離婚を前提に別居中	1	0.1
6	同棲中	0	0.0
9	無回答	30	3.0
	計	998	100.0
8	非該当(現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている)	3256	
	計	4254	

MMLMG 義母:結婚状況

コード		ケース数	%
1	(ア) 現在、配偶者がいる	844	53.7
2	(イ) 離別	42	2.7
3	(ウ) 死別	635	40.4
4	(エ) 未婚	0	0.0
5	離婚を前提に別居中	2	0.1
6	同棲中	0	0.0
9	無回答	49	3.1
		計	1572
8	非該当 (現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている)	2682	100.0
		計	4254

C [回答票 21] その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中から あてはまるもの1つ を選んで、順に教えてください。

PPFAM 父親:同居者

コード		ケース数	%
0	あなた (回答者本人)	514	31.1
1	(ア) あなたの既婚の兄や弟	188	11.4
2	(イ) あなたの既婚の姉や妹	55	3.3
3	(ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹	126	7.6
4	(エ) 夫婦で二人暮らし	558	33.8
5	(オ) 一人暮らし	96	5.8
6	(カ) 施設に入所	22	1.3
7	(キ) その他 ( )	48	2.9
9	無回答	45	2.7
		計	1652
8	非該当 (父親は亡くなっている)	2602	100.0
		計	4254

MMFAM 母親:同居者

コード		ケース数	%
0	あなた (回答者本人)	742	31.2
1	(ア) あなたの既婚の兄や弟	375	15.8
2	(イ) あなたの既婚の姉や妹	117	4.9
3	(ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹	161	6.8
4	(エ) 夫婦で二人暮らし	560	23.5
5	(オ) 一人暮らし	244	10.3
6	(カ) 施設に入所	73	3.1
7	(キ) その他 ( )	62	2.6
9	無回答	44	1.9
		計	2378
8	非該当 (母親は亡くなっている)	1876	100.0
		計	4254

PPLFAM 義父:同居者

コード		ケース数	%
0	あなた(回答者本人)	132	13.2
1	(ア)配偶者の既婚の兄や弟	154	15.4
2	(イ)配偶者の既婚の姉や妹	42	4.2
3	(ウ)配偶者の未婚の兄弟姉妹	93	9.3
4	(エ)夫婦で二人暮らし	441	44.2
5	(オ)一人暮らし	45	4.5
6	(カ)施設に入所	15	1.5
7	(キ)その他( )	29	2.9
9	無回答	47	4.7
		計	998
8	非該当(現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている)	3256	100.0
		計	4254

MMLFAM 義母:同居者

コード		ケース数	%
0	あなた(回答者本人)	250	15.9
1	(ア)配偶者の既婚の兄や弟	269	17.1
2	(イ)配偶者の既婚の姉や妹	104	6.6
3	(ウ)配偶者の未婚の兄弟姉妹	118	7.5
4	(エ)夫婦で二人暮らし	442	28.1
5	(オ)一人暮らし	221	14.1
6	(カ)施設に入所	58	3.7
7	(キ)その他( )	36	2.3
9	無回答	74	4.7
		計	1572
8	非該当(現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている)	2682	100.0
		計	4254

D その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。

PPJOB 父親:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	867	52.5
2	していない	751	45.5
9	無回答	34	2.1
		計	1652
8	非該当(父親は亡くなっている)	2602	100.0
		計	4254

MMJOB 母親:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	719	30.2
2	していない	1624	68.3
9	無回答	35	1.5
		計	2378
8	非該当(母親は亡くなっている)	1876	100.0
		計	4254

## PPLJOB 義父:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	392	39.3
2	していない	567	56.8
9	無回答	39	3.9
		計	998
8	非該当 (現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている)	3256	
		計	4254

## MMLJOB 義母:就労の有無

コード		ケース数	%
1	している	325	20.7
2	していない	1179	75.0
9	無回答	68	4.3
		計	1572
8	非該当 (現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている)	2682	
		計	4254

E 【回答票 22】 その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

## PPDIST 父親:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	47	4.1
2	(イ) 歩いて 15 分以内	124	10.9
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	320	28.1
4	(エ) " 1 時間以内	200	17.6
5	(オ) " 3 時間以内	196	17.2
6	(カ) それより遠い	203	17.8
9	無回答	48	4.2
		計	1138
8	非該当 (父親は亡くなっている/父親と同居している)	3116	
		計	4254

## MMDIST 母親:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	70	4.3
2	(イ) 歩いて 15 分以内	180	11.0
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	490	30.0
4	(エ) " 1 時間以内	273	16.7
5	(オ) " 3 時間以内	299	18.3
6	(カ) それより遠い	278	17.0
9	無回答	46	2.8
		計	1636
8	非該当 (母親は亡くなっている/母親と同居している)	2618	
		計	4254

## PPLDIST 義父:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	26	3.0
2	(イ) 歩いて 15 分以内	96	11.1
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	247	28.5
4	(エ) " 1 時間以内	166	19.2
5	(オ) " 3 時間以内	142	16.4
6	(カ) それより遠い	151	17.4
9	無回答	38	4.4
		計	866
8	非該当 (現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている/ 義父と同居している)	3388	
		計	4254

## MMLDIST 義母:家までの距離

コード		ケース数	%
1	(ア) 隣、同じ建物、同じ通り	45	3.4
2	(イ) 歩いて 15 分以内	140	10.6
3	(ウ) 車や電車等で 30 分以内	388	29.3
4	(エ) " 1 時間以内	248	18.8
5	(オ) " 3 時間以内	210	15.9
6	(カ) それより遠い	216	16.3
9	無回答	75	5.7
		計	1322
8	非該当 (現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている/ 義母と同居している)	2932	
		計	4254

F 【回答票 23】 その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

## PPCNTA 父親:接触頻度(直接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	80	7.0
2	(イ) 週に数回	102	9.0
3	(ウ) 週に 1 回程度	155	13.6
4	(エ) 月に 1 回程度	286	25.1
5	(オ) 年に数回	336	29.5
6	(カ) 年に 1 回程度	79	6.9
7	(キ) 年に 1 回もない	65	5.7
9	無回答	35	3.1
		計	1138
8	非該当 (父親は亡くなっている/父親と同居している)	3116	
		計	4254

MMCNTA 母親:接触頻度(直接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	127	7.8
2	(イ) 週に数回	152	9.3
3	(ウ) 週に1回程度	244	14.9
4	(エ) 月に1回程度	432	26.4
5	(オ) 年に数回	447	27.3
6	(カ) 年に1回程度	130	7.9
7	(キ) 年に1回もない	62	3.8
9	無回答	42	2.6
		計	1636
8	非該当(母親は亡くなっている/母親と同居している)	2618	100.0
		計	4254

PPLCNTA 義父:接触頻度(直接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	39	4.5
2	(イ) 週に数回	54	6.2
3	(ウ) 週に1回程度	102	11.8
4	(エ) 月に1回程度	209	24.1
5	(オ) 年に数回	308	35.6
6	(カ) 年に1回程度	79	9.1
7	(キ) 年に1回もない	36	4.2
9	無回答	39	4.5
		計	866
8	非該当(現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている/ 義父と同居している)	3388	100.0
		計	4254

MMLCNTA 義母:接触頻度(直接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	59	4.5
2	(イ) 週に数回	84	6.4
3	(ウ) 週に1回程度	160	12.1
4	(エ) 月に1回程度	322	24.4
5	(オ) 年に数回	441	33.4
6	(カ) 年に1回程度	117	8.9
7	(キ) 年に1回もない	68	5.1
9	無回答	71	5.4
		計	1322
8	非該当(現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている/ 義母と同居している)	2932	100.0
		計	4254

G〔回答票 23〕その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

PPCNTB 父親:接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	43	3.8
2	(イ) 週に数回	140	12.3
3	(ウ) 週に1回程度	221	19.4
4	(エ) 月に1回程度	325	28.6
5	(オ) 年に数回	199	17.5
6	(カ) 年に1回程度	32	2.8
7	(キ) 年に1回もない	136	12.0
9	無回答	42	3.7
		計	1138
8	非該当(父親は亡くなっている/父親と同居している)	3116	100.0
		計	4254

MMCNTB 母親:接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	91	5.6
2	(イ) 週に数回	239	14.6
3	(ウ) 週に1回程度	375	22.9
4	(エ) 月に1回程度	449	27.4
5	(オ) 年に数回	212	13.0
6	(カ) 年に1回程度	26	1.6
7	(キ) 年に1回もない	187	11.4
9	無回答	57	3.5
		計	1636
8	非該当(母親は亡くなっている/母親と同居している)	2618	100.0
		計	4254

PPLCNTB 義父:接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	19	2.2
2	(イ) 週に数回	74	8.5
3	(ウ) 週に1回程度	130	15.0
4	(エ) 月に1回程度	214	24.7
5	(オ) 年に数回	176	20.3
6	(カ) 年に1回程度	54	6.2
7	(キ) 年に1回もない	151	17.4
9	無回答	48	5.5
		計	866
8	非該当(現在、配偶者はいない/義父は亡くなっている/ 義父と同居している)	3388	100.0
		計	4254

## MMLCNTB 義母:接触頻度(間接)

コード		ケース数	%
1	(ア) ほぼ毎日	41	3.1
2	(イ) 週に数回	109	8.2
3	(ウ) 週に1回程度	232	17.5
4	(エ) 月に1回程度	311	23.5
5	(オ) 年に数回	265	20.0
6	(カ) 年に1回程度	63	4.8
7	(キ) 年に1回もない	217	16.4
9	無回答	84	6.4
	計	1322	100.0
8	非該当(現在、配偶者はいない/義母は亡くなっている/ 義母と同居している)	2932	
	計	4254	

問 32-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

## XNUMBROE 兄弟姉妹人数(兄)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0人	2372	55.8
	1人	1189	28.0
	2人	397	9.3
	3人	167	3.9
	4人	62	1.5
	5人以上	30	0.7
999	無回答	37	0.9
	計	4254	100.0

## XNUMSISE 兄弟姉妹人数(姉)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0人	2418	56.8
	1人	1135	26.7
	2人	427	10.0
	3人	148	3.5
	4人	66	1.6
	5人以上	23	0.5
999	無回答	37	0.9
	計	4254	100.0

## XNUMBROY 兄弟姉妹人数(弟)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0人	2401	56.4
	1人	1289	30.3
	2人	379	8.9
	3人	99	2.3
	4人	35	0.8
	5人以上	14	0.3
999	無回答	37	0.9
	計	4254	100.0

## XNUMSISY 兄弟姉妹人数(妹)

コード (実数記入)		ケース数	%
0人		2471	58.1
1人		1222	28.7
2人		344	8.1
3人		120	2.8
4人		41	1.0
5人以上		19	0.4
999	無回答	37	0.9
		計	4254
			100.0

問 32-2 現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

## XSSNBROE 配偶者の兄弟姉妹人数(兄)

コード (実数記入)		ケース数	%
0人		1893	55.0
1人		918	26.7
2人		353	10.2
3人		128	3.7
4人		58	1.7
5人以上		29	0.8
999	無回答	65	1.9
		計	3444
			100.0
888	非該当	810	
		計	4254

## XSSNSISE 配偶者の兄弟姉妹人数(姉)

コード (実数記入)		ケース数	%
0人		1877	54.5
1人		922	26.8
2人		366	10.6
3人		129	3.7
4人		56	1.6
5人以上		29	0.8
999	無回答	65	1.9
		計	3444
			100.0
888	非該当	810	
		計	4254

## XSSNBROY 配偶者の兄弟姉妹人数(弟)

コード (実数記入)		ケース数	%
0人		1921	55.8
1人		996	28.9
2人		329	9.6
3人		94	2.7
4人		26	0.8
5人以上		13	0.4
999	無回答	65	1.9
		計	3444
			100.0
888	非該当	810	
		計	4254

XSSNSISY 配偶者の兄弟姉妹人数(妹)

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	0人	1946	56.5
	1人	944	27.4
	2人	342	9.9
	3人	109	3.2
	4人	28	0.8
	5人以上	10	0.3
999	無回答	65	1.9
		計	3444
888	非該当	810	100.0
		計	4254

問 33 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

CCNUMTTL 子どもの人数

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
(実数記入)	0人	894	21.1
	1人	546	12.9
	2人	1827	43.1
	3人	825	19.5
	4人	124	2.9
	5人以上	23	0.5
999	無回答	15	0.4
		計	4254
			100.0

子どもの人数が「1人以上」の場合

問 34〔回答票 24〕昨年1年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりますか。社会人入学の学費は除きます。

SZEXED 世帯支出:教育費

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	(ア) なし	131	3.9
2	(イ) 3万円未満	44	1.3
3	(ウ) 3~5万円未満	35	1.0
4	(エ) 5~10万円未満	47	1.4
5	(オ) 10~15万円未満	52	1.6
6	(カ) 15~20万円未満	61	1.8
7	(キ) 20~30万円未満	108	3.2
8	(ク) 30~50万円未満	194	5.8
9	(ケ) 50~100万円未満	169	5.1
10	(コ) 100~200万円未満	176	5.3
11	(サ) 200~300万円未満	74	2.2
12	(シ) 300~400万円未満	27	0.8
13	(ス) 400~500万円未満	4	0.1
14	(セ) 500万円以上	9	0.3
15	(ソ) すべての子どもが学業を終えている	2058	61.5
16	回答したくない	18	0.5
17	わからない	126	3.8
99	無回答	12	0.4
		計	3345
88	非該当	909	100.0
		計	4254

問 35 それぞれのお子様についてうかがいます。亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順にお答えください。

A その方の性別を順に教えてください。

CC[01-09]SEX 子ども[1-9]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

コード

1	男
2	女
8	非該当(その子どもはいない)
9	無回答

B その方は、すでに学業を終えていますか。順に教えてください。

CC[01-09]SCH 子ども[1-9]:就学

この変数の単純集計は記載していません。

コード

1	終えている
2	まだ終えていない
3	亡くなっている
8	非該当(その子どもはいない)
9	無回答

C その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。

CC[01-09]LVTG 子ども[1-9]:同居・生死

この変数の単純集計は記載していません。

コード

1	同居
2	別居
3	亡くなっている
8	非該当(その子どもはいない)
9	無回答

問 36 お子様のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのみうかがいます。

注) 問 36 は別居している子についてのみ尋ねているが、データ上、A~C には問 24-2 の同居している子についての回答を補填している。D~F については、データ上も別居している子のみが対象者である。

A その方の年齢を順に教えてください。

CC[01-09]AGE 子ども[1-9]:年齢

この変数の単純集計は記載していません。

コード

888	非該当(その子どもはいない/その子どもは亡くなっている)
999	無回答

B〔回答票 25〕その方は、現在、結婚していますか。順に教えてください。

CC[01-09]MG 子ども[1-9]:結婚状況

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | (ア) 現在、配偶者がいる                 |
| 2 | (イ) 離別                        |
| 3 | (ウ) 死別                        |
| 4 | (エ) 未婚                        |
| 5 | 離婚を前提に別居中                     |
| 6 | 同棲中                           |
| 8 | 非該当 (その子どもはいない/その子どもは亡くなっている) |
| 9 | 無回答                           |

C その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。

CC[01-09]JOB 子ども[1-9]:就労の有無

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | している                          |
| 2 | していない                         |
| 9 | 無回答                           |
| 8 | 非該当 (その子どもはいない/その子どもは亡くなっている) |

D〔回答票 26〕その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

CC[01-09]DIST 子ども[1-9]:家までの距離

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- |   |  |
|---|--|
| 1 | (ア) 隣、同じ建物、同じ通り                                |
| 2 | (イ) 歩いて 15 分以内                                 |
| 3 | (ウ) 車や電車等で 30 分以内                              |
| 4 | (エ) " 1 時間以内                                   |
| 5 | (オ) " 3 時間以内                                   |
| 6 | (カ) それより遠い                                     |
| 9 | 無回答  |
| 8 | 非該当 (その子どもはいない/その子どもは亡くなっている/<br>その子どもと同居している) |

E〔回答票 27〕その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

CC[01-09]CNTA 子ども[1-9]:接触頻度(直接)

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- |   |  |
|---|--|
| 1 | (ア) ほぼ毎日                                       |
| 2 | (イ) 週に数回                                       |
| 3 | (ウ) 週に 1 回程度                                   |
| 4 | (エ) 月に 1 回程度                                   |
| 5 | (オ) 年に数回                                       |
| 6 | (カ) 年に 1 回程度                                   |
| 7 | (キ) 年に 1 回もない                                  |
| 9 | 無回答  |
| 8 | 非該当 (その子どもはいない/その子どもは亡くなっている/<br>その子どもと同居している) |

F〔回答票 27〕 その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

CC[01-09]CNTB 子ども[1-9]:接触頻度(間接)

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 (ア) ほぼ毎日
- 2 (イ) 週に数回
- 3 (ウ) 週に1回程度
- 4 (エ) 月に1回程度
- 5 (オ) 年に数回
- 6 (カ) 年に1回程度
- 7 (キ) 年に1回もない
- 9 無回答
- 8 非該当(その子どもはいない/その子どもは亡くなっている/  
その子どもと同居している)

問 37-1 あなたが15歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

PREF15 15歳の頃の居住地(本人):都道府県名

コード

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	北海道	225	5.3
2	青森	70	1.6
3	岩手	53	1.2
4	宮城	98	2.3
5	秋田	48	1.1
6	山形	70	1.6
7	福島	55	1.3
8	茨城	111	2.6
9	栃木	90	2.1
10	群馬	68	1.6
11	埼玉	134	3.1
12	千葉	121	2.8
13	東京	309	7.3
14	神奈川	162	3.8
15	新潟	106	2.5
16	富山	67	1.6
17	石川	33	0.8
18	福井	55	1.3
19	山梨	42	1.0
20	長野	94	2.2
21	岐阜	87	2.0
22	静岡	165	3.9
23	愛知	217	5.1
24	三重	79	1.9
25	滋賀	30	0.7
26	京都	88	2.1
27	大阪	233	5.5
28	兵庫	162	3.8
29	奈良	25	0.6
30	和歌山	49	1.2
31	鳥取	32	0.8
32	島根	36	0.8

33	岡山	87	2.0
34	広島	101	2.4
35	山口	72	1.7
36	徳島	44	1.0
37	香川	26	0.6
38	愛媛	60	1.4
39	高知	39	0.9
40	福岡	163	3.8
41	佐賀	47	1.1
42	長崎	69	1.6
43	熊本	65	1.5
44	大分	60	1.4
45	宮崎	48	1.1
46	鹿児島	90	2.1
47	沖縄	49	1.2
48	外国	14	0.3
99	無回答	6	0.1
計		4254	100.0

問 37-2〔回答票 28〕当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC15 15歳の頃の居住地(本人)

コード		ケース数	%
1	(ア)大都市	604	14.2
2	(イ)中小都市	1694	39.8
3	(ウ)町	1362	32.0
4	(エ)村	583	13.7
9	無回答	11	0.3
計		4254	100.0

問 37-3 そこは農山漁村地域でしたか。

REMOTE15 15歳の頃の居住地(本人):農山村地域

コード		ケース数	%
1	はい	1729	40.6
2	いいえ	2453	57.7
9	無回答	72	1.7
計		4254	100.0

問 38-1〔回答票 29〕あなたが15歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15 15歳の頃の父:就労形態

コード		ケース数	%
1	(ア)経営者・役員	170	4.0
2	(イ)常時雇用の一般従業者	1914	45.0
3	(ウ)臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	19	0.4
4	(エ)自営業主・自由業者	1572	37.0
5	(オ)家族従業者	107	2.5
6	(カ)働いていなかった	63	1.5
7	(キ)父はいなかった	359	8.4
8	わからない	28	0.7
9	無回答	22	0.5
計		4254	100.0

「2(イ) 常時雇用の一般従業者」の場合

問 38-2〔回答票 30〕当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

PPJBT15P 15歳の頃の父:役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	718	37.5
2	(イ) 職長・班長・組長など	116	6.1
3	(ウ) 係長(係長相当)	124	6.5
4	(エ) 課長(課長相当)	259	13.5
5	(オ) 部長(部長相当)	111	5.8
6	(カ) その他の役職(具体的に )	11	0.6
7	わからない	529	27.6
9	無回答	46	2.4
		計	1914
8	非該当	2340	100.0
		計	4254

問 39 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

PPJBXX15 15歳の頃の父:職種

コード		ケース数	%
503	機械・電気・化学技術者	23	0.6
504	建築・土木技術者	23	0.6
505	農林技術者	8	0.2
506	情報処理技術者	4	0.1
507	その他の技師・技術者	4	0.1
508	医師	9	0.2
509	歯科医師	6	0.2
510	薬剤師	5	0.1
514	看護師(看護婦・看護師)	2	0.1
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	5	0.1
516	その他の保健医療従事者	4	0.1
517	裁判官、検察官、弁護士	4	0.1
518	その他の法務従事者	2	0.1
519	公認会計士、税理士	6	0.2
521	小学校教員	20	0.5
522	中学校教員	13	0.3
523	高等学校教員	13	0.3
524	大学教員	7	0.2
525	盲・ろう・養護学校教員	1	0.0
527	宗教家	20	0.5
528	文芸家、著述家	1	0.0
529	記者、編集者	3	0.1
530	彫刻家、画家、工芸美術家	3	0.1
531	デザイナー	5	0.1
532	写真家、カメラマン	4	0.1
534	俳優、舞踊家、園芸家(個人に教授するものを除く)	2	0.1
536	獣医師	3	0.1
538	社会福祉事業専門職員	1	0.0
539	個人教師	4	0.1
544	その他の専門的・技術的職業従事者	5	0.1

545	管理的公務員	28	0.7
547	地方議員	6	0.2
548	会社役員	49	1.3
549	その他の法人・団体の役員	103	2.7
550	会社・団体等の管理職員	4	0.1
551	駅長、区長	2	0.1
552	郵便局長、電報・電話局長	10	0.3
553	その他の管理的職業従事者	313	8.2
554	総務・企画事務員	3	0.1
556	出荷・受荷事務員	4	0.1
557	営業・販売事務員	71	1.9
558	その他の一般事務員	8	0.2
559	会計事務員	58	1.5
560	郵便・通信事務員	14	0.4
561	集金人	2	0.1
563	運輸事務員	20	0.5
566	小売店主	212	5.5
567	卸売店主	35	0.9
568	飲食店主	43	1.1
569	販売店員	19	0.5
570	行商人、呼売人、露天商	7	0.2
571	再生資源卸売人・回収人	2	0.1
572	商品仲立人	11	0.3
573	外交員（保険、不動産を除く）	40	1.0
574	保険代理人・外交員	12	0.3
575	不動産仲買人・売買人	18	0.5
576	質屋店主・店員	1	0.0
577	その他の販売類似職業従事者	7	0.2
578	家政婦、家事サービス職業従事者	1	0.0
579	理容師、美容師	14	0.4
580	クリーニング職、洗張職	8	0.2
581	料理人	15	0.4
583	給仕係	6	0.2
586	娯楽場等の接客員	5	0.1
588	その他の個人サービス職業従事者	1	0.0
589	旅館主人・番頭、ホテル支配人	4	0.1
590	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母	2	0.1
592	その他のサービス職業従事者	9	0.2
593	自衛官	5	0.1
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	22	0.6
595	消防員	5	0.1
596	看守、守衛、監視員	12	0.3
597	その他の保安職業従事者	3	0.1
598	旧職業軍人	4	0.1
599	農耕・養蚕作業者	732	19.1
600	植木職、造園師	10	0.3
601	畜産作業者	10	0.3
602	林業作業者	29	0.8
604	漁業作業者	65	1.7
605	漁船の船長・航海士・機関長・機関士	2	0.1
606	電車・機関車運転士	9	0.2
607	自動車運転者	128	3.3

608	船長・航海士（漁船を除く）水先人	5	0.1
609	船舶機関長・機関士（漁船を除く）	5	0.1
612	鉄道員	19	0.5
613	船員	11	0.3
614	その他の運輸従事者	7	0.2
615	無線通信士、無線技術士	1	0.0
618	郵便・電報外務員	11	0.3
620	採鉱員、採炭員	23	0.6
621	石切出作業	3	0.1
622	その他の採掘作業	2	0.1
623	陶磁器工、絵付作業	8	0.2
624	石工	6	0.2
625	ガラス・セメント製品製造作業	7	0.2
626	その他の窯業・土石製品製造作業	8	0.2
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	14	0.4
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業	15	0.4
629	化学製品製造作業	13	0.3
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業	32	0.8
631	鉄工、板金工	61	1.6
632	金属溶接工	12	0.3
633	一般機械組立工・修理工	59	1.5
634	電気機械器具組立工・修理工	33	0.9
635	自動車組立工・整備工	34	0.9
636	鉄道車両組立工・修理工	2	0.1
637	船舶ぎ装工（他に分類されない）	16	0.4
638	航空機組立工・整備工	2	0.1
639	自転車組立工・修理工	2	0.1
640	その他の輸送機械組立・修理作業	4	0.1
641	時計組立工・修理工	2	0.1
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	7	0.2
643	精穀工、製粉工	6	0.2
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	22	0.6
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	31	0.8
646	たばこ製造工	2	0.1
647	酒類製造工	6	0.2
648	製糸作業	10	0.3
649	織布工、紡織作業	29	0.8
650	漂白工、染色工	10	0.3
651	洋服・和服仕立職	10	0.3
652	縫製工、裁断工	11	0.3
653	製材工、木工	20	0.5
654	指物職、家具職、建具職	23	0.6
655	船大工	4	0.1
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	20	0.5
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	16	0.4
658	印刷・製本作業	27	0.7
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	12	0.3
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	4	0.1
661	塗装工、画工、看板工	19	0.5
663	表具師、内張工	3	0.1
664	和がさ・ちょうちん・うちわ職	1	0.0
665	貴金属・宝石・甲・角等細工	2	0.1

666	印判師	4	0.1	
668	かばん・袋物製造工	5	0.1	
669	がん具製造工	2	0.1	
670	製図工,現図工	8	0.2	
671	映写技士	2	0.1	
672	その他の技能工・生産工程作業	6	0.2	
673	汽かん士、汽かん火夫	12	0.3	
674	起重機・建設機械運転作業	4	0.1	
675	その他の定置機関運転作業	4	0.1	
676	発電員、変電員	6	0.2	
677	電気工事・電話工事作業	42	1.1	
678	土木・建築請負師	60	1.6	
679	左官、とび職	31	0.8	
680	れんが積工、配管工	18	0.5	
681	畳職	6	0.2	
682	土工、道路工夫	60	1.6	
683	鉄道線路工夫	8	0.2	
684	現場監督、その他の建設作業	19	0.5	
685	倉庫夫、仲仕	11	0.3	
686	運搬労務者	21	0.5	
687	清掃員	6	0.2	
688	その他の労務作業	15	0.4	
689	分類不能の職業	3	0.1	
702	大工	95	2.5	
703	教員	29	0.8	
704	製品製造作業	42	1.1	
705	会社員	79	2.1	
707	特に父職で記入が「自営業」とあった場合	21	0.5	
999	不明、無回答	88	2.3	
		計	3832	100.0
998	非該当		422	
		計	4254	

PPJBXX1E 15歳の頃の父:職種(ISCO)

注) JGSS-2006では、留置調査票B票の回答者についてのみ、ISCO-88を用いてこの変数を作成した。

集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード		ケース数	%	
	Legislators, senior officials and managers	100	5.2	
	Professionals	91	4.8	
	Technicians and associate professionals	103	5.4	
	Clerks	234	12.3	
	Service workers and shop and market sales workers	195	10.2	
	Skilled agricultural and fishery workers	420	22.0	
	Craft and related trades workers	322	16.9	
	Plant and machine operators and assemblers	240	12.6	
	Elementary occupations	84	4.4	
	Armed forces	6	0.3	
99999	分類不能、不明、無回答	112	5.9	
		計	1907	100.0
88888	非該当		223	
		計	2130	

問 40〔回答票 31〕お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたり  
ますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、  
家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

PPJBSZ15 15歳の頃の父:企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	423	11.0
2	(イ) 小企業(2~29人)	1515	39.5
3	(ウ) 中企業(30~299人)	427	11.1
4	(エ) 大企業(300人以上)	157	4.1
5	(オ) 大手大企業(1,000人以上)	368	9.6
6	(カ) 官公庁	427	11.1
7	わからない	389	10.2
9	無回答	126	3.3
		計	3832
8	非該当	422	
		計	4254

問 41〔回答票 32〕あなたが15歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合  
には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15 15歳の頃の母:就労地位

コード		ケース数	%
1	(ア) 仕事はもっていなかった	1312	30.8
2	(イ) 臨時雇用・パート・アルバイト	632	14.9
3	(ウ) 常時雇用:一般職・役職なし	427	10.0
4	(エ) 常時雇用:管理職	11	0.3
5	(オ) 常時雇用:専門的な仕事(看護婦、教師など)	62	1.5
6	(カ) 常時雇用:仕事内容はわからない	18	0.4
7	(キ) 自営業・家族従業者:農林漁業	1330	31.3
8	(ク) 自営業・家族従業者:農林漁業以外	172	4.0
9	(ケ) 内職	90	2.1
10	(コ) 経営者・役員	14	0.3
11	(サ) 母はいなかった	121	2.8
12	わからない	47	1.1
99	無回答	18	0.4
		計	4254
			100.0

問 42〔回答票 33〕あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。  
あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱い  
でお答えください。

XXLSTSCH 最終学校(本人)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校(国民学校を含む)	131	3.1
2	(イ) 旧制高等小学校	113	2.7
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	151	3.5
4	(エ) 旧制実業・商業学校	25	0.6
5	(オ) 旧制師範学校	6	0.1
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	24	0.6
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	12	0.3
8	(ク) 新制中学校	542	12.7
9	(ケ) 新制高校	1890	44.4
10	(コ) 新制高専	157	3.7
11	(サ) 新制短大	345	8.1
12	(シ) 新制大学	754	17.7
13	(ス) 新制大学院	78	1.8
14	わからない	13	0.3
99	無回答	13	0.3
計		4254	100.0

SSLSTSCH 最終学校(配偶者)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校(国民学校を含む)	104	2.4
2	(イ) 旧制高等小学校	116	2.7
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	129	3.0
4	(エ) 旧制実業・商業学校	24	0.6
5	(オ) 旧制師範学校	2	0.0
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	27	0.6
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	26	0.6
8	(ク) 新制中学校	462	10.9
9	(ケ) 新制高校	1531	36.0
10	(コ) 新制高専	114	2.7
11	(サ) 新制短大	223	5.2
12	(シ) 新制大学	558	13.1
13	(ス) 新制大学院	43	1.0
14	わからない	41	1.0
15	結婚したことがない・離別した	810	19.0
99	無回答	44	1.0
計		4254	100.0

## PPLSTSCH 最終学校(父親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	835	19.6
2	(イ) 旧制高等小学校	475	11.2
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	354	8.3
4	(エ) 旧制実業・商業学校	59	1.4
5	(オ) 旧制師範学校	35	0.8
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	126	3.0
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	138	3.2
8	(ク) 新制中学校	341	8.0
9	(ケ) 新制高校	537	12.6
10	(コ) 新制高専	38	0.9
11	(サ) 新制短大	9	0.2
12	(シ) 新制大学	260	6.1
13	(ス) 新制大学院	20	0.5
14	わからない	875	20.6
99	無回答	152	3.6
計		4254	100.0

## MMLSTSCH 最終学校(母親)

コード		ケース数	%
1	(ア) 旧制尋常小学校 (国民学校を含む)	865	20.3
2	(イ) 旧制高等小学校	477	11.2
3	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	542	12.7
4	(エ) 旧制実業・商業学校	11	0.3
5	(オ) 旧制師範学校	32	0.8
6	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	78	1.8
7	(キ) 旧制大学・旧制大学院	13	0.3
8	(ク) 新制中学校	339	8.0
9	(ケ) 新制高校	710	16.7
10	(コ) 新制高専	42	1.0
11	(サ) 新制短大	92	2.2
12	(シ) 新制大学	74	1.7
13	(ス) 新制大学院	8	0.2
14	わからない	836	19.7
99	無回答	135	3.2
計		4254	100.0

問 43 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

## DOLSTSCH 最終学校の卒業・中退(本人)

コード		ケース数	%
1	卒業	4055	95.3
2	中退	124	2.9
3	在学中	65	1.5
9	無回答	10	0.2
計		4254	100.0

問 44 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

XSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験

コード		ケース数	%
1	通ったことがある	772	18.1
2	通ったことがない	3462	81.4
9	無回答	20	0.5
計		4254	100.0

問 45〔回答票 34〕あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB 初職の就労時期

コード		ケース数	%
1	(ア) すぐついた(3ヶ月たたないうちについた)	3552	83.5
2	(イ) 3ヶ月以上たってからついた	471	11.1
3	(ウ) 仕事についたことはない	145	3.4
99	無回答	86	2.0
計		4254	100.0

「1(ア)すぐついた(3ヶ月たたないうちについた)」「2(イ)3ヶ月以上たってからついた」の場合

問 46-1〔回答票 35〕あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

TPFSTJB 初職の就労形態

コード		ケース数	%
1	(ア) 経営者・役員	2	0.0
2	(イ) 常時雇用の一般従業者	3305	82.2
3	(ウ) 臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	307	7.6
4	(エ) 派遣社員	13	0.3
5	(オ) 自営業主・自由業者	144	3.6
6	(カ) 家族従業者	216	5.4
7	わからない	14	0.3
9	無回答	22	0.5
計		4023	100.0
8	非該当	231	
計		4254	

「2(イ)常時雇用の一般従業者」の場合

問 46-2〔回答票 36〕当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

TPFSTJBP 初職の役職

コード		ケース数	%
1	(ア) 役職なし	3124	94.5
2	(イ) 職長・班長・組長など	16	0.5
3	(ウ) 係長(係長相当)	6	0.2
4	(エ) 課長(課長相当)	8	0.2
5	(オ) 部長(部長相当)	4	0.1
6	(カ) その他の役職(具体的に )	2	0.1
7	わからない	8	0.2
9	無回答	137	4.1
計		3305	100.0
8	非該当	949	
計		4254	

問 47 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

XXFSTJB 初職の職種

コード		ケース数	%
501	自然科学系研究者	3	0.1
502	人文科学系研究者	1	0.0
503	機械・電気・化学技術者	51	1.3
504	建築・土木技術者	28	0.7
505	農林技術者	9	0.2
506	情報処理技術者	53	1.3
507	その他の技師・技術者	12	0.3
508	医師	4	0.1
509	歯科医師	1	0.0
510	薬剤師	8	0.2
512	保健師(保健婦)	2	0.0
513	栄養士	14	0.3
514	看護師(看護婦・看護師)	77	1.9
515	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師	1	0.0
516	その他の保健医療従事者	55	1.4
518	その他の法務従事者	1	0.0
520	幼稚園教員	17	0.4
521	小学校教員	32	0.8
522	中学校教員	19	0.5
523	高等学校教員	17	0.4
524	大学教員	8	0.2
525	盲・ろう・養護学校教員	2	0.0
526	その他の教員	2	0.0
527	宗教家	3	0.1
529	記者、編集者	3	0.1
530	彫刻家、画家、工芸美術家	1	0.0
531	デザイナー	14	0.3
532	写真家、カメラマン	4	0.1
533	音楽家(個人に教授するものを除く)	2	0.0
534	俳優、舞踊家、演芸家(個人に教授するものを除く)	4	0.1
537	保育士(保母、保父)	38	0.9
538	社会福祉事業専門職員	5	0.1
539	個人教師	30	0.7
541	経営コンサルタント	1	0.0
543	図書館司書	1	0.0
544	その他の専門的・技術的職業従事者	2	0.0
553	その他の管理的職業従事者	1	0.0
554	総務・企画事務員	656	16.3
555	受付・案内事務員	45	1.1
556	出荷・受荷事務員	18	0.4
557	営業・販売事務員	165	4.1
558	その他の一般事務員	42	1.0
559	会計事務員	244	6.1
560	郵便・通信事務員	16	0.4
561	集金人	1	0.0
562	その他の外勤事務従事者	2	0.0
563	運輸事務員	4	0.1

564	速記者、タイピスト、キーパンチャー	19	0.5
565	電子計算機等操作員	15	0.4
566	小売店主	15	0.4
567	卸売店主	6	0.1
568	飲食店主	1	0.0
569	販売店員	301	7.5
570	行商人、呼売人、露天商	2	0.0
572	商品仲立人	15	0.4
573	外交員（保険、不動産を除く）	128	3.2
574	保険代理人・外交員	8	0.2
575	不動産仲買人・売買人	4	0.1
576	質屋店主・店員	3	0.1
577	その他の販売類似職業従事者	5	0.1
578	家政婦、家事サービス職業従事者	34	0.8
579	理容師、美容師	56	1.4
580	クリーニング職、洗張職	10	0.2
581	料理人	49	1.2
583	給仕係	70	1.7
584	スチュワーデス、スチュワード	1	0.0
585	接客社交係	1	0.0
586	娯楽場等の接客員	13	0.3
587	旅行・観光案内人	8	0.2
588	その他の個人サービス職業従事者	2	0.0
591	ファッションモデル	2	0.0
592	その他のサービス職業従事者	17	0.4
593	自衛官	21	0.5
594	警察官、海上保安官、鉄道公安員	3	0.1
595	消防員	1	0.0
596	看守、守衛、監視員	7	0.2
597	その他の保安職業従事者	3	0.1
598	旧職業軍人	4	0.1
599	農耕・養蚕作業者	172	4.3
601	畜産作業者	7	0.2
602	林業作業者	10	0.2
604	漁業作業者	21	0.5
606	電車・機関車運転士	3	0.1
607	自動車運転者	18	0.4
609	船舶機関長・機関士（漁船を除く）	1	0.0
610	航空機操縦士、航空士、航空機関士	1	0.0
611	車掌	10	0.2
612	鉄道員	2	0.0
613	船員	5	0.1
615	無線通信士、無線技術士	2	0.0
617	電話交換手	16	0.4
618	郵便・電報外務員	7	0.2
620	採鉱員、採炭員	5	0.1
623	陶磁器工、絵付作業者	5	0.1
624	石工	5	0.1
625	ガラス・セメント製品製造作業者	6	0.1
626	その他の窯業・土石製品製造作業者	2	0.0
627	製鉄工、製鋼工、精錬工	10	0.2
628	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者	13	0.3

629	化学製品製造作業	26	0.6
630	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者	47	1.2
631	鉄工、板金工	22	0.5
632	金属溶接工	7	0.2
633	一般機械組立工・修理工	112	2.8
634	電気機械器具組立工・修理工	82	2.0
635	自動車組立工・整備工	59	1.5
636	鉄道車両組立工・修理工	3	0.1
637	船舶ぎ装工（他に分類されない）	4	0.1
638	航空機組立工・整備工	4	0.1
639	自転車組立工・修理工	2	0.0
640	その他の輸送機械組立・修理作業	5	0.1
641	時計組立工・修理工	1	0.0
642	光学機械・精密機械器具組立工・修理工	17	0.4
643	精穀工、製粉工	3	0.1
644	パン・菓子・めん類・豆腐製造工	38	0.9
645	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業	31	0.8
646	たばこ製造工	5	0.1
647	酒類製造工	2	0.0
648	製糸作業	37	0.9
649	織布工、紡織作業	32	0.8
650	漂白工、染色工	4	0.1
651	洋服・和服仕立職	25	0.6
652	縫製工、裁断工	54	1.3
653	製材工、木工	9	0.2
654	指物職、家具職、建具職	12	0.3
655	船大工	4	0.1
656	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業	8	0.2
657	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業	17	0.4
658	印刷・製本作業	23	0.6
659	ゴム・プラスチック製品製造作業	12	0.3
660	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業	6	0.1
661	塗装工、画工、看板工	11	0.3
663	表具師、内張工	2	0.0
665	貴金属・宝石・甲・角等細工	3	0.1
666	印判師	1	0.0
667	洋傘組立工	3	0.1
668	かばん・袋物製造工	4	0.1
669	がん具製造工	1	0.0
670	製図工、現図工	21	0.5
672	その他の技能工・生産工程作業	27	0.7
673	汽かん士、汽かん火夫	2	0.0
674	起重機・建設機械運転作業	1	0.0
675	その他の定置機関運転作業	6	0.1
676	発電員、変電員	5	0.1
677	電気工事・電話工事作業	39	1.0
678	土木・建築請負師	3	0.1
679	左官、とび職	19	0.5
680	れんが積工、配管工	10	0.2
681	畳職	1	0.0
682	土工、道路工夫	42	1.0
683	鉄道線路工夫	2	0.0

684	現場監督、その他の建設作業者	12	0.3	
685	倉庫夫、仲仕	21	0.5	
686	運搬労務者	19	0.5	
687	清掃員	6	0.1	
688	その他の労務作業者	21	0.5	
689	分類不能の職業	2	0.0	
701	スーパーなどのレジスター係員・キャッシャー	22	0.5	
702	大工	34	0.8	
703	教員	25	0.6	
704	製品製造作業者	17	0.4	
705	会社員	20	0.5	
999	不明、無回答	44	1.1	
		計	4023	100.0
998	非該当		231	
		計	4254	

XXFSTJBE 初職の職種 (ISCO)

注) JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISCO-88 を用いてこの変数を作成した。  
集計は Major group にまとめたものを掲載した。

		ケース数	%	
	Legislators, senior officials and managers	1	0.0	
	Professionals	166	8.2	
	Technicians and associate professionals	261	13.0	
	Clerks	588	29.2	
	Service workers and shop and market sales workers	280	13.9	
	Skilled agricultural and fishery workers	103	5.1	
	Craft and related trades workers	219	10.9	
	Plant and machine operators and assemblers	252	12.5	
	Elementary occupations	96	4.8	
	Armed forces	14	0.7	
99999	分類不能、不明、無回答	35	1.7	
		計	2015	100.0
88888	非該当		115	
		計	2130	

問 48〔回答票 37〕同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

SZSTFFST 初職の企業規模

コード		ケース数	%
1	(ア) 1人	26	0.6
2	(イ) 2~4人	421	10.5
3	(ウ) 5~9人	302	7.5
4	(エ) 10~29人	508	12.6
5	(オ) 30~99人	512	12.7
6	(カ) 100~299人	469	11.7
7	(キ) 300~499人	186	4.6
8	(ク) 500~999人	203	5.0
9	(ケ) 1,000~1,999人	246	6.1
10	(コ) 2,000~9,999人	284	7.1
11	(サ) 1万人以上	201	5.0
12	(シ) 官公庁	339	8.4
13	わからない	278	6.9
99	無回答	48	1.2
		計	4023
88	非該当		231
		計	4254

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP 調査員への質問:回答者の協力度

コード		ケース数	%
1	とても協力的	2561	60.2
2	どちらかといえば協力的	1399	32.9
3	それほど協力的ではなかった	265	6.2
4	まったく協力的ではなかった	14	0.3
9	無回答	15	0.4
		計	4254
			100.0

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND 調査員への質問:回答者の理解度

コード		ケース数	%
1	非常に良い	2681	63.0
2	どちらかといえば良い	1428	33.6
3	あまり良くない	125	2.9
4	まったく良くない	9	0.2
9	無回答	11	0.3
		計	4254
			100.0

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

AREA 調査員への質問:回答者の居住地域

コード		ケース数	%
1	工場の多い地域	33	0.8
2	商店・事業所の多い地域	447	10.5
3	主に古くからの住宅地(戦前からの住宅地)	1230	28.9
4	主に新興住宅地(戦後できたニュータウンを含む)	1727	40.6
5	農山漁村	714	16.8
6	その他( )	77	1.8
9	無回答	26	0.6
計		4254	100.0

F6 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

PROC 調査手順(留置/面接の順序)

コード		ケース数	%
1	面接が先	3573	84.0
2	留置が先	656	15.4
9	無回答	25	0.6
計		4254	100.0

F7 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい

DURATION 調査所要時間(分)

コード		ケース数	%
(実数記入)	10分以内	6	0.1
	10～19分	1077	25.3
	20～29分	2065	48.5
	30～39分	791	18.6
	40～49分	175	4.1
	50～59分	50	1.2
	60分以上	43	1.0
999	無回答	47	1.1
計		4254	100.0

面接票冒頭 回収状況欄

DATE 面接完了日

MONTH 面接完了日:月

DAY 面接完了日:日

DATEB 留置回収完了日

MONTHB 留置回収完了日:月

DAYB 留置回収完了日:日

これらの変数の単純集計は記載していません。

. 2 基礎集計表・コード表：留置調査票 A 票

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV テレビ視聴時間 (AB 共通 B 票 Q1)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 時間くらい	35	1.6
	1 時間くらい	295	13.9
	2 時間くらい	461	21.7
	3 時間くらい	532	25.0
	4 時間くらい	299	14.1
	5 時間くらい	253	11.9
	6 時間くらい	89	4.2
	7 時間くらい	26	1.2
	8 時間くらい	40	1.9
	9 時間くらい	7	0.3
	10 時間くらい	49	2.3
	11 時間以上	21	1.0
999	無回答	17	0.8
		計	2124 100.0

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ 1ヶ月の読書冊数 (AB 共通 B 票 Q2)

コード		ケース数	%
0	ほとんど読まない	1045	49.2
1	1冊程度	586	27.6
2	2冊程度	246	11.6
3	3冊程度	101	4.8
4	4冊以上	133	6.3
9	無回答	13	0.6
		計	2124 100.0

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP 新聞を読む頻度 (AB 共通 B 票 Q3)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	1581	74.4
2	週数回	244	11.5
3	週1回程度	67	3.2
4	それ以下	83	3.9
5	まったく読まない	141	6.6
9	無回答	8	0.4
		計	2124 100.0

Q4-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに をつけてください。  
 (多重回答) DOCOMPJ~DONONEX 利用通信媒体 共通 (変数名は下記参照)

コード			該当者数	2124
0		非選択		
1		選択	選択者数	%
DOCOMPJ	1	パソコン(職場・学校で)	658	31.0
DOCOMPP	2	パソコン(自宅で)	889	41.9
DOPHS	3	携帯電話(PHSを含む)	1533	72.2
DONONEX	4	いずれも利用していない	519	24.4

「1 パソコン(職場・学校で)」「2 パソコン(自宅で)」「3 携帯電話(PHSを含む)」を選択した場合  
 Q4-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話(PHSを含む)のインターネットを利用して、次のことを  
 行なっていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。  
 (多重回答) DOINBRS~DOINNONE インターネットの利用 共通 (変数名は下記参照)

コード			該当者数	1600
0		非選択		
1		選択	選択者数	%
DOINBRS	1	情報検索	1033	64.6
DOINSHOP	2	インターネットショッピング	420	26.3
DOINBANK	3	インターネットバンキング	119	7.4
DOINHP	4	ホームページの作成	82	5.1
DOINNONE	5	いずれも行っていない	495	30.9

Q4-3 あなたは、携帯電話(PHSを含む)やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

A 携帯電話(PHSを含む)での通話  
 FQMPTALK 携帯電話での通話の頻度

コード			ケース数	%
1		1日に5回以上	226	14.1
2		1日に3~4回	175	10.9
3		1日に1~2回	461	28.8
4		週に数回	422	26.4
5		週に1回以下	173	10.8
6		まったく利用していない	90	5.6
9		無回答	53	3.3
			計	1600
				100.0
8		非該当	524	
			計	2124

## B 携帯電話（PHS を含む）からのメール送信

## FQMPPMAIL 携帯電話でのメール送信の頻度

コード		ケース数	%
1	1日に5回以上	198	12.4
2	1日に3～4回	203	12.7
3	1日に1～2回	320	20.0
4	週に数回	265	16.6
5	週に1回以下	154	9.6
6	まったく利用していない	373	23.3
9	無回答	87	5.4
		計	1600
8	非該当	524	
		計	2124

## C パソコンからのメール送信

## FQPCMAIL パソコンでのメール送信の頻度

コード		ケース数	%
1	1日に5回以上	100	6.3
2	1日に3～4回	47	2.9
3	1日に1～2回	87	5.4
4	週に数回	167	10.4
5	週に1回以下	228	14.3
6	まったく利用していない	817	51.1
9	無回答	154	9.6
		計	1600
8	非該当	524	
		計	2124

## Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

## FQSPORT 定期的に行なうスポーツ:頻度

コード		ケース数	%
1	週に数回以上	412	19.4
2	週に1回程度	344	16.2
3	月に1回程度	131	6.2
4	年に数回程度	141	6.6
5	ほとんどしない	1082	50.9
9	無回答	14	0.7
		計	2124
		計	100.0

## Q6 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

## FQ5TRIP 1泊以上の旅行頻度（AB共通 B票Q4）

コード		ケース数	%
1	月に数回	9	0.4
2	月に1回程度	40	1.9
3	年に数回	675	31.8
4	年に1回程度	796	37.5
5	まったくしない	594	28.0
9	無回答	10	0.5
		計	2124
		計	100.0

Q7 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 家族と一緒に夕食

FQ7FFDNR 家族と一緒に夕食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	1398	65.8
2	週に数回	333	15.7
3	週に1回程度	135	6.4
4	月に1回程度	56	2.6
5	年に数回	66	3.1
6	年に1回程度	15	0.7
7	まったくしていない	103	4.8
9	無回答	18	0.8
計		2124	100.0

B 友人との会食や集まり

FQ7FRSEE 友人との会食:頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	18	0.8
2	週に数回	137	6.5
3	週に1回程度	256	12.1
4	月に1回程度	617	29.0
5	年に数回	645	30.4
6	年に1回程度	154	7.3
7	まったくしていない	262	12.3
9	無回答	35	1.6
計		2124	100.0

C 夕食の用意

FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度(本人) (AB共通 B票Q5A)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	952	44.8
2	週に数回	177	8.3
3	週に1回程度	135	6.4
4	月に1回程度	96	4.5
5	年に数回	154	7.3
6	年に1回程度	53	2.5
7	まったくしていない	535	25.2
9	無回答	22	1.0
計		2124	100.0

D 洗濯

FQ7WASH 洗濯:頻度(本人) (AB共通 B票Q5B)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	868	40.9
2	週に数回	314	14.8
3	週に1回程度	151	7.1
4	月に1回程度	55	2.6
5	年に数回	132	6.2
6	年に1回程度	43	2.0
7	まったくしていない	543	25.6
9	無回答	18	0.8
計		2124	100.0

E 買い物（日用品や食料品の買い物）

FQ7SHOP 買い物：頻度（本人）（AB 共通 B 票 Q5C）

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	439	20.7
2	週に数回	695	32.7
3	週に1回程度	468	22.0
4	月に1回程度	194	9.1
5	年に数回	111	5.2
6	年に1回程度	12	0.6
7	まったくしていない	187	8.8
9	無回答	18	0.8
計		2124	100.0

F 家の掃除

FQ7CLEAN 家の掃除：頻度（本人）（AB 共通 B 票 Q5D）

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	604	28.4
2	週に数回	467	22.0
3	週に1回程度	358	16.9
4	月に1回程度	208	9.8
5	年に数回	187	8.8
6	年に1回程度	51	2.4
7	まったくしていない	236	11.1
9	無回答	13	0.6
計		2124	100.0

G ゴミ出し

FQ7GARB ゴミ出し：頻度（本人）（AB 共通 B 票 Q5E）

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	238	11.2
2	週に数回	974	45.9
3	週に1回程度	251	11.8
4	月に1回程度	121	5.7
5	年に数回	135	6.4
6	年に1回程度	36	1.7
7	まったくしていない	354	16.7
9	無回答	15	0.7
計		2124	100.0

Q8 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

A ドライブ

FQ4DRIVE 娯楽の頻度：ドライブ

コード		ケース数	%
1	よくする	235	11.1
2	時々する	732	34.5
3	あまりしない	694	32.7
4	まったくしない/知らない	443	20.9
9	無回答	20	0.9
計		2124	100.0

## B カラオケ

FQ4KARA 娯楽の頻度:カラオケ

コード		ケース数	%
1	よくする	48	2.3
2	時々する	328	15.4
3	あまりしない	739	34.8
4	まったくしない/知らない	987	46.5
9	無回答	22	1.0
計		2124	100.0

## C 映画鑑賞(ビデオを含む)

FQ4MOVIE 娯楽の頻度:映画鑑賞

コード		ケース数	%
1	よくする	226	10.6
2	時々する	794	37.4
3	あまりしない	560	26.4
4	まったくしない/知らない	523	24.6
9	無回答	21	1.0
計		2124	100.0

## D 音楽鑑賞(CD・ラジオ・コンサートなど)

FQ4MUSIC 娯楽の頻度:音楽鑑賞

コード		ケース数	%
1	よくする	402	18.9
2	時々する	710	33.4
3	あまりしない	469	22.1
4	まったくしない/知らない	520	24.5
9	無回答	23	1.1
計		2124	100.0

## E テレビゲーム(PCゲーム・携帯用を含む)

FQ4GAME 娯楽の頻度:テレビゲーム

コード		ケース数	%
1	よくする	126	5.9
2	時々する	251	11.8
3	あまりしない	347	16.3
4	まったくしない/知らない	1375	64.7
9	無回答	25	1.2
計		2124	100.0

## F 園芸・庭いじり

FQ4GREEN 娯楽の頻度:園芸・庭いじり

コード		ケース数	%
1	よくする	392	18.5
2	時々する	600	28.2
3	あまりしない	360	16.9
4	まったくしない/知らない	753	35.5
9	無回答	19	0.9
計		2124	100.0

## G 将棋・囲碁

FQ4SHGIG 娯楽の頻度:将棋・囲碁

コード		ケース数	%
1	よくする	25	1.2
2	時々する	73	3.4
3	あまりしない	175	8.2
4	まったくしない/知らない	1822	85.8
9	無回答	29	1.4
計		2124	100.0

## H 宝くじ

FQ4LOTTO 娯楽の頻度:宝くじ

コード		ケース数	%
1	よくする	80	3.8
2	時々する	522	24.6
3	あまりしない	435	20.5
4	まったくしない/知らない	1072	50.5
9	無回答	15	0.7
計		2124	100.0

## I パチンコ・パチスロ

FQ4PACHI 娯楽の頻度:パチンコ・パチスロ

コード		ケース数	%
1	よくする	60	2.8
2	時々する	180	8.5
3	あまりしない	146	6.9
4	まったくしない/知らない	1725	81.2
9	無回答	13	0.6
計		2124	100.0

Q9 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

QP5HLTHZ 健康状態(本人)

コード		ケース数	%
1	良い	585	27.5
2	・	533	25.1
3	・	664	31.3
4	・	273	12.9
5	悪い	62	2.9
9	無回答	7	0.3
計		2124	100.0

Q10-1 あなたは煙草(タバコ)を吸いますか。

DOSMOKEX 喫煙経験

コード		ケース数	%
1	現在吸っている	532	25.0
2	以前は吸っていたがやめた	410	19.3
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	1178	55.5
9	無回答	4	0.2
計		2124	100.0

「1 現在吸っている」の場合

Q10-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE 禁煙努力

コード		ケース数	%
1	はい	288	54.1
2	いいえ	242	45.5
9	無回答	2	0.4
		計	532
8	非該当	1592	
		計	2124

Q11 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK 飲酒頻度

コード		ケース数	%
1	ほとんど毎日	504	23.7
2	週に数回	264	12.4
3	週に1回程度	176	8.3
4	月に1回程度	221	10.4
5	年に数回	244	11.5
6	年に1回程度	90	4.2
7	まったく飲まない	620	29.2
9	無回答	5	0.2
		計	2124
			100.0

Q12 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと(例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死)を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y トラウマの回数 (AB 共通 B 票 Q12)

コード		ケース数	%
0	なし	782	36.8
1	1回	580	27.3
2	2回	416	19.6
3	3回	193	9.1
4	4回以上	140	6.6
9	無回答	13	0.6
		計	2124
			100.0

Q13 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

A 住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度:居住地域 (AB 共通 B 票 Q14A)

コード		ケース数	%
1	満足	642	30.2
2	・	599	28.2
3	・	649	30.6
4	・	164	7.7
5	不満	45	2.1
9	無回答	25	1.2
		計	2124
			100.0

B 余暇の過ごし方

ST5LEISY 生活満足度:余暇利用 (AB 共通 B 票 Q14B)

コード		ケース数	%
1	満足	394	18.5
2	・	593	27.9
3	・	783	36.9
4	・	255	12.0
5	不満	59	2.8
9	無回答	40	1.9
計		2124	100.0

C 家庭生活

ST5LIFEY 生活満足度:家庭生活 (AB 共通 B 票 Q14C)

コード		ケース数	%
1	満足	595	28.0
2	・	593	27.9
3	・	700	33.0
4	・	159	7.5
5	不満	41	1.9
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

D 現在の家計の状態

ST5ECNY 生活満足度:家計状態 (AB 共通 B 票 Q14D)

コード		ケース数	%
1	満足	332	15.6
2	・	436	20.5
3	・	779	36.7
4	・	385	18.1
5	不満	157	7.4
9	無回答	35	1.6
計		2124	100.0

E 友人関係

ST5FRIY 生活満足度:友人関係 (AB 共通 B 票 Q14E)

コード		ケース数	%
1	満足	543	25.6
2	・	639	30.1
3	・	758	35.7
4	・	120	5.6
5	不満	36	1.7
9	無回答	28	1.3
計		2124	100.0

F 健康状態

ST5HLTHY 生活満足度:健康状態 (AB 共通 B 票 Q14F)

コード		ケース数	%
1	満足	394	18.5
2	・	602	28.3
3	・	709	33.4
4	・	315	14.8
5	不満	77	3.6
9	無回答	27	1.3
計		2124	100.0

G 配偶者(夫や妻)との関係

ST5SSREL 生活満足度:配偶者との関係 (AB 共通 B 票 Q14G)

コード		ケース数	%
1	満足	600	28.2
2	・	427	20.1
3	・	422	19.9
4	・	75	3.5
5	不満	39	1.8
6	配偶者はいない	535	25.2
9	無回答	26	1.2
計		2124	100.0

Q14 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ 幸福度

コード		ケース数	%
1	幸せ	657	30.9
2	・	720	33.9
3	・	604	28.4
4	・	109	5.1
5	不幸せ	20	0.9
9	無回答	14	0.7
計		2124	100.0

Q15 あなたは過去1年間に、以下のことで英語を読んだり、聴いたり、話したりしたことが少しでもありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(多重回答) EABUS~EANONE 英語の使用 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2124	
0	非選択			
1	選択	選択者数	%	
EABUS	1 仕事	301	14.2	
EASOC	2 外国人の友人や知人とのつき合い	158	7.4	
EAART	3 映画鑑賞・音楽鑑賞・読書	570	26.8	
EAINET	4 インターネット	207	9.7	
EATRIP	5 海外旅行	197	9.3	
EAOTHER	6 その他(具体的に_____)	23	1.1	
EALEARN	学習	60	2.8	
EANONE	7 まったく使ったことがない	1180	55.6	

Q16 あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

ENGTALK 英会話のレベル

コード		ケース数	%
1	日常生活や仕事の英会話が、充分できる	16	0.8
2	日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度	77	3.6
3	道をたずねたり、レストランで注文できる程度	224	10.5
4	あいさつができる程度	708	33.3
5	ほとんど話せない	1094	51.5
9	無回答	5	0.2
計		2124	100.0

Q17 あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

ENGREAD 英語読解力のレベル

コード		ケース数	%
1	英語の本や新聞が、スラスラ読める	13	0.6
2	英語の本や新聞を、なんとか読める	95	4.5
3	短い英語の文章なら読める	391	18.4
4	簡単な英単語ならわかる	832	39.2
5	ほとんど読めない	786	37.0
9	無回答	7	0.3
計		2124	100.0

Q18 あなたは今後、英語を学習するつもりですか。

WLRNENG 英語の学習意欲

コード		ケース数	%
1	積極的に学習するつもり	73	3.4
2	機会があれば学習したい	724	34.1
3	しかたなく学習する	73	3.4
4	学習するつもりはない	1250	58.9
9	無回答	4	0.2
計		2124	100.0

Q19 あえて英語以外の外国語を学ぶとすれば、あなたは何語を学ぶことに興味がありますか。もっとも興味がある外国語1つにをつけてください。

INTFLANG 興味がある外国語

コード		ケース数	%
1	ドイツ語	147	6.9
2	フランス語	249	11.7
3	スペイン語	76	3.6
4	ポルトガル語	29	1.4
5	イタリア語	129	6.1
6	ロシア語	14	0.7
7	中国語	580	27.3
8	ハンガル(韓国・朝鮮語)	392	18.5
9	アラビア語	8	0.4
10	その他(具体的に_____)	31	1.5
11	興味がある外国語はない	158	7.4
99	無回答	311	14.6
計		2124	100.0

Q20 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくありますか。

FQ4FNR 外国人に近所で会う機会

コード		ケース数	%
1	よくある	241	11.3
2	時々ある	625	29.4
3	あまりない	669	31.5
4	まったくない	585	27.5
9	無回答	4	0.2
計		2124	100.0

Q21 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRIINCR 外国人増加の賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	865	40.7
2	反対	1102	51.9
9	無回答	157	7.4
計		2124	100.0

Q22 次にあげる国・地域について、あなたは好ましい印象をもっていますか、好ましくない印象をもっていますか。あてはまる数字に をつけてください。特に印象がない場合は「0」に をつけてください。

A 韓国

FAVFKOR 外国の好感度:韓国

コード		ケース数	%
1	-3 好ましくない	139	6.5
2	-2	109	5.1
3	-1	226	10.6
4	0	898	42.3
5	+1	345	16.2
6	+2	250	11.8
7	+3 好ましい	99	4.7
9	無回答	58	2.7
計		2124	100.0

B 北朝鮮

FAVFKPRK 外国の好感度:北朝鮮

コード		ケース数	%
1	-3 好ましくない	1464	68.9
2	-2	171	8.1
3	-1	93	4.4
4	0	323	15.2
5	+1	8	0.4
6	+2	4	0.2
7	+3 好ましい	7	0.3
9	無回答	54	2.5
計		2124	100.0

C 中国

FAVFCHN 外国の好感度:中国

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	246	11.6
2	- 2	214	10.1
3	- 1	331	15.6
4	0	809	38.1
5	+ 1	282	13.3
6	+ 2	132	6.2
7	+ 3 好ましい	50	2.4
9	無回答	60	2.8
計		2124	100.0

D モンゴル

FAVFMNG 外国の好感度:モンゴル

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	59	2.8
2	- 2	31	1.5
3	- 1	56	2.6
4	0	1325	62.4
5	+ 1	338	15.9
6	+ 2	168	7.9
7	+ 3 好ましい	80	3.8
9	無回答	67	3.2
計		2124	100.0

E 台湾

FAVFTWN 外国の好感度:台湾

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	53	2.5
2	- 2	27	1.3
3	- 1	65	3.1
4	0	1184	55.7
5	+ 1	380	17.9
6	+ 2	265	12.5
7	+ 3 好ましい	88	4.1
9	無回答	62	2.9
計		2124	100.0

F フィリピン

FAVFPHL 外国の好感度:フィリピン

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	77	3.6
2	- 2	82	3.9
3	- 1	192	9.0
4	0	1264	59.5
5	+ 1	291	13.7
6	+ 2	120	5.6
7	+ 3 好ましい	39	1.8
9	無回答	59	2.8
計		2124	100.0

G タイ

FAVFTHA 外国の好感度:タイ

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	50	2.4
2	- 2	40	1.9
3	- 1	105	4.9
4	0	1310	61.7
5	+ 1	324	15.3
6	+ 2	175	8.2
7	+ 3 好ましい	58	2.7
9	無回答	62	2.9
計		2124	100.0

H インドネシア

FAVFIDN 外国の好感度:インドネシア

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	54	2.5
2	- 2	35	1.6
3	- 1	85	4.0
4	0	1405	66.1
5	+ 1	294	13.8
6	+ 2	144	6.8
7	+ 3 好ましい	46	2.2
9	無回答	61	2.9
計		2124	100.0

I インド

FAVFIND 外国の好感度:インド

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	55	2.6
2	- 2	42	2.0
3	- 1	99	4.7
4	0	1348	63.5
5	+ 1	313	14.7
6	+ 2	146	6.9
7	+ 3 好ましい	58	2.7
9	無回答	63	3.0
計		2124	100.0

J ロシア

FAVFRUS 外国の好感度:ロシア

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	161	7.6
2	- 2	156	7.3
3	- 1	312	14.7
4	0	1125	53.0
5	+ 1	207	9.7
6	+ 2	79	3.7
7	+ 3 好ましい	21	1.0
9	無回答	63	3.0
計		2124	100.0

K アメリカ

FAVFUSA 外国の好感度:アメリカ

コード		ケース数	%
1	- 3 好ましくない	64	3.0
2	- 2	51	2.4
3	- 1	123	5.8
4	0	794	37.4
5	+ 1	447	21.0
6	+ 2	417	19.6
7	+ 3 好ましい	173	8.1
9	無回答	55	2.6
計		2124	100.0

Q23-1 あなた現在の住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE 居住形態:持ち家 (AB 共通 B 票 Q16-1)

コード		ケース数	%
1	持ち家 (親などが持ち主の場合も含む)	1694	79.8
2	民間の賃貸住宅	275	12.9
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	40	1.9
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	100	4.7
5	その他	12	0.6
9	無回答	3	0.1
計		2124	100.0

Q23-2 あなた現在の住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

TPHOUSE 居住形態:一戸建て (AB 共通 B 票 Q16-2)

コード		ケース数	%
1	一戸建て	1677	79.0
2	集合住宅 (アパート・マンションなど)	441	20.8
9	無回答	6	0.3
計		2124	100.0

Q24 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR 現在の居住地への居住年数 (AB 共通 B 票 Q17)

コード		ケース数	%
1	生まれてからずっと	394	18.5
2	1 年未満	32	1.5
3	1 年～3 年未満	150	7.1
4	3 年～5 年未満	105	4.9
5	5 年～10 年未満	219	10.3
6	10 年～20 年未満	339	16.0
7	20 年～30 年未満	314	14.8
8	30 年以上	569	26.8
99	無回答	2	0.1
計		2124	100.0

Q25 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE 現在の居住地域に住み続けたいか

コード		ケース数	%
1	ずっと住みたい	1129	53.2
2	当分の間は住みたい	739	34.8
3	できれば他の地域に引越したい	224	10.5
4	すぐにも他の地域に引越したい	25	1.2
9	無回答	7	0.3
計		2124	100.0

Q26-1 あなたは、現在、何か収入をとまなう仕事を持っていますか。

XJOBX 就労の有無

コード		ケース数	%
1	持っている	1320	62.1
2	持っていない	804	37.9
9	無回答	0	0.0
計		2124	100.0

「1 持っている」の場合

Q26-2 今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA 現在の会社・組織での就労継続意向

コード		ケース数	%
1	近いうちにやめるつもり	115	8.7
2	当分やめるつもりはない	605	45.8
3	まったくやめるつもりはない	387	29.3
4	わからない	177	13.4
9	無回答	36	2.7
計		1320	100.0
8	非該当	804	
計		2124	

Q26-3 今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

OP4UNEMP 失業の可能性

コード		ケース数	%
1	かなりある	61	4.6
2	ある程度ある	148	11.2
3	あまりない	398	30.2
4	まったくない	423	32.0
5	わからない	251	19.0
9	無回答	39	3.0
計		1320	100.0
8	非該当	804	
計		2124	

Q26-4 もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB 再就労の容易さ

コード		ケース数	%
1	非常に容易である	39	3.0
2	ある程度容易である	186	14.1
3	容易ではない	851	64.5
4	わからない	206	15.6
9	無回答	38	2.9
		計	1320
8	非該当	804	
		計	2124

Q27 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A 家計状態の変化

コード		ケース数	%
1	良くなった	193	9.1
2	悪くなった	837	39.4
3	変わらない	1087	51.2
9	無回答	7	0.3
		計	2124
			100.0

Q28 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル (AB 共通 B 票 Q18)

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	204	9.6
2	平均より少ない	668	31.5
3	ほぼ平均	928	43.7
4	平均より多い	273	12.9
5	平均よりかなり多い	31	1.5
9	無回答	20	0.9
		計	2124
			100.0

Q29 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15 15歳の頃の世帯収入レベル (AB 共通 B 票 Q20)

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	211	9.9
2	平均より少ない	551	25.9
3	ほぼ平均	947	44.6
4	平均より多い	327	15.4
5	平均よりかなり多い	49	2.3
9	無回答	39	1.8
		計	2124
			100.0

Q30 世間一般と比べて、1番上のお子さんにどのくらい教育費をかけてきましたか。

OPEXED 教育費支出のレベル (AB 共通 B 票 Q19)

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	44	2.1
2	平均より少ない	248	11.7
3	ほぼ平均	854	40.2
4	平均より多い	343	16.1
5	平均よりかなり多い	101	4.8
6	子どもはいない・まだ教育費はかけていない	512	24.1
9	無回答	22	1.0
計		2124	100.0

Q31 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA 生活水準向上機会の有無

コード		ケース数	%
1	充分にある	59	2.8
2	少しはある	240	11.3
3	どちらともいえない	823	38.7
4	あまりない	747	35.2
5	まったくない	223	10.5
9	無回答	32	1.5
計		2124	100.0

Q32 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

OP5PENSN 自分の年金額予想

コード		ケース数	%
1	かなり良くなっている	2	0.1
2	少し良くなっている	4	0.2
3	だいたい同じ	63	3.0
4	少し悪くなっている	322	15.2
5	かなり悪くなっている	1150	54.1
6	わからない	147	6.9
7	現在年金を受けている	416	19.6
9	無回答	20	0.9
計		2124	100.0

Q33 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身は、どれに入ると考えますか。

OP5LEVK 階層帰属意識 (AB 共通 B 票 Q21)

コード		ケース数	%
1	上	16	0.8
2	中の上	204	9.6
3	中の中	920	43.3
4	中の下	764	36.0
5	下	187	8.8
9	無回答	33	1.6
計		2124	100.0

Q34 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

A 高齢者の生活保障（生活費）

OP5SRWFY 国か個人か：高齢者の生活保障

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	85	4.0
2	・	170	8.0
3	・	514	24.2
4	・	637	30.0
5	国や自治体の責任	682	32.1
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

B 高齢者の医療・介護

OP5SRMDY 国か個人か：高齢者の医療・介護

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	53	2.5
2	・	96	4.5
3	・	422	19.9
4	・	728	34.3
5	国や自治体の責任	791	37.2
9	無回答	34	1.6
計		2124	100.0

C 子どもの教育

OP5CCED 国か個人か：子どもの教育

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	367	17.3
2	・	536	25.2
3	・	656	30.9
4	・	295	13.9
5	国や自治体の責任	227	10.7
9	無回答	43	2.0
計		2124	100.0

D 保育・育児

OP5CCARE 国か個人か：保育・育児

コード		ケース数	%
1	個人や家族の責任	414	19.5
2	・	520	24.5
3	・	641	30.2
4	・	301	14.2
5	国や自治体の責任	207	9.7
9	無回答	41	1.9
計		2124	100.0

Q35 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA 政治意識(保革5段階)(AB共通 B票 Q26)

コード		ケース数	%
1	保守的	153	7.2
2	・	407	19.2
3	・	1096	51.6
4	・	336	15.8
5	革新的	73	3.4
9	無回答	59	2.8
計		2124	100.0

Q36 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

OP6TAXHI 所得税の負担感

コード		ケース数	%
1	低い	15	0.7
2	やや低い	19	0.9
3	適切	249	11.7
4	やや高い	591	27.8
5	高い	693	32.6
6	わからない	271	12.8
7	課せられていない	269	12.7
9	無回答	17	0.8
計		2124	100.0

Q37 以下の事柄に対する政府の支出について、あなたはどう思いますか。

#### A 環境問題

BD3ENVA 政府の支出:環境問題

コード		ケース数	%
1	多すぎる	98	4.6
2	適当	555	26.1
3	少なすぎる	714	33.6
4	わからない	709	33.4
9	無回答	48	2.3
計		2124	100.0

#### B 犯罪の取締

BD3CRIME 政府の支出:犯罪取締

コード		ケース数	%
1	多すぎる	58	2.7
2	適当	501	23.6
3	少なすぎる	866	40.8
4	わからない	657	30.9
9	無回答	42	2.0
計		2124	100.0

## C 教育

## BD3EDUC 政府の支出:教育

コード		ケース数	%
1	多すぎる	58	2.7
2	適当	631	29.7
3	少なすぎる	868	40.9
4	わからない	515	24.2
9	無回答	52	2.4
計		2124	100.0

## D 安全保障

## BD3SAFTY 政府の支出:安全保障

コード		ケース数	%
1	多すぎる	195	9.2
2	適当	643	30.3
3	少なすぎる	572	26.9
4	わからない	656	30.9
9	無回答	58	2.7
計		2124	100.0

## E 海外援助

## BD3ODA 政府の支出:海外援助

コード		ケース数	%
1	多すぎる	1047	49.3
2	適当	486	22.9
3	少なすぎる	49	2.3
4	わからない	498	23.4
9	無回答	44	2.1
計		2124	100.0

## F 道路河川などの土木事業

## BD3CNSTR 政府の支出:土木事業

コード		ケース数	%
1	多すぎる	726	34.2
2	適当	578	27.2
3	少なすぎる	241	11.3
4	わからない	518	24.4
9	無回答	61	2.9
計		2124	100.0

## G 社会保障・年金

## BD3WFR 政府の支出:社会保障

コード		ケース数	%
1	多すぎる	56	2.6
2	適当	321	15.1
3	少なすぎる	1361	64.1
4	わからない	341	16.1
9	無回答	45	2.1
計		2124	100.0

## H 雇用・失業対策

## BD3EMPLY 政府の支出:雇用対策

コード		ケース数	%
1	多すぎる	72	3.4
2	適当	459	21.6
3	少なすぎる	990	46.6
4	わからない	560	26.4
9	無回答	43	2.0
計		2124	100.0

Q38 日本政府が開発途上国を援助することについてどう思いますか。A~Fのそれぞれの意見についてお答えください。

## A 日本の援助は途上国の発展のために欠かせない

## OPADVITL 開発援助:援助は不可欠

コード		ケース数	%
1	そう思う	336	15.8
2	どちらかといえばそう思う	1145	53.9
3	どちらかといえばそう思わない	418	19.7
4	そう思わない	149	7.0
9	無回答	76	3.6
計		2124	100.0

## B 経済的に発展した日本にとって、貧しい国を助けることは義務である

## OPADOBL 開発援助:援助は義務

コード		ケース数	%
1	そう思う	296	13.9
2	どちらかといえばそう思う	1128	53.1
3	どちらかといえばそう思わない	422	19.9
4	そう思わない	205	9.7
9	無回答	73	3.4
計		2124	100.0

## C 日本の財政状態が悪いときには援助を減らすべきだ

## OPADFIN 開発援助:財政状況に応じて減らすべき

コード		ケース数	%
1	そう思う	1008	47.5
2	どちらかといえばそう思う	810	38.1
3	どちらかといえばそう思わない	173	8.1
4	そう思わない	54	2.5
9	無回答	79	3.7
計		2124	100.0

D 援助の内容が日本国民に十分説明されていない

OPADEXP 開発援助:日本人への説明が不十分

コード		ケース数	%
1	そう思う	1397	65.8
2	どちらかといえばそう思う	527	24.8
3	どちらかといえばそう思わない	68	3.2
4	そう思わない	56	2.6
9	無回答	76	3.6
計		2124	100.0

E 日本が援助をしていることが現地の人々に十分伝わっていない

OPADINFO 開発援助:現地人への伝達が不十分

コード		ケース数	%
1	そう思う	1176	55.4
2	どちらかといえばそう思う	692	32.6
3	どちらかといえばそう思わない	110	5.2
4	そう思わない	68	3.2
9	無回答	78	3.7
計		2124	100.0

F 外交が有利になるように援助を調整すべきだ

OPADDIPL 開発援助:外交に応じて調整すべき

コード		ケース数	%
1	そう思う	595	28.0
2	どちらかといえばそう思う	857	40.3
3	どちらかといえばそう思わない	375	17.7
4	そう思わない	199	9.4
9	無回答	98	4.6
計		2124	100.0

Q39 あなたは、開発途上国を支援するための募金に協力したり、途上国に物を送ったりしたことがありますか。

XADDONAT 開発国支援の経験:募金

コード		ケース数	%
1	はい	1049	49.4
2	いいえ	1059	49.9
9	無回答	16	0.8
計		2124	100.0

Q40 あなたは、開発途上国の支援に関わる仕事やボランティア活動をしたことがありますか。

XADVOL 開発国支援の経験:ボランティア

コード		ケース数	%
1	はい	143	6.7
2	いいえ	1969	92.7
9	無回答	12	0.6
計		2124	100.0

Q41 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

QDDKILLA 安楽死の賛否 (AB 共通 B 票 Q25)

コード		ケース数	%
1	はい	1427	67.2
2	いいえ	122	5.7
3	わからない	563	26.5
9	無回答	12	0.6
計		2124	100.0

Q42 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5GVEQAA 貧富解消政策への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	660	31.1
2	どちらかといえば賛成	582	27.4
3	どちらともいえない	697	32.8
4	どちらかといえば反対	118	5.6
5	反対	49	2.3
9	無回答	18	0.8
計		2124	100.0

Q43-1 あなたは、戦争を放棄し、戦力を持たないことを決めている憲法第9条を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。

OPAMND9 憲法9条改正への意見

コード		ケース数	%
1	あると思う	702	33.1
2	ないと思う	1327	62.5
9	無回答	95	4.5
計		2124	100.0

「1 あると思う」の場合

Q43-2 それでは、第9条を改正する必要があると思う最大の理由は何ですか。最も近いもの1つにしてください。

WHYAMND9 憲法9条改正の理由

コード		ケース数	%
1	自衛隊を含めた軍力を放棄することを明確にすべきだから	63	9.0
2	同盟国とともに海外での武力行使が行えるようにすべきだから	37	5.3
3	国連を中心とする軍事活動にも貢献できるようにすべきだから	164	23.4
4	自衛力を持てることを憲法に明記すべきだから	412	58.7
9	無回答	26	3.7
計		702	100.0
8	非該当	1422	
計		2124	

Q44 女性が天皇になることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

OPEMPF 女性天皇への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	878	41.3
2	どちらかといえば賛成	823	38.7
3	どちらかといえば反対	265	12.5
4	反対	89	4.2
9	無回答	69	3.2
計		2124	100.0

Q45 皇族の女性と民間の男性との間に生まれた子どもが天皇になること(女系天皇制)に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

OPEMPFL 女系天皇への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	676	31.8
2	どちらかといえば賛成	879	41.4
3	どちらかといえば反対	350	16.5
4	反対	133	6.3
9	無回答	86	4.0
計		2124	100.0

Q46 性別にかかわらず、天皇の第一子が次の天皇になることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

OPEMP1C 長子天皇への賛否

コード		ケース数	%
1	賛成	769	36.2
2	どちらかといえば賛成	789	37.1
3	どちらかといえば反対	354	16.7
4	反対	133	6.3
9	無回答	79	3.7
計		2124	100.0

Q47 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY 支持政党 (AB 共通 B 票 Q27)

コード		ケース数	%
1	自民党	642	30.2
2	民主党	259	12.2
3	公明党	77	3.6
4	共産党	46	2.2
5	社民党	27	1.3
6	その他の政党 ( )	6	0.3
7	特に支持する政党はない	879	41.4
8	わからない	166	7.8
9	無回答	22	1.0
計		2124	100.0

Q48 政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(多重回答) OLDPOK~OPLPDONT 政権担当能力政党 共通(変数名は下記参照)

<u>コード</u>			<u>該当者数</u>	2124
0		非選択		
1		選択		
			<u>選択者数</u>	<u>%</u>
OLDPOK	1	自民党	1122	52.8
ODPOK	2	民主党	470	22.1
OKOMEIOK	3	公明党	82	3.9
OCOMMPOK	4	共産党	35	1.6
OSDPOK	5	社民党	22	1.0
OOTHEROK	6	その他の政党( )	2	0.1
ONOPLPOK	7	そのような政党はない	313	14.7
OPLPDONT	8	わからない	487	22.9

Q49 あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK 自宅周辺の危険な場所の有無

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	1393	65.6
2	いいえ	714	33.6
9	無回答	17	0.8
計		2124	100.0

Q50 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと(例えば、強盗、恐喝やひったくり)がありますか。

XROBBD1Y 強盗等の被害経験

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	33	1.6
2	いいえ	2084	98.1
9	無回答	7	0.3
計		2124	100.0

Q51 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y 空き巣被害経験

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	はい	46	2.2
2	いいえ	2070	97.5
9	無回答	8	0.4
計		2124	100.0

Q52 あなた、またはあなたの住居の管理者は、防犯のために次のようなことをしていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(多重回答) DOACSECC~DOACNONE 防犯対策 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2124	
0	非選択			
1	選択			
		選択者数	%	
DOACSECC	1 警備会社と契約	81	3.8	
DOACCAM	2 監視カメラを設置	114	5.4	
DOACDOG	3 防犯のために犬を飼う	303	14.3	
DOACKEY	4 ドアや窓の鍵に工夫 (オートロックを含む)	510	24.0	
DOACOTHR	5 上記以外の防犯対策 (具体的に )	61	2.9	
DOACLIT	明かりに工夫	58	2.7	
DOACNONE	6 特に防犯対策はしていない	1220	57.4	

Q53 あなたは、防犯のために次のような対策をとることについて、どう思いますか。

A 路上を監視するカメラの設置

OPACCAM 防犯対策への意見:路上カメラ

コード		ケース数	%	
1	賛成	806	37.9	
2	どちらかといえば賛成	914	43.0	
3	どちらかといえば反対	283	13.3	
4	反対	72	3.4	
9	無回答	49	2.3	
計		2124	100.0	

B 性犯罪歴のある人の住所の公表

OPACSEXC 防犯対策への意見:性犯罪者の住所公表

コード		ケース数	%	
1	賛成	751	35.4	
2	どちらかといえば賛成	869	40.9	
3	どちらかといえば反対	349	16.4	
4	反対	76	3.6	
9	無回答	79	3.7	
計		2124	100.0	

C 地域住民によるパトロール

OPACPTRL 防犯対策への意見:住民パトロール

コード		ケース数	%	
1	賛成	1021	48.1	
2	どちらかといえば賛成	923	43.5	
3	どちらかといえば反対	119	5.6	
4	反対	23	1.1	
9	無回答	38	1.8	
計		2124	100.0	

D インターネットの書き込み内容の監視

OPACINET 防犯対策への意見: インターネットの監視

コード		ケース数	%
1	賛成	616	29.0
2	どちらかといえば賛成	904	42.6
3	どちらかといえば反対	362	17.0
4	反対	93	4.4
9	無回答	149	7.0
計		2124	100.0

Q54 いっしょに自殺をしてくれる仲間をインターネットなどで探す人がいます。あなたは、このような人の気持ちが理解できますか。

OPSCDIN インターネット自殺への意見

コード		ケース数	%
1	よく理解できる	17	0.8
2	ある程度理解できる	201	9.5
3	あまり理解できない	455	21.4
4	まったく理解できない	1434	67.5
9	無回答	17	0.8
計		2124	100.0

Q55 どうしようもない困難に陥った人は、自殺をしてもやむをえないと思いますか。

OPSCD 自殺への意見

コード		ケース数	%
1	そう思う	75	3.5
2	どちらかといえばそう思う	248	11.7
3	どちらかといえばそう思わない	423	19.9
4	そう思わない	1345	63.3
9	無回答	33	1.6
計		2124	100.0

Q56 あなたは、ここ5年の間に「自殺をしたい」と考えたことがありましたか。

XWNTSCD 自殺願望の経験

コード		ケース数	%
1	あった	117	5.5
2	ここ5年はないが、それ以前にはあった	245	11.5
3	一度もない	1743	82.1
9	無回答	19	0.9
計		2124	100.0

Q57 一般的に、子どもにとって以下のことはどの程度重要だと思いますか。

A 習い事をする事

IMEDLSSN 重要な教育: 習い事 (AB 共通 B 票 Q23A)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	171	8.1
2	重要である	615	29.0
3	少しは重要である	1132	53.3
4	重要でない	176	8.3
9	無回答	30	1.4
計		2124	100.0

## B 塾や予備校に通うこと

IMEDCRAM 重要な教育:塾・予備校 (AB 共通 B 票 Q23B)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	55	2.6
2	重要である	365	17.2
3	少しは重要である	1214	57.2
4	重要でない	455	21.4
9	無回答	35	1.6
計		2124	100.0

## C 大学に入ること

IMEDUNIV 重要な教育:大学 (AB 共通 B 票 Q23C)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	144	6.8
2	重要である	534	25.1
3	少しは重要である	947	44.6
4	重要でない	462	21.8
9	無回答	37	1.7
計		2124	100.0

## D 大学のなかでも高いレベルの大学に入ること

IMEDHRU 重要な教育:高レベルの大学 (AB 共通 B 票 Q23D)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	96	4.5
2	重要である	378	17.8
3	少しは重要である	787	37.1
4	重要でない	822	38.7
9	無回答	41	1.9
計		2124	100.0

Q58 教育について次のような意見があります。それぞれについてあなたはどのように思いますか。

## A 高い学歴を得れば、希望する仕事につくことができる

OP4EDJOB 教育観:高い学歴で希望職に就ける (AB 共通 B 票 Q24A)

コード		ケース数	%
1	そう思う	189	8.9
2	どちらかといえばそう思う	898	42.3
3	どちらかといえばそう思わない	544	25.6
4	そう思わない	457	21.5
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

B 高い学歴を得れば、収入面で恵まれる

OP4EDINC 教育観: 高い学歴は収入面に恵まれる (AB 共通 B 票 Q24B)

コード		ケース数	%
1	そう思う	229	10.8
2	どちらかといえばそう思う	964	45.4
3	どちらかといえばそう思わない	508	23.9
4	そう思わない	387	18.2
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

C 高い学歴を得れば、よりよい結婚ができる

OP4EDMG 教育観: 高い学歴でよい結婚ができる (AB 共通 B 票 Q24C)

コード		ケース数	%
1	そう思う	71	3.3
2	どちらかといえばそう思う	385	18.1
3	どちらかといえばそう思わない	746	35.1
4	そう思わない	884	41.6
9	無回答	38	1.8
計		2124	100.0

Q59 あなたご自身は、経済的な理由で進学を断念したことがありますか。

XQTEDU 経済的理由で進学を断念した経験

コード		ケース数	%
1	ある	497	23.4
2	ない	1591	74.9
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

Q60-1 あなたは中学3年の頃、将来なりたい職業を考えていましたか。旧制の学校を卒業された方は尋常小学校や国民学校の最終学年の頃について、お答えください。

WNTJB 将来なりたかった職業の有無

コード		ケース数	%
1	具体的に考えていた	206	9.7
2	漠然と <sup>ぼくぜん</sup> 考えていた	713	33.6
3	まったく考えていなかった	1071	50.4
4	職業につこうと思っていなかった	100	4.7
9	無回答	34	1.6
計		2124	100.0

「1 具体的に考えていた」「2 漠然と<sup>ぼくぜん</sup>考えていた」の場合

Q60-2 そのなかで最もなりたかった職業の内容を具体的に記入してください。

(例えば、中学校の教員、プロ野球選手、医師、美容師、デザイナー、トラック運転手、警察官、看護師、大工、農業、職業軍人、ケーキ屋、建築技術者、パイロット、保育士、役場の事務員など)

注) この設問のコードは、回答者が「なりたかった」職業を表すものなので、客観的な職業を表す職業コード (XXJOB など資料 3.3 職業コード 参照) とはコーディング方針が異なる。コード間で職業区分の水準にばらつきがあるのはそのためである。

## WNTJBX 将来なりたかった職業

コード		ケース数	%
501	科学者、研究者、研究職、天文学者、理系の研究者、工学研究者、医学研究者	11	1.2
502	考古学者、文化財の研究員	2	0.2
503	電気・化学技術者（技工士、自動車技術者の各1ケースを含む）	10	1.1
504	建築家、建築技術士、（1級）建築士、設計技士、設計士（土木エンジニアの1ケースを含む）	36	3.9
506	コンピュータエンジニア、コンピュータプログラマー、プログラマー	5	0.5
507	技術者（織物設計士の1ケースを含む）	11	1.2
508	医師	15	1.6
509	歯科医師	1	0.1
510	薬剤師	11	1.2
513	栄養士	7	0.8
514	看護師、看護婦	66	7.1
516	歯科衛生士	1	0.1
517	弁護士（裁判官、検事の各1ケースを含む）	12	1.3
519	公認会計士、会計士	3	0.3
520	幼稚園教諭、幼稚園の先生	4	0.4
521	小学校教員	19	2.0
522	中学校教員	10	1.1
523	高校教員	7	0.8
524	大学教授	5	0.5
525	養護学校の先生	1	0.1
526	教育関係、洋裁学校の先生、料理学校の先生	2	0.2
528	小説家（翻訳家は802の新コード）（コピーライターの1ケースを含む）	3	0.3
529	雑誌・新聞等の編集者・記者	9	1.0
530	イラストレーター、美術関係	3	0.3
531	デザイナー（インテリアコーディネーター、インテリアデザイナー、グラフィックデザイナーの各1ケースを含む）	23	2.5
532	カメラマン、写真	2	0.2
533	音楽家（「音楽に関連する仕事」の1ケースを含む）	12	1.3
534	映画関係、音楽プロデューサー、テレビ局編成、日本舞踊士	4	0.4
535	その他のプロスポーツ選手	7	0.8
536	獣医	2	0.2
537	保育士、保母	50	5.4
538	児童相談員、ソーシャルワーカー	2	0.2
539	音楽以外の個人教師	7	0.8
541	経営コンサルタント	1	0.1
542	アナウンサー（ディスクジョッキーの1ケースを含む）	6	0.6
543	図書館司書	7	0.8
544	ピアノ調律師	1	0.1
546	首相、政治家	3	0.3
548	経営者、実業家、社長、企業家	5	0.5
549	国連職員	1	0.1
550	えらい人	1	0.1
554	（ただ）事務（だけ）会社・企業の事務員（学校での事務の1ケースを含む）、秘書	19	2.0
558	医療事務	1	0.1

559	銀行員、経理事務、金融関係の仕事	6	0.6
560	郵便局員	2	0.2
563	国鉄職（駅員）国鉄職員	2	0.2
564	商社のタイピスト	1	0.1
566	小売店主（酒店、電器店、花屋、本屋、商店、牛乳の販売業 等各1ケースずつ）	7	0.8
567	農機具販売	1	0.1
569	販売員、デパートの店員	5	0.5
572	商人（食品営業）	1	0.1
578	施設職員（障害者）、ホームヘルパー	2	0.2
579	美容師（ヘアメイクアーティストの1ケースを含む）	35	3.8
580	クリーニング店（職）	2	0.2
581	板前、コック、寿司職人、調理師、料理研究家、料理人	14	1.5
584	客室乗務員、スチュワーデス	11	1.2
587	旅行の添乗員、ツアーコンダクター	3	0.3
588	サービス業全般	1	0.1
592	トリマー	3	0.3
593	自衛官	3	0.3
594	警察官	14	1.5
598	職業軍人	21	2.3
599	農業	21	2.3
601	牧場、畜産	2	0.2
604	漁業（海女など）	4	0.4
606	電車の運転士・機関士	5	0.5
607	タクシーの運転手、トラック運転手、長距離ドライバー	8	0.9
608	船長、航海士、上級船員	4	0.4
609	船舶機関士	2	0.2
610	パイロット	19	2.0
612	鉄道員	2	0.2
613	船員	8	0.9
615	船員（無線従事者）	1	0.1
624	石工	1	0.1
625	ガラス職人	1	0.1
630	金属加工、旋盤工	3	0.3
631	鉄工	2	0.2
633	機械工、機械職人	3	0.3
635	自動車修理工、自動車整備工	12	1.3
636	電車製造業	1	0.1
639	自転車屋	1	0.1
644	パン屋（豆菓子製造業の1ケースを含む）	4	0.4
645	食品関係の仕事	1	0.1
647	酒造業	2	0.2
651	和服仕立、和裁、洋裁、パタンナー	5	0.5
652	裁縫、縫製	2	0.2
654	家具職人	1	0.1
661	アニメーション関連、アニメーター	2	0.2
665	装飾品を作る女工	1	0.1
677	電気工事、電気通信関連事業	3	0.3
679	左官	1	0.1
684	潜水士	1	0.1
689	分類不能の職業	2	0.2
702	大工	16	1.7

703	教員	61	6.6	
704	職人（製造業、物造り、「手に職」の各1ケースを含む）	6	0.6	
705	会社員、サラリーマン	9	1.0	
708	（役場以外の）公務員	15	1.6	
801	エンジニア（分野のわからないもの）（工業エンジニアの1ケースを含む）	7	0.8	
802	翻訳家	4	0.4	
803	漫画家	5	0.5	
804	服飾関連のデザイナー（スタイリストの1ケースを含む）	5	0.5	
805	歌手、俳優、芸能人、お笑い芸人	10	1.1	
806	プロサッカー選手	4	0.4	
807	プロ野球選手	8	0.9	
808	介護士、介護福祉士、介護職	4	0.4	
809	ピアノ教師など、音楽関連の個人教師	4	0.4	
810	通訳、同時通訳（英語を活かした仕事、教師以外の英語を使う仕事の各1ケースを含む）	10	1.1	
811	カウンセラー、心理カウンセラー	3	0.3	
812	役場の事務員、役場	7	0.8	
813	お菓子屋、お菓子店、パティシエール、ケーキ職人、ケーキ屋	5	0.5	
814	理容師、床屋	3	0.3	
815	宇宙飛行士	1	0.1	
816	機械技術者	8	0.9	
901	収入のある仕事	2	0.2	
902	大企業に入ること	1	0.1	
903	外資系の会社、ビジネス専門の会社	1	0.1	
904	航空会社社員	1	0.1	
905	高収入を得られる仕事	1	0.1	
990	その他の生徒・学生	1	0.1	
991	拒否	3	0.3	
992	忘れた、覚えていない	2	0.2	
9999	不明・無回答	57	6.1	
		計	931	100.0
8888	非該当			1193
		計	2124	

Q60-3 その最もなりたかった職業は、あなたの親と同じ職業でしたか。

WNTJBPM なりたかった職業は親の職業か

コード		ケース数	%	
1	はい	107	11.5	
2	いいえ	814	87.4	
9	無回答	10	1.1	
		計	931	100.0
8	非該当			1193
		計	2124	

Q60-4 その最もなりたかった職業に、あなたはついたことがありますか。

XWNTJOB なりたかった職業に就けたか

コード		ケース数	%
1	はい	272	29.2
2	いいえ	648	69.6
9	無回答	11	1.2
		計	931
8	非該当	1193	
		計	2124

Q61-1 あなたがお住まいの地域では、次のような地域でのボランティア活動が行なわれていますか。

行なわれているものすべてに をつけてください。

(多重回答) LACLN~LADK 地域活動 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2124
0	非選択		
1	選択		
		選択者数	%
LACLN	1 地域の清掃活動	1313	61.8
LARCYC	2 リサイクル品の回収	1112	52.4
LAPTRL	3 地域のパトロール	744	35.0
LANONE	4 いずれも行なわれていない	146	6.9
LADK	5 わからない	328	15.4

「1 地域の清掃活動」「2 リサイクル品の回収」「3 地域のパトロール」を選択した場合

Q61-2 あなた自身はそのような活動に参加していますか。参加しているものすべてに をつけてください。

(多重回答) DOLACLN~DOLANONE 地域活動への参加 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	1638
0	非選択		
1	選択		
		選択者数	%
DOLACLN	1 地域の清掃活動	908	55.4
DOLARCYC	2 リサイクル品の回収	631	38.5
DOLAPTRL	3 地域のパトロール	201	12.3
DOLANONE	4 いずれも参加していない	480	29.3

Q62 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCGSXB 希望する子どもの性別

コード		ケース数	%
1	男の子	974	45.9
2	女の子	1006	47.4
9	無回答	144	6.8
		計	2124
			100.0

Q63 次のA~Iの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい

Q4DIVOK 意見についての賛否:離婚

コード		ケース数	%
1	賛成	159	7.5
2	どちらかといえば賛成	534	25.1
3	どちらかといえば反対	1023	48.2
4	反対	355	16.7
9	無回答	53	2.5
計		2124	100.0

B 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい

Q4WWJBIA 意見についての賛否:妻の仕事

コード		ケース数	%
1	賛成	266	12.5
2	どちらかといえば賛成	659	31.0
3	どちらかといえば反対	844	39.7
4	反対	307	14.5
9	無回答	48	2.3
計		2124	100.0

C なんといても女性の幸福は結婚にある

Q4WNMGA 意見についての賛否:女性の幸福

コード		ケース数	%
1	賛成	216	10.2
2	どちらかといえば賛成	732	34.5
3	どちらかといえば反対	706	33.2
4	反対	405	19.1
9	無回答	65	3.1
計		2124	100.0

D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ

Q4MNCOOK 意見についての賛否:男性の家事

コード		ケース数	%
1	賛成	643	30.3
2	どちらかといえば賛成	1178	55.5
3	どちらかといえば反対	215	10.1
4	反対	49	2.3
9	無回答	39	1.8
計		2124	100.0

E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q4WWHHX 意見についての賛否:性役割分担

コード		ケース数	%
1	賛成	233	11.0
2	どちらかといえば賛成	800	37.7
3	どちらかといえば反対	702	33.1
4	反対	341	16.1
9	無回答	48	2.3
計		2124	100.0

F なんといても男性の幸福は結婚にある

Q4MNMGA 意見についての賛否:男性の幸福

コード		ケース数	%
1	賛成	200	9.4
2	どちらかといえば賛成	779	36.7
3	どちらかといえば反対	686	32.3
4	反対	381	17.9
9	無回答	78	3.7
計		2124	100.0

G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える

Q4JBMCC 意見についての賛否:子どもへの影響

コード		ケース数	%
1	賛成	250	11.8
2	どちらかといえば賛成	714	33.6
3	どちらかといえば反対	771	36.3
4	反対	323	15.2
9	無回答	66	3.1
計		2124	100.0

H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

Q4NOCCMG 意見についての賛否:子どもをもつ必要

コード		ケース数	%
1	賛成	223	10.5
2	どちらかといえば賛成	497	23.4
3	どちらかといえば反対	887	41.8
4	反対	458	21.6
9	無回答	59	2.8
計		2124	100.0

I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

Q4WWHPHH 意見についての賛否:妻は夫の手助け

コード		ケース数	%
1	賛成	193	9.1
2	どちらかといえば賛成	685	32.3
3	どちらかといえば反対	872	41.1
4	反対	310	14.6
9	無回答	64	3.0
計		2124	100.0

Q64 一般的に、人は信用できると思いますか。

OP3TRUST 人間観(一般):人は信用できる

コード		ケース数	%
1	はい	455	21.4
2	いいえ	196	9.2
3	場合による	1462	68.8
9	無回答	11	0.5
計		2124	100.0

Q65 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号(1~7)を1つ選んでください。

OP7GDEVO 人間観(一般):人間の本性

コード		ケース数	%
1	人間の本性は本来「悪」である	47	2.2
2	・	62	2.9
3	・	212	10.0
4	・	739	34.8
5	・	487	22.9
6	・	335	15.8
7	人間の本性は本来「善」である	201	9.5
9	無回答	41	1.9
計		2124	100.0

Q66 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

A 政治関係の団体や会

MEMPLTGP 組織への所属:政治団体

コード		ケース数	%
1	はい	108	5.1
2	いいえ	1981	93.3
9	無回答	35	1.6
計		2124	100.0

B 業界団体・同業者団体

MEMIND 組織への所属:業界団体

コード		ケース数	%
1	はい	216	10.2
2	いいえ	1868	87.9
9	無回答	40	1.9
計		2124	100.0

C ボランティアのグループ

MEMVLNTR 組織への所属:ボランティアのグループ

コード		ケース数	%
1	はい	185	8.7
2	いいえ	1903	89.6
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

D 市民運動・消費者運動のグループ

MEMCIVIL 組織への所属:市民運動のグループ

コード		ケース数	%
1	はい	64	3.0
2	いいえ	2021	95.2
9	無回答	39	1.8
計		2124	100.0

E 宗教の団体や会

MEMRL 組織への所属:宗教の団体や会

コード		ケース数	%
1	はい	175	8.2
2	いいえ	1906	89.7
9	無回答	43	2.0
計		2124	100.0

F スポーツ関係のグループやクラブ

MEMSPORT 組織への所属:スポーツ関係のグループやクラブ

コード		ケース数	%
1	はい	409	19.3
2	いいえ	1681	79.1
9	無回答	34	1.6
計		2124	100.0

G 趣味の会(コーラス・写真・山歩きなど)

MEMHOBBY 組織への所属:趣味の会

コード		ケース数	%
1	はい	354	16.7
2	いいえ	1739	81.9
9	無回答	31	1.5
計		2124	100.0

Q67-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL 信仰する宗教の有無(本人) (AB 共通 B 票 Q9-1)

コード		ケース数	%
1	ある	242	11.4
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	498	23.4
3	ない	1358	63.9
9	無回答	26	1.2
計		2124	100.0

「1 ある」「2 特に信仰していないが、家の宗教はある」の場合

Q67-2 それは何ですか。(具体的に\_\_\_\_\_)

XXRL 信仰する宗教(本人) (AB 共通 B 票 Q9-2)

コード		ケース数	%
10	仏教	192	25.7
11	禅宗(曹洞宗・臨済宗)	48	6.4
12	天台宗	10	1.3
13	浄土宗	27	3.6
14	浄土真宗(本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏)	161	21.6
15	真言宗	44	5.9
16	日蓮宗	29	3.9
18	法華経・法華宗	1	0.1
19	本門佛立宗	1	0.1
20	神道	6	0.8
29	仏教+神道(仏様・神様)	7	0.9
30	キリスト教	10	1.3
31	カトリック	4	0.5
32	プロテスタント	4	0.5
35	エホバの証人	1	0.1
36	世界救世教	1	0.1
37	統一教会(世界基督教統一神霊協会)	1	0.1
41	創価学会	50	6.7
42	立正佼成会	7	0.9
43	霊友会	3	0.4
44	仏所護念会	1	0.1
45	幸福の科学	2	0.3
52	天理教	7	0.9
53	真如苑	5	0.7
54	神幽現救世真光文明教団	1	0.1
55	PL 教団	1	0.1
58	生長の家	2	0.3
59	金光教	1	0.1
60	黒住教	3	0.4
80	先祖供養	5	0.7
82	日蓮正宗	14	1.9
85	その他	13	1.7
87	わからない	5	0.7
99	無回答	80	10.7
	計	747	100.0
88	非該当	1377	
	計	2124	

Q67-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS 信仰の度合い(本人) (AB 共通 B 票 Q9-3)

コード		ケース数	%
1	熱心である	50	6.7
2	まあまあ熱心である	219	29.3
3	そんなに熱心ではない	452	60.5
9	無回答	26	3.5
	計	747	100.0
8	非該当	1377	
	計	2124	

Q68 次にあげる A~O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

A 大企業

TR3CORPZ 組織への信頼:大企業

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	93	4.4
2	少しは信頼している	1142	53.8
3	ほとんど信頼していない	400	18.8
4	わからない	451	21.2
9	無回答	38	1.8
計		2124	100.0

B 宗教団体

TR3RLGPZ 組織への信頼:宗教団体

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	68	3.2
2	少しは信頼している	240	11.3
3	ほとんど信頼していない	1296	61.0
4	わからない	486	22.9
9	無回答	34	1.6
計		2124	100.0

C 学校

TR3SCHLZ 組織への信頼:学校

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	177	8.3
2	少しは信頼している	1395	65.7
3	ほとんど信頼していない	278	13.1
4	わからない	241	11.3
9	無回答	33	1.6
計		2124	100.0

D 中央官庁

TR3BCRAZ 組織への信頼:中央官庁

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	52	2.4
2	少しは信頼している	823	38.7
3	ほとんど信頼していない	696	32.8
4	わからない	518	24.4
9	無回答	35	1.6
計		2124	100.0

## E 労働組合

## TR3UNNZ 組織への信頼:労働組合

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	48	2.3
2	少しは信頼している	731	34.4
3	ほとんど信頼していない	552	26.0
4	わからない	753	35.5
9	無回答	40	1.9
計		2124	100.0

## F 新聞

## TR3NWSPZ 組織への信頼:新聞

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	418	19.7
2	少しは信頼している	1435	67.6
3	ほとんど信頼していない	117	5.5
4	わからない	124	5.8
9	無回答	30	1.4
計		2124	100.0

## G 病院

## TR3HSPLZ 組織への信頼:病院

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	410	19.3
2	少しは信頼している	1469	69.2
3	ほとんど信頼していない	107	5.0
4	わからない	105	4.9
9	無回答	33	1.6
計		2124	100.0

## H テレビ

## TR3TVZ 組織への信頼:テレビ

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	193	9.1
2	少しは信頼している	1426	67.1
3	ほとんど信頼していない	280	13.2
4	わからない	191	9.0
9	無回答	34	1.6
計		2124	100.0

## I 裁判所

## TR3SPCAZ 組織への信頼:裁判所

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	417	19.6
2	少しは信頼している	1149	54.1
3	ほとんど信頼していない	119	5.6
4	わからない	405	19.1
9	無回答	34	1.6
計		2124	100.0

J 学者・研究者

TR3ACDAZ 組織への信頼: 学者・研究者

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	231	10.9
2	少しは信頼している	1178	55.5
3	ほとんど信頼していない	175	8.2
4	わからない	507	23.9
9	無回答	33	1.6
計		2124	100.0

K 国会議員

TR3CGMNZ 組織への信頼: 国会議員

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	47	2.2
2	少しは信頼している	692	32.6
3	ほとんど信頼していない	946	44.5
4	わからない	409	19.3
9	無回答	30	1.4
計		2124	100.0

L 市区町村議会議員

TR3CITYZ 組織への信頼: 市区町村議会議員

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	56	2.6
2	少しは信頼している	767	36.1
3	ほとんど信頼していない	862	40.6
4	わからない	403	19.0
9	無回答	36	1.7
計		2124	100.0

M 自衛隊

TR3DEFZ 組織への信頼: 自衛隊

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	264	12.4
2	少しは信頼している	1107	52.1
3	ほとんど信頼していない	295	13.9
4	わからない	425	20.0
9	無回答	33	1.6
計		2124	100.0

N 警察

TR3COPZ 組織への信頼: 警察

コード		ケース数	%
1	とても信頼している	275	12.9
2	少しは信頼している	1278	60.2
3	ほとんど信頼していない	317	14.9
4	わからない	222	10.5
9	無回答	32	1.5
計		2124	100.0

○ 金融機関

TR3FINZ 組織への信頼:金融機関

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	とても信頼している	154	7.3
2	少しは信頼している	1116	52.5
3	ほとんど信頼していない	480	22.6
4	わからない	344	16.2
9	無回答	30	1.4
計		2124	100.0

. 3 基礎集計表・コード表：留置調査票 B 票

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV テレビ視聴時間 (AB 共通 A 票 Q1)

コード		ケース数	%
(実数記入)	0 時間くらい	35	1.6
	1 時間くらい	258	12.1
	2 時間くらい	468	22.0
	3 時間くらい	534	25.1
	4 時間くらい	304	14.3
	5 時間くらい	254	11.9
	6 時間くらい	109	5.1
	7 時間くらい	45	2.1
	8 時間くらい	43	2.0
	9 時間くらい	9	0.4
	10 時間くらい	43	2.0
	11 時間以上	14	0.7
999	無回答	14	0.7
		計	2130 100.0

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ 1ヶ月の読書冊数 (AB 共通 A 票 Q2)

コード		ケース数	%
0	ほとんど読まない	1038	48.7
1	1冊程度	588	27.6
2	2冊程度	249	11.7
3	3冊程度	108	5.1
4	4冊以上	136	6.4
9	無回答	11	0.5
		計	2130 100.0

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP 新聞を読む頻度 (AB 共通 A 票 Q3)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	1537	72.2
2	週数回	237	11.1
3	週1回程度	90	4.2
4	それ以下	97	4.6
5	まったく読まない	166	7.8
9	無回答	3	0.1
		計	2130 100.0

Q4 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP 1泊以上の旅行頻度（AB共通 A票 Q6）

コード		ケース数	%
1	月に数回	11	0.5
2	月に1回程度	52	2.4
3	年に数回	674	31.6
4	年に1回程度	808	37.9
5	まったくしない	577	27.1
9	無回答	8	0.4
計		2130	100.0

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 夕食の用意

FQ7CKDNR 夕食の用意：頻度（本人）（AB共通 A票 Q7C）

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	990	46.5
2	週に数回	176	8.3
3	週に1回程度	117	5.5
4	月に1回程度	95	4.5
5	年に数回	147	6.9
6	年に1回程度	44	2.1
7	まったくしていない	550	25.8
9	無回答	11	0.5
計		2130	100.0

B 洗濯

FQ7WASH 洗濯：頻度（本人）（AB共通 A票 Q7D）

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	844	39.6
2	週に数回	342	16.1
3	週に1回程度	144	6.8
4	月に1回程度	62	2.9
5	年に数回	114	5.4
6	年に1回程度	35	1.6
7	まったくしていない	577	27.1
9	無回答	12	0.6
計		2130	100.0

C 買い物（日用品や食料品の買い物）

FQ7SHOP 買い物：頻度（本人）（AB共通 A票 Q7E）

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	467	21.9
2	週に数回	715	33.6
3	週に1回程度	423	19.9
4	月に1回程度	189	8.9
5	年に数回	97	4.6
6	年に1回程度	16	0.8
7	まったくしていない	212	10.0
9	無回答	11	0.5
計		2130	100.0

D 家の掃除

FQ7CLEAN 家の掃除:頻度(本人) (AB 共通 A 票 Q7F)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	580	27.2
2	週に数回	467	21.9
3	週に1回程度	380	17.8
4	月に1回程度	183	8.6
5	年に数回	196	9.2
6	年に1回程度	40	1.9
7	まったくしていない	273	12.8
9	無回答	11	0.5
計		2130	100.0

E ゴミ出し

FQ7GARB ゴミ出し:頻度(本人) (AB 共通 A 票 Q7G)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	230	10.8
2	週に数回	966	45.4
3	週に1回程度	233	10.9
4	月に1回程度	133	6.2
5	年に数回	132	6.2
6	年に1回程度	32	1.5
7	まったくしていない	398	18.7
9	無回答	6	0.3
計		2130	100.0

Q6-1 あなたの家では、現在、犬・猫またはその他のペットを飼っていますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

(多重回答) DODOGE~DOPNONE ペットの保有 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2130		
0	非選択				
1	選択				
		<u>選択者数</u>		<u>%</u>	
DOPDOGE	1 犬(室外で)	240		11.3	
DOPDOGI	2 犬(室内で)	241		11.3	
DOPCATE	3 猫(室外で)	58		2.7	
DOPCATI	4 猫(室内で)	195		9.2	
DOPOTHR	5 その他のペット	163		7.7	
DOPNONE	6 何も飼っていない	1371		64.4	

「1 犬(室外で)」「2 犬(室内で)」「3 猫(室外で)」「4 猫(室内で)」「5 その他のペット」を選択した場合

Q6-2 あなた自身は、そのペットの世話をしていますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

(多重回答) DOPCDOGE~DOPCNONE 世話をしているペット 共通 (変数名は下記参照)

<u>コード</u>		<u>該当者数</u>	755	
0	非選択			
1	選択			
		<u>選択者数</u>		<u>%</u>
DOPCDOGE	1 犬(室外で)	198		26.2
DOPCDOGI	2 犬(室内で)	209		27.7
DOPCGATE	3 猫(室外で)	38		5.0
DOPCCATI	4 猫(室内で)	152		20.1
DOPCOTHR	5 その他のペット	110		14.6
DOPCNONE	6 世話はしていない	146		19.3

Q7 あなたは、これまでに、飼っていた犬または猫の死を経験したことがありますか。

XDTHPET ペットの死の経験

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	ある	1219	57.2
2	ない	831	39.0
9	無回答	80	3.8
	計	2130	100.0

Q8 次の意見について、あなたはどのように思いますか。

A ペットの管理はもっと厳しく規制するべきだ

OPPTREG ペットへの意見:厳しく規制

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	884	41.5
2	どちらかといえばそう思う	837	39.3
3	どちらかといえばそう思わない	249	11.7
4	そう思わない	112	5.3
9	無回答	48	2.3
	計	2130	100.0

B ペットは気持ちをなごませてくれる

OPPTCALM ペットへの意見:気持ちがなごむ

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	そう思う	1233	57.9
2	どちらかといえばそう思う	644	30.2
3	どちらかといえばそう思わない	100	4.7
4	そう思わない	94	4.4
9	無回答	59	2.8
	計	2130	100.0

C 不治の病にかかったペットは安楽死させるべきだ

OPPTKILL ペットへの意見:安楽死

コード		ケース数	%
1	そう思う	444	20.8
2	どちらかといえばそう思う	574	26.9
3	どちらかといえばそう思わない	585	27.5
4	そう思わない	448	21.0
9	無回答	79	3.7
計		2130	100.0

Q9-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL 信仰する宗教の有無(本人) (AB 共通 A 票 Q67-1)

コード		ケース数	%
1	ある	263	12.3
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	500	23.5
3	ない	1330	62.4
9	無回答	37	1.7
計		2130	100.0

「1 ある」「2 特に信仰していないが、家の宗教はある」の場合

Q9-2 それは何ですか。(具体的に\_\_\_\_\_)

XXRL 信仰する宗教(本人) (AB 共通 A 票 Q67-2)

コード		ケース数	%
10	仏教	183	23.3
11	禅宗(曹洞宗・臨済宗)	50	6.4
12	天台宗	6	0.8
13	浄土宗	37	4.7
14	浄土真宗(本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏)	144	18.3
15	真言宗	54	6.9
16	日蓮宗	40	5.1
17	時宗	1	0.1
18	法華経・法華宗	6	0.8
20	神道	15	1.9
22	大山ねずの命神示教会	2	0.3
29	仏教+神道(仏様・神様)	6	0.8
30	キリスト教	18	2.3
31	カトリック	4	0.5
32	プロテスタント	3	0.4
35	エホバの証人	5	0.6
36	世界救世教	1	0.1
41	創価学会	43	5.5
42	立正佼成会	4	0.5
43	霊友会	3	0.4
44	仏所護念会	1	0.1
45	幸福の科学	1	0.1
51	崇教真光・真光	1	0.1
52	天理教	5	0.6
53	真如苑	2	0.3
55	PL 教団	2	0.3
56	霊波之光	3	0.4
58	生長の家	1	0.1

59	金光教	3	0.4
60	黒住教	3	0.4
80	先祖供養	9	1.1
82	日蓮正宗	14	1.8
85	その他	26	3.3
87	わからない	6	0.8
99	無回答	83	10.6
		計	785
88	非該当	1345	100.0
		計	2130

Q9-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS 信仰の度合い(本人) (AB 共通 A票 Q67-3)

コード		ケース数	%
1	熱心である	71	9.0
2	まあまあ熱心である	206	26.2
3	そんなに熱心ではない	472	60.1
9	無回答	36	4.6
		計	785
8	非該当	1345	100.0
		計	2130

Q10 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHE 健康状態(本人) (EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	非常に良い	332	15.6
2	・	702	33.0
3	・	822	38.6
4	・	222	10.4
5	非常に悪い	45	2.1
9	無回答	7	0.3
		計	2130
			100.0

Q11-1 現在、あなたには次の症状がありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(多重回答) HAATOPI~HANONE 症状の有無(本人) 共通 (変数名は下記参照)

コード		該当者数	2130	
0	非選択			
1	選択			
		選択者数	%	
HAATOPI	1	アトピー性皮膚炎	103	4.8
HAKAFUN	2	花粉症	434	20.4
HAZENSOK	3	ぜんそく	97	4.6
HAFOOD	4	食物アレルギー	88	4.1
HANONE	5	いずれもない	1498	70.3

Q11-2 あなたが同居しているご家族の中に、現在、次の症状のある方はいますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(多重回答) FAATOPI~FANOFF 症状の有無(同居家族) 共通(変数名は下記参照)

コード		該当者数	2130	
			選択者数	%
0	非選択			
1	選択			
FAATOPI	1 アトピー性皮膚炎	222	222	10.4
FAKAFUN	2 花粉症	540	540	25.4
FAZENSOK	3 ぜんそく	155	155	7.3
FAFOOD	4 食物アレルギー	85	85	4.0
FANONE	5 いずれもない	1162	1162	54.6
FANOFF	6 誰とも同居していない	174	174	8.2

Q12 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと(例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死)を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y トラウマの回数(AB共通 A票Q12)

コード		ケース数	%
0	なし	893	41.9
1	1回	605	28.4
2	2回	361	16.9
3	3回	162	7.6
4	4回以上	101	4.7
9	無回答	8	0.4
計		2130	100.0

Q13-1 あなたは、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。

XCARE 介護経験(本人)

コード		ケース数	%
1	したことがない	1503	70.6
2	現在行なっている	124	5.8
3	過去に行なったことがある	495	23.2
9	無回答	8	0.4
計		2130	100.0

「2 現在行なっている」「3 過去に行なったことがある」の場合

Q13-2 それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

(多重回答) XC2SS~XC2OTHR 介護の相手(本人) 共通(変数名は下記参照)

コード		該当者数	620	
			選択者数	%
0	非選択			
1	選択			
XC2SS	1 配偶者	128	128	20.6
XC2PM	2 あなたの親	289	289	46.6
XC2SSPM	3 配偶者の親	212	212	34.2
XC2OTHR	4 その他( )	65	65	10.5

Q14 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

A 住んでいる地域

ST5AREAY 生活満足度：居住地域（AB共通 A票 Q13A）

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	572	26.9
2	・	634	29.8
3	・	658	30.9
4	・	185	8.7
5	不満	58	2.7
9	無回答	23	1.1
計		2130	100.0

B 余暇の過ごし方

ST5LEISY 生活満足度：余暇利用（AB共通 A票 Q13B）

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	401	18.8
2	・	623	29.2
3	・	764	35.9
4	・	248	11.6
5	不満	71	3.3
9	無回答	23	1.1
計		2130	100.0

C 家庭生活

ST5LIFEY 生活満足度：家庭生活（AB共通 A票 Q13C）

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	576	27.0
2	・	635	29.8
3	・	689	32.3
4	・	169	7.9
5	不満	45	2.1
9	無回答	16	0.8
計		2130	100.0

D 現在の家計の状態

ST5ECNY 生活満足度：家計状態（AB共通 A票 Q13D）

<u>コード</u>		<u>ケース数</u>	<u>%</u>
1	満足	292	13.7
2	・	456	21.4
3	・	746	35.0
4	・	428	20.1
5	不満	189	8.9
9	無回答	19	0.9
計		2130	100.0

E 友人関係

ST5FRIY 生活満足度:友人関係 (AB 共通 A 票 Q13E)

コード		ケース数	%
1	満足	530	24.9
2	・	620	29.1
3	・	777	36.5
4	・	151	7.1
5	不満	34	1.6
9	無回答	18	0.8
計		2130	100.0

F 健康状態

ST5HLTHY 生活満足度:健康状態 (AB 共通 A 票 Q13F)

コード		ケース数	%
1	満足	364	17.1
2	・	606	28.5
3	・	788	37.0
4	・	295	13.8
5	不満	62	2.9
9	無回答	15	0.7
計		2130	100.0

G 配偶者(夫や妻)との関係

ST5SSREL 生活満足度:配偶者との関係 (AB 共通 A 票 Q13G)

コード		ケース数	%
1	満足	567	26.6
2	・	416	19.5
3	・	428	20.1
4	・	74	3.5
5	不満	31	1.5
6	配偶者はいない	604	28.4
9	無回答	10	0.5
計		2130	100.0

Q15 あなたは、現在の生活全般に満足していますか。

STALLLF 生活満足度:全般

コード		ケース数	%
1	非常に満足	228	10.7
2	・	807	37.9
3	・	797	37.4
4	・	240	11.3
5	非常に不満	53	2.5
9	無回答	5	0.2
計		2130	100.0

Q16-1 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE 居住形態:持ち家 (AB 共通 A 票 Q23-1)

コード		ケース数	%
1	持ち家 (親などが持ち主の場合も含む)	1720	80.8
2	民間の賃貸住宅	266	12.5
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	36	1.7
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	99	4.6
5	その他 (具体的に_____)	5	0.2
9	無回答	4	0.2
計		2130	100.0

Q16-2 あなたのお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

TPHOUSE 居住形態:一戸建て (AB 共通 A 票 Q23-2)

コード		ケース数	%
1	一戸建て	1687	79.2
2	集合住宅 (アパート・マンションなど)	438	20.6
9	無回答	5	0.2
計		2130	100.0

Q17 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR 現在の居住地域への居住年数 (AB 共通 A 票 Q24)

コード		ケース数	%
1	生まれてからずっと	308	14.5
2	1年未満	39	1.8
3	1年～3年未満	110	5.2
4	3年～5年未満	118	5.5
5	5年～10年未満	263	12.3
6	10年～20年未満	376	17.7
7	20年～30年未満	321	15.1
8	30年以上	593	27.8
99	無回答	2	0.1
計		2130	100.0

Q18 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX 世帯収入のレベル (AB 共通 A 票 Q28)

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	217	10.2
2	平均より少ない	671	31.5
3	ほぼ平均	950	44.6
4	平均より多い	237	11.1
5	平均よりかなり多い	22	1.0
9	無回答	33	1.5
計		2130	100.0

Q19 世間一般と比べて、1番上のお子さんにどのくらい教育費をかけてきましたか。

OPEXED 教育費支出のレベル (AB 共通 A 票 Q30)

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	58	2.7
2	平均より少ない	295	13.8
3	ほぼ平均	826	38.8
4	平均より多い	300	14.1
5	平均よりかなり多い	100	4.7
6	子どもはいない・まだ教育費はかけていない	526	24.7
9	無回答	25	1.2
計		2130	100.0

Q20 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15 15歳の頃の世帯収入レベル (AB 共通 A 票 Q29)

コード		ケース数	%
1	平均よりかなり少ない	231	10.8
2	平均より少ない	569	26.7
3	ほぼ平均	963	45.2
4	平均より多い	279	13.1
5	平均よりかなり多い	46	2.2
9	無回答	42	2.0
計		2130	100.0

Q21 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。

OP5LEVK 階層帰属意識 (AB 共通 A 票 Q33)

コード		ケース数	%
1	上	4	0.2
2	中の上	212	10.0
3	中の中	995	46.7
4	中の下	721	33.8
5	下	168	7.9
9	無回答	30	1.4
計		2130	100.0

Q22 以下の項目は、家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

A 高齢者の生活保障(生活費)

OP5SRWFE 国か家族か: 高齢者の生活保障(EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	家族の責任	99	4.6
2	・	200	9.4
3	・	577	27.1
4	・	628	29.5
5	国や自治体の責任	601	28.2
9	無回答	25	1.2
計		2130	100.0

B 高齢者の医療・介護

OP5SRMDE 国か家族か: 高齢者の医療・介護(EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	家族の責任	70	3.3
2	・	134	6.3
3	・	504	23.7
4	・	709	33.3
5	国や自治体の責任	685	32.2
9	無回答	28	1.3
計		2130	100.0

C 子どもの教育費

OP5CCEDE 国か家族か: 子どもの教育費(EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	家族の責任	352	16.5
2	・	485	22.8
3	・	689	32.3
4	・	342	16.1
5	国や自治体の責任	218	10.2
9	無回答	44	2.1
計		2130	100.0

D 保育・育児

OP5CCREE 国か家族か: 保育・育児(EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	家族の責任	438	20.6
2	・	465	21.8
3	・	651	30.6
4	・	331	15.5
5	国や自治体の責任	203	9.5
9	無回答	42	2.0
計		2130	100.0

Q23 一般的に、子どもにとって、以下のことはどの程度重要だと思いますか。

A 習い事をする事

IMEDLSSN 重要な教育: 習い事 (AB 共通 A 票 Q57A)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	120	5.6
2	重要である	602	28.3
3	少しは重要である	1185	55.6
4	重要でない	196	9.2
9	無回答	27	1.3
計		2130	100.0

B 塾や予備校に通うこと

IMEDCRAM 重要な教育:塾・予備校 (AB 共通 A 票 Q57B)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	39	1.8
2	重要である	361	16.9
3	少しは重要である	1200	56.3
4	重要でない	498	23.4
9	無回答	32	1.5
計		2130	100.0

C 大学に入ること

IMEDUNIV 重要な教育:大学 (AB 共通 A 票 Q57C)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	158	7.4
2	重要である	579	27.2
3	少しは重要である	893	41.9
4	重要でない	470	22.1
9	無回答	30	1.4
計		2130	100.0

D 大学のなかでも高いレベルの大学に入ること

IMEDHRU 重要な教育:高レベルの大学 (AB 共通 A 票 Q57D)

コード		ケース数	%
1	非常に重要である	98	4.6
2	重要である	404	19.0
3	少しは重要である	793	37.2
4	重要でない	798	37.5
9	無回答	37	1.7
計		2130	100.0

Q24 教育について次のような意見があります。それぞれについてあなたはどのように思いますか。

A 高い学歴を得れば、希望する仕事につくことができる

OP4EDJOB 教育観:高い学歴で希望職に就ける (AB 共通 A 票 Q58A)

コード		ケース数	%
1	そう思う	209	9.8
2	どちらかといえばそう思う	959	45.0
3	どちらかといえばそう思わない	544	25.5
4	そう思わない	397	18.6
9	無回答	21	1.0
計		2130	100.0

B 高い学歴を得れば、収入面で恵まれる

OP4EDINC 教育観: 高い学歴は収入面に恵まれる (AB 共通 A 票 Q58B)

コード		ケース数	%
1	そう思う	270	12.7
2	どちらかといえばそう思う	1031	48.4
3	どちらかといえばそう思わない	499	23.4
4	そう思わない	307	14.4
9	無回答	23	1.1
計		2130	100.0

C 高い学歴を得れば、よりよい結婚ができる

OP4EDMG 教育観: 高い学歴でよい結婚ができる (AB 共通 A 票 Q58C)

コード		ケース数	%
1	そう思う	86	4.0
2	どちらかといえばそう思う	404	19.0
3	どちらかといえばそう思わない	785	36.9
4	そう思わない	828	38.9
9	無回答	27	1.3
計		2130	100.0

Q25 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

QDDKILLA 安楽死の賛否 (AB 共通 A 票 Q41)

コード		ケース数	%
1	はい	1321	62.0
2	いいえ	175	8.2
3	わからない	627	29.4
9	無回答	7	0.3
計		2130	100.0

Q26 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA 政治意識(保革5段階) (AB 共通 A 票 Q35)

コード		ケース数	%
1	保守的	137	6.4
2	・	393	18.5
3	・	1119	52.5
4	・	341	16.0
5	革新的	82	3.8
9	無回答	58	2.7
計		2130	100.0

Q27 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY 支持政党 (AB 共通 A 票 Q47)

コード		ケース数	%
1	自民党	562	26.4
2	民主党	219	10.3
3	公明党	82	3.8
4	共産党	29	1.4
5	社民党	35	1.6
6	その他の政党 ( )	4	0.2
7	特に支持する政党はない	1003	47.1
8	わからない	180	8.5
9	無回答	16	0.5
計		2130	100.0

Q28 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCGSXE 希望する子どもの性別 (EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	男の子	495	23.2
2	女の子	619	29.1
3	どちらでもよい	1007	47.3
9	無回答	9	0.4
計		2130	100.0

Q29 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCNUM 理想的な子どもの人数 (一般論)

コード		ケース数	%
0	0人	4	0.2
1	1人	12	0.6
2	2人	773	36.3
3	3人	1189	55.8
4	4人	115	5.4
5	5人以上 (具体的に____人)	20	0.9
9	無回答	17	0.8
計		2130	100.0

「5人以上」の場合

APPCNMX 理想的な子どもの人数:5人以上の場合 (具体的記述)

コード		ケース数	%
(実数記入)	5人	8	40.0
	6人	4	20.0
999	無回答	8	40.0
計		20	100.0
888	非該当	2110	
計		2130	

Q30 あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

OP2GNR 三世同居観

コード		ケース数	%
1	望ましい	1406	66.0
2	望ましくない	682	32.0
9	無回答	42	2.0
計		2130	100.0

Q31 「結婚した男性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見について、どう思いますか。「結婚した女性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。それぞれの場合について、お答えください。

A 結婚した男性 自分の親

OP1SMM 世代間援助への意見:既婚男性から自分の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	149	7.0
2	そう思う	530	24.9
3	どちらかといえばそう思う	503	23.6
4	どちらともいえない	653	30.7
5	どちらかといえばそう思わない	110	5.2
6	そう思わない	116	5.4
7	強くそう思わない	25	1.2
9	無回答	44	2.1
計		2130	100.0

B 結婚した女性 自分の親

OP1SMW 世代間援助への意見:既婚女性から自分の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	73	3.4
2	そう思う	319	15.0
3	どちらかといえばそう思う	451	21.2
4	どちらともいえない	825	38.7
5	どちらかといえばそう思わない	185	8.7
6	そう思わない	168	7.9
7	強くそう思わない	28	1.3
9	無回答	81	3.8
計		2130	100.0

Q32 それでは「18歳以上の未婚の男性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。「18歳以上の未婚の女性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。それぞれの場合について、お答えください。

A 未婚の男性 自分の親

OPISUM 世代間援助への意見:未婚男性から自分の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	87	4.1
2	そう思う	350	16.4
3	どちらかといえばそう思う	457	21.5
4	どちらともいえない	740	34.7
5	どちらかといえばそう思わない	172	8.1
6	そう思わない	225	10.6
7	強くそう思わない	36	1.7
9	無回答	63	3.0
計		2130	100.0

B 未婚の女性 自分の親

OPISUW 世代間援助への意見:未婚女性から自分の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	61	2.9
2	そう思う	285	13.4
3	どちらかといえばそう思う	441	20.7
4	どちらともいえない	786	36.9
5	どちらかといえばそう思わない	190	8.9
6	そう思わない	224	10.5
7	強くそう思わない	41	1.9
9	無回答	102	4.8
計		2130	100.0

Q33 「結婚した男性は、妻の親を経済的に支援すべきだ」という意見について、どう思いますか。「結婚した女性は、夫の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。それぞれの場合について、お答えください。

A 結婚した男性 妻の親

OPISMSS 世代間援助への意見:既婚男性から妻の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	67	3.1
2	そう思う	276	13.0
3	どちらかといえばそう思う	451	21.2
4	どちらともいえない	859	40.3
5	どちらかといえばそう思わない	204	9.6
6	そう思わない	196	9.2
7	強くそう思わない	32	1.5
9	無回答	45	2.1
計		2130	100.0

B 結婚した女性 夫の親

OPISMWSS 世代間援助への意見:既婚女性から夫の親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	62	2.9
2	そう思う	272	12.8
3	どちらかといえばそう思う	454	21.3
4	どちらともいえない	840	39.4
5	どちらかといえばそう思わない	196	9.2
6	そう思わない	197	9.2
7	強くそう思わない	33	1.5
9	無回答	76	3.6
計		2130	100.0

Q34 一般的に、年老いた親の世話は、どの子ども(またはその家族)に責任があると思いますか。次のなかからあてはまるもの1つに をつけてください。

OPPPCARE 老親の世話の責任

コード		ケース数	%
1	長男	333	15.6
2	息子の誰か	60	2.8
3	娘の誰か	9	0.4
4	子どもの誰か	207	9.7
5	子ども全員	1346	63.2
6	子どもに責任はない	130	6.1
7	その他(具体的に )	31	1.5
9	無回答	14	0.7
計		2130	100.0

Q35 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ

Q7FFAUTH 家系継承規範:父親の権威を尊重

コード		ケース数	%
1	強く賛成	95	4.5
2	賛成	433	20.3
3	どちらかといえば賛成	637	29.9
4	どちらともいえない	737	34.6
5	どちらかといえば反対	115	5.4
6	反対	84	3.9
7	強く反対	15	0.7
9	無回答	14	0.7
計		2130	100.0

B 親の誇りとなるように、子どもは努力するべきだ

Q7FFHNR 家系継承規範:子どもは親の誇りに

コード		ケース数	%
1	強く賛成	69	3.2
2	賛成	330	15.5
3	どちらかといえば賛成	538	25.3
4	どちらともいえない	775	36.4
5	どちらかといえば反対	202	9.5
6	反対	158	7.4
7	強く反対	43	2.0
9	無回答	15	0.7
計		2130	100.0

C 長男が、多くの財産を相続するべきだ

Q7FFMAN 家系継承規範:長男が多く相続

コード		ケース数	%
1	強く賛成	39	1.8
2	賛成	131	6.2
3	どちらかといえば賛成	292	13.7
4	どちらともいえない	1131	53.1
5	どちらかといえば反対	190	8.9
6	反対	262	12.3
7	強く反対	72	3.4
9	無回答	13	0.6
計		2130	100.0

D 親の世話をした子どもが、多くの財産を相続するべきだ

Q7FFCARE 家系継承規範:親の世話をした子が多く相続

コード		ケース数	%
1	強く賛成	214	10.0
2	賛成	633	29.7
3	どちらかといえば賛成	781	36.7
4	どちらともいえない	424	19.9
5	どちらかといえば反対	30	1.4
6	反対	24	1.1
7	強く反対	12	0.6
9	無回答	12	0.6
計		2130	100.0

E 家系の存続のためには、息子を少なくとも1人もつべきだ

Q7FFNDMN 家系継承規範:息子が必要

コード		ケース数	%
1	強く賛成	123	5.8
2	賛成	395	18.5
3	どちらかといえば賛成	399	18.7
4	どちらともいえない	903	42.4
5	どちらかといえば反対	95	4.5
6	反対	154	7.2
7	強く反対	46	2.2
9	無回答	15	0.7
計		2130	100.0

## F 先祖伝来の墓は、大切に守って子どもに伝えるべきだ

## Q7FFGRV 家系継承規範:墓を守る

コード		ケース数	%
1	強く賛成	353	16.6
2	賛成	820	38.5
3	どちらかといえば賛成	519	24.4
4	どちらともいえない	346	16.2
5	どちらかといえば反対	43	2.0
6	反対	26	1.2
7	強く反対	11	0.5
9	無回答	12	0.6
計		2130	100.0

## Q36 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

## A 夫と妻の両方の親族が、妻の助けを必要としている時には、妻は夫の親族を優先して助けるべきだ

## Q7PRMAN 家優先規範:妻より夫の親族を優先

コード		ケース数	%
1	強く賛成	31	1.5
2	賛成	170	8.0
3	どちらかといえば賛成	295	13.8
4	どちらともいえない	1216	57.1
5	どちらかといえば反対	186	8.7
6	反対	169	7.9
7	強く反対	50	2.3
9	無回答	13	0.6
計		2130	100.0

## B 自分の幸福よりも、家族の幸福や利益を優先するべきだ

## Q7PRFF 家優先規範:自分より家族を優先

コード		ケース数	%
1	強く賛成	95	4.5
2	賛成	378	17.7
3	どちらかといえば賛成	632	29.7
4	どちらともいえない	805	37.8
5	どちらかといえば反対	134	6.3
6	反対	60	2.8
7	強く反対	14	0.7
9	無回答	12	0.6
計		2130	100.0

## Q37-1 あなたご自身のご両親との関係についておうかがいします。あなた自身のご両親はご存命ですか。

## PMDTH 両親の存否

コード		ケース数	%
1	両親とも存命	733	34.4
2	父親のみ存命	68	3.2
3	母親のみ存命	440	20.7
4	両親ともすでに亡くなっている	889	41.7
9	無回答	0	0.0
計		2130	100.0

「1 両親とも存命」「2 父親のみ存命」「3 母親のみ存命」の場合  
Q37-2 過去1年間に、あなたはご自身の親へ、次のことをどの程度しましたか。

## A 経済的な支援

HLPE2PM 世代間の経済的援助:回答者から両親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	53	4.3
2	頻繁に	86	6.9
3	時々	236	19.0
4	ほとんどない	356	28.7
5	まったくない	490	39.5
9	無回答	20	1.6
		計	1241
8	非該当	889	100.0
		計	2130

## B 家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や介護

HLPP2PM 世代間の実践的援助:回答者から両親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	72	5.8
2	頻繁に	112	9.0
3	時々	392	31.6
4	ほとんどない	301	24.3
5	まったくない	346	27.9
9	無回答	18	1.5
		計	1241
8	非該当	889	100.0
		計	2130

Q37-3 過去1年間に、あなたの親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

## A 経済的な支援

HLPEFPM 世代間の経済的援助:両親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	70	5.6
2	頻繁に	105	8.5
3	時々	332	26.8
4	ほとんどない	295	23.8
5	まったくない	420	33.8
9	無回答	19	1.5
		計	1241
8	非該当	889	100.0
		計	2130

B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児

HLPPFPM 世代間の実践的援助：両親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	169	13.6
2	頻繁に	137	11.0
3	時々	252	20.3
4	ほとんどない	195	15.7
5	まったくない	469	37.8
9	無回答	19	1.5
		計	1241
8	非該当	889	100.0
		計	2130

Q37-4 ご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

あなたの父親

PPHLTH 父親：健康状態

コード		ケース数	%
1	非常に良い	118	9.5
2	・	203	16.4
3	・	303	24.4
4	・	131	10.6
5	非常に悪い	31	2.5
6	亡くなっている	440	35.5
9	無回答	15	1.2
		計	1241
8	非該当	889	100.0
		計	2130

あなたの母親

MMHLTH 母親：健康状態

コード		ケース数	%
1	非常に良い	131	10.6
2	・	266	21.4
3	・	456	36.7
4	・	228	18.4
5	非常に悪い	74	6.0
6	亡くなっている	68	5.5
9	無回答	18	1.5
		計	1241
8	非該当	889	100.0
		計	2130

Q38 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫は、妻より年上であるべきだ

Q7MGOLD 結婚規範: 夫は年上

コード		ケース数	%
1	強く賛成	23	1.1
2	賛成	118	5.5
3	どちらかといえば賛成	227	10.7
4	どちらともいえない	1433	67.3
5	どちらかといえば反対	69	3.2
6	反対	182	8.5
7	強く反対	66	3.1
9	無回答	12	0.6
計		2130	100.0

B 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

Q7MGCC 結婚規範: 子どもをもつ必要

コード		ケース数	%
1	強く賛成	42	2.0
2	賛成	199	9.3
3	どちらかといえば賛成	169	7.9
4	どちらともいえない	754	35.4
5	どちらかといえば反対	483	22.7
6	反対	364	17.1
7	強く反対	108	5.1
9	無回答	11	0.5
計		2130	100.0

C 結婚している男性は、結婚していない男性より幸せだ

Q7MGMNHP 結婚規範: 男性の結婚は幸福

コード		ケース数	%
1	強く賛成	64	3.0
2	賛成	268	12.6
3	どちらかといえば賛成	372	17.5
4	どちらともいえない	1249	58.6
5	どちらかといえば反対	72	3.4
6	反対	68	3.2
7	強く反対	20	0.9
9	無回答	17	0.8
計		2130	100.0

D 結婚している女性は、結婚していない女性より幸せだ

Q7MGWNHP 結婚規範:女性の結婚は幸福

コード		ケース数	%
1	強く賛成	52	2.4
2	賛成	262	12.3
3	どちらかといえば賛成	362	17.0
4	どちらともいえない	1252	58.8
5	どちらかといえば反対	89	4.2
6	反対	64	3.0
7	強く反対	26	1.2
9	無回答	23	1.1
計		2130	100.0

E 結婚するつもりがなくても、男女が同棲するのはかまわない

Q7MGCOH 結婚規範:同棲はかまわない

コード		ケース数	%
1	強く賛成	23	1.1
2	賛成	227	10.7
3	どちらかといえば賛成	290	13.6
4	どちらともいえない	584	27.4
5	どちらかといえば反対	536	25.2
6	反対	369	17.3
7	強く反対	91	4.3
9	無回答	10	0.5
計		2130	100.0

F 離婚したくても、子どもが大きくなるまで待つべきだ

Q7MGDVCC 結婚規範:離婚は子が育つまで待つ

コード		ケース数	%
1	強く賛成	94	4.4
2	賛成	304	14.3
3	どちらかといえば賛成	412	19.3
4	どちらともいえない	887	41.6
5	どちらかといえば反対	213	10.0
6	反対	169	7.9
7	強く反対	37	1.7
9	無回答	14	0.7
計		2130	100.0

G 結婚生活がうまくいかなくなったら、たいていの場合、離婚するのが一番よい

Q7MGDVGD 結婚規範:離婚はよい手段

コード		ケース数	%
1	強く賛成	25	1.2
2	賛成	203	9.5
3	どちらかといえば賛成	405	19.0
4	どちらともいえない	990	46.5
5	どちらかといえば反対	279	13.1
6	反対	172	8.1
7	強く反対	45	2.1
9	無回答	11	0.5
計		2130	100.0

Q39 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME 夫婦別姓意識

コード		ケース数	%
1	当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ	554	26.0
2	現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい	645	30.3
3	夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい	637	29.9
4	わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままよい	261	12.3
9	無回答	33	1.5
計		2130	100.0

Q40 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 妻にとっては、自分自身の仕事よりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

Q7WWHPHH 性別規範:妻は夫の手助け

コード		ケース数	%
1	強く賛成	48	2.3
2	賛成	260	12.2
3	どちらかといえば賛成	394	18.5
4	どちらともいえない	927	43.5
5	どちらかといえば反対	252	11.8
6	反対	202	9.5
7	強く反対	34	1.6
9	無回答	13	0.6
計		2130	100.0

B 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q7WWHHX 性別規範:性役割分担

コード		ケース数	%
1	強く賛成	59	2.8
2	賛成	278	13.1
3	どちらかといえば賛成	436	20.5
4	どちらともいえない	835	39.2
5	どちらかといえば反対	249	11.7
6	反対	205	9.6
7	強く反対	59	2.8
9	無回答	9	0.4
計		2130	100.0

C 男性はもっと家事をするべきだ  
Q7WWMNCK 性別規範:男性の家事

コード		ケース数	%
1	強く賛成	98	4.6
2	賛成	419	19.7
3	どちらかといえば賛成	810	38.0
4	どちらともいえない	627	29.4
5	どちらかといえば反対	115	5.4
6	反対	47	2.2
7	強く反対	6	0.3
9	無回答	8	0.4
計		2130	100.0

D 景気が悪いときには、男性よりも女性を先に解雇してよい  
Q7WWLOFF 性別規範:女性を先に解雇

コード		ケース数	%
1	強く賛成	22	1.0
2	賛成	82	3.8
3	どちらかといえば賛成	158	7.4
4	どちらともいえない	798	37.5
5	どちらかといえば反対	349	16.4
6	反対	480	22.5
7	強く反対	233	10.9
9	無回答	8	0.4
計		2130	100.0

Q41 次の意見について、あなたはどのように思いますか。

A 夫婦が離婚した後も、子どもは両方の親と接するほうがよい  
OPDVCNT 離婚後の子どもへの意見:両親と接触

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	265	12.4
2	そう思う	798	37.5
3	どちらかといえばそう思う	485	22.8
4	どちらともいえない	473	22.2
5	どちらかといえばそう思わない	47	2.2
6	そう思わない	48	2.3
7	強くそう思わない	6	0.3
9	無回答	8	0.4
計		2130	100.0

B 結婚相手の連れ子に対しても、実の親と同じように育てることができる

OPDVSTEP 離婚後の子どもへの意見:連れ子

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	106	5.0
2	そう思う	526	24.7
3	どちらかといえばそう思う	487	22.9
4	どちらともいえない	672	31.5
5	どちらかといえばそう思わない	173	8.1
6	そう思わない	127	6.0
7	強くそう思わない	20	0.9
9	無回答	19	0.9
計		2130	100.0

C ひとり親家庭であっても、子どもは立派に育つ

OPDVSG 離婚後の子どもへの意見:ひとり親

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	192	9.0
2	そう思う	959	45.0
3	どちらかといえばそう思う	396	18.6
4	どちらともいえない	392	18.4
5	どちらかといえばそう思わない	119	5.6
6	そう思わない	46	2.2
7	強くそう思わない	13	0.6
9	無回答	13	0.6
計		2130	100.0

Q42 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒に夕食をとることがどのくらいありますか。(ここで  
の家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

FQFFDNRE 家族そろった夕食の頻度(EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	1074	50.4
2	週に数回	512	24.0
3	週に1回程度	214	10.0
4	月に1回程度	52	2.4
5	年に数回	60	2.8
6	年に1回程度	12	0.6
7	年に1回もない	16	0.8
8	家族とは一緒に暮らしていない	174	8.2
99	無回答	16	0.8
計		2130	100.0

Q43 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒にレジャー活動を行なうことがどのくらいありますか。  
(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

FQFFLSR 家族一緒にレジャー活動の頻度

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	26	1.2
2	週に数回	65	3.1
3	週に1回程度	201	9.4
4	月に1回程度	338	15.9
5	年に数回	623	29.2
6	年に1回程度	339	15.9
7	年に1回もない	332	15.6
8	家族とは一緒に暮らしていない	174	8.2
99	無回答	32	1.5
計		2130	100.0

Q44 あなたは家族と一緒に夕食をとるときに、以下のものをどの程度利用していますか。ひとり暮らしの方は、あなたご自身のことについてお答えください。

A 外食

FQFDOUT 食産業の利用頻度:外食

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	49	2.3
2	週に数回	65	3.1
3	週に1回程度	251	11.8
4	月に1回程度	658	30.9
5	年に数回	664	31.2
6	年に1回程度	135	6.3
7	まったくない	275	12.9
9	無回答	33	1.5
計		2130	100.0

B 市販の弁当

FQFDBOX 食産業の利用頻度:弁当

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	13	0.6
2	週に数回	72	3.4
3	週に1回程度	162	7.6
4	月に1回程度	451	21.2
5	年に数回	592	27.8
6	年に1回程度	195	9.2
7	まったくない	595	27.9
9	無回答	50	2.3
計		2130	100.0

C 市販の惣菜・調理済み冷凍食品

FQDFRZN 食産業の利用頻度:惣菜・冷凍食品

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	21	1.0
2	週に数回	296	13.9
3	週に1回程度	439	20.6
4	月に1回程度	477	22.4
5	年に数回	462	21.7
6	年に1回程度	94	4.4
7	まったくない	293	13.8
9	無回答	48	2.3
計		2130	100.0

Q45 あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。ある方は何回ありますか。

XMARRY 結婚経験

コード		ケース数	%
1	結婚したことがある	1804	84.7
2	結婚したことがない	326	15.3
9	無回答	0	0.0
計		2130	100.0

「1 結婚したことがある」の場合

NUMMARRY 結婚の回数

コード		ケース数	%
(実数記入)	1回	1704	94.5
	2回	84	4.7
	3回	4	0.2
	4回	1	0.1
99	無回答	11	0.6
計		1804	100.0
88	非該当	326	
計		2130	

Q46 結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

AGE1MG 初婚年齢

コード		ケース数	%
(実数記入)	16~19歳	46	2.6
	20~29歳	1493	83.3
	30~39歳	230	12.8
	40~49歳	13	0.7
999	無回答	11	0.6
計		1793	100.0
888	非該当	337	
計		2130	

AGE2MG 結婚した年齢:2 回目

コード		ケース数	%
(実数記入)	20~29 歳	28	31.5
	30~39 歳	33	37.1
	40~49 歳	20	22.5
	50~59 歳	7	7.9
	60~69 歳	1	1.1
999	無回答	0	0.0
		計	89
888	非該当	2041	
		計	2130

AGE3MG 結婚した年齢:3 回目

コード		ケース数	%
(実数記入)	20~29 歳	1	20.0
	30~39 歳	1	20.0
	40~49 歳	3	60.0
999	無回答	0	0.0
		計	5
888	非該当	2125	
		計	2130

AGE4MG 結婚した年齢:4 回目

コード		ケース数	%
(実数記入)	30~39 歳	1	100.0
999	無回答	0	0.0
		計	1
888	非該当	2129	
		計	2130

Q47 現在、配偶者(夫や妻)はいますか。

DOMARRYZ 結婚状況(留置 B 票のみ)

コード		ケース数	%
1	現在、配偶者がいる	1526	84.6
2	離婚した(離婚を前提に別居している)	95	5.3
3	死に別れた	183	10.1
9	無回答	0	0.0
		計	1804
8	非該当	326	
		計	2130

「1 現在、配偶者がいる」の場合

Q48 配偶者の方の現在の年齢を教えてください。

SPAGEZ 配偶者の年齢(留置 B 票のみ)

コード		ケース数	%
(実数記入)	20~29 歳	46	3.0
	30~39 歳	216	14.2
	40~49 歳	277	18.2
	50~59 歳	381	25.0
	60~69 歳	352	23.1
	70~79 歳	213	14.0
	80~89 歳	35	2.3
	90 歳以上	3	0.2
999	無回答	3	0.2
		計	1526
888	非該当	604	100.0
		計	2130

Q49 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHE 健康状態(配偶者)(EASS 尺度)

コード		ケース数	%
1	非常に良い	240	15.7
2	・	552	36.2
3	・	535	35.1
4	・	161	10.6
5	非常に悪い	29	1.9
9	無回答	9	0.6
		計	1526
8	非該当	604	100.0
		計	2130

Q50 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

A 夕食の用意

SSFQ7CK 夕食の用意:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	663	43.4
2	週に数回	98	6.4
3	週に1回程度	65	4.3
4	月に1回程度	53	3.5
5	年に数回	118	7.7
6	年に1回程度	47	3.1
7	まったくしていない	468	30.7
9	無回答	14	0.9
		計	1526
8	非該当	604	100.0
		計	2130

B 洗濯

SSFQ7WSH 洗濯:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	590	38.7
2	週に数回	169	11.1
3	週に1回程度	62	4.1
4	月に1回程度	49	3.2
5	年に数回	86	5.6
6	年に1回程度	53	3.5
7	まったくしていない	503	33.0
9	無回答	14	0.9
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

C 買い物(日用品や食料品の買い物)

SSFQ7SHP 買い物:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	348	22.8
2	週に数回	409	26.8
3	週に1回程度	237	15.5
4	月に1回程度	135	8.8
5	年に数回	124	8.1
6	年に1回程度	34	2.2
7	まったくしていない	223	14.6
9	無回答	16	1.0
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

D 家の掃除

SSFQ7CLN 家の掃除:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	403	26.4
2	週に数回	283	18.5
3	週に1回程度	168	11.0
4	月に1回程度	121	7.9
5	年に数回	151	9.9
6	年に1回程度	80	5.2
7	まったくしていない	308	20.2
9	無回答	12	0.8
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

E ゴミ出し

SSFQ7GRB ゴミ出し:頻度(配偶者)

コード		ケース数	%
1	ほぼ毎日	229	15.0
2	週に数回	529	34.7
3	週に1回程度	144	9.4
4	月に1回程度	91	6.0
5	年に数回	131	8.6
6	年に1回程度	42	2.8
7	まったくしていない	347	22.7
9	無回答	13	0.9
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

Q51-1 あなたの配偶者は、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。(あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含みます)

SSCARE 介護経験(配偶者)

コード		ケース数	%
1	したことがない	1147	75.2
2	現在行なっている	72	4.7
3	過去に行なったことがある	293	19.2
9	無回答	14	0.9
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

「2 現在行なっている」「3 過去に行なったことがある」の場合

Q51-2 それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてにをつけてください。

(多重回答) SSC2R~SSC2OTHR 介護の相手(配偶者)共通(変数名は下記参照)

コード		該当者数	366	
0	非選択			
1	選択			
		選択者数	%	
SSC2R	1	あなた	64	17.5
SSC2PM	2	あなたの親	121	33.1
SSC2SSPM	3	配偶者の親	194	53.0
SSC2OTHR	4	その他( )	25	6.8

Q52 あなたの配偶者は、あなたの悩みを聞いてくれますか。

SSTRLSTN 配偶者との情緒的關係:配偶者が悩みを聞く

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	130	8.5
2	そう思う	554	36.3
3	どちらかといえばそう思う	422	27.7
4	どちらともいえない	221	14.5
5	どちらかといえばそう思わない	87	5.7
6	そう思わない	72	4.7
7	強くそう思わない	30	2.0
9	無回答	10	0.7
		計	1526
8	非該当	604	100.0
		計	2130

Q53 あなたの配偶者は、あなたに悩みを打ち明けてくれますか。

SSTRSPK 配偶者との情緒的關係:あなたが悩みを聞く

コード		ケース数	%
1	強くそう思う	93	6.1
2	そう思う	534	35.0
3	どちらかといえばそう思う	438	28.7
4	どちらともいえない	261	17.1
5	どちらかといえばそう思わない	95	6.2
6	そう思わない	72	4.7
7	強くそう思わない	23	1.5
9	無回答	10	0.7
		計	1526
8	非該当	604	100.0
		計	2130

Q54 次のことは、主にどなたが決めていますか(決まっていたか)。あてはまるもの1つに○をつけてください。

A 子どものしつけや教育

DMCCED 家庭内の意思決定者:子どもの教育

コード		ケース数	%
1	いつも私	89	5.8
2	だいたい私	348	22.8
3	私と配偶者が同程度に	669	43.8
4	だいたい配偶者	248	16.3
5	いつも配偶者	29	1.9
6	その他の家族	5	0.3
7	そのようなことを決める機会はなかった	108	7.1
9	無回答	30	2.0
		計	1526
8	非該当	604	100.0
		計	2130

B 自分の親の世話の仕方

DMPPSPPT 家庭内の意思決定者:親の世話

コード		ケース数	%
1	いつも私	120	7.9
2	だいたい私	285	18.7
3	私と配偶者が同程度に	444	29.1
4	だいたい配偶者	139	9.1
5	いつも配偶者	32	2.1
6	その他の家族	67	4.4
7	そのようなことを決める機会はなかった	384	25.2
9	無回答	55	3.6
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

C 家計の管理

DMEXP 家庭内の意思決定者:家計の管理

コード		ケース数	%
1	いつも私	278	18.2
2	だいたい私	354	23.2
3	私と配偶者が同程度に	297	19.5
4	だいたい配偶者	337	22.1
5	いつも配偶者	213	14.0
6	その他の家族	11	0.7
7	そのようなことを決める機会はなかった	17	1.1
9	無回答	19	1.2
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

D 高価な品物の購入

DMHIEXP 家庭内の意思決定者:高価な品物の購入

コード		ケース数	%
1	いつも私	70	4.6
2	だいたい私	243	15.9
3	私と配偶者が同程度に	858	56.2
4	だいたい配偶者	208	13.6
5	いつも配偶者	72	4.7
6	その他の家族	7	0.5
7	そのようなことを決める機会はなかった	49	3.2
9	無回答	19	1.2
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

Q55-1 配偶者のご両親はご存命ですか。

PMLDTH 義親の存否

コード		ケース数	%
1	両親とも存命	424	27.8
2	父親のみ存命	67	4.4
3	母親のみ存命	384	25.2
4	両親ともすでに亡くなっている	651	42.7
9	無回答	0	0.0
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

「1 両親とも存命」「2 父親のみ存命」「3 母親のみ存命」の場合  
 Q55-2 過去1年間に、あなたは配偶者の親へ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPE2PML 世代間の経済的援助:回答者から義親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	19	2.2
2	頻繁に	29	3.3
3	時々	123	14.1
4	ほとんどない	257	29.4
5	まったくない	427	48.8
9	無回答	20	2.3
		計	875
8	非該当	1255	
		計	2130

B 家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や介護

HLPP2PML 世代間の実践的援助:回答者から義親

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	55	6.3
2	頻繁に	50	5.7
3	時々	161	18.4
4	ほとんどない	241	27.5
5	まったくない	351	40.1
9	無回答	17	1.9
		計	875
8	非該当	1255	
		計	2130

Q55-3 過去1年間に、配偶者の親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

A 経済的な支援

HLPEFPML 世代間の経済的援助:義親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	10	1.1
2	頻繁に	33	3.8
3	時々	181	20.7
4	ほとんどない	236	27.0
5	まったくない	395	45.1
9	無回答	20	2.3
		計	875
8	非該当	1255	100.0
		計	2130

B 家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や育児

HLPPFPML 世代間の実践的援助:義親から回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	12	1.4
2	頻繁に	52	5.9
3	時々	152	17.4
4	ほとんどない	195	22.3
5	まったくない	442	50.5
9	無回答	22	2.5
		計	875
8	非該当	1255	100.0
		計	2130

Q55-4 配偶者のご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

配偶者の父親

PPLHLTH 義父:健康状態

コード		ケース数	%
1	非常に良い	54	6.2
2	・	111	12.7
3	・	190	21.7
4	・	87	9.9
5	非常に悪い	37	4.2
6	亡くなっている	384	43.9
9	無回答	12	1.4
		計	875
8	非該当	1255	100.0
		計	2130

配偶者の母親

MMLHLTH 義母:健康状態

コード		ケース数	%
1	非常に良い	75	8.6
2	・	168	19.2
3	・	326	37.3
4	・	161	18.4
5	非常に悪い	51	5.8
6	亡くなっている	67	7.7
9	無回答	27	3.1
		計	875
8	非該当	1255	
		計	2130

Q56 あなたは、現在の結婚生活に全体として満足していますか。

STMGLF 生活満足度:結婚生活

コード		ケース数	%
1	非常に満足	303	19.9
2	・	612	40.1
3	・	469	30.7
4	・	103	6.7
5	非常に不満	25	1.6
9	無回答	14	0.9
		計	1526
8	非該当	604	
		計	2130

DOMARRYZ (Q47) に「1 現在、配偶者がいる」「3 死に別れた」の場合

Q57-1 あなたは配偶者の方とどのようなかたちで出会いましたか。

FSTMTSS 配偶者との出会いのきっかけ

コード		ケース数	%
1	見合い	443	25.9
2	人からの紹介(見合い以外)	448	26.2
3	見合いでも紹介でもない	789	46.2
9	無回答	29	1.7
		計	1709
8	非該当	421	
		計	2130

「1 見合い」「2 人からの紹介（見合い以外）」の場合

Q57-2A どなたがお相手を紹介したり、見合いの準備をしたりしましたか。

WHOINTSS 配偶者の紹介者

コード		ケース数	%
1	きょうだい・いとこ	66	7.4
2	親・その他の親族	298	33.4
3	友人・クラスメイト	193	21.7
4	同僚	94	10.5
5	近所の人	130	14.6
6	結婚相手を紹介する個人や機関	41	4.6
7	その他（具体的に_____）	38	4.3
9	無回答	31	3.5
		計	891
8	非該当		1239
		計	2130

「3 見合いでも紹介でもない」の場合

Q57-2B どこで配偶者の方と出会いましたか。

WHRMTSS 配偶者と出会った場所

コード		ケース数	%
1	近所で	94	11.9
2	学校で	107	13.6
3	職場で	418	53.0
4	その他の機会（具体的に_____）	154	19.5
9	無回答	16	2.0
		計	789
8	非該当		1341
		計	2130

Q58 配偶者の方にとって、あなたとの結婚は初婚でしたか、再婚でしたか。

XSSRMG 配偶者の初婚・再婚

コード		ケース数	%
1	初婚	1615	94.5
2	再婚	74	4.3
9	無回答	20	1.2
		計	1709
8	非該当		421
		計	2130

Q59 あなたが配偶者の方との結婚を決めた時、あなたの親の意見はどの程度影響しましたか。

INFLPMMG 結婚の決定への親の影響力

コード		ケース数	%
1	かなり影響した	186	10.9
2	ある程度影響した	377	22.1
3	あまり影響しなかった	541	31.7
4	まったく影響しなかった	519	30.4
5	親はその時すでに亡くなっていた	60	3.5
9	無回答	26	1.5
		計	1709
8	非該当		421
		計	2130

Q60 結婚後、あなたは、あなた自身の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

HLPMPGPM 結婚時の親からの援助

コード		ケース数	%
1	かなり受けた	186	10.9
2	少し受けた	495	29.0
3	まったく受けていない	941	55.1
4	親は結婚前に亡くなっていた	64	3.7
9	無回答	23	1.3
		計	1709
8	非該当	421	
		計	2130

Q61 結婚後、あなたは、配偶者の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

HLPMPML 結婚時の義親からの援助

コード		ケース数	%
1	かなり受けた	175	10.2
2	少し受けた	448	26.2
3	まったく受けていない	1020	59.7
4	配偶者の親は結婚前に亡くなっていた	43	2.5
9	無回答	23	1.3
		計	1709
8	非該当	421	
		計	2130

XMARRY (Q45) に「1 結婚したことがある」の場合

Q62 あなたには、18歳以上の子どもがいますか。

XCC18 18歳以上の子どもの有無

コード		ケース数	%
1	いる	1260	69.8
2	いない	543	30.1
9	無回答	1	0.1
		計	1804
8	非該当	326	
		計	2130

## 「1 いる」の場合

Q63 18歳以上のお子さんのうち、日ごろ、あなたともっともよく接しているのは、次のうちどなたですか。電話やメール、インターネットでのやり取りも含みます。やり取りが同じくらいのお子さんが、2人以上いる場合は、最近、もっともよく話しているお子さん1人を選んでください。

CC18CNT もっとも接している18歳以上の子ども

コード		ケース数	%
1	息子（長男）	422	33.5
2	息子（長男以外）	108	8.6
3	娘（長女）	489	38.8
4	娘（長女以外）	128	10.2
5	娘（長女）の夫	1	0.1
6	娘（長女以外）の夫	0	0.0
7	息子（長男）の妻	23	1.8
8	息子（長男以外）の妻	4	0.3
99	無回答	85	6.7
		計	1260
88	非該当	870	
		計	2130

Q64 そのお子さんとは同居されていますか。

LVTGCC18 子どもとの同居

コード		ケース数	%
1	はい	637	50.6
2	いいえ	592	47.0
9	無回答	31	2.5
		計	1260
8	非該当	870	
		計	2130

Q65 過去1年間に、あなたはその子どもへ、次のことをどの程度しましたか。

## A 経済的な支援

HLPE2CC 世代間の経済的援助：回答者から子ども

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	108	8.6
2	頻繁に	124	9.8
3	時々	305	24.2
4	ほとんどない	333	26.4
5	まったくない	344	27.3
9	無回答	46	3.7
		計	1260
8	非該当	870	
		計	2130

## B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児

## HLPP2CC 世代間の実践的援助：回答者から子ども

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	151	12.0
2	頻繁に	164	13.0
3	時々	290	23.0
4	ほとんどない	233	18.5
5	まったくない	368	29.2
9	無回答	54	4.3
	計	1260	100.0
8	非該当	870	
	計	2130	

Q66 過去1年間に、その子どもはあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

## A 経済的な支援

## HLPEFCC 世代間の経済的援助：子どもから回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	30	2.4
2	頻繁に	52	4.1
3	時々	203	16.1
4	ほとんどない	317	25.2
5	まったくない	613	48.7
9	無回答	45	3.6
	計	1260	100.0
8	非該当	870	
	計	2130	

## B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護

## HLPPFCC 世代間の実践的援助：子どもから回答者

コード		ケース数	%
1	非常に頻繁に	46	3.7
2	頻繁に	97	7.7
3	時々	394	31.3
4	ほとんどない	294	23.3
5	まったくない	382	30.3
9	無回答	47	3.7
	計	1260	100.0
8	非該当	870	
	計	2130	

## WEIGHT ウェイト

この変数の単純集計は記載していません。

## . 4 事項索引

注) 事項索引には、JGSS-2000～2006の全ての変数を掲載している。

うち JGSS-2006 変数にはアンダーラインをつけている。それ以外の変数については、JGSS ホームページを参照のこと。

事項	変数名
アレルギー 健康	
安楽死 医療	
育児 親, 子ども	
いじめ 教育, 心の健康, 子ども, 暴力	
...の責任	
いじめた生徒	SUBULLY
いじめた生徒の保護者	SUFFBUL
学校	SUSCHL
クラスの担任	SUTCHER
クラスメート	SUCMATE
本人	SUSELF
本人の保護者	SUFFSLF
身近な...の有無	XSBULLY
逸脱 規範, 道徳, 犯罪	
遺伝子組換え食品 科学, 健康	
医療 科学, 健康, 心の健康	
...費に消費者金融を利用	USCSMD
安楽死への賛否	<u>QDDKILLA</u>
ペットの...	<u>OPPTKILL</u>
医師が心の健康の相談相手	WLADDD, WLADDDSP
医師と知り合い	ZKDOCF, ZKDOCM, ZKDOCN, ZKDOCX
カウンセリング	
...の受療意欲	WLCOUNSL
...の受療経験	
家族による...	XCOUNSLF
対象者による...	XCOUNSLR
...の知識	KWCOUNSL
献血の経験の有無	XVLBLOOD
高齢者の医療・介護の責任	<u>OP5SRMDE</u> , <u>OP5SRMDY</u> , <u>OPPPCARE</u>
代理母出産への賛否	OSUBMOM
ドナーカード	
...の所持	DOCARD
...への署名	DO3SIGN
病院への信頼	<u>TR3HSPLZ</u>
飲酒 喫煙, 健康	
...の頻度	<u>DO7DRINK</u>
インターネット 情報技術	
...で政治のニュースを見る頻度	FQ4PLWEB
...の監視への賛否	<u>OPACINET</u>
...のために英語を学習	ELINET
...のための英語の使用機会	<u>EAINET</u>
...の利用	<u>DOINNONE</u>
買い物	<u>DOINSHOP</u> , DONETSB, SFQINET
株取引	DONETSTK
情報検索	<u>DOINBRS</u> , FQ4PLWEB, SFQINET
バンキング	<u>DOINBANK</u> , DONETSB
ホームページの作成	<u>DOINHP</u>
...を使った自殺への意見	<u>OPSCDIN</u>
電子メールの利用	DOEMAIL, DOEMAILJ, DOEMAILP
英語 教育, 国際	

エスニシティ	国際	
夫	結婚, 男性, 配偶者	
親	世代間援助, 父親, 母親	
	...が仕事の相談相手	ZKIN1[I-L]
	...が政治的な話題の相手	ZKIN1[E-H]
	...が悩みの相談相手	ZKIN1[A-D]
	...との関係が高齢期に重要	IMORPAR
	...との世代間援助	
	...の頻度	<u>HLPE2PM</u> , <u>HLPEFPM</u> , <u>HLPP2PM</u> , <u>HLPPFPM</u>
	...への意見	<u>OPISMM</u> , <u>OPISMW</u> , <u>OPISUM</u> , <u>OPISUW</u>
	結婚時の援助	<u>HLPMGPM</u>
	...にいじめの責任	
	いじめた生徒の...	SUFFBUL
	本人の...	SUFFSLF
	...による体罰への賛否	Q5PMSPNK
	...の教育方針が子の学歴を決める	OP4EDPAR
	...の収入・資産が子の学歴を決める	OP4EDECN
	...の収入で生計をまかなう者	<u>INCPAR</u> , <u>INPARENT</u>
	...の生死	<u>PMDTH</u>
	...の世話の意思決定者	<u>DMPPSPPT</u>
	...を扶養した子どもによる相続への意見	<u>Q7FFCARE</u>
	...を扶養する責任がある子ども	<u>OPPPCARE</u>
	結婚の決定への...の影響力	<u>INFLPMMG</u>
	子どもが...の誇りになることへの意見	<u>Q7FFHNR</u>
	三世代同居への賛否	<u>OP2GNR</u>
	将来なりたかった職業は...の職業か	<u>WNTJBPM</u>
	配偶者の...	
	...との世代間援助	
	...の頻度	<u>HLPE2PML</u> , <u>HLPEFPML</u> , <u>HLPP2PML</u> , <u>HLPPFPML</u>
	...への意見	<u>OPISMMSS</u> , <u>OPISMWSS</u>
	結婚時の援助	<u>HLPMGPML</u>
	...の生死	<u>PMLDTH</u>
	保育・育児の責任	<u>OP5CCARE</u>
親子関係	親, 家族, 子ども, 青少年, 世代間援助, 父親, 母親	
介護	医療, 健康, 高齢者, 社会保障	
外国	国際	
外国人	国際	
階層	学歴, 収入, 就労, 不平等	
	...帰属意識	<u>OP10LVL</u> , <u>OP5LEVK</u>
カウンセリング	心の健康	
科学	医療, 学校, 教育, 情報技術	
	医師が心の健康の相談相手	WLADDD, WLADDDSP
	遺伝子組換え食品	
	...の知識	KNOWGMO
	...への意見	
	安全	OPGMSAFE
	自然なもの	OPGMNTRL
	自分にとって有益	OPGMUSER
	社会にとって有益	OPGMUSES
	社会への普及	OPGMSPRD
	食べてもよい	OPGMEAT
	どのようなものがあるか	OPGMWHAT
	どのようにしてできるか	OPGMHOW
	思い浮かぶ...	
	...の有無	KWGMCONC
	...の個数	NGMCONC

<p>...の種類</p> <p>学者・研究者への信頼 心理学・カウンセリングの知識 心理学の専門家が心の健康の相談相手</p>	<p>GMCONC1, GMCONC2, GMCONC3, GMCONC4, GMCONC5, GMCONC6, GMCONC7, GMCONC8, GMCONC9</p> <p><u>TR3ACDAZ</u> KWCOUNSL WLADPSY</p>
<p>学習 学校, 教育, 訓練</p>	
<p>学歴 学校, 教育</p> <p>...の取得に学校の意義があった ...への意見 学歴は親の教育方針による 学歴は経済的状況による 学歴は本人の実力による 子どもにはできるだけ高い学歴を 高い学歴で希望職に就ける 高い学歴でよい結婚ができる 高い学歴は収入面に恵まれる どの大学かで人生が左右 経済的な理由で進学を断念した経験 仕事の相談相手の... 職業学校の経験の有無</p> <p>政治的な話題の相手の... 対象者の... 高校 ...での学科 ...の進学率 卒業 / 中退 / 在学中 大学 ...での専攻分野 ...の国・公・私立の区別</p> <p>父親の... 悩みの相談相手の... 配偶者の... 母親の...</p>	<p>MSQUALF</p> <p>OP4EDPAR OP4EDECN OP4EDABI <u>IMEDHRU</u>, <u>IMEDUNIV</u>, OP4EDHI <u>OP4EDJOB</u> <u>OP4EDMG</u> <u>OP4EDINC</u> <u>IMEDHRU</u>, OP4EDUNI <u>XQTEDU</u> ZLSTSCH[I-L] XKAKUSHU, XNOKNOW, XNOMARK, XNOSCH, XOCCUP, XSENSHU, <u>XSPSCH</u> ZLSTSCH[E-H] <u>XXLSTSCH</u></p> <p>XHSSUB XHSRATE <u>DOLSTSCH</u></p> <p>XUSUB XUPUBLIC <u>PPLSTSCH</u> ZLSTSCH[A-D] <u>SSLSTSCH</u> <u>MMLSTSCH</u></p>
<p>家計 資産, 収入, 消費行動</p> <p>...が子の学歴を決める ...について世間との比較 ...の管理の意思決定者 ...の管理方法 ...の最近の変化 ...への満足度 15歳の頃の...レベル 親との経済的な世代間援助の頻度 ギャンブルへの支出 クレジットカード ...の機能の利用 ...の所有枚数 ...の用途 ...への意見 経済的な格差が少年犯罪の原因 経済的な理由で進学を断念した経験 結婚時の世代間援助 高価な品物の購入の意思決定者 自動車の費用が高すぎる 自動車の負担感</p> <p>借金への賛否</p>	<p>OP4EDECN <u>OP5FFINX</u> <u>DMEXP</u> RR6ACCT <u>OP3ECN3A</u> <u>ST5ECNY</u> <u>OPFFIX15</u> <u>HLPE2PM</u>, <u>HLPE2PML</u>, <u>HLPEFPM</u>, <u>HLPEFPML</u> NUMRACE, SZLOT, SZPACHI, SZRACE, SZTOTO</p> <p>FNCDCASH, FNCDINST, FNCDONE, FNCDREVO NUMCARD USCDCHRG, USCDDAY, USCDEAT, USCDHIGH OPCDCM, OPCDCRM, OPCDOVER, OPCDUSFL OPJVECN <u>XQTEDU</u> <u>HLPMGPM</u>, <u>HLPMGPML</u> <u>DMHIEXP</u> OPCARCST EXCARBUY, EXCARFIX, EXCARGAS, EXCARINS, EXCARPRK Q4DEBT</p>

<p>消費者金融 ...の用途  ...の利用回数 ...への意見 所得税の負担感 生活水準向上の機会 成人子との経済的な世代間援助の頻度 世帯支出     教育費     住宅費 世帯収入 福祉と税負担のバランスについての意見</p>	<p>USCSBANK, USCSBUS, USCSCLTH, USCSDAY, USCSEDU, USC SHOB, USCSMD, USCSOTHR, USCSSOC NUMCONSF OPCSCM, OPCSCRM, OPCCOVER, OPCUSFL <u>OP6TAXHI</u> <u>OP5CHNCA</u> <u>HLPE2CC</u>, <u>HLPEFCC</u>  <u>OPEXED</u>, <u>SZEXED</u>, SZEXHIED SZEXHIHS, SZEXHOUS SZHSHINC, <u>SZHSINCM</u> OWELFTAX</p>
<p>賭け事      ギャンブル, 余暇活動</p>	
<p>家事      家族, 家庭 ...を仕事とすることへの満足度 親との実践的な世代間援助の頻度 親の世話の意思決定者 食産業の利用頻度     外食     調理済み食品     弁当 成人子との実践的な世代間援助の頻度 対象者による...の頻度     家の掃除     買い物     ゴミ出し     洗濯     夕食の用意 男性による...への賛否 配偶者との...分担 配偶者による...の頻度     家の掃除     買い物     ゴミ出し     洗濯     夕食の用意</p>	<p>ST5HSWK <u>HLPP2PM</u>, <u>HLPP2PML</u>, <u>HLPPFPM</u>, <u>HLPPFPML</u> <u>DMPPSPPT</u>  <u>FQFDOUT</u> <u>FQFDFRZN</u> <u>FQFDBOX</u> <u>HLPP2CC</u>, <u>HLPPFCC</u>  <u>FQ7CLEAN</u> <u>FQ7SHOP</u> <u>FQ7GARB</u> <u>FQ7WASH</u> <u>FQ7CKDNR</u> Q4MNCKY, <u>Q4MNCOOK</u>, <u>Q7WWMNCK</u> WH3HSWK  <u>SSFQ7CLN</u> <u>SSFQ7SHP</u> <u>SSFQ7GRB</u> <u>SSFQ7WSH</u> <u>SSFQ7CK</u></p>
<p>カジノ      ギャンブル</p>	
<p>家族      親, 家計, 家事, 家庭, きょうだい, 結婚, 子ども, 世代間援助, 父親, 孫 ...意識     希望する子どもの性別     三世同居への賛否     自分より家族を優先     妻より夫の親族を優先     墓への希望      夫婦別姓への意見     離婚への賛否     理想的な子どもの人数 ...が心の健康の相談相手 ...が仕事の相談相手 ...が政治的な話題の相手 ...が悩みの相談相手 ...揃っての夕食の頻度 ...揃ってのレジャー活動の頻度 ...で政治について話す頻度 ...との会話のための英語の使用機会</p>	<p><u>APPCCSXB</u>, <u>APPCCSXE</u> <u>OP2GNR</u> <u>Q7PRFF</u> <u>Q7PRMAN</u> OP7CMTRA, XCMCARE, XCMETC, XCMNATR, XCMNOMK, XCMNONE, XCMSENS <u>OP4NAME</u> Q4CCDVY, <u>Q4DIVOK</u>, Q4HHDVY, Q4WWDVY <u>APPCCNMX</u>, <u>APPCCNUM</u> WLADFF ZKIN2[I-L] ZKIN2[E-H] ZKIN2[A-D] <u>FQ7FFDNR</u>, <u>FQFFDNRE</u> <u>FQFFLSR</u> FQ4PLFAM EUFAMILY</p>

<p>...のアレルギーの有無</p> <p>...の介護経験  対象者による...  配偶者による...</p> <p>...の収入で生計をまかなう者</p> <p>...の人数  一時的な別居者  同居者  配偶者・親・子以外の...</p> <p>家の宗教の有無  対象者の...  配偶者の...</p> <p>外国人と結婚した親族の有無</p> <p>高齢期の活動として...との時間が重要</p> <p>世帯</p> <p>...員</p> <p>...との一時的な別居の理由</p> <p>...との同居 / 一時的な別居</p> <p>...の結婚状況</p> <p>...の就労の有無</p> <p>...の性別</p> <p>...の続柄</p> <p>...の年齢</p> <p>世帯主</p> <p>...支出  教育費  住宅費</p> <p>...収入  ...について世間との比較  ...の最近の変化  15歳の頃の...レベル</p> <p>...主</p> <p>...の種別</p> <p>ペットが...関係に役立つという意見</p> <p>万引きをした子どもは...に通知</p>	<p><u>FAATOPI</u>, <u>FAFOOD</u>, <u>FAKAFUN</u>, <u>FANOFF</u>, <u>FANOMARK</u>,  <u>FANONE</u>, <u>FAZENSOK</u></p> <p><u>XC2OTHR</u>, <u>XC2PM</u>, <u>XC2SS</u>, <u>XC2SSPM</u>, <u>XCARE</u>  <u>SSC2OTHR</u>, <u>SSC2PM</u>, <u>SSC2R</u>, <u>SSC2SSPM</u>, <u>SSCARE</u>  <u>INCFAM</u>, <u>INFAMILY</u></p> <p>FF[01-10]MARK, <u>SZFFONLY</u>, SZFFTTL  SZFFAWAY, <u>SZFFOUT</u>  SZFFHERE  SZFFOTHR</p> <p><u>DORL</u>  SSDORL  FFXFNMG, XFNMGX  IMOAFF</p> <p>FF[01-10]OUT, FF[01-10]WHY, <u>FFO[01-06]WHY</u>,  FFSEPWHY  FF[01-10]HERE, FF[01-10]HOME, <u>FFO[01-06]REL</u>,  FFRESIDE  <u>FF[01-09]MG</u>  <u>FF[01-09]JOB</u>  <u>FF[01-10]SEX</u>, FFH[01-05]SEX  <u>FF[01-10]REL</u>, FFH[01-05]REL, <u>FFO[01-06]REL</u>  <u>FF[01-10]AGE</u>, FFH[01-05]AGE  FF[01-10]HEAD, <u>FFHEAD</u></p> <p><u>OPEXED</u>, <u>SZEXED</u>, SZEXHIED  SZEXHIHS, SZEXHOUS  SZHSHINC, <u>SZHSINCM</u>  <u>OP5FFINX</u>  <u>OP3ECN3A</u>  <u>OPFFIX15</u>  FF[01-10]HEAD, <u>FFHEAD</u>  FFRESIDE  PT4FFCOA  SLFAMILY</p>
<p>学校 科学, 学歴, 教育, 子ども</p> <p>...外学習の経験</p> <p>...が少年犯罪の原因</p> <p>...時代の友人との関係が高齢期に重要</p> <p>...にいじめの責任</p> <p>...の意義の経験</p> <p>学歴や資格</p> <p>基礎的な知識</p> <p>仕事に必要な技能</p> <p>自分の才能をのばす</p> <p>就職が有利</p> <p>自由な時間の利用</p> <p>スポーツ・部活動</p> <p>精神的成長</p> <p>先生から生き方を学ぶ</p> <p>専門的な知識</p> <p>友達づくり</p> <p>人間関係・社会性</p> <p>配偶者との出会い</p> <p>...の募金を通して寄付した経験</p>	<p>XSCORR, XSJUKU, XSNOMARK, XSNONE, XSTUTOR  OPJVSCHL  IMORFRSC  SUSCHL  MSETC, MSNOMARK, MSNONE  MSQUALF  MSBASIC  MSJSKILL  MSTALENT  MSFINDJB  MSFRTIME  MSSPORT  MSMENTAL  MSTEACHR  MSSPEC  MSFRIEND  MSHUMAN  MSSPOUSE  XDNTSCH</p>

<p>...への信頼 いじめ ...の責任</p> <p>身近な...の有無 学者・研究者への信頼 通った高校 ...での学科 ...の進学率 通った大学 ...での専攻分野 ...の国・公・私立の区別 最後に卒業した... 仕事の相談相手の... 政治的な話題の相手の... 対象者の... 卒業 / 中退 / 在学中 父親の... 悩みの相談相手の... 配偶者の... 母親の... 職業...の経験の有無 各種学校 公共職業訓練校 専修・専門学校 万引きをした子どもは...に通知</p>	<p><u>TR3SCHLZ</u></p> <p>SUBULLY, SUCMATE, SUFFBUL, SUFFSLF, SUSCHL, SUSELF, SUTCHER XSBULLY <u>TR3ACDAZ</u></p> <p>XHSSUB XHSRATE</p> <p>XUSUB XUPUBLIC</p> <p>ZLSTSCH[I-L] ZLSTSCH[E-H] <u>XXLSTSCH</u> <u>DOLSTSCH</u> <u>PPLSTSCH</u> ZLSTSCH[A-D] <u>SSLSTSCH</u> <u>MMLSTSCH</u></p> <p>XKAKUSHU XOCCUP XSENSHU, <u>XSPSCH</u> SLSCHL</p>
<p>家庭 家計, 家事, 家族 ...が少年犯罪の原因 ...生活への満足度 ...との両立を就労条件として重視 ...内暴力の経験 高齢期の活動として...での時間が重要 住居 ...の形態 ...の広さ</p>	<p>OPJVFF <u>ST5LIFEY</u> IM5FAMIL WHENBEAT, WHOMBEAT, XBEATEN IMOAFF</p> <p><u>OWNHOUSE</u>, TP8DWEL, <u>TPHOUSE</u> SZDWEL</p>
<p>加入 所属</p>	
<p>環境 ...に配慮した行動 ...の変化 買い物には袋などを持参 公共交通機関の利用 故障物は修理して使用 ゴミは分別して捨てる 再生商品の購入 節水の心がけ 地域でのリサイクル品の回収 詰め替え商品の購入 電化製品の購入時 ...に再生利用が可能なことを重視 ...に省エネ・省資源を重視 電気はこまめに消す 生ゴミを堆肥に 包装を簡単にしてもらう 無農薬や有機栽培の野菜の購入 リサイクルショップの利用 ...保護のボランティア活動を経験 ...問題への政府の支出に対する意見</p>	<p>XSAGCHEM, XSRECYC, XSREFIL, XSRESHOP FQ4BAG FQ4BUS FQ4MEND FQ4SORT FQ4RECYC, XSRECYC FQ4WATER <u>DOLARCYC</u>, <u>LARCYC</u> FQ4REFIL, XSREFIL</p> <p>IM5RECYC IM5SAVE FQ4DENKI FQ4TAIHI FQ4PACK FQ4NOYAK, XSAGCHEM FQ4USED, XSRESHOP XVLRENV, XVLTENV <u>BD3ENVA</u></p>

...問題への取り組みへの満足度 企業による... 国による... 自治体による... 自動車による...汚染が心配	STECOCO STECONAT STECOLOC OPCARECO
官公庁 政治, 政府 県庁の役職者と知り合い 市区町村 ...の首長と知り合い ...役所の役職者と知り合い 自治体による環境問題への取り組みへの満足度 政治家や官僚と接触した経験 対象者の勤めている事業所の組織形態 中央官庁 ...の役職者と知り合い ...への信頼	ZKPREFF, ZKPREFM, ZKPREFN, ZKPREFX  ZKMAYRF, ZKMAYRM, ZKMAYRN, ZKMAYRX ZKTOWNF, ZKTOWNM, ZKTOWNN, ZKTOWNX STECOLOC X5YCNTC2 TP4WPLA  ZKGVMTF, ZKGVMTM, ZKGVMTN, ZKGVMTX TR3BCRAZ
企業 経済, 就労	
義親 父親, 配偶者, 母親	
喫煙 飲酒, 健康 ...経験の有無 ...習慣の有無 禁煙を努力した経験の有無	DOSMOKEY DOSMOKE XQTSMOKE
規範 道徳 10代の売春への意見 家優先への意見 親への世代間援助への意見  家系継承への意見  結婚への意見  子どもを持つ必要性への意見 コミュニティの子どもへの注意の仕方  三世同居への賛否 借金への賛否 女性の就労への意見  体罰の必要性への意見 男性による家事への賛否 同性による性交渉への意見 配偶者以外との性交渉への意見 夫婦別姓への意見 離婚への賛否	Q4PROS19 Q7PRFE, Q7PRMAN OPISMM, OPISMMSS, OPISMW, OPISMWSS, OPISUM, OPISUW Q7FFAUTH, Q7FFCARE, Q7FFGRV, Q7FFHNR, Q7FFMAN, Q7FFNDMN Q7MGCC, Q7MGCOH, Q7MGDVCC, Q7MGDVGD, Q7MGMNHP, Q7MGOLD, Q7MGWNHP Q4NOCCMG, Q7MGCC SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF OP2GNR Q4DEBT Q4JBMMCC, Q4JBMMFM, Q4WNJB2L, Q4WWHHX, Q4WWHPHH, Q7WWHHX, Q7WWHPHH, Q7WWLOFF Q5PMSPNK, Q5TTSPNK Q4MNCKY, Q4MNCOOK, Q7WWMNCK Q4HOMSEA Q4ADLTRY OP4NAME Q4CCDVY, Q4DIVOK, Q4HHDVY, Q4WWDVY, Q7MGDVCC, Q7MGDVGD
寄付 ボランティア	
義父 父親, 配偶者	
義母 配偶者, 母親	
虐待 いじめ, 家庭, 教育, 心の健康, 暴力	
ギャンブル 余暇活動 ...の頻度 競馬 公営ギャンブル一般 サッカーくじ 宝くじ ナンバース・ミニロト パチンコ・パチスロ	FQ4HORSE FQ4PGAM, FQRACE, NUMRACE FQ4TOTO, FQTOTO FQ4LOTTO, FQLOT FQ4NBS FQ4PACHI, FQPACHI

...への支出 公営ギャンブル一般 サッカーくじ 宝くじ パチンコ・パチスロ カジノ ...が日本にできたら行くか ...の合法化への意見	NUMRACE, SZRACE SZTOTO SZLOT SZPACHI WLCASINO OPCASINO
給料 家計, 収入	
教育 科学, 学歴, 学校, 訓練 ...にとって重要なことへの意見 高レベルの大学 塾・予備校 大学 習い事 ...の機会を就労条件として重視 ...のボランティア活動を経験 ...費に消費者金融を利用 ...費の支出 ...への政府の支出に対する意見 いじめ ...の責任 身近な...の有無 英語 ...の学習意欲 ...の学習経験の有無 ...の学習理由 ...の使用機会 ...の能力 外国人と一緒に勉強した経験の有無 外国人の増加で外国語を学ぶ機会が増える 学歴への意見 学校外学習の経験 家庭教師 塾 通信教育 学校の意義の経験 学歴や資格 基礎的な知識 仕事に必要な技能 自分の才能をのばす 就職が有利 自由な時間の利用 スポーツ・部活動 精神的成長 先生から生き方を学ぶ 専門的な知識 友達づくり 人間関係・社会性 配偶者との出会い	<u>IMEDHRU</u> <u>IMEDCRAM</u> <u>IMEDUNIV</u> <u>IMEDLSSN</u> IM5TRG XVLRTCH, XVLTTCH USCSEDU <u>OPEXED</u> , <u>SZEXED</u> , SZEXHIED <u>BD3EDUC</u> SUBULLY, SUCMATE, SUFFBUL, SUFFSLF, SUSCHL, SUSELF, SUTCHER XSBULLY <u>WLRNENG</u> XECIRCLE, XECLASS, XEMEDIA, XENOMARK, XENONE, XEOSSTDY, XESELF, XESHANAI, XLRNENG ELCHILD, ELENJOY, ELETG, ELGETJOB, ELGRADE, ELINET, ELMOVIE, ELNEW, ELNOMK, ELPROMO, ELQUALF, ELTASK, ELTRAVL, ELVISION, ELWEST <u>EAART</u> , <u>EABUS</u> , <u>EAINET</u> , <u>EALearn</u> , <u>EANONE</u> , <u>EAOTHER</u> , <u>EASOC</u> , <u>EATRIP</u> , EUCLASS, EUETC, EUFAMILY, EUFRIEND, EUHOBBY, EUKIDS, EUNO, EUNOMARK, EUTOKI, EUYOKU <u>ENGREAD</u> , <u>ENGTALK</u> XFNSTDY, XFNSTDYX FNLANG OP4EDABI, OP4EDECN, OP4EDHI, <u>OP4EDINC</u> , <u>OP4EDJOB</u> , <u>OP4EDMG</u> , OP4EDPAR, OP4EDUNI XSNOMARK, XSNONE XSTUTOR XSJUKU XSCORR MSETC, MSNOMARK, MSNONE MSQUALF MSBASIC MSJSKILL MSTALENT MSFINDJB MSFRTIME MSSPORT MSMENTAL MSTEACHR MSSPEC MSFRIEND MSHUMAN MSSPOUSE

<p>興味がある外国語                  教養講座の受講経験                  クラブ活動への教員の立会いへの意見                  経済的な理由で進学を断念した経験                  高齢期の活動として学習活動が重要                  心の...への意見                  子どもの...の意思決定者                  子どもの...の責任                  子どもの就学の有無                  コミュニティの子どもへの注意の仕方</p> <p>実務講座の受講経験                  職業学校の経験の有無</p> <p>体罰への賛否                  親による...                  教師による...                  中学3年生の頃の成績                  読書冊数</p>	<p><u>INTFLANG</u>                  XECLASS, XLRNCLTR, XLRNENG, XSCLED                  OPCLUBT  <u>XQTEDU</u>                  IMOALRN                  OPEDMND  <u>DMCCED</u>  <u>OP5CCED</u>, <u>OP5CCEDE</u>  <u>CC[01-09]SCH</u>                  SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK,                  SLSCHL, SLSELF                  XLRNJB, XSLRNQL                  XKAKUSHU, XNOKNOW, XNOMARK, XNOSCH,                  XOCCUP, XSENSHU, <u>XSPSCH</u></p> <p>Q5PMSPNK                  Q5TTSPNK                  OP5SCHPF  <u>FQ5READ</u></p>
<p>教師 学校, 教育</p>	
<p>きょうだい</p> <p>...が仕事の相談相手                  ...が政治的な話題の相手                  ...が悩みの相談相手                  ...との関係が高齢期に重要                  ...の人数</p> <p>対象者の...</p> <p>兄                  姉                  妹                  弟</p> <p>配偶者の...</p> <p>兄                  姉                  妹                  弟</p>	<p>ZKIN2[I-L]                  ZKIN2[E-H]                  ZKIN2[A-D]                  IMORSIB</p> <p>XNUMSBLG, XNUMSELF  <u>XNUMBROE</u>  <u>XNUMSISE</u>  <u>XNUMSISY</u>  <u>XNUMBROY</u>                  XSSNSBLG, XSSNSELF  <u>XSSNBROE</u>  <u>XSSNSISE</u>  <u>XSSNSISY</u>  <u>XSSNBROY</u></p>
<p>兄弟姉妹 きょうだい</p>	
<p>居住地 コミュニティ, 住居</p> <p>...で外国人と出会う頻度                  ...でのコンビニエンスストアの利用頻度                  ...に外国人居住者が増えること                  ...の影響への意見</p> <p>...への賛否                  ...の市郡規模                  ...の人口比修正ウェイト                  ...の地域ブロック                  ...の都道府県                  ...の夜の治安                  ...への愛着                  ...への満足度                  15歳の頃の...                  海外での居住の経験                  居住年数                  距離                  子どもの家までの...</p>	<p><u>FQ4FNR</u>                  FQCONVI</p> <p>FNLCULT, FNETC, FNINTNL, FNJCUL, FNLANG,                  FNLOCAL, FNLOPOP, FNNOKNOW, FNNOMK, FNNONE,                  FNPEACE, FNPREDN, FNPREUP, FNSAFE, FNTAXUP,                  FNUNIQ, FNVARTY, FNWKCHN, FNWORK  <u>QFNINCR</u>  <u>SIZE</u>, <u>SIZE2K</u>  <u>WEIGHT</u>  <u>BLOCK</u>  <u>PREF</u>  <u>FEARWALK</u>                  LKLOCAL  <u>ST5AREAY</u>  <u>PREF15</u>, <u>REMOTE15</u>, <u>TP5LOC15</u>                  XEOSJOB  <u>XLIVEYR</u></p> <p><u>CC[01-09]DIST</u></p>

父親の家までの... 配偶者の父親の家までの... 配偶者の母親の家までの... 母親の家までの... 近所の人が仕事の相談相手 近所の人が政治的な話題の相手 近所の人が悩みの相談相手 現在の...に住み続けたいか 調査員による地区の種別の評価	<u>PPDIST</u> <u>PPLDIST</u> <u>MMLDIST</u> <u>MMDIST</u> ZNEIB[I-L] ZNEIB[E-H] ZNEIB[A-D] <u>WLLIVE</u> <u>AREA</u>
金融 経済	
訓練 学校, 教育, 就労 ...の機会を就労条件として重視 海外留学や海外研修の経験 仕事に必要な技能の取得に学校の意義があった 実務講座の受講経験 職業学校の経験の有無  職場研修 ...で英語を学習した経験 ...の有無 ...の期間 ...の費用負担者	IM5TRG XEOSSTDY MSJSKILL XLRNJB, XSLRNQL XKAKUSHU, XNOKNOW, XNOMARK, XNOSCH, XOCCUP, XSENSHU, <u>XSPSCH</u>  XESHANAI XTRG1YR SZTRGA WHPAYTRG
景気 経済	
経済 家計, 社会保障, 収入, 消費行動, 政治, 年金 ...的な格差が少年犯罪の原因 インターネットによる株取引 インターネットによるショッピング・バンキング 外国人の増加で税負担が増す 開発援助に対する意見  企業による環境問題への取り組みへの満足度 業界団体への所属 銀行員と知り合い 金融機関への信頼 現在の日本の景気の判断 借金への賛否 政治献金をした経験 政府の支出に対する意見  大企業への信頼 中小企業経営者と知り合い 同業組合の役員と知り合い	OPJVECN DONETSTK DONETSB FNTAXUP <u>OPADDIPL</u> , <u>OPADEXP</u> , <u>OPADFIN</u> , <u>OPADINFO</u> , <u>OPADOBL</u> , <u>OPADVITL</u> STECOCO <u>MEMIND</u> ZKBANKF, ZKBANKM, ZKBANKN, ZKBANKX <u>TR3FINZ</u> OBUSINS Q4DEBT X5YDONAT <u>BD3CNSTR</u> , <u>BD3CRIME</u> , <u>BD3EDUC</u> , <u>BD3EMPTY</u> , <u>BD3ENVA</u> , <u>BD3ODA</u> , <u>BD3SAFTY</u> , <u>BD3WFR</u> <u>TR3CORPZ</u> ZKSMALLF, ZKSMALLM, ZKSMALLN, ZKSMALLX ZKTRDEF, ZKTRDEM, ZKTRDEN, ZKTRDEX
警察 犯罪, 法制度 ...への信頼 居住地の夜の治安	<u>TR3COPZ</u> <u>FEARWALK</u>
芸術 余暇活動 映画鑑賞の頻度 音楽鑑賞の頻度 文化・芸術のボランティア活動を経験	<u>FQ4MOVIE</u> <u>FQ4MUSIC</u> XVLRCUL, XVLTCUL
携帯電話 情報技術	
結婚 家族, 再婚, 死別, 性, 配偶者, 離婚 ...意識 夫は年上 結婚と幸福との関係への意見  子どもを持つ必要性への意見 同棲への賛否 配偶者以外との性交渉への意見	Q7MGOLD Q4MGHAPP, <u>Q4MNMGA</u> , <u>Q4WNMGA</u> , <u>Q7MGMNHP</u> , <u>Q7MGWNHP</u> <u>Q4NOCCMG</u> , <u>Q7MGCC</u> <u>Q7MGCOH</u> Q4ADLTRY

<p>夫婦別姓への意見 離婚への賛否</p> <p>...経験の有無 ...生活の幸福の程度 ...生活への満足度 ...の回数 ...の決定への親の影響 ...の年齢 現在の...状況 子どもの...状況 親族が外国人と... 世帯員の...状況 高い学歴を得ればよい...ができる 父親の...状況 配偶者との関係への満足度 配偶者との出会い ...のきっかけ ...の紹介者 ...の場所 配偶者の再婚経験 配偶者の父親の...状況 配偶者の母親の...状況 母親の...状況</p>	<p><u>OP4NAME</u> <u>Q4CCDVY</u>, <u>Q4DIVOK</u>, <u>Q4HHDVY</u>, <u>Q4WWDVY</u>, <u>Q7MGDVCC</u>, <u>Q7MGDVGD</u> <u>DOMARRY</u>, <u>DOMARRYZ</u>, <u>XMARRY</u> <u>FF5HAPPZ</u> <u>STMGLF</u> <u>NUMMARRY</u> <u>INFLPMMG</u> <u>AGE1MG</u>, <u>AGE2MG</u>, <u>AGE3MG</u>, <u>AGE4MG</u> <u>DOMARRY</u>, <u>DOMARRYZ</u>, <u>MARC</u> <u>CC[01-09]MG</u> <u>FFXFNMG</u>, <u>XFNMGX</u> <u>FF[01-09]MG</u> <u>OP4EDMG</u> <u>PPMG</u> <u>ST5SSREL</u></p> <p><u>FSTMTSS</u> <u>WHOINTSS</u> <u>WHRMTSS</u> <u>XSSRMG</u> <u>PPLMG</u> <u>MMLMG</u> <u>MMM</u></p>
<p>健康 医療, 飲酒, 喫煙, 心の健康 ...に気をつけた食事の頻度の変化 ...のための運動の頻度の変化 ...の程度 対象者の... 父親の... 配偶者の... 配偶者の父親の... 配偶者の母親の... 母親の... ...への満足度 アレルギーの有無 家族の... アトピー性皮膚炎 花粉症 食物アレルギー ぜんそく 対象者の... アトピー性皮膚炎 花粉症 食物アレルギー ぜんそく 医師と知り合い 遺伝子組換え食品への意見</p> <p>飲酒の頻度 介護・福祉のボランティア活動を経験 外食の頻度 家族の介護経験 対象者による... ...の相手 配偶者による... ...の相手</p>	<p><u>XSMEAL</u> <u>XSEXER</u></p> <p><u>OP5HLTHE</u>, <u>OP5HLTHZ</u> <u>PPHLTH</u> <u>SS5HLTHE</u>, <u>SS5HLTHZ</u> <u>PPLHLTH</u> <u>MMLHLTH</u> <u>MMHLTH</u> <u>ST5HLTHY</u></p> <p><u>FANOFF</u>, <u>FANOMARK</u>, <u>FANONE</u> <u>FAATOPI</u> <u>FAKAFUN</u> <u>FAFOOD</u> <u>FAZENSOK</u> <u>HANOMARK</u>, <u>HANONE</u> <u>HAATOPI</u> <u>HAKAFUN</u> <u>HAFOOD</u> <u>HAZENSOK</u> <u>ZKDOCF</u>, <u>ZKDOCM</u>, <u>ZKDOCN</u>, <u>ZKDOCX</u> <u>OPGMEAT</u>, <u>OPGMHOW</u>, <u>OPGMNTRL</u>, <u>OPGMSAFE</u>, <u>OPGMSPRD</u>, <u>OPGMUSER</u>, <u>OPGMUSES</u>, <u>OPGMWHAT</u> <u>DO7DRINK</u> <u>XVLRWF</u>, <u>XVLTWF</u> <u>FQFDOUT</u>, <u>XSEATOUT</u></p> <p><u>XCARE</u> <u>XC2OTHR</u>, <u>XC2PM</u>, <u>XC2SS</u>, <u>XC2SSPM</u> <u>SSCARE</u> <u>SSC2OTHR</u>, <u>SSC2PM</u>, <u>SSC2R</u>, <u>SSC2SSPM</u></p>

喫煙 ...経験の有無 ...習慣の有無 禁煙を努力した経験の有無 無農薬・有機野菜の購入	DOSMOKEX DOSMOKE XQTSMOKE XSAGCHEM
研修 訓練	
交際 国際, コミュニティ, 友人 ...ネットワーク ...に関する面接部分の所要時間 心の健康の相談相手  仕事の相談相手 ...が投票する政党 ...同士が知り合いか ...と会話する頻度 ...と知り合ってから年数 ...との間柄  ...との外出の有無 ...との共通の趣味の有無 ...との親密度 ...との政治的な会話の有無 ...の最終学歴 ...の従業上の地位 ...の職種 ...の性別 ...の人数 ...の年齢 ...への借金の可能性 知り合いが同一人物か 知り合い同士が知り合いか 知り合いの種類 医師 銀行員 県庁の役職者 工場作業員 国会議員 市区町村の首長 市区町村役所の役職者 市民運動団体の役員 情報技術者 政治家の後援会の世話役 地方議会議員 中央官庁の役職者 中小企業経営者 町内会の役員 同業組合の役員 保険の勧誘員 マスコミ関係者 労働組合の役員 政治的な話題の相手 ...が投票する政党 ...同士が知り合いか ...と会話する頻度 ...と知り合ってから年数	ZTIME WLADDD, WLADDDSP, WLADFF, WLADFRI, WLADNONE, WLADOTHR, WLADPSY, WLADRLGN  ZVOTE[I-L] Z3KNOW[I-L] ZFQTALK[I-L] ZKNOWYR[I-L] ZFRIE[I-L], ZJOBCOL[I-L], ZJOBETC[I-L], ZJOBREL[I-L], ZKIN1[I-L], ZKIN2[I-L], ZNEIB[I-L], ZRELETC[I-L], ZRLNOMK[I-L], ZSS[I-L], ZTEAM[I-L] ZCOUTG[I-L] ZCOHOBB[I-L] ZCLOSE[I-L] ZPLTALK[I-L] ZLSTSCH[I-L] ZTP7JOB[I-L] ZJOB[I-L] ZSEX[I-L] Z3ELSE, Z3NUM, Z3XX[I-L] ZAGE[I-L] ZCOMONY[I-L] ZSAME1, ZSAME2, ZSAME3, ZSAME4, ZSAME5, ZSAME6 Z1KNOW[A-D], Z2KNOW[E-H], Z3KNOW[I-L]  ZKDOCF, ZKDOCM, ZKDOCN, ZKDOCX ZKBANKF, ZKBANKM, ZKBANKN, ZKBANKX ZKPREF, ZKPREFM, ZKPREFN, ZKPREFX ZKFCTRYF, ZKFCTRYM, ZKFCTRYN, ZKFCTRYX ZKDIETF, ZKDIETM, ZKDIETN, ZKDIETX ZKMAYRF, ZKMAYRM, ZKMAYRN, ZKMAYRX ZKTOWNF, ZKTOWNM, ZKTOWNN, ZKTOWNX ZKVOLF, ZKVOLM, ZKVOLN, ZKVOLX ZKCOMPF, ZKCOMPM, ZKCOMPN, ZKCOMPX ZKSECRF, ZKSECRM, ZKSECRN, ZKSECRX ZKLOCALF, ZKLOCALM, ZKLOCALN, ZKLOCALX ZKGVMTF, ZKGVMTM, ZKGVMTN, ZKGVMTX ZKSMALLF, ZKSMALLM, ZKSMALLN, ZKSMALLX ZKJICHIF, ZKJICHIM, ZKJICHIN, ZKJICHIX ZKTRDEF, ZKTRDEM, ZKTRDEN, ZKTRDEX ZKINSF, ZKINSM, ZKINSN, ZKINSX ZKMEDIAF, ZKMEDIAM, ZKMEDIAN, ZKMEDIAX ZKUNIF, ZKUNIM, ZKUNIN, ZKUNIX  ZVOTE[E-H] Z2KNOW[E-H] ZFQTALK[E-H] ZKNOWYR[E-H]

...との間柄	ZFRIE[E-H], ZJOBCOL[E-H], ZJOBETC[E-H], ZJOBREL[E-H], ZKIN1[E-H], ZKIN2[E-H], ZNEIB[E-H], ZRELETC[E-H], ZRLNOMK[E-H], ZSS[E-H], ZTEAM[E-H]
...との外出の有無	ZCOUTG[E-H]
...との共通の趣味の有無	ZCOHOBB[E-H]
...との親密度	ZCLOSE[E-H]
...との政治的な会話の有無	ZPLTALK[E-H]
...の最終学歴	ZLSTSCH[E-H]
...の従業上の地位	ZTP7JOB[E-H]
...の職種	ZJOB[E-H]
...の性別	ZSEX[E-H]
...の人数	Z2ELSE, Z2NUM, Z2XX[E-H]
...の年齢	ZAGE[E-H]
...への借金の可能性	ZCOMONY[E-H]
悩みの相談相手	ZVOTE[A-D]
...が投票する政党	Z1KNOW[A-D]
...同士が知り合いか	ZFQTALK[A-D]
...と会話する頻度	ZKNOWYR[A-D]
...と知り合ってから年数	ZFRIE[A-D], ZJOBCOL[A-D], ZJOBETC[A-D], ZJOBREL[A-D], ZKIN1[A-D], ZKIN2[A-D], ZNEIB[A-D], ZRELETC[A-D], ZRLNOMK[A-D], ZSS[A-D], ZTEAM[A-D]
...との間柄	ZCOUTG[A-D]
...との外出の有無	ZCOHOBB[A-D]
...との共通の趣味の有無	ZCLOSE[A-D]
...との親密度	ZPLTALK[A-D]
...との政治的な会話の有無	ZLSTSCH[A-D]
...の最終学歴	ZTP7JOB[A-D]
...の従業上の地位	ZJOB[A-D]
...の職種	ZSEX[A-D]
...の性別	Z1ELSE, Z1NUM, Z1XX[A-D]
...の人数	ZAGE[A-D]
...の年齢	ZCOMONY[A-D]
...への借金の可能性	FFXFNMG, <u>FQ4FNR</u> , XEFRIEND, XFNACT, XFNASSOX, XFNCLUBX, XFNETCX, XFNHLLLO, XFNHLLXO, XFNMEAL, XFNMGX, XFNOMK, XFNOMKX, XFNONE, XFNSTAY, XFNSTDY, XFNSTDYX, XFNWORK, XFNWORKX
外国人との...	<u>ENGREAD</u> , <u>ENGTALK</u>
英語能力	EUFAMLY
家族との会話のための英語の使用機会	<u>EASOC</u> , EUFRIEND
友人つきあいのための英語の使用機会	<u>FAVFCHN</u> , <u>FAVFIDN</u> , <u>FAVFINN</u> , <u>FAVFKOR</u> , <u>FAVFMNG</u> , <u>FAVFPHL</u> , <u>FAVFPRK</u> , <u>FAVFRUS</u> , <u>FAVFTHA</u> , <u>FAVFTWN</u> , <u>FAVFUSA</u>
外国の好感度	<u>FQFDOUT</u>
外食の頻度	<u>FQMPTALK</u>
携帯電話での通話の頻度	<u>CC[01-09]CNTA</u> , <u>CC[01-09]CNTB</u>
接触頻度	<u>PPCNTA</u> , <u>PPCNTB</u>
子どもとの...	<u>PPLCNTA</u> , <u>PPLCNTB</u>
父親との...	<u>MMLCNTA</u> , <u>MMLCNTB</u>
配偶者の父親との...	<u>MMCNTA</u> , <u>MMCNTB</u>
配偶者の母親との...	<u>FSTMTSS</u> , <u>WHOINTSS</u> , <u>WHRMTSS</u>
母親との...	PT4NETWA
配偶者との出会い	<u>FQMPMAIL</u> , <u>FQPCMAIL</u>
ペットを通した人間関係の広がりへの意見	<u>CC18CNT</u> , <u>LVTGCC18</u> , <u>XCC18</u>
メール送信の頻度	<u>FQ7FRSEE</u>
もっとも接している成人子	USCSSOC
友人との会食の頻度	
友人との交際費に消費者金融を利用	

幸福	満足度	
...の程度		
結婚生活の...		FF5HAPPZ
全般的な...		<u>OP5HAPPZ</u>
結婚による...への意見		Q4MGHAPP, <u>Q4MNMGA</u> , <u>Q4WNMGA</u> , <u>Q7MGMNHP</u> , <u>Q7MGWNHP</u>
公務員	官公庁, 就労	
交友	交際, 友人	
高齢者	社会保障, 年金, 年齢	
...にとって重要な活動への意見		
家族・親族との時間		IMOAFF
娯楽・レジャー		IMOALSR
仕事		IMOAWORK
地域活動		IMOACOM
読書・学習・研究		IMOALRN
一人の時間		IMOALON
文化・スポーツサークル		IMOACRCL
ボランティア		IMOAVLTR
友人との時間		IMOAFRI
...にとって重要な関係への意見		
親		IMORPAR
学校時代の友人		IMORFRSC
きょうだい		IMORSIB
近所の人		IMORCOM
子ども		IMORCC
仕事関係の友人		IMORFRWK
団体・サークルの友人		IMORFRCC
配偶者		IMORSS
ペット		IMORPET
孫		IMORCCG
...の医療・介護の責任		<u>OP5SRMDE</u> , <u>OP5SRMDY</u> , <u>OPPPCARE</u>
...の生活保障の責任		<u>OP5SRWFE</u> , <u>OP5SRWFY</u>
将来の年金額の予想		<u>OP5PENSN</u>
語学	教育, 国際	
国際		
安全保障への政府の支出に対する意見		<u>BD3SAFTY</u>
英語		
...の学習意欲		<u>WLRNENG</u>
...の学習経験の有無		XENOMARK, XENONE, XLRNENG
英会話学校や文化教室		XECLASS
英会話サークル		XECIRCLE
英語教材で自習		XESELF
海外留学や海外研修		XEOSSTDY
社内研修		XESHANAI
テレビ・ラジオ		XEMEDIA
...の学習理由		ELETC, ELNOMK
インターネット		ELINET
海外旅行		ELTRAVL
学習が好き		ELNEW
子どもの教育		ELCHILD
資格を得る		ELQUALF
仕事上役立つ		ELTASK
視野を広めたい		ELVISION
就職・転職		ELGETJOB
昇進・昇格		ELPROMO
卒業・進級		ELGRADE
楽しい		ELENOY
ニュース・映画		ELMOVIE

米英が好き	ELWEST
...の使用機会	<u>EANONE</u> , <u>EAOOTHER</u> , EUETC, EUNO, EUNOMARK
学習のための...	<u>EALEARN</u>
家族との会話のための...	EUFAMLY
学校や資格取得で使う	EUCLASS
子・孫に教える	EUKIDS
仕事のための...	<u>EABUS</u> , EUTOKI, EUYOKU
友人づきあいのための...	<u>EASOC</u> , EUFRIEND
余暇活動のための...	<u>EAART</u> , <u>EAINET</u> , <u>EATRIP</u> , EUHOBBY
...の能力	
会話	<u>ENGTALK</u>
読解	<u>ENGREAD</u>
外国人の増加で...学習の機会が増える	FNLANG
海外援助への政府の支出に対する意見	<u>BD3ODA</u>
海外勤務や居住の経験の有無	XEOSJOB
海外旅行の経験の有無	XEOSTRIP
外国	
...の好感度	
アメリカ	<u>FAVFUSA</u>
インド	<u>FAVIND</u>
インドネシア	<u>FAVIDN</u>
韓国	<u>FAVFKOR</u>
北朝鮮	<u>FAVPRK</u>
タイ	<u>FAVTHA</u>
台湾	<u>FAVFTWN</u>
中国	<u>FAVFCHN</u>
フィリピン	<u>FAVPHL</u>
モンゴル	<u>FAVFMNG</u>
ロシア	<u>FAVFRUS</u>
外国人	
...居住者の増加	
...による影響への意見	FNETC, FNNOKNOW, FNNOMK, FNNONE
外国語を学ぶ機会	FNLANG
外国の文化に触れる	FNCULT
過疎地の活性化	FNLOPOP
国際情勢への関心が高まる	FNINTNL
国際平和	FNPEACE
雇用機会の減少	FNWKCHN
社会の多様化	FNVARTY
税負担の増加	FNTAXUP
治安の悪化	FNSAFE
地域性の喪失	FNLOCAL
日本人の単一性の喪失	FNUNIQ
日本文化がそなわれる	FNJCUL
偏見が強くなる	FNPREUP
偏見が弱くなる	FNPREDN
労働力の補充	FNWORK
...への賛否	<u>QFNINCR</u>
...と近所で出会う頻度	<u>FQ4FNR</u>
...との交際	XEFRIEND, XFNNOMK, XFNNOMKX, XFNONE
挨拶	XFNHLLLO, XFNHLLLOX
一緒に国際交流活動	XFNCLUBX
一緒に仕事	XFNWORK, XFNWORKX
一緒に地域活動	XFNACT, XFNETCX
一緒に勉強	XFNSTDY, XFNSTDYX
自宅に宿泊	XFNSTAY
食事に招待	XFNMEAL
親族が結婚	FFXFNMG, XFNMGX

<p>友人づきあい 開発援助 ...に対する意見 ...の経験 興味がある外国語</p>	<p>XFNASOXX  <u>OPADDIPL</u>, <u>OPADEXP</u>, <u>OPADFIN</u>, <u>OPADINFO</u>, <u>OPADOBL</u>, <u>OPADVITL</u> <u>XADDONAT</u>, <u>XADVOL</u> <u>INTFLANG</u></p>
<p>心の健康 健康 ...の相談相手 家族 宗教家 心理学の専門家 精神科・心療内科の医師 その他の医師 友人・知人・恋人 ...を書した経験 ...の回数 親との死別  子どもの死亡 配偶者との死別 犯罪の被害 離婚 カウンセリング ...の受療意欲 ...の受療経験 家族による... 対象者による... ...の知識 心の教育への意見 自殺 ...願望の経験 ...への意見 インターネットを使った... 悩みの相談相手の人数 配偶者と悩みを話し合う ペットによる安寧への意見  身近ないじめの有無</p>	<p>WLADNONE, WLADOTHR WLADFF WLADRLGN WLADPSY WLADDDSP WLADDD WLADFRI  <u>XTRAUM5Y</u> <u>MMLLVTG</u>, <u>MMLVTG</u>, <u>PMDTH</u>, <u>PMLDTH</u>, <u>PPLLVTG</u>, <u>PPLVTG</u> CC[01-08]LIVE, CC[01-09]LVTG DODVWDW, <u>DOMARRY</u>, <u>DOMARRYZ</u>, FQWDW, XWIDOW <u>XROBBD1Y</u>, <u>XSTOLN1Y</u> DODVWDW, <u>DOMARRY</u>, <u>DOMARRYZ</u>, FQXDIV, XDIV  WLCOUNSL  XCOUNSLF XCOUNSLR KWCOUNSL OPEDMND  <u>XWNTSCD</u> <u>OPSCD</u> <u>OPSCDIN</u> Z1ELSE, Z1NUM, Z1XX[A-D] <u>SSTRLSTN</u>, <u>SSTRSPK</u> PT4ALONA, PT4BEINA, PT4NEEDA, PT4RELA, A, PT4WORTH  XSBULLY</p>
<p>子ども 親, 家族, 教育, 青少年, 世代間援助 ...が親の誇りになることへの意見 ...が仕事の相談相手 ...が政治的な話題の相手 ...が悩みの相談相手 ...と女性の就労への意見 ...との関係が高齢期に重要 ...との接触頻度 ...との同居 ...に高い学歴をつけさせることが重要 ...にとっての離婚への賛否 ...の家までの距離 ...の教育 ...にとって重要なことへの意見 ...の意思決定者 ...の責任 ...のために英語を学習 ...の結婚状況 ...の就学の有無 ...の就労の有無</p>	<p><u>Q7FFHNR</u> ZKIN1[I-L] ZKIN1[E-H] ZKIN1[A-D] <u>Q4JBMCC</u>, Q4JBMMFM IMORCC <u>CC[01-09]CNTA</u>, <u>CC[01-09]CNTB</u> <u>CC[01-09]LVTG</u> OP4EDHI Q4CCDVY <u>CC[01-09]DIST</u>  <u>IMEDCRAM</u>, <u>IMEDHRU</u>, <u>IMEDLSSN</u>, <u>IMEDUNIV</u> <u>DMCCED</u> <u>OP5CCED</u>, <u>OP5CCEDE</u> ELCHILD <u>CC[01-09]MG</u> <u>CC[01-09]SCH</u> <u>CC[01-09]JOB</u></p>

...の生死 ...の生年 ...の性別 希望する... ...の人数 理想的な... ...の年齢 ...の保育の責任 ...を持つ必要性への意見 コミュニティの...への注意の仕方  三世同居への賛否 成人した... ...との世代間援助の頻度 ...の有無 もっとも接している... ...との同居 体罰への賛否 親による... 教師による... 代理母出産への賛否 保育・育児の責任 離婚後の...への意見 老親扶養の責任がある...	CC[01-08]LIVE, CC[01-09]LVTG CC[01-08]BORN, CC[01-08]EOB, CC[01-0]YOB CC[01-09]SEX APPCCSX, APPCCSX CC[01-08]MARK, CCNUMTTL APPCCNM, APPCCNUM CC[01-09]AGE OP5CCREE Q4NOCCMG, Q7MGCC SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF OP2GNR  HLPE2CC, HLPEFCC, HLPP2CC, HLPPFCC XCC18 CC18CNT LVTGCC18  Q5PMSPNK Q5TTSPNK OSUBMOM OP5CCARE OPDVCNT, OPDVSGL, OPDVSTEP OPPPCARE
コミュニティ 環境, 居住地, 交際, 市民運動 ...でのボランティア活動 ...の有無 清掃活動 パトロール リサイクル品の回収 ...への参加 清掃活動 地域のパトロール リサイクル品の回収 ...の子どもへの注意の仕方  ...の人との関係が高齢期に重要 ...の募金を通して寄付した経験 ...への愛着 ...への満足度 外国人 ...居住者が増えること ...で地域性が喪失 ...への賛否 ...と地域活動をした経験の有無 ...と地域で出会う頻度 高齢期の活動として地域活動が重要 地元の有力者と接触した経験 住民パトロール ...の有無 ...への参加 ...への賛否 生協への所属 町内会で活動した経験 町内会の役員と知り合い	LADK, LANONE LACLN LAPTRL LARCYC DOLANONE DOLACLN DOLAPTRL DOLARCYC SLCLERK, SLETC, SLFAMILY, SLNODO, SLNOMK, SLSCHL, SLSELF IMORCOM XDNTSCH LKLOCAL ST5AREAY  FNLOCAL QFNINCR XFNACT, XFNETCX FQ4FNR IMOACOM X5YCNTC1  LAPTRL DOLAPTRL OPACPTL MEMCOOP X5YJICHI ZKJICHIF, ZKJICHIM, ZKJICHIN, ZKJICHIX
娯楽	ギャンブル, 芸術, スポーツ, 余暇活動
婚姻	結婚, 再婚, 死別, 離婚

再婚	結婚, 死別, 離婚	
...の有無		
死別後の...		XMGA1WD, XMGA2WD
離婚後の...		XMGA1DV, XMGA2DV
...の年齢		<u>AGE2MG</u> , <u>AGE3MG</u> , <u>AGE4MG</u>
死別後の...		AGEMG1WD, AGEMG2WD
離婚後の...		AGEMG1DV, AGEMG2DV
配偶者の...経験		<u>XSSRMG</u>
財産	資産, 収入	
裁判	犯罪, 法制度	
自衛隊		
...への意見		<u>OPAMND9</u> , <u>WHYAMND9</u>
...への信頼		<u>TR3DEFZ</u>
安全保障への政府の支出に対する意見		<u>BD3SAFTY</u>
ジェンダー	女性, 性, 男性	
仕事	就労, 不就労	
自殺	心の健康	
資産	家計, 収入	
...の相続への意見		<u>Q7FFCARE</u> , <u>Q7FFMAN</u>
インターネットで株取引		DONETSTK
親の...が子の学歴を決める		OP4EDECN
自動車		
...の種類		TPCARLG, TPCAROTH, TPCARSM, TPCARSTD, TPCARTK
...の所持		DOCAR
住居		<u>OWNHOUSE</u> , SZDWEL, TP8DWEL, <u>TPHOUSE</u>
貯蓄で生計をまかなう者		<u>INCSAVE</u> , INSAVING
パソコンの自宅利用		<u>DOCOMPP</u>
ファックスの利用		DOFAX
ペット		
...の種類		DOBIRDA, DOCAT, DODOGE, DODOGI, DOFISHA, DOINSECT, DOMAMMAL, DOOTHER, <u>DOPCATE</u> , <u>DOPCATI</u> , <u>DOPDOGE</u> , <u>DOPDOGI</u> , <u>DOPNOMK</u> , <u>DOPNONE</u> , <u>DOPOTHR</u> , <u>DOREPTL</u>
...の所持		DOPET
支出	家計, 消費行動	
死生観	医療, 宗教, 世界観	
失業	就労, 不就労	
自動車		
...の所持		DOCAR
...の負担感		
ガソリン代		EXCARGAS
購入代金・ローン		EXCARBUY
修理・車検		EXCARFIX
駐車場の賃貸料		EXCARPRK
保険料・税金		EXCARINS
...の用途		
送り迎え		USCARTFF
買物・用事		USCARSHF
仕事		USCARWK
通勤・通学		CMTCAR, USCARCMT
レジャー		USCARLSR
...への意見		
環境汚染が心配		OPCARECO
行動範囲が狭くなる		OPCARFLD
事故を起こしやすい		OPCARACC
ドライブの楽しみ		OPCARDRV
日常生活に支障		OPCARDLF

費用が高すぎる ...免許の所持 所持する...の種類  ドライブの頻度	OPCARCST DOCLCNS TPCARLG, TPCAROTH, TPCARSM, TPCARSTD, TPCARTK <u>FQ4DRIVE</u>
死別 結婚, 再婚 ...後の再婚 ...の有無 ...の年齢 ...の有無 ...の回数 ...の年齢	XMGA1WD, XMGA2WD AGEMG1WD, AGEMG2WD DODVWDW, <u>DOMARRY</u> , <u>DOMARRYZ</u> , XWIDOW FQWDW AGE1WDW, AGE2WDW
姉妹 きょうだい	
市民運動 環境, 政治, ボランティア ...団体の役員と知り合い ...団体への所属 ...に参加した経験 議会や役所に請願した経験 請願書に署名した経験 政治的な集会に出席した経験	ZKVOLF, ZKVOLM, ZKVOLN, ZKVOLX <u>MEMCIVIL</u> X5YCITZN X5YPETIT X5YSIGN X5YPOLMG
社会階層 階層	
社会保障 高齢者, 政治, 年金, 法制度 ...への政府の支出に対する意見 高齢者の医療・介護の責任 高齢者の生活保障の責任 失業保険で生計をまかなう者 社会福祉で生計をまかなう者 福祉と税負担のバランスについての意見	<u>BD3WFR</u> <u>OP5SRMDE</u> , <u>OP5SRMDY</u> <u>OP5SRWFE</u> , <u>OP5SRWFY</u> <u>INCUEB</u> , <u>INUEB</u> <u>INCSOC</u> , <u>INSOCSEC</u> <u>OWELFTAX</u>
住居 居住地, コミュニティ ...の形態 ...の広さ ...の防犯対策	<u>OWNHOUSE</u> , <u>TP8DWEL</u> , <u>TPHOUSE</u> SZDWEL <u>DOACCAM</u> , <u>DOACDOG</u> , <u>DOACKEY</u> , <u>DOACLIT</u> , <u>DOACNONE</u> , <u>DOACOTHR</u> , <u>DOACSECC</u>
宗教 世界観 ...家が心の健康の相談相手 ...団体 ...への所属 ...への信頼 死生観 安楽死法への賛否 死刑制度への賛否 死後の世界を信じるか 代理母出産への賛否 墓への希望  対象者の信仰する... ...の有無 ...の宗派 信仰の程度 配偶者の信仰する... ...の有無 ...の宗派 信仰の程度 墓を守ることへの意見	WLADRLGN  <u>MEMRL</u> <u>TR3RLGPZ</u>  <u>QDDKILLA</u> Q2DTHPY QAFTRDTH OSUBMOM OP7CMTRA, XCMCARE, XCMETC, XCMNATR, XCMNOMK, XCMNONE, XCMSENS  <u>DORL</u> <u>XXRL</u> <u>DO3PIOUS</u>  SSDORL SSXXRL SS3PIOUS <u>Q7FFGRV</u>
収入 家計, 資産, 消費行動 ...を就労条件として重視 親の...が子の学歴を決める 親の...で生計をまかなう者	IM5HIPAY OP4EDECN <u>INCPAR</u> , <u>INPARENT</u>

<p>家族の...で生計をまかなう者 生計をまかなう...源</p> <p>主な... 不就労者の...</p> <p>世帯... ...について世間との比較 ...の最近の変化 15歳の頃の...レベル</p> <p>対象者の... ...で生計をまかなう者 現在の仕事からの... ...の支払い形態</p> <p>最後にやめた仕事からの... 高い学歴を得れば...に恵まれる 配偶者の... ...で生計をまかなう者</p>	<p><u>INCFAM</u>, <u>INFAMILY</u> <u>INCFAM</u>, <u>INCIRR</u>, <u>INCMAIN</u>, <u>INCNOKN</u>, <u>INCNO MK</u>, <u>INCOTHER</u>, <u>INCPAR</u>, <u>INCPEN</u>, <u>INCSAVE</u>, <u>INCSELF</u>, <u>INCSOC</u>, <u>INCS P</u>, <u>INCUEB</u> <u>INCMAIN</u> INFAMILY, INIRREG, INNOKNOW, INNOMARK, INOTHER, INPARENT, INPEN, INSAVING, INSOCSEC, INSPOUSE, INUEB SZHSHINC, <u>SZHSINCM</u> <u>OP5FFINX</u> <u>OP3ECN3A</u> <u>OPFFIX15</u> <u>SZINCOMA</u> <u>INCSELF</u> SZHIINCX, <u>SZINCOMX</u> SZPAYDYX, SZPAYHRX, SZPAYMOX, SZPAYWKX, SZPAYRX, TP5PAY SZHILST, SZINLST <u>OP4EDINC</u> SSHIINCX, <u>SSSZINCA</u>, <u>SSSZINCM</u> <u>INCSP</u>, IN SPOUSE</p>
<p>就労 教育, 訓練, 不就労, 労働組合</p> <p>...に必要な技能の取得に学校の意義があった ...への意見</p> <p>経営に不安を覚えたときの... 労働条件に不満を覚えたときの...</p> <p>15歳の頃の父親の... 従業上の地位 職種 組織の規模 役職</p> <p>15歳の頃の母親の... 外国人と一緒に働いた経験の有無 外国人の増加で労働力に変化 業界団体への所属 高齢期の活動として仕事が重要 子どもの...の有無 雇用対策への政府の支出に対する意見 仕事関係の友人との関係が高齢期に重要 仕事に自動車を利用 仕事の関係者が仕事の相談相手 仕事の関係者が政治的な話題の相手 仕事の関係者が悩みの相談相手 仕事の相談相手の... 従業上の地位 職種</p> <p>仕事の相談相手の人数 仕事のために英語を学習 仕事のための英語の使用機会 重視する...条件</p> <p>就職が有利になることに学校の意義があった 将来なりたかった職業 ...に就けたか ...の有無 ...は親の職業か ...の職種</p> <p>職場での情報機器の利用</p>	<p>MSJSKILL</p> <p>WLWKMNG WLWKCND</p> <p><u>PPJBT15</u>, <u>PPJBTP15</u> <u>PPJBXX15</u>, <u>PPJBXX1E</u> <u>PPJBSZ15</u> <u>PPJBT15P</u>, <u>PPJBTP15</u> <u>MMJBTP15</u> XFNWORK, XFNWORKX FNWKCHN, FNWORK <u>MEMIND</u> IMOAWORK <u>CC[01-09]JOB</u> <u>BD3EMPLY</u> IMORFRWK USCARWK ZJOB COL[I-L], ZJOBETC[I-L], ZJOBREL[I-L] ZJOB COL[E-H], ZJOBETC[E-H], ZJOBREL[E-H] ZJOB COL[A-D], ZJOBETC[A-D], ZJOBREL[A-D]</p> <p>ZTP7JOB[I-L] ZJOB[I-L] Z3ELSE, Z3NUM, Z3XX[I-L] ELGETJOB, ELPROMO, ELQUALF, ELTASK <u>EABUS</u>, EUTOKI, EUYOKU IM5FAMIL, IM5FREE, IM5HIPAY, IM5INDEP, IM5INTRG, IM5OTHER, IM5PROMO, IM5SECUR, IM5SOCTY, IM5TRG MSFINDJB</p> <p><u>XWNTJOB</u> <u>WNTJB</u> <u>WNTJBPM</u> <u>WNTJBX</u> <u>DOCOMPJ</u>, DOEMAILJ</p>

女性の...への意見	<u>Q4JBMMCC</u> , <u>Q4JBMMFM</u> , <u>Q4WNJB2L</u> , <u>Q4WWHHX</u> , <u>Q4WWHPHH</u> , <u>Q4WWJBIA</u> , <u>Q7WWHHX</u> , <u>Q7WWHPHH</u> , <u>Q7WWLOFF</u>
政治的な話題の相手の...	
従業上の地位	ZTP7JOB[E-H]
職種	ZJOB[E-H]
世帯員の...の有無	<u>FF[01-09]JOB</u>
対象者の...	
現在の仕事	
...の有無	<u>XJOB1WK</u> , <u>XJOBX</u>
...への就労意欲	<u>WLKEEPJA</u> , <u>WLSTOPWK</u>
...への満足度	<u>ST5JOB</u>
雇用契約	<u>DOCNTRCT</u> , <u>SZCNTMO</u> , <u>SZCNTRCT</u> , <u>SZCNTYR</u>
事業所	
...の規模	<u>SZSTAF</u>
...の業種	<u>XXWPL</u> , <u>XXWPLE</u>
...の女性従業員割合	<u>SZWNSTF</u>
...の組織形態	<u>TP4WPLA</u>
従業上の地位	<u>TP12JOB</u> , <u>TPJOB</u>
収入	<u>SZHIINCX</u> , <u>SZINCOMX</u>
...の支払い形態	<u>SZPAYDYX</u> , <u>SZPAYHRX</u> , <u>SZPAYMOX</u> , <u>SZPAYWKX</u> , <u>SZPAYYRX</u> , <u>TP5PAY</u>
就労時間数	<u>SZSJBHWK</u> , <u>XJOBHWK</u> , <u>XOTHWK</u>
...の規定の有無	<u>XJOBREG</u>
...の規定量	<u>XJOBREGH</u>
就労日数	<u>XJOBDWK</u>
就労年数	<u>XJOBYR</u>
就労曜日	<u>DOWKFRI</u> , <u>DOWKMON</u> , <u>DOWKSAT</u> , <u>DOWKSUN</u> , <u>DOWKTHU</u> , <u>DOWKTUE</u> , <u>DOWKVAR</u> , <u>DOWKWED</u> , <u>DOWNOMK</u>
上司の有無	<u>BSDOBOSS</u> , <u>DOBOSS</u>
職種	<u>XXJOB</u> , <u>XXJOBE</u>
組織	
...の規模	<u>SZTTLSTA</u>
...の業種	<u>XXWPHQ</u>
通勤	
...時間数	<u>DOCMT</u> , <u>SZCMTHR</u> , <u>SZCMTMIN</u> , <u>SZCMTTL</u>
...手段	<u>CMTBCYL</u> , <u>CMTBOAT</u> , <u>CMTBUS</u> , <u>CMTCAR</u> , <u>CMTETC</u> , <u>CMTMCYL</u> , <u>CMTNOMK</u> , <u>CMTTRAIN</u> , <u>CMTWALK</u> , <u>USCARCMT</u>
部下の有無	<u>DOSTAFF</u> , <u>STFDOSTF</u>
副業	
...の有無	<u>XSJB1WK</u>
就労時間数	<u>SZSJBHWK</u>
役職	<u>TP12JOB</u> , <u>TPJOBP</u>
連休の回数	<u>FQWKOFF</u>
再就労の容易さ	<u>OP3NEWJB</u>
最初の仕事	
...に就いた時期	<u>XGETJOB</u>
...の求職方法	<u>HOWJOB</u>
事業所の業種	<u>XXFSTWP</u>
従業上の地位	<u>TP12FSTJ</u> , <u>TPFSTJB</u>
職種	<u>XXFSTJB</u> , <u>XXFSTJBE</u>
組織の規模	<u>SZSTFFST</u>
役職	<u>TP12FSTJ</u> , <u>TPFSTJBP</u>
失業の可能性	<u>OP4UNEMP</u> , <u>WLKEEPJA</u> , <u>WLSTOPWK</u>
就労への意欲	<u>DOFINDJB</u> , <u>DOLOOKJB</u> , <u>SZFINDJB</u> , <u>WLKEEPJA</u> , <u>WLSTOPWK</u> , <u>WLWANTJB</u>

<p>                     転職の回数                      高い学歴を得れば希望の...ができる                      父親の...の有無                      転職・勤続への意見                      同業組合の役員と知り合い                      悩みの相談相手の...                          従業上の地位                          職種                      配偶者の...                          ...の有無                          事業所の業種                          従業上の地位                          収入                          就労時間数                          就労日数                          就労年数                          職種                          組織の規模                          副業の就労時間数                          役職                      配偶者の父親の...の有無                      配偶者の母親の...の有無                      母親の...の有無                 </p>	<p>                     XNUMCOWK                      OP4EDJOB                      PPJOB                      OPCNGJB                      ZKTRDEF, ZKTRDEM, ZKTRDEN, ZKTRDEX                        ZTP7JOB[A-D]                      ZJOB[A-D]                        SSJB1WK                      SSXXHQX, SSXXHQXE                      SSTP12JB, SSTPJOB                      SSSIINCX, SSSZINCM                      SSJBHRWK, SSSJBHWK                      SSJBDWK                      SSSZWKYR                      SSXXJOB, SSXXJOBE                      SSSZSTFA                      SSSJBHWK                      SSTP12JB, SSTPJOBP                      PPLJOB                      MMLJOB                      MMJOB                 </p>
<p>                     趣味   ギャンブル, 芸術, スポーツ, 余暇活動                      消費行動   家計, ギャンブル, 経済, 余暇活動                      ...の変化                 </p>	
<p>                     外食の頻度                      買い物へのこだわり                          価格重視                          再生商品の購入                          詰め替え商品の購入                          品質重視                          無農薬・有機野菜の購入                      高級ブランド品の購入                      講座の受講                          資格関連の...                          趣味・教養の...                      通信販売の利用                      日本製品の購入                      リサイクルショップの利用                      インターネットで下調べ                      買ってから後悔                      居住地でのコンビニエンスストアの利用頻度                      クレジットカード                          ...の機能の利用                              1回払い                              キャッシング                              分割払い                              リボ払い                          ...の所有枚数                          ...の用途                              外食の代金                              高額な買い物                              公共料金・通信費                              日常の買い物                          ...への意見                              宣伝を制限                              使いすぎる                 </p>	<p>                     XSEATOUT                        XSPRICE                      XSRECYC                      XSREFIL                      XSQLTY                      XSAGCHEM                      XSBRAND                        XSLRNQL                      XSCLED                      XSCATL                      XSJAPAN                      XSRESHOP                      SFQINET                      SFQSORY                      FQCONVI                        FNCDONE                      FNDCASH                      FNCDINST                      FNCDREVO                      NUMCARD                        USCDEAT                      USCDHIGH                      USCDCHRG                      USCDDAY                        OPCDCM                      OPCDOVER                 </p>

<p>犯罪に利用される 便利 高価な品物の購入の意思決定者 衝動買い 消費者金融 ...の用途  ...の利用回数 ...への意見     宣伝を制限すべき     使いすぎる     犯罪に利用される     便利 賞味期限を確認 食産業の利用頻度 生産地を確認 節約     故障物は修理して使用     再生商品の購入     節水の心がけ     詰め替え商品の購入     電化製品の購入時         ...に省エネ・省資源を重視         ...に値段の安さを重視         ...に無料下取りサービスを重視     電気はこまめに消す     リサイクルショップの利用 他人に同調 チラシを見て買う ついでの時に買い物 電化製品購入の基準     アフターサービスが充実     色々な機能     色や形の良さ     再生利用が可能     省エネ・省資源     長持ち     値段の安さ     無料下取りサービス     メーカー名 電化製品はいくつかの店で比較 日用品は特定の店で購入 品質重視 まとめ買い</p>	<p>OPCDCRM OPCDUSFL <u>DMHIEXP</u> SFQIMPLS  USCSBANK, USCSBUS, USCSCLTH, USCSDAY, USCSEDU, USCSHOB, USCSMD, USCSOTHR, USCSSOC NUMCONSF  OPCSCM OPCSOVER OPCSCRM OPCSUSFL SFQDATE <u>FQFDBOX</u>, <u>FQFDFRZN</u>, <u>FQFDOUT</u> SFQLOC  FQ4MEND FQ4RECYC, XSRECYC FQ4WATER FQ4REFIL, XSREFIL  IM5SAVE IM5PRICE IM5TRADE FQ4DENKI FQ4USED, XSRESHOP SFQSAME SFQADVTS SFQCHNC  IM5SERV IM5FUNC IM5DESN IM5RECYC IM5SAVE IM5LAST IM5PRICE IM5TRADE IM5BRAND SFQELEC SFQSHOP SFQQLTY SFQSTK</p>
<p>情報技術      インターネット ...機器の利用     インターネット  携帯電話     ...での通話の頻度     ...でのメール送信の頻度 電子メール パソコン     ...でのメール送信の頻度 ファックス ...者が知り合い</p>	<p>DONONE, <u>DONONEX</u> <u>DOINBANK</u>, <u>DOINBRS</u>, <u>DOINHHP</u>, <u>DOINNONE</u>, <u>DOINSHOP</u>, <u>DONETSB</u>, DONETSTK, FQ4PLWEB, SFQINET <u>DOPHS</u> <u>FQMPTALK</u> <u>FQMPPMAIL</u> DOEMAIL, DOEMAILJ, DOEMAILP <u>DOCOMPJ</u>, <u>DOCOMP</u> <u>FQPCMAIL</u> DOFAX ZKCOMPF, ZKCOMP, ZKCOMP, ZKCOMPX</p>
<p>職業      就労, 不就労</p>	
<p>職場      就労, 不就労</p>	

職場研修	訓練	
職歴	就労, 不就労	
所持	資産, 消費行動	
女性	性, 性別, 男性, 母親 ...から親への世代間援助への意見 ...知事 ...候補への投票 ...による大相撲の表彰への賛否 ...天皇への賛否 ...にとっての結婚と幸福の関係への意見 ...にとっての離婚への賛否 ...の就労への意見  家事を仕事とすることへの満足度 対象者の勤める事業所の...従業員割合	<u>OPISMW</u> , <u>OPISMWSS</u> , <u>OPISUW</u>  ELWNGVNR QWNSUMO <u>OPEMP1C</u> , <u>OPEMPF</u> , <u>OPEMPFL</u> <u>Q4WNMGA</u> , <u>Q7MGWNHP</u> Q4WWDVY <u>Q4JBMMCC</u> , <u>Q4JBMMFM</u> , <u>Q4WNJB2L</u> , <u>Q4WWHHX</u> , <u>Q4WWHPHH</u> , <u>Q4WWJBIA</u> , <u>Q7WWHHX</u> , <u>Q7WWHPHH</u> , <u>Q7WWLOFF</u> ST5HSWK SZWNSTF
所属	同じ組織・団体に...する人 ...が仕事の相談相手 ...が政治的な話題の相手 ...が悩みの相談相手 業界団体への... 市民運動団体への... 宗教団体への... 趣味の会への... スポーツのグループへの... 生協への... 政治団体への... ボランティア団体への... 労働組合への...	ZTEAM[I-L] ZTEAM[E-H] ZTEAM[A-D] <u>MEMIND</u> <u>MEMCIVIL</u> <u>MEMRL</u> <u>MEMHOBBY</u> , <u>XXMEMHOB</u> <u>MEMSPORT</u> , <u>XXMEMSP</u> MEMCOOP <u>MEMPLTGP</u> <u>MEMVLNTR</u> <u>JOINUNI</u>
信仰	宗教, 世界観	
親族	家族	
新聞	...で政治の記事を読む頻度 ...への信頼 ...を読む頻度 マスコミ関係者と知り合い よく読む...の紙名	FQ4PLNP <u>TR3NWSPZ</u> <u>FQ5NEWSP</u> ZKMEDIAF, ZKMEDIAM, ZKMEDIAN, ZKEDIAX NPAKAHAT, NPASAH, NPCHUNI, NPDAYSP, NPETC, NPETCX1, NPETCX2, NPFUJI, NPGENDAI, NPHOKKAI, NPHOUCHI, NPJAPAN, NPMAINI, NPNIKKEI, NPNIKSP, NPNOMARK, NPNONE, NPSANKEI, NPSANSP, NPSEIKYO, NPSPNIP, NPTOKYO, NPWESTJP, NPYOMIUR
信頼	学者・研究者への... 学校への... 金融機関への... 警察への... 国会議員への... 裁判所への... 自衛隊への... 市区町村議会議員への... 宗教団体への... 新聞への... 大企業への... 中央官庁への... テレビへの... 人間一般への... 病院への...	<u>TR3ACDAZ</u> <u>TR3SCHLZ</u> <u>TR3FINZ</u> <u>TR3COPZ</u> Q4MDIET, <u>TR3CGMNZ</u> <u>TR3SPCAZ</u> <u>TR3DEFZ</u> <u>TR3CITYZ</u> <u>TR3RLGPZ</u> <u>TR3NWSPZ</u> <u>TR3CORPZ</u> <u>TR3BCRAZ</u> <u>TR3TVZ</u> <u>OP3TRUST</u> , <u>OP3UTILS</u> , <u>OP7GDEVO</u> <u>TR3HSPLZ</u>

労働組合への...	TR3UNNZ
スポーツ 余暇活動 ...一般の頻度 ...に学校の意義があった ...のグループへの所属 行なっている...の種類 クラブ活動への教員の立会いへの意見 健康のための運動 高齢期の活動として...が重要 サッカーくじの頻度 ジョギング等の頻度 釣りの頻度	FQSPORT MSSPORT <u>MEMSPORT</u> , XXMEMSP XXSPORT OPCLUBT XSEXER IMOACRCL FQ4TOTO, FQTOTO FQ4JOG FQ4FISH
性 結婚, 女性, 性別, 男性, 配偶者 ...交渉 ...の頻度 同性による...への意見 配偶者以外との...への意見 ...犯罪者の住所公表への賛否 ...役割観  10代の売春への意見 ポルノグラフィ ...と社会道徳との関係への意見 ...の規制への意見	FQ7SEX Q4HOMSEA Q4ADLTRY <u>OPACSEXC</u> Q4JBMMFM, Q4MNCKY, <u>Q4MNCOOK</u> , <u>Q4WWHHX</u> , <u>Q4WWHPHH</u> , <u>Q4WWJBIA</u> , <u>Q7WWHHX</u> , <u>Q7WWHPHH</u> , <u>Q7WWLOFF</u> , <u>Q7WWMNCK</u> Q4PROS19  OPPORNK Q3PORNNO
生活時間 飲酒の頻度 会話の頻度 仕事の相談相手との... 政治的な話題の相手との... 悩みの相談相手との... 家事をする頻度  家族揃っての夕食の頻度 時間の自由を就労条件として重視 就労時間 就労曜日  新聞を読む頻度 性交渉の頻度 通勤時間数 テレビを見る時間数 読書の頻度 ペット ...が生活を規則的にするという意見 ...と過ごす時間数 ボランティア活動の頻度 友人との会食の頻度 余暇活動の頻度  旅行の頻度 連休の回数	<u>DO7DRINK</u>  ZFQTALK[I-L] ZFQTALK[E-H] ZFQTALK[A-D] <u>FQ7CKDNR</u> , <u>FQ7CLEAN</u> , <u>FQ7GARB</u> , <u>FQ7SHOP</u> , <u>FQ7WASH</u> <u>FQ7FFDNR</u> , <u>FQFFDNR</u> IM5FREE <u>SZSJBHWK</u> , <u>XJOBHWK</u> , <u>XJOBHWK</u> , XOTHWK DOWKFRI, DOWKMON, DOWKSAT, DOWKSUN, DOWKTHU, DOWKTUE, DOWKVAR, DOWKWED, DOWNOMK <u>FQ5NEWSP</u> FQ7SEX <u>DOCMT</u> , <u>SZCMTHR</u> , <u>SZCMTMIN</u> , <u>SZCMTTL</u> <u>HRTV</u> <u>FQ5READ</u>  PT4REGUA PTCARE, PTHOUR, PTMIN SZVLIRRG, SZVLREG, XVLIRREG, XVLREG <u>FQ7FRSEE</u> <u>FQ4DRIVE</u> , <u>FQ4FISH</u> , <u>FQ4GAME</u> , <u>FQ4GREEN</u> , <u>FQ4HORSE</u> , <u>FQ4IGO</u> , <u>FQ4JOG</u> , <u>FQ4KARA</u> , <u>FQ4LOTTO</u> , <u>FQ4MAJON</u> , <u>FQ4MOVIE</u> , <u>FQ4MUSIC</u> , <u>FQ4NBS</u> , <u>FQ4PACHI</u> , <u>FQ4PGAM</u> , <u>FQ4SHGIG</u> , <u>FQ4SHOGI</u> , <u>FQ4TOTO</u> , <u>FQ5READ</u> , <u>FQLOT</u> , <u>FQPACHI</u> , <u>FQRACE</u> , <u>FQSPORT</u> , <u>FQTOTO</u> , NUMRACE <u>FQ5TRIP</u> FQWKOFF
政策 政治, 政府, 法制度	

政治	政府, 法制度	
...意識		
議員への信頼		
国会議員		Q4MDIET, <u>TR3CGMNZ</u>
市区町村議会議員		<u>TR3CITYZ</u>
憲法9条改正に対する意見		<u>OPAMND9</u> , <u>WHYAMND9</u>
女性知事		
...候補への投票に対する意見		ELWNGVNR
...による大相撲の表彰への賛否		QWNSUMO
政治へのイメージ		
監視していくもの		OPLWATCH
自分から働きかけるもの		OPLSELF
できればかかわりたくない		OPLNOREL
なるようにしかならないもの		OPLCANT
政治への関心の強さ		DOPOLIT, OPLCANT, OPLNOREL, OPLSELF, OPLWATCH
政治への自己効力感		Q4GVC MPL, Q4NOPWR, Q4VOTE
政党を支持しない理由		XXWHYNO
天皇継承に対する意見		<u>OPEMP1C</u> , <u>OPEMPF</u> , <u>OPEMPFL</u>
保守革新意識		<u>OP5RADCA</u> , OP7RAD CZ
...関係の知り合い		
国会議員		ZKDIETF, ZKDIETM, ZKDIETN, ZKDIETX
市区町村の首長		ZKMAYRF, ZKMAYRM, ZKMAYRN, ZKMAYRX
政治家の後援会の世話役		ZKSECRF, ZKSECRM, ZKSECRN, ZKSECRX
地方議会議員		ZKLOCALF, ZKLOCALM, ZKLOCALN, ZKLOCALX
...団体への所属		
市民運動団体への所属		<u>MEMPLTGP</u> <u>MEMCIVIL</u>
...的な運動		
議会や役所に請願した経験		X5YPETIT
献金をした経験		X5YDONAT
市民運動に参加した経験		X5YCITZN
地元の有力者と接触した経験		X5YCNTC1
請願書に署名した経験		X5YSIGN
政治家や官僚と接触した経験		X5YCNTC2
政治的な集會に出席した経験		X5YPOLMG
選挙運動の手伝いをした経験		X5YCM PG N
...的な会話		
...の相手の人数		Z2ELSE, Z2NUM, Z2XX[E-H]
...の有無		
仕事の相談相手との...		ZPLTALK[I-L]
政治的な話題の相手との...		ZPLTALK[E-H]
悩みの相談相手との...		ZPLTALK[A-D]
...を家族とする頻度		FQ4PLFAM
...を友人とする頻度		FQ4PLFRI
...の情報収集		
政治の記事を雑誌で読む頻度		FQ4PLMAG
政治の記事を新聞で読む頻度		FQ4PLNP
政治のニュースをインターネットで見る頻度		FQ4PLWEB
政治のニュースをテレビで見る頻度		FQ4PLTV
政党		
仕事の相談相手が投票する...		ZVOTE[I-L]
支持する...		<u>XX8PLPTY</u>
...がない理由		XXWHYNO
支持政党ではないが好ましい...		XX9PLPFV
政権担当能力がある...		<u>OCOMMPOK</u> , <u>ODPOK</u> , OHOSHUOK, <u>OKOMEIOK</u> , <u>OLDPOK</u> , OLPOK, <u>ONOPLPOK</u> , <u>OOTHEROK</u> , <u>OPLPDONT</u> , OPLPNOMK, <u>OSDPOK</u>
政治的な話題の相手が投票する...		ZVOTE[E-H]

悩みの相談相手が投票する... 選挙で投票した経験 町内会で活動した経験	ZVOTE[A-D] X5YVOTE X5YJICHI
青少年 親, 家族, 教育, 子ども 10代の売春への意見 少年法改正への意見 ポルノグラフィ ...と社会道德との関係への意見 ...の規制への意見	Q4PROS19 OP3JVLWY OPPORNK Q3PORNNO
政党 政治, 政府	
生年 年齢 子どもの... 対象者の...	CC[01-08]BORN, CC[01-08]EOB, CC[01-08]YOB DOBYEAR
政府 政治, 法制度 ...の開発援助に対する意見 援助は義務 援助は不可欠 外交に応じて調整すべき 現地人への伝達が不十分 財政状況に応じて減らすべき 日本人への説明が不十分 ...の支出に対する意見 安全保障 海外援助 環境問題 教育 雇用対策 社会保障・年金 土木事業 犯罪の取締 ...の役割範囲への意見 高齢者の医療・介護の責任 高齢者の生活保障の責任 子どもの教育の責任 子どもの保育の責任 保育・育児の責任 政策 国による環境問題への取り組みへの満足度 憲法9条改正に対する意見 社会と個人の利益のバランスについての意見 将来の年金額の予想 対象者の所得税への評価 貧富解消...への賛否 福祉と税負担のバランスについての意見 内閣への評価	OPADOBL OPADVITL OPADDIPL OPADINFO OPADFIN OPADEXP BD3SAFTY BD3ODA BD3ENVA BD3EDUC BD3EMPLY BD3WFR BD3CNSTR BD3CRIME OP5LGGZOZ OP5SRMDE, OP5SRMDY OP5SRWFE, OP5SRWFY OP5CCED, OP5CCEDE OP5CCREE OP5CCARE STECONAT OPAMND9, WHYAMND9 ONATIND OP5PENSN OP6TAXHI Q5GVEQAA OWELFTAX OKOIZUM
性別 女性, 性, 男性 家族の... 子どもの... 仕事の相談相手の... 政治的な話題の相手の... 対象者の... 悩みの相談相手の...	FF[01-10]SEX, FFH[01-05]SEX CC[01-09]SEX ZSEX[I-L] ZSEX[E-H] SEXA ZSEX[A-D]
生命倫理 医療, 宗教	
世界観 宗教 死後の世界を信じるか 社会と個人の利益のバランスについての意見 人間 ...一般への信頼	QAFTRDTH ONATIND OP3TRUST

...の本性は善か悪か ...は一般に利己主義か	<u>OP7GDEVO</u> <u>OP3UTILS</u>
世帯 家族, 家庭	
世代間援助 親, 家族, 子ども, 父親, 母親	
親への援助への意見	
既婚女性から...	<u>OPISMW</u>
既婚女性から配偶者の...	<u>OPISMWSS</u>
既婚男性から...	<u>OPISMM</u>
既婚男性から配偶者の...	<u>OPISMMSS</u>
未婚女性から...	<u>OPISUW</u>
未婚男性から...	<u>OPISUM</u>
経済的な...の頻度	
親からの...	<u>HLPEFPM</u>
親への...	<u>HLPE2PM</u>
成人子からの...	<u>HLPEFCC</u>
成人子への...	<u>HLPE2CC</u>
配偶者の親からの...	<u>HLPEFPML</u>
配偶者の親への...	<u>HLPE2PML</u>
結婚時の...	
親からの...	<u>HLPMGPM</u>
配偶者の親からの...	<u>HLPMGPML</u>
実践的な...の頻度	
親からの...	<u>HLPPFPM</u>
親への...	<u>HLPP2PM</u>
成人子からの...	<u>HLPPFCC</u>
成人子への...	<u>HLPP2CC</u>
配偶者の親からの...	<u>HLPPFPML</u>
配偶者の親への...	<u>HLPP2PML</u>
世帯収入 家計, 収入	
セックス 性, 性別	
選挙 政治, 政府, 法制度	
臓器提供 医療	
退職 高齢者, 就労, 年金, 不就労	
体罰 暴力	
男性 女性, 性, 性別, 父親	
...から親への世代間援助への意見	<u>OPISMM</u> , <u>OPISMMSS</u> , <u>OPISUM</u>
...にとっての結婚と幸福の関係への意見	<u>Q4MNMGA</u> , <u>Q7MGMNHP</u>
...にとっての離婚への賛否	<u>Q4HHDVY</u>
...による家事への賛否	<u>Q4MNCKY</u> , <u>Q4MNCOOK</u> , <u>Q7WWWNCK</u>
...の仕事重視することへの意見	<u>Q4WWHHX</u> , <u>Q4WWHPHH</u> , <u>Q7WWHHX</u> , <u>Q7WWHPHH</u> , <u>Q7WWLOFF</u>
長男による相続への意見	<u>Q7FFMAN</u>
息子の必要性への意見	<u>Q7FFNDMN</u>
治安 警察, 自衛隊, 犯罪	
地域 居住地, コミュニティ	
知人 交際, 友人	
父親 親, 世代間援助, 男性	
...との接触頻度	<u>PPCNTA</u> , <u>PPCNTB</u>
...との同居	<u>PPLVTG</u>
...の家までの距離	<u>PPDIST</u>
...の結婚状況	<u>PPMG</u>
...の権威を尊重することへの意見	<u>Q7FFAUTH</u>
...の健康	<u>PPHLTH</u>
...の最終学歴	<u>PPLSTSCH</u>
...の就労の有無	<u>PPJOB</u>
...の生死	<u>PMDTH</u> , <u>PPLVTG</u>
...の同居者	<u>PPFAM</u>
...の年齢	<u>PPAGE</u>

15歳の頃の...の就労 従業上の地位 職種 組織の規模 役職 配偶者の... ...との接触頻度 ...との同居 ...の家までの距離 ...の結婚状況 ...の健康 ...の就労の有無 ...の生死 ...の同居者 ...の年齢	PPJBT15, PPJBTP15 PPJBXX15, PPJBXX1E PPJBSZ15 PPJBT15P, PPJBTP15  PPLCNTA, PPLCNTB PPLLVTG PPLDIST PPLMG PPLHLTH PPLJOB PMLDTH, PPLLVTG PPLFAM PPLAGE
調査実施情報 アタック状況番号 識別番号 実施月日 留置票の... 面接票の... 所要時間 交際ネットワーク面接部分の... 人口比修正ウェイト 調査員による評価 対象者 ...の協力度 ...の居住地区の種別 ...の質問の理解度 留置票の種別 面接・留置票の順序	DRAN IDUSE  DATEB, DAYB, MONTHB, XXTODAY DATE, DAY, MONTH DURATION ZTIME WEIGHT  COOP AREA USTAND FORM PROC
通勤 就労 ...時間 ...手段 自転車 自動車 電車 徒歩のみ バイク バス 船 ...の有無 なるべく公共交通機関を利用	SZCMTHR, SZCMTMIN, SZCMTTL CMTETC, CMTNOMK CMTBCYL CMTCAR, USCARCMT CMTTRAIN CMTWALK CMTMCYL CMTBUS CMTBOAT DOCMT FQ4BUS
妻 結婚, 女性, 配偶者	
テレビ ...ゲームの頻度 ...で英語の学習をした経験 ...で政治のニュースを見る頻度 ...の呼びかけに応じて寄付した経験 ...への信頼 ...を見る時間数 クレジットカードの宣伝を制限すべき 消費者金融の宣伝を制限すべき マスコミ関係者と知り合い	FQ4GAME XEMEDIA FQ4PLTV XDNTMASS TR3TVZ HRTV OPCDCM OPCSCM ZKMEDIAF, ZKMEDIAM, ZKMEDIAN, ZKMEDIAX
転職 就労, 不就労	
同性愛 性	
道徳 規範 10代の売春への意見	Q4PROS19

体罰 親による...への賛否 教師による...への賛否 ポルノグラフィと社会道德の関係への意見	Q5PMSPNK Q5TTSPNK OPPORK
投票 政治, 政府, 法制度	
読書 教育, 生活時間, 余暇活動	
都市 居住地	
ドナーカード 医療	
ドメスティック・バイオレンス 家庭, 暴力	
ドライブ 自動車, 余暇活動	
トラウマ 心の健康	
人間観 宗教, 世界観	
ネットワーク 交際, 友人	
年金 高齢者, 社会保障, 政治, 政府, 法制度 ...で生計をまかなう者 ...への政府の支出に対する意見 将来の...額の予想	<u>INCPEN</u> , <u>INPEN</u> <u>BD3WFR</u> <u>OP5PENSN</u>
年収 家計, 収入	
年齢 生年 夫は年上という規範への賛否 家族の... 結婚の... 子どもの... 再婚の... 死別後の... 離婚後の... 仕事の相談相手の... 死別の... 政治的な話題の相手の... 対象者の... 父親の... 悩みの相談相手の... 配偶者の... 配偶者の父親の... 配偶者の母親の... 母親の... 離婚の...	<u>Q7MGOLD</u> <u>FF[01-10]AGE</u> , <u>FFH[01-05]AGE</u> <u>AGE1MG</u> , <u>AGE2MG</u> , <u>AGE3MG</u> , <u>AGE4MG</u> <u>CC[01-09]AGE</u> <u>AGE2MG</u> , <u>AGE3MG</u> , <u>AGE4MG</u> <u>AGEMG1WD</u> , <u>AGEMG2WD</u> <u>AGEMG1DV</u> , <u>AGEMG2DV</u> <u>ZAGE[-L]</u> <u>AGE1WDW</u> , <u>AGE2WDW</u> <u>ZAGE[E-H]</u> <u>AGEB</u> <u>PPAGE</u> <u>ZAGE[A-D]</u> <u>SPAGEX</u> , <u>SPAGEZ</u> <u>PPLAGE</u> <u>MMLAGE</u> <u>MMAGE</u> <u>AGE1DIV</u> , <u>AGE2DIV</u>
農村 居住地	
配偶者 家族, 結婚, 再婚, 死別, 性, 離婚 ...以外との性交渉への意見 ...が仕事の相談相手 ...が政治的な話題の相手 ...が悩みの相談相手 ...が悩みを打ち明けてくれる ...が悩みを聞いてくれる ...との家事分担 ...との関係が高齢期に重要 ...との関係への満足度 ...との出会い ...との出会いに学校の意義があった ...との同居 ...による家事の頻度 ...による家族の介護経験 ...の親 ...との世代間援助 ...の頻度 ...への意見	<u>Q4ADLTRY</u> <u>ZSS[-L]</u> <u>ZSS[E-H]</u> <u>ZSS[A-D]</u> <u>SSTRSPK</u> <u>SSTRLSTN</u> <u>WH3HSWK</u> <u>IMORSS</u> <u>ST5SSREL</u> <u>FSTMTSS</u> , <u>WHOINTSS</u> , <u>WHRMTSS</u> <u>MSSPOUSE</u> <u>SPLVTG</u> <u>SSFQ7CK</u> , <u>SSFQ7CLN</u> , <u>SSFQ7GRB</u> , <u>SSFQ7SHP</u> , <u>SSFQ7WSH</u> <u>SSC2OTHR</u> , <u>SSC2PM</u> , <u>SSC2R</u> , <u>SSC2SSPM</u> , <u>SSCARE</u> <u>HLPE2PML</u> , <u>HLPEFPML</u> , <u>HLPP2PML</u> , <u>HLPPFPML</u> <u>OPISMMSS</u> , <u>OPISMWSS</u>

結婚時の援助	<u>HLPMPGML</u>
...の生死	<u>PMLDTH</u>
...のきょうだいの人数	<u>XSSNBROE</u> , <u>XSSNBROY</u> , <u>XSSNSBLG</u> , <u>XSSNSSELF</u> , <u>XSSNSISE</u> , <u>XSSNSISY</u>
...の健康	<u>SS5HLTHE</u> , <u>SS5HLTHZ</u>
...の再婚経験	<u>XSSRMG</u>
...の最終学歴	<u>SSLSTSCH</u>
...の宗教	<u>SS3PIOUS</u> , <u>SSDORL</u> , <u>SSXXRL</u>
...の収入	<u>SSHIINCX</u> , <u>SSSZINCA</u> , <u>SSSZINCM</u>
...で生計をまかなう者	<u>INCSP</u> , <u>INSPOUSE</u>
...の就労	
...の有無	<u>SSJB1WK</u>
事業所の業種	<u>SSXXHQX</u> , <u>SSXXHQXE</u>
従業上の地位	<u>SSTP12JB</u> , <u>SSTPJOB</u>
収入	<u>SSHIINCX</u> , <u>SSSZINCM</u>
就労時間数	<u>SSJBHRWK</u>
就労日数	<u>SSJBDWK</u>
就労年数	<u>SSSZWKYR</u>
職種	<u>SSXXJOB</u> , <u>SSXXJOBE</u>
組織の規模	<u>SSSZSTFA</u>
役職	<u>SSTP12JB</u> , <u>SSTPJOBP</u>
...の父親	
...との接触頻度	<u>PPLCNTA</u> , <u>PPLCNTB</u>
...との同居	<u>PPLLVTG</u>
...の家までの距離	<u>PPLDIST</u>
...の結婚状況	<u>PPLMG</u>
...の健康	<u>PPLHLTH</u>
...の就労の有無	<u>PPLJOB</u>
...の生死	<u>PMLDTH</u> , <u>PPLLVTG</u>
...の同居者	<u>PPLFAM</u>
...の年齢	<u>PPLAGE</u>
...の年齢	<u>SPAGEX</u> , <u>SPAGEZ</u>
...の母親	
...との接触頻度	<u>MMLCNTA</u> , <u>MMLCNTB</u>
...との同居	<u>MMLLVTG</u> , <u>PMLDTH</u>
...の家までの距離	<u>MMLDIST</u>
...の結婚状況	<u>MMLMG</u>
...の健康	<u>MMLHLTH</u>
...の就労の有無	<u>MMLJOB</u>
...の生死	<u>MMLLVTG</u> , <u>PMLDTH</u>
...の同居者	<u>MMLFAM</u>
...の年齢	<u>MMLAGE</u>
家計の管理方法	<u>RR6ACCT</u>
家庭内の意思決定	
親の世話	<u>DMPPSPPT</u>
家計の管理	<u>DMEXP</u>
高価な品物の購入	<u>DMHIEXP</u>
子どもの教育	<u>DMCCED</u>
結婚生活の幸福の程度	<u>FF5HAPPZ</u>
夫婦別姓への意見	<u>OP4NAME</u>
売春 規範, 性, 道徳	
墓への希望	<u>OP7CMTRA</u>
自分の墓を望まない理由	<u>XCMCARE</u> , <u>XCMETC</u> , <u>XCMNATR</u> , <u>XCMNOMK</u> , <u>XCMNONE</u> , <u>XCMSENS</u>
墓を守ることへの意見	<u>Q7FFGRV</u>
パソコン インターネット, 情報技術	
母親 親, 女性, 世代間援助	
...との接触頻度	<u>MMCNTA</u> , <u>MMCNTB</u>

...との同居 ...の家までの距離 ...の結婚状況 ...の健康 ...の最終学歴 ...の就労の有無 ...の就労への意見 ...の生死 ...の同居者 ...の年齢 15歳の頃の...の就労 代理母出産への賛否 配偶者の... ...との接触頻度 ...との同居 ...の家までの距離 ...の結婚状況 ...の健康 ...の就労の有無 ...の生死 ...の同居者 ...の年齢	<u>MMLVTG</u> <u>MMDIST</u> <u>MMMGM</u> <u>MMHLTH</u> <u>MMLSTSCH</u> <u>MMJOB</u> <u>Q4JBMMCC</u> , <u>Q4JBMMFM</u> <u>MMLVTG</u> , <u>PMDTH</u> <u>MMFAM</u> <u>MMAGE</u> <u>MMJBTP15</u> <u>OSUBMOM</u>  <u>MMLCNTA</u> , <u>MMLCNTB</u> <u>MMLLVTG</u> <u>MMLDIST</u> <u>MMLMG</u> <u>MMLHLTH</u> <u>MMLJOB</u> <u>MMLLVTG</u> , <u>PMLDTH</u> <u>MMLFAM</u> <u>MMLAGE</u>
犯罪 警察, 法制度 ...取締りへの政府の支出に対する意見 ...にクレジットカードが利用される ...に消費者金融が利用される ...の被害経験 空き巣 強盗等 暴行 外国人の増加で治安が悪化 居住地の夜の治安 警察への信頼 少年...の原因への意見 学校での生活環境 家庭環境 経済的な格差 心理状態 法律制度 防犯対策 ...への賛否 インターネットの監視 住民パトロール 性犯罪者の住所公表 路上カメラ 住居の... 明かりに工夫 監視カメラを設置 警備会社と契約 ドアや窓の鍵に工夫 防犯のために犬を飼う	<u>BD3CRIME</u> <u>OPCDCRM</u> <u>OPCSCRM</u>  <u>XSTOLN1Y</u> <u>XROBBD1Y</u> <u>WHENBEAT</u> , <u>WHOMBEAT</u> , <u>XBEATEN</u> <u>FNSAFE</u> <u>FEARWALK</u> <u>TR3COPZ</u>  <u>OPJV SCHL</u> <u>OPJVFF</u> <u>OPJVECN</u> <u>OPJVMNTL</u> <u>OPJVLAW</u>  <u>OPACINET</u> <u>OPACPTRL</u> <u>OPACSEXC</u> <u>OPACCAM</u> <u>DOACNONE</u> , <u>DOACOTHR</u> <u>DOACLIT</u> <u>DOACCAM</u> <u>DOACSECC</u> <u>DOACKEY</u> <u>DOACDOG</u>
病院 医療	
貧富 階層, 収入, 不平等	
夫婦関係 家族, 結婚, 死別, 性, 配偶者, 離婚	
フェミニズム 女性, 性	
福祉 医療, 幸福, 高齢者, 社会保障, 政治, 年金	

不就労 就労 ...経験 ...の有無 ...の年数 ...のうち求職活動をした年数 ...者の生計をまかなう収入源  ...の理由 以前の就労経験 ...の有無 最後の仕事 ...をやめた年 ...をやめた理由 事業所の業種 従業上の地位 収入 職種 組織の規模 役職 ...を終えた年齢 求職への意欲 雇用対策への政府の支出に対する意見 重視する就労条件  連休の回数	XNOWORK SZNOWORK SZFINDJB INFAMILY, INIRREG, INNOKNOW, INNOMARK, INOTHER, INPARENT, INPEN, INSAVING, INSOCSEC, INSPOUSE, INUEB TP5UNEMP  XWORK, XWORK1Y  WHNSTPWK XXSTPJB XXLSTWPL TP12LSTJ SZHILST, SZINLST XXLSTJB SZSTFLSA TP12LSTJ AGESTPWK DOFINDJB, DOLOOKJB, SZFINDJB, WLWANTJB BD3EMPLY IM5FAMIL, IM5FREE, IM5HIPAY, IM5INDEP, IM5INTRG, IM5OTHER, IM5PROMO, IM5SECUR, IM5SOCTY, IM5TRG FQWKOFF
不平等 階層, 資産, 収入, 女性, 男性 生活水準向上の機会 貧富解消政策への賛否	OP5CHNCA Q5GVEQAA
ペット 資産, 余暇活動	
奉仕活動 ボランティア	
法制度 政治, 政府, 犯罪 ...が少年犯罪の原因 安楽死法への賛否 カジノの合法化への意見 クレジットカードの宣伝を制限すべき 憲法9条改正に対する意見 裁判所への信頼 裁判の厳しさへの意見 死刑制度への賛否 少年法改正への意見 対象者の仕事の雇用契約 対象者の所得税への評価 天皇継承に対する意見 女系天皇への賛否 女性天皇への賛否 長子天皇への賛否 ポルノグラフィの規制への意見	OPJVLAW QDDKILLA OPCASINO OPCSCM OPAMND9, WHYAMND9 TR3SPCAZ OP5JUDGE Q2DTHPY OP3JVLWY DOCNTRCT, SZCNTMO, SZCNTRCT, SZCNTYR OP6TAXHI  OPEMPFL OPEMPF OPEMP1C Q3PORNNO
暴力 いじめ ...の責任  身近な...の有無 強盗等の被害経験の有無 体罰への賛否 親による... 教師による... 暴行の被害経験	SUBULLY, SUCMATE, SUFFBUL, SUFFSLF, SUSCHL, SUSELF, SUTCHER XSBULLY XROBBD1Y  Q5PMSPNK Q5TTSPNK WHENBEAT, WHOMBEAT, XBEATEN

ボランテニア	環境, コミュニティ, 市民運動	
...活動		
...の経験の有無		
開発国の支援		<u>XADVOL</u>
定期的な...		XVLREG, XVLROTHR
介護・福祉		XVLRWF
環境保護・清掃		<u>DOLACLN</u> , XVLRENV
寄付金集め		XVLRDNT
教育・技術指導		XVLR TCH
文化・芸術		XVLR CUL
不定期な...		XVLIRREG, XVLTO THR
介護・福祉		XVLTWF
環境保護・清掃		XVLTENV
寄付金集め		XVLT DNT
教育・技術指導		XVLT TCH
文化・芸術		XVLT CUL
...の頻度		
定期的な...		SZVLREG
不定期な...		SZVLIRRG
...への参加意欲		WVLDO
...への支援経験の有無		XVLETC, XVLNOMK
介護・福祉		XVLWF
切手・はがきなどの購入を通じた寄付		XVLSTAMP
寄付・募金		XVLDONAT
献血		XVLBLOOD
指導		XVLTEACH
清掃・環境		XVLENV
貯金口座等への加入を通じた寄付		XVLCARD
バザーへの出品		XVLBAZZR
古着や毛布などの寄贈		XVLUSED
文化的奉仕		XVLCUL
労働奉仕		XVLLABOR
地域での...		<u>DOLACLN</u> , <u>DOLANONE</u> , <u>DOLAPTRL</u> , <u>DOLARCYC</u> , <u>LACLN</u> , <u>LADK</u> , <u>LANONE</u> , <u>LAPTRL</u> , <u>LARCYC</u>
...団体の役員と知り合い		ZKVOLF, ZKVOLM, ZKVLN, ZKVLX
...団体への所属		<u>MEMVLNTR</u>
寄付		
...の金額		SZDNT
...の経験		XDNTNONE, XDNTOTHR
開発国の支援		<u>XADDONAT</u>
学校や地域を通して		XDNTSCH
定期的な寄付		XDNTREG
募金箱に寄付		XDNTBOX
マスコミを通して		XDNTMASS
...への支援経験		XVLCARD, XVLDONAT
高齢期の活動として...活動が重要		IMOAVLTR
社会のためになることを就労条件として重視		IM5SOCTY
他人のためになることを就労条件として重視		IM5OTHER
ポルノグラフィ	性	
孫	子ども	
...との関係が高齢期に重要		IMORCCG
三世代同居への賛否		<u>OP2GNR</u>
マスコミ	新聞, テレビ	
満足度	幸福	
家計状態への...		<u>ST5ECNY</u>
家事を仕事とすることへの...		ST5HSWK
家庭生活への...		<u>ST5LIFEY</u>

環境問題への取り組みへの... 企業による... 国による... 自治体による... 居住地域への... 結婚生活への... 健康状態への... 仕事への... 生活全般への... 配偶者との関係への... 友人関係への... 余暇利用への...	STECOCO STECONAT STECOLOC <u>ST5AREAY</u> <u>STMGLF</u> <u>ST5HLTHY</u> <u>ST5JOB</u> <u>STALLLF</u> <u>ST5SSREL</u> <u>ST5FRIY</u> <u>ST5LEISY</u>
未婚 結婚	
無職 就労, 不就労	
息子 子ども, 男性	
娘 子ども, 女性	
メディア インターネット, 新聞, テレビ	
友人 交際 ...が心の健康の相談相手 ...が仕事の相談相手 ...が政治的な話題の相手 ...が悩みの相談相手 ...関係への満足度 ...づきあいのための英語の使用機会 ...づくりに学校の意義があった ...と政治について話す頻度 ...との会食の頻度 ...との関係が高齢期に重要 ...との交際費に消費者金融を利用 外国人 ...との会食の有無 ...との宿泊招待の有無 ...との友人づきあい 高齢期の活動として...との時間が重要	WLADFRI ZFRIE[I-L] ZFRIE[E-H] ZFRIE[A-D] <u>ST5FRIY</u> EASOC, EUFRIEND MSFRIEND FQ4PLFRI <u>FQ7FRSEE</u> IMORFRCC, IMORFRSC, IMORFRWK USCSSOC  XFNMEAL XFNSTAY XFNASSOX IMOAFRI
余暇活動 ギャンブル, 芸術, 消費行動, スポーツ, 生活時間 ...のために英語を学習  ...のための英語の使用機会 ...への満足度 インターネットによるショッピング・バンキング 映画鑑賞の頻度 園芸・庭いじりの頻度 音楽鑑賞の頻度 海外旅行の経験の有無 家族揃っての...の頻度 カラオケの頻度 ギャンブル ...の頻度  ...への支出 共通の趣味の有無 仕事の相談相手との... 政治的な話題の相手との... 悩みの相談相手との... 教養講座の受講経験 ゲームの頻度 高齢期の活動として...が重要	ELENJOY, ELINET, ELMOVIE, ELNEW, ELTRAVL, ELVISION, ELWEST <u>EAART</u> , <u>EAINET</u> , <u>EATRIP</u> , EUHOBBY <u>ST5LEISY</u> DONETSB <u>FQ4MOVIE</u> <u>FQ4GREEN</u> <u>FQ4MUSIC</u> XEOSTRIP <u>FQFFLSR</u> <u>FQ4KARA</u>  FQ4HORSE, <u>FQ4LOTTO</u> , FQ4NBS, <u>FQ4PACHI</u> , FQ4PGAM, FQ4TOTO, FQLOT, FQPACHI, FQRACE, FQTOTO, NUMRACE NUMRACE, SZLOT, SZPACHI, SZRACE, SZTOTO  ZCOHOBB[I-L] ZCOHOBB[E-H] ZCOHOBB[A-D] XECLASS, XLRNCLTR, XLRNENG, XSCLED <u>FQ4GAME</u> , FQ4IGO, FQ4MAJON, <u>FQ4SHGIG</u> , FQ4SHOGI IMOALSR

高齢期の活動としてサークル活動が重要 高齢期の活動として読書が重要 サークルの友人との関係が高齢期に重要 趣味の会への所属 趣味の費用に消費者金融を利用 スポーツ ...のグループへの所属 ...の頻度 行っている...の種類 読書冊数 ドライブの頻度 ペット ...と過ごす時間数 ...との関係が高齢期に重要 ...の意味  ...の死の経験 ...の種類  ...の所持 ...の世話  ...への意見 安楽死 厳しく規制 気持ちがなごむ 旅行の頻度 レジャーに自動車を利用	IMOACRCL IMOALRN IMORFRCC <u>MEMHOBBY</u> , XXMEMHOB USCSHOB  <u>MEMSPORT</u> , XXMEMSP FQ4FISH, FQ4JOG, <u>FQSPORT</u> XXSPORT <u>FQ5READ</u> <u>FQ4DRIVE</u>  PTCARE, PTHOUR, PTMIN IMORPET <u>DOACDOG</u> , <u>OPPTCALM</u> , PT4ALONA, PT4BEINA, PT4FFCOA, PT4NEEDA, PT4NETWA, PT4REGUA, PT4RELAA, PT4WORTH <u>XDTHPET</u> DOBIRDA, DOCAT, DODOGE, DODOGI, DOFISHA, DOINSECT, DOMAMMAL, DOOTHER, <u>DOPCATE</u> , <u>DOPCATI</u> , <u>DOPDOGE</u> , <u>DOPDOGI</u> , DOPNOMK, <u>DOPNONE</u> , <u>DOPOTHR</u> , DOREPTL DOPET <u>DOPCCATE</u> , <u>DOPCCATI</u> , <u>DOPCDOGE</u> , <u>DOPCDOGI</u> , <u>DOPCNONE</u> , <u>DOPCOTHR</u>  <u>OPPTKILL</u> <u>OPPTREG</u> <u>OPPTCALM</u> <u>FQ5TRIP</u> <u>FQ4DRIVE</u> , OPCARDRV, USCARLSR
ライフイベント	結婚, 子ども, 就労
ライフスタイル	家族, 結婚, 就労, 世界観, 余暇活動
離婚	結婚, 再婚
...後の子どもへの意見	
連れ子でも育てられる	<u>OPDVSTEP</u>
ひとり親でも育てられる	<u>OPDVSGL</u>
両親と接触すべき	<u>OPDVCNT</u>
...後の再婚	
...の有無	XMGA1DV, XMGA2DV
...の年齢	AGEMG1DV, AGEMG2DV
...の有無	DODVWDW, <u>DOMARRY</u> , <u>DOMARRYZ</u> , XDIV
...の回数	FQXDIV
...の年齢	AGE1DIV, AGE2DIV
...への賛否	<u>Q4DIVOK</u>
夫にとっての...	Q4HHDVY
子どもにとっての...	Q4CCDVY
妻にとっての...	Q4WWDVY
離別	離婚
旅行	余暇活動
レジャー	余暇活動
労働	就労, 不就労
労働組合	
...の有無	DOUNION
...の役員と知り合い	ZKUNIF, ZKUNIM, ZKUNIN, ZKUNIX
...への加入	<u>JOINUNI</u>
...への信頼	<u>TR3UNNZ</u>

## . 5 変数名索引 アルファベット順

[ 略号・記号 ]

面：面接調査票， 留：留置調査票， 調：調査員記入票（面接調査票末尾）

\*：調査票冒頭欄， F：調査員記入欄， ：抽出関連などの変数で質問番号なし

変数名	質問概要	JGSS-2006	
		調査	質問番号
AGE1MG	初婚年齢	留 B	Q46 1
AGE2MG	結婚した年齢：2 回目	留 B	Q46 2
AGE3MG	結婚した年齢：3 回目	留 B	Q46 3
AGE4MG	結婚した年齢：4 回目	留 B	Q46 4
AGEB	年齢	面/留	*
AGESTPWK	離職年齢	面	問 1-4
APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5 人以上の場合( 具体的記述 )	留 B	Q29 5
APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留 B	Q29
APPCCSXB	希望する子どもの性別	留 A	Q62
APPCCSXE	希望する子どもの性別（EASS 尺度）	留 B	Q28
AREA	調査員への質問：回答者の居住地域	調	F5
BD3CNSTR	政府の支出：土木事業	留 A	Q37 F
BD3CRIME	政府の支出：犯罪取締	留 A	Q37 B
BD3EDUC	政府の支出：教育	留 A	Q37 C
BD3EMPTY	政府の支出：雇用対策	留 A	Q37 H
BD3ENVA	政府の支出：環境問題	留 A	Q37 A
BD3ODA	政府の支出：海外援助	留 A	Q37 E
BD3SAFTY	政府の支出：安全保障	留 A	Q37 D
BD3WFR	政府の支出：社会保障	留 A	Q37 G
BLOCK	地域ブロック		
CC[01-09]AGE	子ども[1-9]：年齢	面	問 36 A
CC[01-09]CNTA	子ども[1-9]：接触頻度（直接）	面	問 36 E
CC[01-09]CNTB	子ども[1-9]：接触頻度（間接）	面	問 36 F
CC[01-09]DIST	子ども[1-9]：家までの距離	面	問 36 D
CC[01-09]JOB	子ども[1-9]：就労の有無	面	問 36 C
CC[01-09]LVTG	子ども[1-9]：同居・生死	面	問 35 C
CC[01-09]MG	子ども[1-9]：結婚状況	面	問 36 B
CC[01-09]SCH	子ども[1-9]：就学	面	問 35 B
CC[01-09]SEX	子ども[1-9]：性別	面	問 35 A
CC18CNT	もっとも接している 18 歳以上の子ども	留 B	Q63
CCNUMTTL	子どもの人数	面	問 33
COOP	調査員への質問：回答者の協力度	調	F1
DATE	面接完了日	面	*
DATEB	留置回収完了日	面	*
DAY	面接完了日：日	面	*
DAYB	留置回収完了日：日	面	*
DMCCED	家庭内の意思決定者：子どもの教育	留 B	Q54 A
DMEXP	家庭内の意思決定者：家計の管理	留 B	Q54 C
DMHIEXP	家庭内の意思決定者：高価な品物の購入	留 B	Q54 D
DMPPSPPT	家庭内の意思決定者：親の世話	留 B	Q54 B
DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留 A/B	Q67-3/Q9-3

DO7DRINK	飲酒頻度	留 A	Q11
DOACCAM	防犯対策：監視カメラを設置	留 A	Q52 2
DOACDOG	防犯対策：防犯のために犬を飼う	留 A	Q52 3
DOACKEY	防犯対策：ドアや窓の鍵に工夫	留 A	Q52 4
DOACLIT	防犯対策：明かりに工夫	留 A	Q52
DOACNONE	防犯対策：特にしていない	留 A	Q52 6
DOACOTHR	防犯対策：その他	留 A	Q52 5
DOACSECC	防犯対策：警備会社と契約	留 A	Q52 1
DOBYEAR	生年	面	*
DOCMT	通勤の有無	面	問 4
DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（職場）	留 A	Q4-1 1
DOCOMPP	利用通信媒体：パソコン（自宅）	留 A	Q4-1 2
DOINBANK	インターネットの利用：バンキング	留 A	Q4-2 3
DOINBRS	インターネットの利用：情報検索	留 A	Q4-2 1
DOINHP	インターネットの利用：ホームページの作成	留 A	Q4-2 4
DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行っていない	留 A	Q4-2 5
DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング	留 A	Q4-2 2
DOLACLN	地域活動への参加：清掃活動	留 A	Q61-2 1
DOLANONE	地域活動への参加：いずれも参加していない	留 A	Q61-2 4
DOLAPTRL	地域活動への参加：パトロール	留 A	Q61-2 3
DOLARCYC	地域活動への参加：リサイクル品の回収	留 A	Q61-2 2
DOLOOKJB	求職の有無（全員）	面	問 14
DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	面	問 43
DOMARRY	結婚状況	面	問 15
DOMARRYZ	結婚状況（留置 B 票のみ）	留 B	Q47
DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない	留 A	Q4-1 4
DOPCATE	ペットの保有：猫（室外で）	留 B	Q6-1 3
DOPCATI	ペットの保有：猫（室内で）	留 B	Q6-1 4
DOPCCATE	世話をしているペット：猫（室外で）	留 B	Q6-2 3
DOPCCATI	世話をしているペット：猫（室内で）	留 B	Q6-2 4
DOPCDOGE	世話をしているペット：犬（室外で）	留 B	Q6-2 1
DOPCDOGI	世話をしているペット：犬（室内で）	留 B	Q6-2 2
DOPCNONE	世話をしているペット：世話はしていない	留 B	Q6-2 6
DOPCOTHR	世話をしているペット：その他	留 B	Q6-2 5
DOPDOGE	ペットの保有：犬（室外で）	留 B	Q6-1 1
DOPDOGI	ペットの保有：犬（室内で）	留 B	Q6-1 2
DOPHS	利用通信媒体：携帯電話または PHS	留 A	Q4-1 3
DOPNONE	ペットの保有：何も飼っていない	留 B	Q6-1 6
DOPOTHR	ペットの保有：その他	留 B	Q6-1 5
DORL	信仰する宗教の有無（本人）	留 A/B	Q67-1/Q9-1
DOSMOKEX	喫煙経験	留 A	Q10-1
DURATION	調査所要時間（分）	調	F7
EAART	英語の使用：映画鑑賞・音楽鑑賞・読書	留 A	Q15 3
EABUS	英語の使用：仕事	留 A	Q15 1
EAINET	英語の使用：インターネット	留 A	Q15 4
EALearn	英語の使用：学習	留 A	Q15
EANONE	英語の使用：まったく使ったことがない	留 A	Q15 7
EAOTHER	英語の使用：その他	留 A	Q15 6
EASOC	英語の使用：付き合い	留 A	Q15 2
EATRIP	英語の使用：海外旅行	留 A	Q15 5

ENGREAD	英語読解力のレベル	留 A	Q17
ENGTALK	英会話のレベル	留 A	Q16
FAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎（同居家族）	留 B	Q11-2 1
FAFOOD	症状の有無：食物アレルギー（同居家族）	留 B	Q11-2 4
FAKAFUN	症状の有無：花粉症（同居家族）	留 B	Q11-2 2
FANOFF	症状の有無：非該当（同居家族はいない）	留 B	Q11-2 6
FANONE	症状の有無：いずれもない（同居家族）	留 B	Q11-2 5
FAVFCHN	外国の好感度：中国	留 A	Q22 C
FAVFIDN	外国の好感度：インドネシア	留 A	Q22 H
FAVFIND	外国の好感度：インド	留 A	Q22 I
FAVFKOR	外国の好感度：韓国	留 A	Q22 A
FAVFMNG	外国の好感度：モンゴル	留 A	Q22 D
FAVPHL	外国の好感度：フィリピン	留 A	Q22 F
FAVPRK	外国の好感度：北朝鮮	留 A	Q22 B
FAVFRUS	外国の好感度：ロシア	留 A	Q22 J
FAVFTHA	外国の好感度：タイ	留 A	Q22 G
FAVFTWN	外国の好感度：台湾	留 A	Q22 E
FAVFUSA	外国の好感度：アメリカ	留 A	Q22 K
FAZENSOK	症状の有無：ぜんそく（同居家族）	留 B	Q11-2 3
FEARWALK	自宅周辺の危険な場所の有無	留 A	Q49
FF[01-09]AGE	家族[1-9]：年齢	面	問 24-2 C
FF[01-09]JOB	家族[1-9]：就労の有無	面	問 24-2 E
FF[01-09]MG	家族[1-9]：結婚状況	面	問 24-2 D
FF[01-09]REL	家族[1-9]：続柄	面	問 24-2 A
FF[01-09]SEX	家族[1-9]：性別	面	問 24-2 B
FFHEAD	世帯主	面	問 26
FFO[01-06]REL	一時的な別居家族[1-6]：続柄	面	問 25-2 A
FFO[01-06]WHY	一時的な別居家族[1-6]：別居理由	面	問 25-2 B
FORM	留置票の種別	面	*
FQ4DRIVE	娯楽の頻度：ドライブ	留 A	Q8 A
FQ4FNR	外国人に近所で会う機会	留 A	Q20
FQ4GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム	留 A	Q8 E
FQ4GREEN	娯楽の頻度：園芸・庭いじり	留 A	Q8 F
FQ4KARA	娯楽の頻度：カラオケ	留 A	Q8 B
FQ4LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ	留 A	Q8 H
FQ4MOVIE	娯楽の頻度：映画鑑賞	留 A	Q8 C
FQ4MUSIC	娯楽の頻度：音楽鑑賞	留 A	Q8 D
FQ4PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	留 A	Q8 I
FQ4SHGIG	娯楽の頻度：将棋・囲碁	留 A	Q8 G
FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留 A/B	Q3/Q3
FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留 A/B	Q2/Q2
FQ5TRIP	1泊以上の旅行頻度	留 A/B	Q6/Q4
FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）	留 A/B	Q7 C/Q5 A
FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）	留 A/B	Q7 F/Q5 D
FQ7FFDNR	家族と一緒に夕食：頻度	留 A	Q7 A
FQ7FRSEE	友人との会食：頻度	留 A	Q7 B
FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）	留 A/B	Q7 G/Q5 E
FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）	留 A/B	Q7 E/Q5 C
FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）	留 A/B	Q7 D/Q5 B
FQFDBOX	食産業の利用頻度：弁当	留 B	Q44 B

FQFDFRZN	食産業の利用頻度：惣菜・冷凍食品	留 B	Q44 C
FQFDOUT	食産業の利用頻度：外食	留 B	Q44 A
FQFFDNRE	家族そろった夕食の頻度 (EASS 尺度)	留 B	Q42
FQFFLSR	家族一緒のレジャー活動の頻度	留 B	Q43
FQMPPMAIL	携帯電話でのメール送信の頻度	留 A	Q4-3 B
FQMPTALK	携帯電話での通話の頻度	留 A	Q4-3 A
FQPCMAIL	パソコンでのメール送信の頻度	留 A	Q4-3 C
FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度	留 A	Q5
FSTMTSS	配偶者との出会いのきっかけ	留 B	Q57-1
HAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎 (本人)	留 B	Q11-1 1
HAFOOD	症状の有無：食物アレルギー (本人)	留 B	Q11-1 4
HAKAFUN	症状の有無：花粉症 (本人)	留 B	Q11-1 2
HANONE	症状の有無：いずれもない (本人)	留 B	Q11-1 5
HAZENSOK	症状の有無：ぜんそく (本人)	留 B	Q11-1 3
HLPE2CC	世代間の経済的援助：回答者から子ども	留 B	Q65 A
HLPE2PM	世代間の経済的援助：回答者から両親	留 B	Q37-2 A
HLPE2PML	世代間の経済的援助：回答者から義親	留 B	Q55-2 A
HLPEFCC	世代間の経済的援助：子どもから回答者	留 B	Q66 A
HLPEFPM	世代間の経済的援助：両親から回答者	留 B	Q37-3 A
HLPEFPML	世代間の経済的援助：義親から回答者	留 B	Q55-3 A
HLPMGPM	結婚時の親からの援助	留 B	Q60
HLPMGPML	結婚時の義親からの援助	留 B	Q61
HLPP2CC	世代間の実践的援助：回答者から子ども	留 B	Q65 B
HLPP2PM	世代間の実践的援助：回答者から両親	留 B	Q37-2 B
HLPP2PML	世代間の実践的援助：回答者から義親	留 B	Q55-2 B
HLPPFCC	世代間の実践的援助：子どもから回答者	留 B	Q66 B
HLPPFPM	世代間の実践的援助：両親から回答者	留 B	Q37-3 B
HLPPFPML	世代間の実践的援助：義親から回答者	留 B	Q55-3 B
HRTV	テレビ視聴時間	留 A/B	Q1/Q1
IDUSE	識別番号		
IMEDCRAM	重要な教育：塾・予備校	留 A/B	Q57 B/Q23 B
IMEDHRU	重要な教育：高レベルの大学	留 A/B	Q57 D/Q23 D
IMEDLSSN	重要な教育：習い事	留 A/B	Q57 A/Q23 A
IMEDUNIV	重要な教育：大学	留 A/B	Q57 C/Q23 C
INCFAM	現在の収入源：他の家族の収入 (全員)	面	問 27-1 4
INCIRR	現在の収入源：不定期的な仕事 (全員)	面	問 27-1 9
INCMAN	現在の収入源：中心となるもの (全員)	面	問 27-2
INCNOKN	現在の収入源：わからない (全員)	面	問 27-1 11
INCOTHER	現在の収入源：その他 (全員)	面	問 27-1 10
INCPAR	現在の収入源：親の収入 (全員)	面	問 27-1 3
INCPEN	現在の収入源：年金 (全員)	面	問 27-1 5
INCSAVE	現在の収入源：貯蓄 (全員)	面	問 27-1 7
INCSOLF	現在の収入源：自分の収入 (全員)	面	問 27-1 1
INCSOC	現在の収入源：社会福祉 (全員)	面	問 27-1 8
INCSP	現在の収入源：配偶者の収入 (全員)	面	問 27-1 2
INCUEB	現在の収入源：失業保険 (全員)	面	問 27-1 6
INFLPMMG	結婚の決定への親の影響力	留 B	Q59
INTFLANG	興味がある外国語	留 A	Q19
JOINUNI	労働組合加入の有無	面	問 12
LACLN	地域活動：清掃活動	留 A	Q61-1 1

LADK	地域活動：わからない	留 A	Q61-1 5
LANONE	地域活動：いずれも行なわれていない	留 A	Q61-1 4
LAPTRL	地域活動：パトロール	留 A	Q61-1 3
LARCYC	地域活動：リサイクル品の回収	留 A	Q61-1 2
LVTGCC18	子どもとの同居	留 B	Q64
MARC	配偶者 (DOMARRY の転記)	面/留	*
MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留 A	Q66 D
MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留 A	Q66 G
MEMIND	組織への所属：業界団体	留 A	Q66 B
MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留 A	Q66 A
MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留 A	Q66 E
MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留 A	Q66 F
MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留 A	Q66 C
MMAGE	母親：年齢	面	問 31 A
MMCNTA	母親：接触頻度 (直接)	面	問 31 F
MMCNTB	母親：接触頻度 (間接)	面	問 31 G
MMDIST	母親：家までの距離	面	問 31 E
MMFAM	母親：同居者	面	問 31 C
MMHLTH	母親：健康状態	留 B	Q37-4
MMJBTP15	15 歳の頃の母：就労地位	面	問 41
MMJOB	母親：就労の有無	面	問 31 D
MMLAGE	義母：年齢	面	問 31 A
MMLCNTA	義母：接触頻度 (直接)	面	問 31 F
MMLCNTB	義母：接触頻度 (間接)	面	問 31 G
MMLDIST	義母：家までの距離	面	問 31 E
MMLFAM	義母：同居者	面	問 31 C
MMLHLTH	義母：健康状態	留 B	Q55-4
MMLJOB	義母：就労の有無	面	問 31 D
MMLLVTG	義母：同居・生死	面	問 30 A
MMLMG	義母：結婚状況	面	問 31 B
MMLSTSCH	最終学校 (母親)	面	問 42
MMLVTG	母親：同居・生死	面	問 30 A
MMMG	母親：結婚状況	面	問 31 B
MONTH	面接完了日：月	面	*
MONTHB	留置回収完了日：月	面	*
NUMMARRY	結婚の回数	留 B	Q45
OCOMMPOK	政権担当能力政党：共産党	留 A	Q48 4
ODPOK	政権担当能力政党：民主党	留 A	Q48 2
OKOMEIOK	政権担当能力政党：公明党	留 A	Q48 3
OLDPOK	政権担当能力政党：自民党	留 A	Q48 1
ONOPLOK	政権担当能力政党：ない	留 A	Q48 7
OOTHEROK	政権担当能力政党：その他の政党	留 A	Q48 6
OP10LVL	自分の位置する階層	面	問 28
OP2GNR	三世同居観	留 B	Q30
OP3ECN3A	家計状態の変化	留 A	Q27
OP3NEWJB	再就労の容易さ	留 A	Q26-4
OP3TRUST	人間観 (一般): 人は信用できる	留 A	Q64
OP4EDINC	教育観：高い学歴は収入面に恵まれる	留 A/B	Q58 B/Q24 B
OP4EDJOB	教育観：高い学歴で希望職に就ける	留 A/B	Q58 A/Q24 A
OP4EDMG	教育観：高い学歴でよい結婚ができる	留 A/B	Q58 C/Q24 C

OP4NAME	夫婦別姓意識	留 B	Q39
OP4UNEMP	失業の可能性	留 A	Q26-3
OP5CCARE	国か個人か：保育・育児	留 A	Q34 D
OP5CCED	国か個人か：子どもの教育	留 A	Q34 C
OP5CCEDE	国か家族か：子どもの教育費（EASS 尺度）	留 B	Q22 C
OP5CCREE	国か家族か：保育・育児（EASS 尺度）	留 B	Q22 D
OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無	留 A	Q31
OP5FFINX	世帯収入のレベル	留 A/B	Q28/Q18
OP5HAPPZ	幸福度	留 A	Q14
OP5HLTHE	健康状態（本人）（EASS 尺度）	留 B	Q10
OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留 A	Q9
OP5LEVK	階層帰属意識	留 A/B	Q33/Q21
OP5PENSN	自分の年金額予想	留 A	Q32
OP5RADCA	政治意識（保革 5 段階）	留 A/B	Q35/Q26
OP5SRMDE	国か家族か：高齢者の医療・介護（EASS 尺度）	留 B	Q22 B
OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護	留 A	Q34 B
OP5SRWFE	国か家族か：高齢者の生活保障（EASS 尺度）	留 B	Q22 A
OP5SRWFY	国か個人か：高齢者の生活保障	留 A	Q34 A
OP6TAXHI	所得税の負担感	留 A	Q36
OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留 A	Q65
OPACCAM	防犯対策への意見：路上カメラ	留 A	Q53 A
OPACINET	防犯対策への意見：インターネットの監視	留 A	Q53 D
OPACPTL	防犯対策への意見：住民パトロール	留 A	Q53 C
OPACSEXC	防犯対策への意見：性犯罪者の住所公表	留 A	Q53 B
OPADDIPL	開発援助：外交に応じて調整すべき	留 A	Q38 F
OPADEXP	開発援助：日本人への説明が不十分	留 A	Q38 D
OPADFIN	開発援助：財政状況に応じて減らすべき	留 A	Q38 C
OPADINFO	開発援助：現地人への伝達が不十分	留 A	Q38 E
OPADOBL	開発援助：援助は義務	留 A	Q38 B
OPADVITL	開発援助：援助は不可欠	留 A	Q38 A
OPAMND9	憲法 9 条改正への意見	留 A	Q43-1
OPDVCNT	離婚後の子どもへの意見：両親と接触	留 B	Q41 A
OPDVSGL	離婚後の子どもへの意見：ひとり親	留 B	Q41 C
OPDVSTEP	離婚後の子どもへの意見：連れ子	留 B	Q41 B
OPEMP1C	長子天皇への賛否	留 A	Q46
OPEMPF	女性天皇への賛否	留 A	Q44
OPEMPFL	女系天皇への賛否	留 A	Q45
OPEXED	教育費支出のレベル	留 A/B	Q30/Q19
OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル	留 A/B	Q29/Q20
OPISMM	世代間援助への意見：既婚男性から自分の親	留 B	Q31 A
OPISMSS	世代間援助への意見：既婚男性から妻の親	留 B	Q33 A
OPISMW	世代間援助への意見：既婚女性から自分の親	留 B	Q31 B
OPISMWSS	世代間援助への意見：既婚女性から夫の親	留 B	Q33 B
OPISUM	世代間援助への意見：未婚男性から自分の親	留 B	Q32 A
OPISUW	世代間援助への意見：未婚女性から自分の親	留 B	Q32 B
OPLPDONT	政権担当能力政党：わからない	留 A	Q48 8
OPPPCARE	老親の世話の責任	留 B	Q34
OPPTCALM	ペットへの意見：気持ちがなごむ	留 B	Q8 B
OPPTKILL	ペットへの意見：安楽死	留 B	Q8 C
OPPTREG	ペットへの意見：厳しく規制	留 B	Q8 A

OPSCD	自殺への意見	留 A	Q55
OPSCDIN	インターネット自殺への意見	留 A	Q54
OSDPOK	政権担当能力政党：社民党	留 A	Q48 5
OWNHOUSE	居住形態：持ち家	留 A/B	Q23-1/Q16-1
PMDTH	両親の存否	留 B	Q37-1
PMLDTH	義親の存否	留 B	Q55-1
PPAGE	父親：年齢	面	問 31 A
PPCNTA	父親：接触頻度（直接）	面	問 31 F
PPCNTB	父親：接触頻度（間接）	面	問 31 G
PPDIST	父親：家までの距離	面	問 31 E
PPFAM	父親：同居者	面	問 31 C
PPHLTH	父親：健康状態	留 B	Q37-4
PPJBSZ15	15歳の頃の父：企業規模	面	問 40
PPJBT15	15歳の頃の父：就労形態	面	問 38-1
PPJBT15P	15歳の頃の父：役職	面	問 38-2
PPJBXX15	15歳の頃の父：職種	面	問 39
PPJBXX1E	15歳の頃の父：職種（ISCO）	面	問 39
PPJOB	父親：就労の有無	面	問 31 D
PPLAGE	義父：年齢	面	問 31 A
PPLCNTA	義父：接触頻度（直接）	面	問 31 F
PPLCNTB	義父：接触頻度（間接）	面	問 31 G
PPLDIST	義父：家までの距離	面	問 31 E
PPLFAM	義父：同居者	面	問 31 C
PPLHLTH	義父：健康状態	留 B	Q55-4
PPLJOB	義父：就労の有無	面	問 31 D
PPLLVTG	義父：同居・生死	面	問 30 A
PPLMG	義父：結婚状況	面	問 31 B
PPLSTSCH	最終学校（父親）	面	問 42
PPLVTG	父親：同居・生死	面	問 30 A
PPMG	父親：結婚状況	面	問 31 B
PREF	都道府県名		
PREF15	15歳の頃の居住地（本人）：都道府県名	面	問 37-1
PROC	調査手順（留置／面接の順序）	調	F6
Q4DIVOK	意見についての賛否：離婚	留 A	Q63 A
Q4JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響	留 A	Q63 G
Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留 A	Q63 D
Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福	留 A	Q63 F
Q4NOCCMG	意見についての賛否：子どもをもつ必要	留 A	Q63 H
Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福	留 A	Q63 C
Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留 A	Q63 E
Q4WWHPHH	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留 A	Q63 I
Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事	留 A	Q63 B
Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留 A	Q42
Q7FFAUTH	家系継承規範：父親の権威を尊重	留 B	Q35 A
Q7FFCARE	家系継承規範：親の世話をした子が多く相続	留 B	Q35 D
Q7FFGRV	家系継承規範：墓を守る	留 B	Q35 F
Q7FFHNR	家系継承規範：子どもは親の誇りに	留 B	Q35 B
Q7FFMAN	家系継承規範：長男が多く相続	留 B	Q35 C
Q7FFNDMN	家系継承規範：息子が必要	留 B	Q35 E
Q7MGCC	結婚規範：子どもをもつ必要	留 B	Q38 B

Q7MGCOH	結婚規範：同棲はかまわない	留 B	Q38 E
Q7MGDVCC	結婚規範：離婚は子が育つまで待つ	留 B	Q38 F
Q7MGDVGD	結婚規範：離婚はよい手段	留 B	Q38 G
Q7MGMNHP	結婚規範：男性の結婚は幸福	留 B	Q38 C
Q7MGOLD	結婚規範：夫は年上	留 B	Q38 A
Q7MGWNHP	結婚規範：女性の結婚は幸福	留 B	Q38 D
Q7PRFF	家優先規範：自分より家族を優先	留 B	Q36 B
Q7PRMAN	家優先規範：妻より夫の親族を優先	留 B	Q36 A
Q7WWHHX	性別規範：性別役割分担	留 B	Q40 B
Q7WWHPHH	性別規範：妻は夫の手助け	留 B	Q40 A
Q7WWLOFF	性別規範：女性を先に解雇	留 B	Q40 D
Q7WWMNCK	性別規範：男性の家事	留 B	Q40 C
QDDKILLA	安楽死の賛否	留 A/B	Q41/Q25
QFNINCR	外国人増加の賛否	留 A	Q21
REMOTE15	15歳の頃の居住地(本人): 農山村地域	面	問 37-3
SEXA	性別	面/留	*
SIZE	市郡規模		
SIZE2K	市郡規模(2000年時点)		
SPAGEX	配偶者の年齢	面	
SPAGEZ	配偶者の年齢(留置B票のみ)	留 B	Q48
SS5HLTHE	健康状態(配偶者)(EASS尺度)	留 B	Q49
SSC2OTHR	介護の相手(配偶者): その他	留 B	Q51-2 4
SSC2PM	介護の相手(配偶者): 回答者の親	留 B	Q51-2 2
SSC2R	介護の相手(配偶者): 回答者	留 B	Q51-2 1
SSC2SSPM	介護の相手(配偶者): 配偶者の親	留 B	Q51-2 3
SSCARE	介護経験(配偶者)	留 B	Q51-1
SSFQ7CK	夕食の用意: 頻度(配偶者)	留 B	Q50 A
SSFQ7CLN	家の掃除: 頻度(配偶者)	留 B	Q50 D
SSFQ7GRB	ゴミ出し: 頻度(配偶者)	留 B	Q50 E
SSFQ7SHP	買い物: 頻度(配偶者)	留 B	Q50 C
SSFQ7WSH	洗濯: 頻度(配偶者)	留 B	Q50 B
SSJB1WK	先週の就労経験(配偶者)	面	問 16
SSJBDWK	就労日数/週(配偶者)	面	問 21
SSJBHRWK	就労時間数/週(配偶者)	面	問 17
SSLSTSCH	最終学校(配偶者)	面	問 42
SSSJBHWK	副業就労時間数/週(配偶者)	面	問 17
SSSZINCA	配偶者年収: 全体	面	問 29-4
SSSZINCM	配偶者年収: 主な仕事	面	問 29-5
SSSZSTFA	企業規模(配偶者)	面	問 23
SSSZWKYR	就労年数(配偶者)	面	問 22
SSTPJOB	就労形態(配偶者)	面	問 18-1
SSTPJOBP	役職(配偶者)	面	問 18-2
SSTRLSTN	配偶者との情緒的關係: 配偶者が悩みを聞く	留 B	Q52
SSTRSPK	配偶者との情緒的關係: あなたが悩みを聞く	留 B	Q53
SSXXHQX	業種(配偶者)	面	問 19
SSXXHQXE	業種(配偶者)(ISIC)	面	問 19
SSXXJOB	職種(配偶者)	面	問 20
SSXXJOBE	職種(配偶者)(ISCO)	面	問 20
ST5AREAY	生活満足度: 居住地域	留 A/B	Q13 A/Q14 A
ST5ECNY	生活満足度: 家計状態	留 A/B	Q13 D/Q14 D

ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留 A/B	Q13 E/Q14 E
ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留 A/B	Q13 F/Q14 F
ST5JOB	現在の仕事の満足度	面	問 13
ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留 A/B	Q13 B/Q14 B
ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留 A/B	Q13 C/Q14 C
ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係	留 A/B	Q13 G/Q14 G
STALLLF	生活満足度：全般	留 B	Q15
STMGLF	生活満足度：結婚生活	留 B	Q56
SZCMTHR	通勤時間：時間	面	問 4
SZCMTMIN	通勤時間：分	面	問 4
SZCMTTL	通勤時間：合計	面	問 4
SZEXED	世帯支出：教育費	面	問 34
SZFFONLY	家族人数（本人除く）	面	問 24-1
SZFFOUT	一時的な別居家族の人数	面	問 25-1
SZHSINCM	世帯年収	面	問 29-1
SZINCOMA	本人年収：全体	面	問 29-2
SZINCOMX	本人年収：主な仕事	面	問 29-3
SZSJBHWK	副業就労時間数 / 週	面	問 2
SZSTFFST	初職の企業規模	面	問 48
SZTTLSTA	企業規模	面	問 11
TP4WPLA	事業所形態	面	問 5
TP5LOC15	15 歳の頃の居住地（本人）	面	問 37-2
TP5UNEMP	不就労の理由	面	問 1-2
TPFSTJB	初職の就労形態	面	問 46-1
TPFSTJBP	初職の役職	面	問 46-2
TPHOUSE	居住形態：一戸建て	留 A/B	Q23-2/Q16-2
TPJOB	就労形態	面	問 3-1
TPJOBP	役職	面	問 3-2
TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者	留 A	Q68 J
TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁	留 A	Q68 D
TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員	留 A	Q68 K
TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員	留 A	Q68 L
TR3COPZ	組織への信頼：警察	留 A	Q68 N
TR3CORPZ	組織への信頼：大企業	留 A	Q68 A
TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊	留 A	Q68 M
TR3FINZ	組織への信頼：金融機関	留 A	Q68 O
TR3HSPLZ	組織への信頼：病院	留 A	Q68 G
TR3NWSPZ	組織への信頼：新聞	留 A	Q68 F
TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体	留 A	Q68 B
TR3SCHLZ	組織への信頼：学校	留 A	Q68 C
TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所	留 A	Q68 I
TR3TVZ	組織への信頼：テレビ	留 A	Q68 H
TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合	留 A	Q68 E
USTAND	調査員への質問：回答者の理解度	調	F2
WEIGHT	ウエイト		
WHOINTSS	配偶者の紹介者	留 B	Q57-2A
WHRMTSS	配偶者と出会った場所	留 B	Q57-2B
WHYAMND9	憲法 9 条改正の理由	留 A	Q43-2
WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向	留 A	Q26-2
WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか	留 A	Q25

WLRNENG	英語の学習意欲	留 A	Q18
WNTJB	将来なりたかった職業の有無	留 A	Q60-1
WNTJBPM	なりたかった職業は親の職業か	留 A	Q60-3
WNTJBX	将来なりたかった職業	留 A	Q60-2
XADDONAT	開発国支援の経験：募金	留 A	Q39
XADVOL	開発国支援の経験：ボランティア	留 A	Q40
XC2OTHR	介護の相手（本人）：その他	留 B	Q13-2 4
XC2PM	介護の相手（本人）：回答者の親	留 B	Q13-2 2
XC2SS	介護の相手（本人）：配偶者	留 B	Q13-2 1
XC2SSPM	介護の相手（本人）：配偶者の親	留 B	Q13-2 3
XCARE	介護経験（本人）	留 B	Q13-1
XCC18	18 歳以上の子どもの有無	留 B	Q62
XDTHPET	ペットの死の経験	留 B	Q7
XGETJOB	初職の就労時期	面	問 45
XJOB1WK	先週の就労経験	面	問 1-1
XJOBDWK	就労日数 / 週	面	問 8
XJOBHWK	就労時間数 / 週	面	問 2
XJOBREG	契約就労時間の有無	面	問 9
XJOBREGH	契約就労時間数 / 週	面	問 9
XJOBX	就労の有無	留 A	Q26-1
XJOBYR	就労年数	面	問 10
XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数	留 A/B	Q24/Q17
XMARRY	結婚経験	留 B	Q45
XNUMBROE	兄弟姉妹人数（兄）	面	問 32-1
XNUMBROY	兄弟姉妹人数（弟）	面	問 32-1
XNUMSISE	兄弟姉妹人数（姉）	面	問 32-1
XNUMSISY	兄弟姉妹人数（妹）	面	問 32-1
XQTEDU	経済的理由で進学を断念した経験	留 A	Q59
XQTSMOKE	禁煙努力	留 A	Q10-2
XROBBD1Y	強盗等の被害経験	留 A	Q50
XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験	面	問 44
XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）	面	問 32-2
XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）	面	問 32-2
XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）	面	問 32-2
XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）	面	問 32-2
XSSRMG	配偶者の初婚・再婚	留 B	Q58
XSTOLN1Y	空き巣被害経験	留 A	Q51
XTRAUM5Y	トラウマの回数	留 A/B	Q12/Q12
XWNTJOB	なりたかった職業に就けたか	留 A	Q60-4
XWNTSCD	自殺願望の経験	留 A	Q56
XWORK	就労経験	面	問 1-3
XX8PLPTY	支持政党	留 A/B	Q47/Q27
XXFSTJB	初職の職種	面	問 47
XXFSTJBE	初職の職種（ISCO）	面	問 47
XXJOB	職種	面	問 7
XXJOBE	職種（ISCO）	面	問 7
XXLSTSCH	最終学校（本人）	面	問 42
XXRL	信仰する宗教（本人）	留 A/B	Q67-2/Q9-2
XXWPL	業種	面	問 6
XXWPLE	業種（ISIC）	面	問 6

. JGSS-2006 資料

### Ⅲ.1 抽出地点リスト

(調査対象者の特定に繋がる可能性があるため、地点リストを削除している)

## . 2 産業コード

10	農業
20	林業
30	漁業
40	鉱業
50	建設業
60	製造業
70	電気・ガス・熱供給・水道業
80	運輸業
91	卸売業
92	小売業
93	飲食店
100	金融・保険業
110	不動産業
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業
130	情報・通信サービス業
140	医療・福祉サービス業
150	教育・研究サービス業
160	法律・会計サービス業
170	その他のサービス業
180	公務
190	分類不能の産業
987	兵役
998	非該当
999	無回答

産業カテゴリーの分類コードについては、原則として『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年SSM調査研究会)を利用した。1995年SSM分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。

### . 3 職業コード

501 ( 専門 )	自然科学系研究者
502 ( 専門 )	人文科学系研究者
503 ( 専門 )	機械・電気・化学技術者
504 ( 専門 )	建築・土木技術者
505 ( 専門 )	農林技術者
506 ( 専門 )	情報処理技術者
507 ( 専門 )	その他の技師・技術者
508 ( 専門 )	医師
509 ( 専門 )	歯科医師
510 ( 専門 )	薬剤師
511 ( 専門 )	助産師 ( 助産婦 )
512 ( 専門 )	保健師 ( 保健婦 )
513 ( 専門 )	栄養士
514 ( 専門 )	看護師 ( 看護婦、看護師 )
515 ( 専門 )	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516 ( 専門 )	その他の保健医療従事者
517 ( 専門 )	裁判官、検察官、弁護士
518 ( 専門 )	その他の法務従事者
519 ( 専門 )	公認会計士、税理士
520 ( 専門 )	幼稚園教員
521 ( 専門 )	小学校教員
522 ( 専門 )	中学校教員
523 ( 専門 )	高等学校教員
524 ( 専門 )	大学教員
525 ( 専門 )	盲・ろう・養護学校教員
526 ( 専門 )	その他の教員
527 ( 専門 )	宗教家
528 ( 専門 )	文芸家、著述家
529 ( 専門 )	記者、編集者
530 ( 専門 )	彫刻家、画家、工芸美術家
531 ( 専門 )	デザイナー
532 ( 専門 )	写真家、カメラマン
533 ( 専門 )	音楽家 ( 個人に教授するものを除く )
534 ( 専門 )	俳優、舞踊家、演芸家 ( 個人に教授するものを除く )
535 ( 専門 )	職業スポーツ家 ( 個人に教授するものを除く )

536 ( 専門 )	獣医師
537 ( 専門 )	保育士 ( 保母、保父 )
538 ( 専門 )	社会福祉事業専門職員
539 ( 専門 )	個人教師
540 ( 専門 )	不動産鑑定士
541 ( 専門 )	経営コンサルタント
542 ( 専門 )	アナウンサー ( ラジオ・テレビ )
543 ( 専門 )	図書館司書
544 ( 専門 )	その他の専門的・技術的職業従事者
545 ( 管理 )	管理的公務員
546 ( 管理 )	国会議員
547 ( 管理 )	地方議員
548 ( 管理 )	会社役員
549 ( 管理 )	その他の法人・団体の役員
550 ( 管理 )	会社・団体等の管理職員
551 ( 管理 )	駅長、区長
552 ( 管理 )	郵便局長、電報・電話局長
553 ( 管理 )	その他の管理的職業従事者
554 ( 事務 )	総務・企画事務員
555 ( 事務 )	受付・案内事務員
556 ( 事務 )	出荷・受荷事務員
557 ( 事務 )	営業・販売事務員
558 ( 事務 )	その他の一般事務員
559 ( 事務 )	会計事務員
560 ( 事務 )	郵便・通信事務員
561 ( 事務 )	集金人
562 ( 事務 )	その他の外勤事務従事者
563 ( 事務 )	運輸事務員
564 ( 事務 )	速記者、タイピスト、キーパンチャー
565 ( 事務 )	電子計算機等操作員
566 ( 販売 )	小売店主
567 ( 販売 )	卸売店主
568 ( 販売 )	飲食店主
569 ( 販売 )	販売店員
570 ( 販売 )	行商人、呼売人、露天商
571 ( 販売 )	再生資源卸売人・回収人
572 ( 販売 )	商品仲立人
573 ( 販売 )	外交員 ( 保険、不動産を除く )

574 (販売)	保険代理人・外交員
575 (販売)	不動産仲買人・売買人
576 (販売)	質屋店主・店員
577 (販売)	その他の販売類似職業従事者
578 (非熟練)	家政婦、家事サービス職業従事者
579 (熟練)	理容師、美容師
580 (半熟練)	クリーニング職、洗張職
581 (熟練)	料理人
582 (販売)	バーテンダー
583 (販売)	給仕係
584 (販売)	スチュワーデス、スチュワード
585 (販売)	接客社交係
586 (事務)	娯楽場等の接客員
587 (販売)	旅行・観光案内人
588 (販売)	その他の個人サービス職業従事者
589 (販売)	旅館主人・番頭、ホテル支配人
590 (事務)	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591 (非熟練)	ファッションモデル
592 (非熟練)	その他のサービス職業従事者
593 (事務)	自衛官
594 (事務)	警察官、海上保安官、鉄道公安員
595 (事務)	消防員
596 (事務)	看守、守衛、監視員
597 (事務)	その他の保安職業従事者
598 (事務)	旧職業軍人
599 (農林)	農耕・養蚕作業者
600 (農林)	植木職、造園師
601 (農林)	畜産作業者
602 (農林)	林業作業者
603 (農林)	その他の農林業作業者
604 (農林)	漁業作業者
605 (農林)	漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606 (半熟練)	電車・機関車運転士
607 (半熟練)	自動車運転者
608 (管理)	船長・航海士(漁船を除く)、水先人
609 (専門)	船舶機関長・機関士(漁船を除く)
610 (専門)	航空機操縦士、航空士、航空機関士
611 (半熟練)	車掌

612 (半熟練)	鉄道員
613 (半熟練)	船員
614 (半熟練)	その他の運輸従事者
615 (専門)	無線通信士、無線技術士
616 (事務)	有線通信士
617 (事務)	電話交換手
618 (事務)	郵便・電報外務員
619 (事務)	その他の通信従事者
620 (非熟練)	採鉱員、採炭員
621 (非熟練)	石切出作業者
622 (非熟練)	その他の採掘作業者
623 (熟練)	陶磁器工、絵付作業者
624 (熟練)	石工
625 (半熟練)	ガラス・セメント製品製造作業者
626 (熟練)	その他の窯業・土石製品製造作業者
627 (半熟練)	製鉄工、製鋼工、精錬工
628 (熟練)	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業者
629 (半熟練)	化学製品製造作業者
630 (半熟練)	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者
631 (熟練)	鉄工、板金工
632 (半熟練)	金属溶接工
633 (熟練)	一般機械組立工・修理工
634 (半熟練)	電気機械器具組立工・修理工
635 (熟練)	自動車組立工・整備工
636 (熟練)	鉄道車両組立工・修理工
637 (熟練)	船舶ぎ装工(他に分類されない)
638 (熟練)	航空機組立工・整備工
639 (熟練)	自転車組立工・修理工
640 (熟練)	その他の輸送機械組立・修理作業者
641 (熟練)	時計組立工・修理工
642 (熟練)	光学機械・精密機械器具組立工・修理工
643 (熟練)	精穀工、製粉工
644 (熟練)	パン・菓子・めん類・豆腐製造工
645 (半熟練)	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食品製造作業者
646 (半熟練)	たばこ製造工
647 (熟練)	酒類製造工
648 (半熟練)	製糸作業者
649 (半熟練)	織布工、紡織作業者

650 (半熟練)	漂白工、染色工
651 (熟練)	洋服・和服仕立職
652 (半熟練)	縫製工、裁断工
653 (半熟練)	製材工、木工
654 (熟練)	指物職、家具職、建具職
655 (熟練)	船大工
656 (熟練)	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業
657 (半熟練)	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業
658 (熟練)	印刷・製本作業
659 (半熟練)	ゴム・プラスチック製品製造作業
660 (熟練)	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業
661 (熟練)	塗装工、画工、看板工
662 (熟練)	漆塗師、まき絵師
663 (熟練)	表具師、内張工
664 (熟練)	和がさ・ちょうちん・うちわ職
665 (熟練)	貴金属・宝石・甲・角等細工工
666 (熟練)	印判師
667 (半熟練)	洋傘組立工
668 (熟練)	かばん・袋物製造工
669 (半熟練)	がん具製造工
670 (熟練)	製図工、現図工
671 (熟練)	映写技士
672 (半熟練)	その他の技能工・生産工程作業
673 (熟練)	汽かん士、汽かん火夫
674 (熟練)	起重機・建設機械運転作業
675 (熟練)	その他の定置機関運転作業
676 (半熟練)	発電員、変電員
677 (熟練)	電気工事・電話工事作業
678 (熟練)	土木・建築請負師
679 (熟練)	左官、とび職
680 (熟練)	れんが積工、配管工
681 (熟練)	畳職
682 (非熟練)	土工、道路工夫
683 (非熟練)	鉄道線路工夫
684 (熟練)	現場監督、その他の建設作業
685 (非熟練)	倉庫夫、仲仕
686 (非熟練)	運搬労務者
687 (非熟練)	清掃員

688 (非熟練)	その他の労務作業者
689 (分類不能)	分類不能の職業
690 (分類不能)	旧地主
691 (分類不能)	名目上の役員
701 (事務)	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702 (分類不能)	大工
703 (専門)	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704 (分類不能)	製品製造作業者：(特に父職で)作っている製品が明記されていない場合
705 (分類不能)	会社員：(特に父職で)記入が「会社員」とあった場合
707 (分類不能)	自営業：(特に父職で)記入が「自営業」とあった場合
986 (分類不能)	無職
987 (分類不能)	兵役
998 (非該当)	非該当
999 (無回答)	不明、無回答

括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2003 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年SSM調査研究会)における1995年SSM分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995年SSM分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS分類とSSM分類との相違点は、以下のとおりである。

#### SSM 分類と内容が若干異なるコード

511	助産師(助産婦)
512	保健師(保健婦)
514	看護師(看護婦、看護師)
537	保育士(保母、保父)
578	家政婦、家事サービス職業従事者

#### SSM 分類にはないコード

701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー：「559 会計事務員」から分離
702	大工：「679 大工・左官、とび職」から分離
703	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704	製品製造作業者：(特に父職で)作っている製品が明記されていない場合に用いた
705	会社員：(特に父職で)記入が「会社員」とあった場合
707	自営業：(特に父職で)記入が「自営業」とあった場合

SSM 分類には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

- |     |           |
|-----|-----------|
| 988 | 大学生、短大生   |
| 989 | 大学院生      |
| 990 | その他の生徒・学生 |

また、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい（所属は 2005 年 3 月現在）。

高橋 和子（敬愛大学国際学部 助教授）

奥村 学（東京工業大学精密工学研究所 助教授）

高村 大也（東京工業大学精密工学研究所 助手）

須山 敦（東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年）

村山 紀文（東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年）

## . 4 国際標準産業分類 (ISIC)

国際標準産業分類 (International Standard Industrial Classification of all Economic Activities: ISIC) は、国際労働機関 (International Labour Organization: ILO) が定めている産業分類コードである (詳細は <http://www.ilo.org/> を参照)。JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISIC, revision 3 を用いて従来の産業分類とは別に変数を作成した。コーディングは 2 桁の水準で行ったが、基礎集計は Tabulation category にまとめている。

なお、JGSS-2006 では、調査したすべての産業について国際標準産業分類のコーディングを行ったが、今後の調査ではコーディングを行わない予定である。

### TABULATION CATEGORY A: AGRICULTURE, HUNTING AND FORESTRY

- 01 Agriculture, hunting and related service activities
- 02 Forestry, logging and related service activities

### TABULATION CATEGORY B: FISHING

- 05 Fishing, operation of fish hatcheries and fish farms; service activities incidental to fishing

### TABULATION CATEGORY C: MINING AND QUARRYING

- 10 Mining of coal and lignite; extraction of peat
- 11 Extraction of crude petroleum and natural gas; service activities incidental to oil and gas extraction, excluding surveying
- 12 Mining of uranium and thorium ores
- 13 Mining of metal ores
- 14 Other mining and quarrying

### TABULATION CATEGORY D: MANUFACTURING

- 15 Manufacture of food products and beverages
- 16 Manufacture of tobacco products
- 17 Manufacture of textiles
- 18 Manufacture of wearing apparel; dressing and dyeing of fur
- 19 Tanning and dressing of leather; manufacture of luggage, handbags, saddlery, harness and footwear
- 20 Manufacture of wood and of products of wood and cork, except furniture; manufacture of articles of straw and plaiting materials
- 21 Manufacture of paper and paper products
- 22 Publishing, printing and reproduction of recorded media
- 23 Manufacture of coke, refined petroleum products and nuclear fuel
- 24 Manufacture of chemicals and chemical products
- 25 Manufacture of rubber and plastic products
- 26 Manufacture of other non-metallic mineral products
- 27 Manufacture of basic metals
- 28 Manufacture of fabricated metal products, except machinery and equipment
- 29 Manufacture of machinery and equipment NEC (not elsewhere classified)
- 30 Manufacture of office, accounting and computing machinery
- 31 Manufacture of electrical machinery and apparatus NEC
- 32 Manufacture of radio, television and communication equipment and apparatus
- 33 Manufacture of medical, precision and optical instruments, watches and clocks
- 34 Manufacture of motor vehicles, trailers and semi-trailers
- 35 Manufacture of other transport equipment
- 36 Manufacture of furniture; manufacturing NEC
- 37 Recycling

TABULATION CATEGORY E: ELECTRICITY, GAS AND WATER SUPPLY

- 40 Electricity, gas, steam and hot-water supply
- 41 Collection, purification and distribution of water

TABULATION CATEGORY F: CONSTRUCTION

- 45 Construction

TABULATION CATEGORY G: WHOLESALE AND RETAIL TRADE; REPAIR OF MOTOR VEHICLES, MOTORCYCLES AND PERSONAL AND HOUSEHOLD GOODS

- 50 Sale, maintenance and repair of motor vehicles and motorcycles; retail sale of automotive fuel
- 51 Wholesale trade and commission trade, except of motor vehicles and motorcycles
- 52 Retail trade, except of motor vehicles and motorcycles; repair of personal and household goods

TABULATION CATEGORY H: HOTELS AND RESTAURANTS

- 55 Hotels and restaurants

TABULATION CATEGORY I: TRANSPORT, STORAGE AND COMMUNICATIONS

- 60 Land transport; transport via pipelines
- 61 Water transport
- 62 Air transport
- 63 Supporting and auxiliary transport activities; activities of travel agencies
- 64 Post and telecommunications

TABULATION CATEGORY J: FINANCIAL INTERMEDIATION

- 65 Financial intermediation, except insurance and pension funding
- 66 Insurance and pension funding, except compulsory social security
- 67 Activities auxiliary to financial intermediation

TABULATION CATEGORY K: REAL ESTATE, RENTING AND BUSINESS ACTIVITIES

- 70 Real estate activities
- 71 Renting of machinery and equipment without operator and of personal and household goods
- 72 Computer and related activities
- 73 Research and development
- 74 Other business activities

TABULATION CATEGORY L: PUBLIC ADMINISTRATION AND DEFENCE; COMPULSORY SOCIAL SECURITY

- 75 Public administration and defence; compulsory social security

TABULATION CATEGORY M: EDUCATION

- 80 Education

TABULATION CATEGORY N: HEALTH AND SOCIAL WORK

- 85 Health and social work

TABULATION CATEGORY O: OTHER COMMUNITY, SOCIAL AND PERSONAL SERVICE ACTIVITIES

- 90 Sewage and refuse disposal, sanitation and similar activities
- 91 Activities and membership organizations NEC
- 92 Recreational, cultural and sporting activities
- 93 Other service activities

TABULATION CATEGORY P: PRIVATE HOUSEHOLDS WITH EMPLOYED PERSONS

- 95 Private households with employed persons

TABULATION CATEGORY Q: EXTRA-TERRITORIAL ORGANIZATIONS AND BODIES

- 99 Extra-territorial organizations and bodies

## . 5 国際標準職業分類 (ISCO)

国際標準職業分類 (International Standard Classification of Occupations: ISCO) は、国際労働機関 (International Labour Organization: ILO) が定めている職業分類コードである (詳細は <http://www.ilo.org/> を参照)。JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISCO-88 を用いて従来の職業分類とは別に変数を作成した。コーディングはもっとも細かい 4 桁 (Unit group) の水準で行ったが、基礎集計は Major group にまとめている。

なお、JGSS-2006 では、調査したすべての職業について国際標準職業分類のコーディングを行ったが、今後の調査では回答者と配偶者の現在の職業についてのみコーディングを行う予定である。

### MAJOR GROUP 1: LEGISLATORS, SENIOR OFFICIALS AND MANAGERS

#### 11 LEGISLATORS AND SENIOR OFFICIALS

##### 111 LEGISLATORS

1110 Legislators

##### 112 SENIOR GOVERNMENT OFFICIALS

1120 Senior government officials

##### 113 TRADITIONAL CHIEFS AND HEADS OF VILLAGES

1130 Traditional chiefs and heads of villages

##### 114 SENIOR OFFICIALS OF SPECIAL-INTEREST ORGANISATIONS

1141 Senior officials of political-party organisations

1142 Senior officials of employers', workers' and other economic-interest organisations

1143 Senior officials of humanitarian and other special-interest organisations

#### 12 CORPORATE MANAGERS

##### 121 DIRECTORS AND CHIEF EXECUTIVES

1210 Directors and chief executives

##### 122 PRODUCTION AND OPERATIONS DEPARTMENT MANAGERS

1221 Production and operations department managers in agriculture, hunting, forestry and fishing

1222 Production and operations department managers in manufacturing

1223 Production and operations department managers in construction

1224 Production and operations department managers in wholesale and retail trade

1225 Production and operations department managers in restaurants and hotels

1226 Production and operations department managers in transport, storage and communications

1227 Production and operations department managers in business services

1228 Production and operations department managers in personal care, cleaning and related services

1229 Production and operations department managers not elsewhere classified

##### 123 OTHER DEPARTMENT MANAGERS

1231 Finance and administration department managers

1232 Personnel and industrial relations department managers

1233 Sales and marketing department managers

1234 Advertising and public relations department managers

1235 Supply and distribution department managers

1236 Computing services department managers

1237 Research and development department managers

1239 Other department managers not elsewhere classified

#### 13 GENERAL MANAGERS

##### 131 GENERAL MANAGERS

1311 General managers in agriculture, hunting, forestry/ and fishing

1312 General managers in manufacturing

1313 General managers in construction

1314 General managers in wholesale and retail trade

1315 General managers of restaurants and hotels

- 1316 General managers in transport, storage and communications
- 1317 General managers of business services
- 1318 General managers in personal care, cleaning and related services
- 1319 General managers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 2: PROFESSIONALS

- 21 PHYSICAL, MATHEMATICAL AND ENGINEERING SCIENCE PROFESSIONALS
  - 211 PHYSICISTS, CHEMISTS AND RELATED PROFESSIONALS
    - 2111 Physicists and astronomers
    - 2112 Meteorologists
    - 2113 Chemists
    - 2114 Geologists and geophysicists
  - 212 MATHEMATICIANS, STATISTICIANS AND RELATED PROFESSIONALS
    - 2121 Mathematicians and related professionals
    - 2122 Statisticians
  - 213 COMPUTING PROFESSIONALS
    - 2131 Computer systems designers and analysts
    - 2132 Computer programmers
    - 2139 Computing professionals not elsewhere classified
  - 214 ARCHITECTS, ENGINEERS AND RELATED PROFESSIONALS
    - 2141 Architects, town and traffic planners
    - 2142 Civil engineers
    - 2143 Electrical engineers
    - 2144 Electronics and telecommunications engineers
    - 2145 Mechanical engineers
    - 2146 Chemical engineers
    - 2147 Mining engineers, metallurgists and related professionals
    - 2148 Cartographers and surveyors
    - 2149 Architects, engineers and related professionals not elsewhere classified
- 22 LIFE SCIENCE AND HEALTH PROFESSIONALS
  - 221 LIFE SCIENCE PROFESSIONALS
    - 2211 Biologists, botanists, zoologists and related professionals
    - 2212 Pharmacologists, pathologists and related professionals
    - 2213 Agronomists and related professionals
  - 222 HEALTH PROFESSIONALS (except nursing)
    - 2221 Medical doctors
    - 2222 Dentists
    - 2223 Veterinarians
    - 2224 Pharmacists
    - 2229 Health professionals (except nursing) not elsewhere classified
  - 223 NURSING AND MIDWIFERY PROFESSIONALS
    - 2230 Nursing and midwifery professionals
- 23 TEACHING PROFESSIONALS
  - 231 COLLEGE, UNIVERSITY AND HIGHER EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2310 College, university and higher education teaching professionals
  - 232 SECONDARY EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2320 Secondary education teaching professionals
  - 233 PRIMARY AND PRE-PRIMARY EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2331 Primary education teaching professionals
    - 2332 Pre-primary education teaching professionals
  - 234 SPECIAL EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2340 Special education teaching professionals
  - 235 OTHER TEACHING PROFESSIONALS
    - 2351 Education methods specialists
    - 2352 School inspectors
    - 2359 Other teaching professionals not elsewhere classified
- 24 OTHER PROFESSIONALS

- 241 BUSINESS PROFESSIONALS
  - 2411 Accountants
  - 2412 Personnel and careers professionals
  - 2419 Business professionals not elsewhere classified
- 242 LEGAL PROFESSIONALS
  - 2421 Lawyers
  - 2422 Judges
  - 2429 Legal professionals not elsewhere classified
- 243 ARCHIVISTS, LIBRARIANS AND RELATED INFORMATION PROFESSIONALS
  - 2431 Archivists and curators
  - 2432 Librarians and related information professionals
- 244 SOCIAL SCIENCE AND RELATED PROFESSIONALS
  - 2441 Economists
  - 2442 Sociologists, anthropologists and related professionals
  - 2443 Philosophers, historians and political scientists
  - 2444 Philologists, translators and interpreters
  - 2445 Psychologists
  - 2446 Social work professionals
- 245 WRITERS AND CREATIVE OR PERFORMING ARTISTS
  - 2451 Authors, journalists and other writers
  - 2452 Sculptors, painters and related artists
  - 2453 Composers, musicians and singers
  - 2454 Choreographers and dancers
  - 2455 Film, stage and related actors and directors
- 246 RELIGIOUS PROFESSIONALS
  - 2460 Religious professionals

MAJOR GROUP 3: TECHNICIANS AND ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 31 PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCE ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 311 PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCE TECHNICIANS
    - 3111 Chemical and physical science technicians
    - 3112 Civil engineering technicians
    - 3113 Electrical engineering technicians
    - 3114 Electronics and telecommunications engineering technicians
    - 3115 Mechanical engineering technicians
    - 3116 Chemical engineering technicians
    - 3117 Mining and metallurgical technicians
    - 3118 Draughtspersons
    - 3119 Physical and engineering science technicians not elsewhere classified
  - 312 COMPUTER ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3121 Computer assistants
    - 3122 Computer equipment operators
    - 3123 Industrial robot controllers
  - 313 OPTICAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT OPERATORS
    - 3131 Photographers and image and sound recording equipment operators
    - 3132 Broadcasting and telecommunications equipment operators
    - 3133 Medical equipment operators
    - 3139 Optical and electronic equipment operators not elsewhere classified
  - 314 SHIP AND AIRCRAFT CONTROLLERS AND TECHNICIANS
    - 3141 Ships' engineers
    - 3142 Ships' deck officers and pilots
    - 3143 Aircraft pilots and related associate professionals
    - 3144 Air traffic controllers
    - 3145 Air traffic safety technicians
  - 315 SAFETY AND QUALITY INSPECTORS
    - 3151 Building and fire inspectors
    - 3152 Safety, health and quality inspectors

- 32 LIFE SCIENCE AND HEALTH ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 321 LIFE SCIENCE TECHNICIANS AND RELATED ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3211 Life science technicians
    - 3212 Agronomy and forestry technicians
    - 3213 Farming and forestry advisers
  - 322 MODERN HEALTH ASSOCIATE PROFESSIONALS (except nursing)
    - 3221 Medical assistants
    - 3222 Sanitarians
    - 3223 Dieticians and nutritionists
    - 3224 Optometrists and opticians
    - 3225 Dental assistants
    - 3226 Physiotherapists and related associate professionals
    - 3227 Veterinary assistants
    - 3228 Pharmaceutical assistants
    - 3229 Modern health associate professionals (except nursing) not elsewhere classified
  - 323 NURSING AND MIDWIFERY ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3231 Nursing associate professionals
    - 3232 Midwifery associate professionals
  - 324 TRADITIONAL MEDICINE PRACTITIONERS AND FAITH HEALERS
    - 3241 Traditional medicine practitioners
    - 3242 Faith healers
- 33 TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 331 PRIMARY EDUCATION TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3310 Primary education teaching associate professionals
  - 332 PRE-PRIMARY EDUCATION TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3320 Pre-primary education teaching associate professionals
  - 333 SPECIAL EDUCATION TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3330 Special education teaching associate professionals
  - 334 OTHER TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3340 Other teaching associate professionals
- 34 OTHER ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 341 FINANCE AND SALES ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3411 Securities and finance dealers and brokers
    - 3412 Insurance representatives
    - 3413 Estate agents
    - 3414 Travel consultants and organisers
    - 3415 Technical and commercial sales representatives
    - 3416 Buyers
    - 3417 Appraisers, valuers and auctioneers
    - 3419 Finance and sales associate professionals not elsewhere classified
  - 342 BUSINESS SERVICES AGENTS AND TRADE BROKERS
    - 3421 Trade brokers
    - 3422 Clearing and forwarding agents
    - 3423 Employment agents and labour contractors
    - 3429 Business services agents and trade brokers not elsewhere classified
  - 343 ADMINISTRATIVE ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3431 Administrative secretaries and related associate professionals
    - 3432 Legal and related business associate professionals
    - 3433 Bookkeepers
    - 3434 Statistical, mathematical and related associate professionals
    - 3439 Administrative associate professionals not elsewhere classified
  - 344 CUSTOMS, TAX AND RELATED GOVERNMENT ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3441 Customs and border inspectors
    - 3442 Government tax and excise officials
    - 3443 Government social benefits officials
    - 3444 Government licensing officials
    - 3449 Customs, tax and related government associate professionals not elsewhere classified

- 345 POLICE INSPECTORS AND DETECTIVES
  - 3450 Police inspectors and detectives
- 346 SOCIAL WORK ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 3460 Social work associate professionals
- 347 ARTISTIC, ENTERTAINMENT AND SPORTS ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 3471 Decorators and commercial designers
  - 3472 Radio, television and other announcers
  - 3473 Street, night-club and related musicians, singers and dancers
  - 3474 Clowns, magicians, acrobats and related associate professionals
  - 3475 Athletes, sportspersons and related associate professionals
- 348 RELIGIOUS ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 3480 Religious associate professionals

MAJOR GROUP 4: CLERKS

- 41 OFFICE CLERKS
  - 411 SECRETARIES AND KEYBOARD-OPERATING CLERKS
    - 4111 Stenographers and typists
    - 4112 Word-processor and related operators
    - 4113 Data entry operators
    - 4114 Calculating-machine operators
    - 4115 Secretaries
  - 412 NUMERICAL CLERKS
    - 4121 Accounting and bookkeeping clerks
    - 4122 Statistical and finance clerks
  - 413 MATERIAL-RECORDING AND TRANSPORT CLERKS
    - 4131 Stock clerks
    - 4132 Production clerks
    - 4133 Transport clerks
  - 414 LIBRARY, MAIL AND RELATED CLERKS
    - 4141 Library and filing clerks
    - 4142 Mail carriers and sorting clerks
    - 4143 Coding, proof-reading and related clerks
    - 4144 Scribes and related workers
  - 419 OTHER OFFICE CLERKS
    - 4190 Other office clerks
- 42 CUSTOMER SERVICES CLERKS
  - 421 CASHIERS, TELLERS AND RELATED CLERKS
    - 4211 Cashiers and ticket clerks
    - 4212 Tellers and other counter clerks
    - 4213 Bookmakers and croupiers
    - 4214 Pawnbrokers and money-lenders
    - 4215 Debt-collectors and related workers
  - 422 CLIENT INFORMATION CLERKS
    - 4221 Travel agency and related clerks
    - 4222 Receptionists and information clerks
    - 4223 Telephone switchboard operators

MAJOR GROUP 5: SERVICE WORKERS AND SHOP AND MARKET SALES WORKERS

- 51 PERSONAL AND PROTECTIVE SERVICES WORKERS
  - 511 TRAVEL ATTENDANTS AND RELATED WORKERS
    - 5111 Travel attendants and travel stewards
    - 5112 Transport conductors
    - 5113 Travel guides
  - 512 HOUSEKEEPING AND RESTAURANT SERVICES WORKERS
    - 5121 Housekeepers and related workers
    - 5122 Cooks
    - 5123 Waiters, waitresses and bartenders

- 513 PERSONAL CARE AND RELATED WORKERS
  - 5131 Child-care workers
  - 5132 Institution-based personal care workers
  - 5133 Home-based personal care workers
  - 5139 Personal care and related workers not elsewhere classified
- 514 OTHER PERSONAL SERVICES WORKERS
  - 5141 Hairdressers, barbers, beauticians and related workers
  - 5142 Companions and valets
  - 5143 Undertakers and embalmers
  - 5149 Other personal services workers not elsewhere classified
- 515 ASTROLOGERS, FORTUNE-TELLERS AND RELATED WORKERS
  - 5151 Astrologers and related workers
  - 5152 Fortune-tellers, palmists and related workers
- 516 PROTECTIVE SERVICES WORKERS
  - 5161 Fire-fighters
  - 5162 Police officers
  - 5163 Prison guards
  - 5169 Protective services workers not elsewhere classified
- 52 MODELS, SALESPERSONS AND DEMONSTRATORS
  - 521 FASHION AND OTHER MODELS
    - 5210 Fashion and other models
  - 522 SHOP SALESPERSONS AND DEMONSTRATORS
    - 5220 Shop salespersons and demonstrators
  - 523 STALL AND MARKET SALESPERSONS
    - 5230 Stall and market salespersons
- MAJOR GROUP 6: SKILLED AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS
- 61 MARKET-ORIENTED SKILLED AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS
  - 611 MARKET GARDENERS AND CROP GROWERS
    - 6111 Field crop and vegetable growers
    - 6112 Tree and shrub crop growers
    - 6113 Gardeners, horticultural and nursery growers
    - 6114 Mixed-crop growers
  - 612 MARKET-ORIENTED ANIMAL PRODUCERS AND RELATED WORKERS
    - 6121 Dairy and livestock producers
    - 6122 Poultry producers
    - 6123 Apiarists and sericulturists
    - 6124 Mixed-animal producers
    - 6129 Market-oriented animal producers and related workers not elsewhere classified
  - 613 MARKET-ORIENTED CROP AND ANIMAL PRODUCERS
    - 6130 Market-oriented crop and animal producers
  - 614 FORESTRY AND RELATED WORKERS
    - 6141 Forestry workers and loggers
    - 6142 Charcoal burners and related workers
  - 615 FISHERY WORKERS, HUNTERS AND TRAPPERS
    - 6151 Aquatic-life cultivation workers
    - 6152 Inland and coastal waters fishery workers
    - 6153 Deep-sea fishery workers
    - 6154 Hunters and trappers
- 62 SUBSISTENCE AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS
  - 621 SUBSISTENCE AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS
    - 6210 Subsistence agricultural and fishery workers
- MAJOR GROUP 7: CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS
- 71 EXTRACTION AND BUILDING TRADES WORKERS
  - 711 MINERS, SHOTFIRERS, STONE CUTTERS AND CARVERS
    - 7111 Miners and quarry workers

- 7112 Shotfirers and blasters
- 7113 Stone splitters, cutters and carvers
- 712 BUILDING FRAME AND RELATED TRADES WORKERS
  - 7121 Builders, traditional materials
  - 7122 Bricklayers and stonemasons
  - 7123 Concrete placers, concrete finishers and related workers
  - 7124 Carpenters and joiners
  - 7129 Building frame and related trades workers not elsewhere classified
- 713 BUILDING FINISHERS AND RELATED TRADES WORKERS
  - 7131 Roofers
  - 7132 Floor layers and tile setters
  - 7133 Plasterers
  - 7134 Insulation workers
  - 7135 Glaziers
  - 7136 Plumbers and pipe fitters
  - 7137 Building and related electricians
- 714 PAINTERS, BUILDING STRUCTURE CLEANERS AND RELATED TRADES WORKERS
  - 7141 Painters and related workers
  - 7142 Varnishers and related painters
  - 7143 Building structure cleaners
- 72 METAL, MACHINERY AND RELATED TRADES WORKERS
  - 721 METAL MOULDERS, WELDERS, SHEET-METAL WORKERS, STRUCTURAL- METAL PREPARERS, AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7211 Metal moulders and coremakers
    - 7212 Welders and flamecutters
    - 7213 Sheet metal workers
    - 7214 Structural-metal preparers and erectors
    - 7215 Riggers and cable splicers
    - 7216 Underwater workers
  - 722 BLACKSMITHS, TOOL-MAKERS AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7221 Blacksmiths, hammer-smiths and forging-press workers
    - 7222 Tool-makers and related workers
    - 7223 Machine-tool setters and setter-operators
    - 7224 Metal wheel-grinders, polishers and tool sharpeners
  - 723 MACHINERY MECHANICS AND FITTERS
    - 7231 Motor vehicle mechanics and fitters
    - 7232 Aircraft engine mechanics and fitters
    - 7233 Agricultural- or industrial-machinery mechanics and fitters
  - 724 ELECTRICAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT MECHANICS AND FITTERS
    - 7241 Electrical mechanics and fitters
    - 7242 Electronics fitters
    - 7243 Electronics mechanics and servicers
    - 7244 Telegraph and telephone installers and servicers
    - 7245 Electrical line installers, repairers and cable jointers
- 73 PRECISION, HANDICRAFT, PRINTING AND RELATED TRADES WORKERS
  - 731 PRECISION WORKERS IN METAL AND RELATED MATERIALS
    - 7311 Precision-instrument makers and repairers
    - 7312 Musical instrument makers and tuners
    - 7313 Jewellery and precious-metal workers
  - 732 POTTERS, GLASS-MAKERS AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7321 Abrasive wheel formers, potters and related workers
    - 7322 Glass makers, cutters, grinders and finishers
    - 7323 Glass engravers and etchers
    - 7324 Glass, ceramics and related decorative painters
  - 733 HANDICRAFT WORKERS IN WOOD,TEXTILE, LEATHER AND RELATED MATERIALS
    - 7331 Handicraft workers in wood and related materials
    - 7332 Handicraft workers in textile, leather and related materials

- 734 PRINTING AND RELATED TRADES WORKERS
  - 7341 Compositors, typesetters and related workers
  - 7342 Stereotypers and electrotypers
  - 7343 Printing engravers and etchers
  - 7344 Photographic and related workers
  - 7345 Bookbinders and related workers
  - 7346 Silk-screen, block and textile printers
- 74 OTHER CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS
  - 741 FOOD PROCESSING AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7411 Butchers, fishmongers and related food preparers
    - 7412 Bakers, pastry-cooks and confectionery makers
    - 7413 Dairy-products makers
    - 7414 Fruit, vegetable and related preservers
    - 7415 Food and beverage tasters and graders
    - 7416 Tobacco preparers and tobacco products makers
  - 742 WOOD TREATERS, CABINET-MAKERS AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7421 Wood treaters
    - 7422 Cabinet makers and related workers
    - 7423 Woodworking machine setters and setter-operators
    - 7424 Basketry weavers, brush makers and related workers
  - 743 TEXTILE, GARMENT AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7431 Fibre preparers
    - 7432 Weavers, knitters and related workers
    - 7433 Tailors, dressmakers and hatters
    - 7434 Furriers and related workers
    - 7435 Textile, leather and related pattern-makers and cutters
    - 7436 Sewers, embroiderers and related workers
    - 7437 Upholsterers and related workers
  - 744 PELT, LEATHER AND SHOEMAKING TRADES WORKERS
    - 7441 Pelt dressers, tanners and fellmongers
    - 7442 Shoe-makers and related workers

MAJOR GROUP 8: PLANT AND MACHINE OPERATORS AND ASSEMBLERS

- 81 STATIONARY-PLANT AND RELATED OPERATORS
  - 811 MINING- AND MINERAL-PROCESSING-PLANT OPERATORS
    - 8111 Mining-plant operators
    - 8112 Mineral-ore- and stone-processing-plant operators
    - 8113 Well drillers and borers and related workers
  - 812 METAL-PROCESSING-PLANT OPERATORS
    - 8121 Ore and metal furnace operators
    - 8122 Metal melters, casters and rolling-mill operators
    - 8123 Metal-heat-treating-plant operators
    - 8124 Metal drawers and extruders
  - 813 GLASS, CERAMICS AND RELATED PLANT OPERATORS
    - 8131 Glass and ceramics kiln and related machine operators
    - 8139 Glass, ceramics and related plant operators not elsewhere classified
  - 814 WOOD-PROCESSING- AND PAPERMAKING-PLANT OPERATORS
    - 8141 Wood-processing-plant operators
    - 8142 Paper-pulp plant operators
    - 8143 Papermaking-plant operators
  - 815 CHEMICAL-PROCESSING-PLANT OPERATORS
    - 8151 Crushing-, grinding- and chemical-mixing-machinery operators
    - 8152 Chemical-heat-treating-plant operators
    - 8153 Chemical-filtering- and separating-equipment operators
    - 8154 Chemical-still and reactor operators (except petroleum and natural gas)
    - 8155 Petroleum- and natural-gas-refining-plant operators
    - 8159 Chemical-processing-plant operators not elsewhere classified

- 816 POWER-PRODUCTION AND RELATED PLANT OPERATORS
  - 8161 Power-production plant operators
  - 8162 Steam-engine and boiler operators
  - 8163 Incinerator, water-treatment and related plant operators
- 817 AUTOMATED-ASSEMBLY-LINE AND INDUSTRIAL-ROBOT OPERATORS
  - 8171 Automated-assembly-line operators
  - 8172 Industrial-robot operators
- 82 MACHINE OPERATORS AND ASSEMBLERS
  - 821 METAL- AND MINERAL-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8211 Machine-tool operators
    - 8212 Cement and other mineral products machine operators
  - 822 CHEMICAL-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8221 Pharmaceutical- and toiletry-products machine operators
    - 8222 Ammunition- and explosive-products machine operators
    - 8223 Metal finishing-, plating- and coating-machine operators
    - 8224 Photographic-products machine operators
    - 8229 Chemical-products machine operators not elsewhere classified
  - 823 RUBBER- AND PLASTIC-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8231 Rubber-products machine operators
    - 8232 Plastic-products machine operators
  - 824 WOOD-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8240 Wood-products machine operators
  - 825 PRINTING-, BINDING- AND PAPER-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8251 Printing-machine operators
    - 8252 Bookbinding-machine operators
    - 8253 Paper-products machine operators
  - 826 TEXTILE-, FUR- AND LEATHER-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8261 Fibre-preparing-, spinning- and winding-machine operators
    - 8262 Weaving- and knitting-machine operators
    - 8263 Sewing-machine operators
    - 8264 Bleaching-, dyeing- and cleaning-machine operators
    - 8265 Fur and leather-preparing-machine operators
    - 8266 Shoemaking- and related machine operators
    - 8269 Textile-, fur- and leather-products machine operators not elsewhere classified
  - 827 FOOD AND RELATED PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8271 Meat- and fish-processing-machine operators
    - 8272 Dairy-products machine operators
    - 8273 Grain- and spice-milling-machine operators
    - 8274 Baked-goods, cereal and chocolate-products machine operators
    - 8275 Fruit-, vegetable- and nut-processing-machine operators
    - 8276 Sugar production machine operators
    - 8277 Tea-, coffee-, and cocoa-processing-machine operators
    - 8278 Brewers, wine and other beverage machine operators
    - 8279 Tobacco production machine operators
  - 828 ASSEMBLERS
    - 8281 Mechanical-machinery assemblers
    - 8282 Electrical-equipment assemblers
    - 8283 Electronic-equipment assemblers
    - 8284 Metal-, rubber- and plastic-products assemblers
    - 8285 Wood and related products assemblers
    - 8286 Paperboard, textile and related products assemblers
  - 829 OTHER MACHINE OPERATORS AND ASSEMBLERS
    - 8290 Other machine operators and assemblers
- 83 DRIVERS AND MOBILE-PLANT OPERATORS
  - 831 LOCOMOTIVE-ENGINE DRIVERS AND RELATED WORKERS
    - 8311 Locomotive-engine drivers
    - 8312 Railway brakemen, signallers and shunters

- 832 MOTOR-VEHICLE DRIVERS
  - 8321 Motor-cycle drivers
  - 8322 Car, taxi and van drivers
  - 8323 Bus and tram drivers
  - 8324 Heavy-truck and lorry drivers
- 833 AGRICULTURAL AND OTHER MOBILE-PLANT OPERATORS
  - 8331 Motorised farm and forestry plant operators
  - 8332 Earth-moving- and related plant operators
  - 8333 Crane, hoist and related plant operators
  - 8334 Lifting-truck operators
- 834 SHIPS' DECK CREWS AND RELATED WORKERS
  - 8340 Ships' deck crews and related workers

MAJOR GROUP 9: ELEMENTARY OCCUPATIONS

- 91 SALES AND SERVICES ELEMENTARY OCCUPATIONS
  - 911 STREET VENDORS AND RELATED WORKERS
    - 9111 Street food vendors
    - 9112 Street vendors, non-food products
    - 9113 Door-to-door and telephone salespersons
  - 912 SHOE CLEANING AND OTHER STREET SERVICES ELEMENTARY OCCUPATIONS
    - 9120 Shoe cleaning and other street services elementary occupations
  - 913 DOMESTIC AND RELATED HELPERS, CLEANERS AND LAUNDERERS
    - 9131 Domestic helpers and cleaners
    - 9132 Helpers and cleaners in offices, hotels and other establishments
    - 9133 Hand-laundrers and pressers
  - 914 BUILDING CARETAKERS, WINDOW AND RELATED CLEANERS
    - 9141 Building caretakers
    - 9142 Vehicle, window and related cleaners
  - 915 MESSENGERS, PORTERS, DOORKEEPERS AND RELATED WORKERS
    - 9151 Messengers, package and luggage porters and deliverers
    - 9152 Doorkeepers, watchpersons and related workers
    - 9153 Vending-machine money collectors, meter readers and related workers
  - 916 GARBAGE COLLECTORS AND RELATED LABOURERS
    - 9161 Garbage collectors
    - 9162 Sweepers and related labourers
- 92 AGRICULTURAL, FISHERY AND RELATED LABOURERS
  - 921 AGRICULTURAL, FISHERY AND RELATED LABOURERS
    - 9211 Farm-hands and labourers
    - 9212 Forestry labourers
    - 9213 Fishery, hunting and trapping labourers
- 93 LABOURERS IN MINING, CONSTRUCTION, MANUFACTURING AND TRANSPORT
  - 931 MINING AND CONSTRUCTION LABOURERS
    - 9311 Mining and quarrying labourers
    - 9312 Construction and maintenance labourers: roads, dams and similar constructions
    - 9313 Building construction labourers
  - 932 MANUFACTURING LABOURERS
    - 9321 Assembling labourers
    - 9322 Hand packers and other manufacturing labourers
  - 933 TRANSPORT LABOURERS AND FREIGHT HANDLERS
    - 9331 Hand or pedal vehicle drivers
    - 9332 Drivers of animal-drawn vehicles and machinery
    - 9333 Freight handlers

MAJOR GROUP 0: ARMED FORCES

- 01 ARMED FORCES
  - 011 ARMED FORCES
    - 0110 Armed forces

## 2.6 GSS・世論調査とJGSS-2006 調査項目（面接調査票）の対応表

- 注：1）GSSならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。  
 2）GSSは1972年から2006年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。  
 3）世論調査...：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	JGSS 質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	最近の世論調査など
	識別番号	IDUSE	ID	
	地域ブロック	BLOCK	REGION	
	都道府県名	PREF		
	市郡規模	SIZE	SIZE SRCBELT XNORCSIZ	
	市郡規模（2000年時点）	SIZE2K		
冒頭	性別	SEXA	SEX	
	生年	DOBYEAR	COHORT	
	年齢	AGEB	AGE	
	配偶者（DOMARRYの転記）	MARC	MARITAL	
	留置票の種類	FORM		
	面接完了日	DATE	DATEINTV	
	面接完了日：月	MONTH	DATEINTV	
	面接完了日：日	DAY	DATEINTV	
	留置回収完了日	DATEB		
	留置回収完了日：月	MONTHB		
留置回収完了日：日	DAYB			
問 1-1	先週の就労経験	XJOB1WK	WORKNOW WRKSTAT	
問 1-2	不就労の理由	TP5UNEMP	WRKSTAT	
問 1-3	就労経験	XWORK	NEVERWK EVJOB	
問 1-4	離職年齢	AGESTPWK	LASTWKYR YRJOBEND	
問 2	就労時間数 / 週	XJOBHWK	HRS1 HRS2 (WORKWEEK)	
	副業就労時間数 / 週	SZSJBHWK	OTHHR (MOREDAYS) (OTHERWRK) (SECONDWK)	
問 3-1	就労形態	TPJOB	EMPLOYER WKFAMBIZ WRKSLF WRKTYPE	
問 3-2	役職	TPJOBP		
問 4	通勤の有無	DOCMT	COMMUTE PLACEWRK	1994 連合総合生活開発研究所「大都市圏通勤者の通勤事情調査（企業、個人）」
	通勤時間：時間	SZCMTHR	COMMUTE	1993 生命保険文化センター「就労意識に関する調査」
	通勤時間：分	SZCMTMIN	COMMUTE	
	通勤時間：合計	SZCMTTL	COMMUTE	2004 内閣府「住宅に関する世論調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
問 5	事業所形態	TP4WPLA	NUMSITES PARTORG TYPEORG WRKGOVT	
問 6	業種	XXWPL	INDUS80	
	業種（ISIC）	XXWPLE	INDUSTRY WORKFOR	

問 7	職種	XXJOB	ISCO68	
	職種 (ISCO)	XXJOBE	ISCO681 ISCO88 OCC OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	
問 8	就労日数 / 週	XJOBDDWK		
問 9	契約就労時間の有無	XJOBREG	(DAILYWRK) (WKTENURE)	
	契約就労時間数 / 週	XJOBREGH		
問 10	就労年数	XJOBYR	EMPYEARS JOBYEAS OTHYRS YEARSJOB	
問 11	企業規模	SZTTLSTA	NUMEMPS NUMORG ORGSIZE TOTALNUM	
問 12	労働組合加入の有無	JOINUNI	MEMUNION UNION	
問 13	現在の仕事の満足度	ST5JOB	JOBSAT SATJOB SATJOB7 SATJOB1 (WKTOPSAT)	
問 14	求職の有無 (全員)	DOLOOKJB	LOOKJOB	
問 15	結婚状況	DOMARRY	MARITAL POSSLQ	
問 16	先週の就労経験 (配偶者)	SSJB1WK	SPWRKSTA	
問 17	就労時間数 / 週 (配偶者)	SSJBHRWK	SPHRS1 SPHRS2	
	副業就労時間数 / 週 (配偶者)	SSSJBHWK		
問 18-1	就労形態 (配偶者)	SSTPJOB	SPWRKSLF	
問 18-2	役職 (配偶者)	SSTPJOBP		
問 19	業種 (配偶者)	SSXXHQX	SPIND80 SPIND	
	業種 (配偶者) (ISIC)	SSXXHQXE		
問 20	職種 (配偶者)	SSXXJOB	SPISC681 SPISCO68 SPISCO88 SPOCC SPOCC80 SPPRES SPPRES80	
	職種 (配偶者) (ISCO)	SSXXJOBE		
問 21	就労日数 / 週 (配偶者)	SSJBDWK		
問 22	就労年数 (配偶者)	SSSZWKYR		
問 23	企業規模 (配偶者)	SSSZSTFA	SPLOCNUM	
	配偶者の年齢	SPAGEX	SPYRBORN	
問 24-1	家族人数 (本人除く)	SZFFONLY		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03) 2005.11 2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 24-2A	家族 [1-9]: 続柄	FF[01-09]REL	RELATE1 ~ 14 RELHHD1 ~ 14 RELHH1 ~ 14	
問 24-2B	家族 [1-9]: 性別	FF[01-09]SEX	GENDER1 ~ 14	
問 24-2C	家族 [1-9]: 年齢	FF[01-09]AGE	OLD1 ~ 14	
問 24-2D	家族 [1-9]: 結婚状況	FF[01-09]MG	MAR1 ~ 14	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)

問 24-2E	家族 [ 1-9 ]: 就労の有無	FF[01-09]JOB		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
問 25-1	一時的な別居家族の人数	SZFFOUT		
問 25-2A	一時的な別居家族 [ 1-6 ]: 続柄	FFO[01-06]REL	RELATE1 ~ 14 RELHHD1 ~ 14 RELHH1 ~ 14	
問 25-2B	一時的な別居家族 [ 1-6 ]: 別居理由	FFO[01-06]WHY	WHERE1 ~ 14	
問 26	世帯主	FFHEAD	RPLACE	
問 27-1 1	現在の収入源: 自分の収入 (全員)	INCSELF	(EARNSSH)	2001 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
問 27-1 2	現在の収入源: 配偶者の収入 (全員)	INCSP	ECONSUP (EARNSSH)	
問 27-1 3	現在の収入源: 親の収入 (全員)	INCPAR	ECONSUP	
問 27-1 4	現在の収入源: 他の家族の収入 (全員)	INCFAM	ECONSUP	
問 27-1 5	現在の収入源: 年金 (全員)	INCPEN	ECONSUP	
問 27-1 6	現在の収入源: 失業保険 (全員)	INCUEB	ECONSUP	
問 27-1 7	現在の収入源: 貯蓄 (全員)	INCSAVE		2001 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
問 27-1 8	現在の収入源: 社会福祉 (全員)	INCSOC	ECONSUP	
問 27-1 9	現在の収入源: 不定期的な仕事 (全員)	INCIRR	ECONSUP	
問 27-1 10	現在の収入源: その他 (全員)	INCOTHER	ECONSUP	
問 27-1 11	現在の収入源: わからない (全員)	INCNOKN		
問 27-2	現在の収入源: 中心となるもの (全員)	INCMAIN	ECONSUP	
問 28	自分の位置する階層	OP10LVL	RANK FAMRNK	1999 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調 『社会的不平等』」(小野寺典子「社会に 対する強い不公平感」NHK 放送文化研 究所『放送研究と調査』00.10) 1999 総理府「国民生活に関する世論調査」 1999 経済企画庁「国民生活選好度調査」 1999 読売新聞社「読売全国世論調査」 1999 山形県広報室「山形県政世論調査」 1999 埼玉県総務部「埼玉県政世論調査」 1999 東京都多摩市「多摩市政世論調査」 2001 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 愛媛県「県民生活に関する世論調査」 2003 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2004 埼玉県総務部「埼玉県政世論調査」 2004 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関 する調査」 2004 読売新聞社「読売全国世論調査」 2005 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2005.11 2005 年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 29-1	世帯年収	SZHSINCM	INCOME INCOME72 INCOME77 INCOME82 INCOME86 INCOME91 INCOME98 INCOME06 REALINC	

問 29-2	本人年収：全体	SZINCOMA	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98 RINCOME	
問 29-3	本人年収：主な仕事	SZINCOMX	REALRINC RINCOM77 RINCOM82 RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98 RINCOME06 RINCOME	
問 29-4	配偶者年収：全体	SSSZINCA		
問 29-5	配偶者年収：主な仕事	SSSZINCM		
問 30A	父親：同居・生死	PPLVTG	PADEATH PALIVE PALIVE1	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「戦後日本の家族の歩み」(NFRJS01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
	母親：同居・生死	MMLVTG	MADEATH MALIVE MALIVE1	
	義父：同居・生死	PPLLVTG		
	義母：同居・生死	MMLLVTG		
問 31A	父親：年齢	PPAGE	PAYRBORN	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
	母親：年齢	MMAGE	MAYRBORN	
	義父：年齢	PPLAGE		
	義母：年齢	MMLAGE		
問 31B	父親：結婚状況	PPMG		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
	母親：結婚状況	MMMG		
	義父：結婚状況	PPLMG		
	義母：結婚状況	MMLMG		
問 31C	父親：同居者	PPFAM		
	母親：同居者	MMFAM		
	義父：同居者	PPLFAM		
	義母：同居者	MMLFAM		
問 31D	父親：就労の有無	PPJOB		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98)
	母親：就労の有無	MMJOB		
	義父：就労の有無	PPLJOB		
	義母：就労の有無	MMLJOB		
問 31E	父親：家までの距離	PPDIST	PATIME	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
	母親：家までの距離	MMDIST	MATIME MATIME1	
	義父：家までの距離	PPLDIST		
	義母：家までの距離	MMLDIST		
問 31F	父親：接触頻度（直接）	PPCNTA	PAVISIT PAVISIT1	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
	母親：接触頻度（直接）	MMCNTA	MAVISIT MAVISIT1	
	義父：接触頻度（直接）	PPLCNTA	PARSLAW	
	義母：接触頻度（直接）	MMLCNTA		
問 31G	父親：接触頻度（間接）	PPCNTB	PACALL PACALL1	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
	母親：接触頻度（間接）	MMCNTB	MACALL MACALL1	
	義父：接触頻度（間接）	PPLCNTB		
	義母：接触頻度（間接）	MMLCNTB		

問 32-1	兄弟姉妹人数 (兄)	XNUMBROE	BRONUM SIBORDER (SIBS)	
	兄弟姉妹人数 (姉)	XNUMSISE	SIBORDER SISNUM (SIBS)	
	兄弟姉妹人数 (弟)	XNUMBROY	BRONUM SIBORDER (SIBS)	
	兄弟姉妹人数 (妹)	XNUMSISY	SISNUM SIBORDER (SIBS)	
問 32-2	配偶者の兄弟姉妹人数 (兄)	XSSNBROE	(SPSIBS)	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98)
	配偶者の兄弟姉妹人数 (姉)	XSSNSISE	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数 (弟)	XSSNBROY	(SPSIBS)	
	配偶者の兄弟姉妹人数 (妹)	XSSNSISY	(SPSIBS)	
問 33	子どもの人数	CCNUMTTL	CHILDS	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
問 34	世帯支出：教育費	SZEXED		2005.11 2005 年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 35A	子ども [1-9]: 性別	CC[01-09]SEX	KDSEX1 ~ 9	
問 35B	子ども [1-9]: 就学	CC[01-09]SCH	(KDEDUC1 ~ 5)	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
問 35C	子ども [1-9]: 同居・生死	CC[01-09]LVTG	KDALIVE1 ~ 9	
問 36A	子ども [1-9]: 年齢	CC[01-09]AGE	KDYRBRN1 ~ 9	
問 36B	子ども [1-9]: 結婚状況	CC[01-09]MG		2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「戦後日本の家族の歩み」(NFRJS01)
問 36C	子ども [1-9]: 就労の有無	CC[01-09]JOB	KDWORK1	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
			KDWORK2	
問 36D	子ども [1-9]: 家までの距離	CC[01-09]DIST	SONTIME	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回家族についての全国調査」 (NFRJ03)
			DAUTIME	
問 36E	子ども [1-9]: 接触頻度 (直接)	CC[01-09]CNTA	SONVISIT DAUVISIT KIDVISIT	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「家族についての全国調査」(NFRJ98)
問 36F	子ども [1-9]: 接触頻度 (間接)	CC[01-09]CNTB	SONCALL DAUCALL KIDCALL	
問 37-1	15歳の頃の居住地(本人): 都道府県名	PREF15	REG16	2005.11 2005 年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 37-2	15歳の頃の居住地(本人)	TP5LOC15	RES16	
問 37-3	15歳の頃の居住地(本人): 農山村地域	REMOTE15	RES16	
問 38-1	15歳の頃の父: 就労形態	PPJBT15		2005.11 2005 年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 38-2	15歳の頃の父: 役職	PPJBT15P		
問 39	15歳の頃の父: 職種	PPJBXX15	PAJOB	2005.11 2005 年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
	15歳の頃の父: 職種 (ISCO)	PPJBXX1E	PAOCC16 PAOCC80 PAPRES16 PAPRES80	

問 40	15歳の頃の父：企業規模	PPJBSZ15		2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 41	15歳の頃の母：就労地位	MMJBTP15	MAOCC80 MAPRES80 MAWK16 MAWRKSLF	2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 42	最終学校（本人）	XXLSTSCH	COLDEG1 DEGREE EDUC		
	最終学校（配偶者）	SSLSTSCH	SPDEG SPEDUC		
	最終学校（父親）	PPLSTSCH	PADEG PAEDUC		
	最終学校（母親）	MMLSTSCH	MADEG MAEDUC		
問 43	最終学校の卒業・中退（本人）	DOLSTSCH	EDUC DEGREE		
問 44	専修学校・専門学校への通学経験	XSPSCH	OCCTRAIN	2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 45	初職の就労時期	XGETJOB	NEVERWK	2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 46-1	初職の就労形態	TPFSTJB	FIRSTSLF WRKSLFST	2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
問 46-2	初職の役職	TPFSTJBP			
問 47	初職の職種	XXFSTJB	FIRSTJOB OCCFIRST PRESFRST	2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
	初職の職種（ISCO）	XXFSTJBE			
問 48	初職の企業規模	SZSTFFST		2005.11	2005年社会階層と社会移動調査研究会 「仕事と暮らしに関する全国調査」 (SSM2005)
F1	調査員への質問：回答者の協力度	COOP	COOP COOP2		
F2	調査員への質問：回答者の理解度	USTAND	COMPREND		
F5	調査員への質問：回答者の居住地域	AREA	COMTYPE	1997.4	野村総研「生活者一万人アンケート調査」
F6	調査手順（留置／面接の順序）	PROC			
F7	調査所要時間（分）	DURATION			

（前田幸男・田辺俊介）

## 7 GSS・世論調査とJGSS-2006 調査項目（留置調査票）の対応表

- 注：1) GSSならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。  
 2) GSSは1972年から2006年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。  
 3) 世論調査...：主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計（個人調査だけでなく制度調査を含む）などに対応する設問があるものを意味する。（例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など）

質問番号	JGSS 質問概要	JGSS 変数名	GSS 変数名	最近の世論調査など
留 A Q1 留 B Q1	テレビ視聴時間	HRTV	TVHOURS	2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査(上村修一・井田美恵子「携帯電話とインターネットの利用状況」『放送研究と調査』01.8) 2002.1 NHK 放送文化研究所「家族の中のテレビ2002 調査」(白石信子・井田美恵子「テレビの家族視聴の実態」『放送研究と調査』02.8) 2002.10 NHK 放送文化研究所「テレビ50年調査」(白石信子・井田美恵子「浸透した『現代的なテレビの見方』」『放送研究と調査』03.5) 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査2005」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」(荒牧央ほか「人々の情報源とメディアへの評価」『放送研究と調査』07.8) 2007.6 NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」(視聴率グループ「テレビ・ラジオ視聴の現状」『放送研究と調査』07.9)
留 A Q2 留 B Q2	1ヶ月の読書冊数	FQ5READ		2000.1 読売新聞「読書」(『日本の世論』) 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2006.9 毎日新聞「第60回 読書世論調査」(中央調査社『中央調査報』07.3)
留 A Q3 留 B Q3	新聞を読む頻度	FQ5NEWSP	NEWS NEWSPRNT	2001.9 読売新聞「メディア」(読売新聞社世論調査部『日本の世論』02) 2003.2 朝日新聞「新聞読者基本調査」(高山雄二「新聞読者基本調査に見る新聞の読まれ方」『朝日総研レポート』04.6) 2005.10 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2005.10 日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」(『中央調査報』06.7)
留 A Q4-1 1	利用通信媒体：パソコン（職場）	DOCOMPJ	COMPUSE COMPWORK	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」

留 A Q4-1 2	利用通信媒体：パソコン（自宅）	DOCOMPP	COMPUSE USEHOME	1999.11 日本リサーチ総研「消費構造変動調査」 2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2001.11 読売新聞「IT」（『日本の世論』） 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2006.10 NHK「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」（『中央調査報』07.2）
留 A Q4-1 3	利用通信媒体：携帯電話またはPHS	DOPHS	INTACSS	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」（『[統]変わりゆく日本人』に引用） 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」 2001.11 読売新聞「IT」（『日本の世論』） 2004.10 全国消費者協会連合会「携帯電話についての調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2004.12 時事通信社「携帯電話に関する世論調査」（『中央調査報』05.2） 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2006.10 NHK「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」（『中央調査報』07.2）
留 A Q4-1 4	利用通信媒体：いずれも利用していない	DONONEX		2005.10 NHK「2005年国民生活時間調査」
留 A Q4-2 1	インターネットの利用：情報検索	DOINBR	ARTINFO ARTMUS1 CANINF1-14 COOK30 FIN30 GOVT30 HEALTH12 HLTHWWW INTRHOME JOBONWWW LITSITE LOCATE12 MUSICINF NEWJOB12 POL30 POLINF12 POLWWW SRCHENG WORK12	2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.3 NHK放送文化研究所「日本人とテレビ・2005調査」（原美和子・照井大輔「インターネット利用者の拡大とテレビ視聴」『放送研究と調査』06.3） 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2005.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2005.10 NHK放送文化研究所「国民生活時間調査」 2006.10 NHK放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2006.12 朝日新聞社「定期国民意識調査 ロストジェネレーション」（『朝日総研レポート』07.2） 2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」

留 A Q4-2 2	インターネットの利用：ショッピング	DOINSHOP	BUYINF12 BUYIT12 ECOMHRH ECOMHRO ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINO ECOMMINW	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.3 NHK「メディアと生活」調査 2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2006.10 NHK放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」
留 A Q4-2 3	インターネットの利用：バンキング	DOINBANK	ECOMHRH ECOMHRO ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINO ECOMMINW HMEFIN12	2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」(『[統]変わりゆく日本人』に引用) 2001.6 NHK「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2001.10 NHK「IT時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」(『日本の世論』) 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2005.10 NHK放送文化研究所「国民生活時間調査」 2006.10 NHK放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」
留 A Q4-2 4	インターネットの利用：ホームページの作成	DOINHPP		2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2006.10 NHK放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.3 NHK放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」
留 A Q4-2 5	インターネットの利用：いずれも行っていない	DOINNONE	INTACSS INTRHOME WWWHRH WWWHRO WWWHRW WWWMINH WWWMINO WWWMINW	2007.7 内閣府「国民生活に関する世論調査」

留 A Q4-3 A	携帯電話での通話の頻度	FQMPTALK		2000.3 2005.3 2005.10 2006.10	東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 NHK放送文化研究所「国民生活時間調査」 NHK放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」
留 A Q4-3 B	携帯電話でのメール送信の頻度	FQMPMAIL		2000.3 2004.10 2005.3 2007.3	東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 NHK「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」
留 A Q4-3 C	パソコンでのメール送信の頻度	FQPCMAIL	EMAILHR EMAILMIN EMGET EMHRH EMHRO EMHRW EMMINH EMMINO EMMINW EMSENT	2000.3 2005.3 2006.10 2007.3	東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 NHK放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 NHK放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」
留 A Q5	定期的に行なうスポーツ：頻度	FQSPORT	DOSPORTS GRPSPORT	2003.9 2006.8 2007.4	朝日新聞「スポーツ」(『朝日総研』03.12) 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」(『月間世論調査』07.1) 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』07.5)
留 A Q6 留 B Q4	1泊以上の旅行頻度	FQ5TRIP		2003.8	内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」
留 A Q7 A	家族と一緒に夕食：頻度	FQ7FFDNR		1999.7 2003.10	家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 味の素(株)AMC調査(『中央調査報』07.5)
留 A Q7 B	友人との会食：頻度	FQ7FRSEE	BSTVISIT FRIVISIT SOCFRIEND		
留 A Q7 C 留 B Q5 A	夕食の用意：頻度(本人)	FQ7CKDNR	COOKING1 HWDUTIES RHHWORK	2002.11 2004.11	NHK「家庭と男女の役割に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(『月刊世論調査』05.5)
留 A Q7 D 留 B Q5 B	洗濯：頻度(本人)	FQ7WASH	HWDUTIES LAUNDRY1 RHHWORK	2002.6 2002.11	内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 NHK「家庭と男女の役割に関する調査」
留 A Q7 E 留 B Q5 C	買い物：頻度(本人)	FQ7SHOP	HWDUTIES RHHWORK SHOP1	2002.11	NHK「家庭と男女の役割に関する調査」
留 A Q7 F 留 B Q5 D	家の掃除：頻度(本人)	FQ7CLEAN	CLEAN1 HWDUTIES RHHWORK	2004.11	内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
留 A Q7 G 留 B Q5 E	ゴミ出し：頻度(本人)	FQ7GARB	HWDUTIES RHHWORK		
留 A Q8 A	娯楽の頻度：ドライブ	FQ4DRIVE		2007.1	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」(『レジャー白書』07)
留 A Q8 B	娯楽の頻度：カラオケ	FQ4KARA		2000.4 2007.1	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
留 A Q8 C	娯楽の頻度：映画鑑賞	FQ4MOVIE	SEEFILM SEEMOVIE	2007.1	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」

留 A Q8 D	娯楽の頻度：音楽鑑賞	FQ4MUSIC	GOMUSIC MUSICDIF MUSICLKE MUSICNEW POPMUSIC WWWCLASS WWWCNTRY WWWGTHIC WWWJAZZ WWWOLDIE WWWRAP WWWRELIG WWWROCK WWWORLD	2007.1	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
留 A Q8 E	娯楽の頻度：テレビゲーム	FQ4GAME	GAME12 GAMES30 GAMEGN	2007.1	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
留 A Q8 F	娯楽の頻度：園芸・庭いじり	FQ4GREEN	GARDEN		
留 A Q8 G	娯楽の頻度：将棋・囲碁	FQ4SHGIG		2007.1	社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
留 A Q8 H	娯楽の頻度：宝くじ	FQ4LOTTO		2006.7 2007.1	時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」(『中央調査報』06.9) 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
留 A Q8 I	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	FQ4PACHI		2006.7 2007.1	時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
留 A Q9	健康状態(本人)	OP5HLTHZ	HEALTH HEALTH1	2000.2 2002.12 2006.8	総理府「生活習慣病に関する世論調査」(『月刊世論調査』00.10) 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」
留 A Q10-1	喫煙経験	DOSMOKEX	CIGWEEK EVSMOKE SMOKE SMOKECIG	2007.6	時事通信社「喫煙に関する世論調査」(『中央調査報』07.8)
留 A Q10-2	禁煙努力	XQTSMOKE	QUITSMK	1988.10 2007.6	総理府「健康と喫煙問題に関する世論調査」 時事通信社「喫煙に関する世論調査」
留 A Q11	飲酒頻度	DO7DRINK	DRINK DRINKYR EVDRIK	2003.5	時事通信社「飲酒に関する世論調査」(『中央調査報』03.6)
留 A Q12 留 B Q12	トラウマの回数	XTRAUM5Y	TRAUMA5	1996.7	生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査
留 A Q13 A 留 B Q14 A	生活満足度：居住地域	ST5AREAY	SATCITY	2001.6 2002.10 2003.6 2004.6 2006.10 2006.10	内閣府「国土の将来像に関する世論調査」(『月刊世論調査』02.2) 内閣府「国民生活選好度調査」 NHK放送文化研究所「日本人の意識」第7回調査(NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』第6版04) 内閣府政府広報室「社会資本の整備に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.10) 朝日新聞「面接調査(地方自治)」(『朝日総研レポート』06.12) 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q13 B 留 B Q14 B	生活満足度：余暇利用	ST5LEISY	SATHOBBY	2000.6 2003.8 2003.9 2006.10	読売新聞「余暇・レジャー」(『日本の世論』) 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」(『月間世論調査』04.2) 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 内閣府「国民生活に関する世論調査」

留 A Q13 C 留 B Q14 C	生活満足度：家庭生活	ST5LIFEY	SATFAM SATFAM7	2001.1 2002.10 2002.11  2003.9	読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 内閣府「国民生活選好度調査」 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」(小林利行「意識の変化に見る『少子化の構図』」『放送研究と調査』03.4) 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査
留 A Q13 D 留 B Q14 D	生活満足度：家計状態	ST5ECNY	SATFIN	2002.10 2006.10	内閣府「国民生活選好度調査」 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q13 E 留 B Q14 E	生活満足度：友人関係	ST5FRIY	SATFRND	2003	NHK「日本人の意識」第 7 回調査
留 A Q13 F 留 B Q14 F	生活満足度：健康状態	ST5HLTHY	SATHEALT	2002.10 2003.9	内閣府「国民生活選好度調査」 統数研「日本人の国民性」第 11 次全国調査
留 A Q13 G 留 B Q14 G	生活満足度：配偶者との関係	ST5SSREL			
留 A Q14	幸福度	OP5HAPPZ	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	2000.7	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q15 1	英語の使用：仕事	EABUS		2000.12	リクルートワークス研究所「ワーキングパーソン 2000」
留 A Q15 2	英語の使用：付き合い	EASOC			
留 A Q15 3	英語の使用：映画鑑賞・音楽鑑賞・読書	EAART			
留 A Q15 4	英語の使用：インターネット	EAINET			
留 A Q15 5	英語の使用：海外旅行	EATRIP			
留 A Q15 6	英語の使用：その他	EAOTHER			
留 A Q15	英語の使用：学習	EAEARN			
留 A Q15 7	英語の使用：まったく使ったことがない	EANONE			
留 A Q16	英会話のレベル	ENGTALK	OTHLANG SPKLANG	2003.1 2000.12	内閣府国民生活局「若年層の意識実態調査」 リクルートワークス研究所「ワーキングパーソン 2000」
留 A Q17	英語読解力のレベル	ENGREAD		2003.1	内閣府国民生活局「若年層の意識実態調査」
留 A Q18	英語の学習意欲	WLRNENG		1982.1 2002.3	総理府「教育に関する世論調査」 学習意欲研究会「学習意欲に関する調査」
留 A Q19	興味がある外国語	INTFLANG			
留 A Q20	外国人に近所で会う機会	FQ4FNR	(ASNCOM) (BLKCOM) (HISPCOM) (JEWSCOM) (RACCLOS) (RACLIVE) (WHTCOM)	2004.10	栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」
留 A Q21	外国人増加の賛否	QFNRINCR	ETHCHNG LETIN LETIN1 LETINASN LETINEUR LETINHSP	2000.11 2004.5	内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」(『月刊世論調査』01.6) 内閣府「外国人労働者の受入れに関する世論調査」(『月刊世論調査』04.9)

留 A Q22 A	外国の好感度：韓国	FAVFKOR		2004.10 2005.4 ~ 10 2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」 時事通信社「時事世論調査」 内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q22 B	外国の好感度：北朝鮮	FAVPRK		2005.4 ~ 10	時事通信社「時事世論調査」
留 A Q22 C	外国の好感度：中国	FAVFCHN	CHINA	2004.6 2005.4 ~ 10 2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」 時事通信社「時事世論調査」 内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q22 D	外国の好感度：モンゴル	FAVFMNG			
留 A Q22 E	外国の好感度：台湾	FAVFTWN			
留 A Q22 F	外国の好感度：フィリピン	FAVPHL			
留 A Q22 G	外国の好感度：タイ	FAVTHA		2004.6 2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」 内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q22 H	外国の好感度：インドネシア	FAVFIDN		2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q22 I	外国の好感度：インド	FAVIND		2004.6 2005.4 ~ 10 2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」 時事通信社「時事世論調査」 内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q22 J	外国の好感度：ロシア	FAVFRUS	RUSSIA	2004.6 2005.4 ~ 10 2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」 時事通信社「時事世論調査」 内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q22 K	外国の好感度：アメリカ	FAVFUSA		2004.6 2005.4 ~ 10 2006.10	内閣府「外交に関する世論調査」 時事通信社「時事世論調査」 内閣府「外交に関する世論調査」
留 A Q23-1 留 B Q16-1	居住形態：持ち家	OWNHOUSE	DWELOWN	2001 2003 2004	内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」
留 A Q23-2 留 B Q16-2	居住形態：一戸建て	TPHOUSE	DWELLING	2004 2006.10	内閣府「住宅に関する世論調査」 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q24 留 B Q17	現在の居住地域への居住年数	XLIVEYR	COMYEAR LIVECOM LIVECOM1 LOCLIVED	1975 1997.4	三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
留 A Q25	現在の居住地域に住み続けたいか	WLLIVE	MOVENEI MOVENOAM MOVESTAT MOVETOWN MOVEUSA	1975 1997.4	三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
留 A Q26-1	就労の有無	XJOBX	CURWKPAY WORKNOW		
留 A Q26-2	現在の会社・組織での就労継続意向	WLKEEPJA	CHNGEORG LEAVEJOB TRYNEWJB		
留 A Q26-3	失業の可能性	OP4UNEMP	JOBLOSE WORRYJOB	1999 2004.8	NHK「不況と国民の生活実感調査」 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」
留 A Q26-4	再就労の容易さ	OP3NEWJB	JOBFIND JOBFIND1	2004.10	連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」

留 A Q27	家計状態の変化	OP3ECN3A	FINALTER	2001.4 2002.9 2002.12 2003.9 2004.7 2006.10	読売新聞「暮らし」(『日本の世論』) 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査(第15回)」(『中央調査報』03.2) 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」(乳井泰彦「日本人の価値観 四半世紀で大きく変化」『朝日総研レポート』03.2) 統計数理研究所「日本人の国民性」第11次全国調査(『国民性の研究 第11次全国調査』統計数理研究所レポート92, 04) NHK放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」(中瀬剛丸・山内利香「景気回復への期待と将来の不安」『放送研究と調査』04.10) 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q28 留 B Q18	世帯収入のレベル	OP5FFINX	FINRELA	1993	統数研「日本人の国民性」第9次全国調査
留 A Q29 留 B Q20	15歳の頃の世帯収入レベル	OPFFIX15	INCOM16		
留 A Q30 留 B Q19	教育費支出のレベル	OPEXED			
留 A Q31	生活水準向上機会の有無	OP5CHNCA	GOODLIFE	2001.4 2002.10	読売新聞「景気・雇用」(『日本の世論』) 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」
留 A Q32	自分の年金額予想	OP5PENSN	SOCSECRT	1996.7 1998 1999	生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査 貯蓄広報中央委員会「貯蓄と消費に関する世論調査」 経企庁「国民生活選好度調査」
留 A Q33 留 B Q21	階層帰属意識	OP5LEVK	CLASS CLASSY FAMRNK	2001.4 2003.9 2005.3 2005.12 2006.10	読売新聞「暮らし」(『日本の世論』) 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 朝日新聞「日・韓・中・国際調査」(『朝日総研レポート』05.6) 朝日新聞「定期国民『生きがい』意識調査」(『朝日総研レポート』06.2) 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q34 A	国か個人か：高齢者の生活保障	OP5SRWFY	AIDOLD EQUAL4 KIDPARS	1996 2001.9 2004.1 2007.1	National Opinion Research Center 「International Social Survey Programme 政府の役割調査」 読売新聞「社会保障」(『日本の世論』) 内閣府「社会意識に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.6) 内閣府「社会意識に関する世論調査」
留 A Q34 B	国か個人か：高齢者の医療・介護	OP5SRMDY	EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	1996 2001.9 2003.7	National Opinion Research Center 「International Social Survey Programme 政府の役割調査」 毎日新聞「2001年高齢社会世論調査」〔中央調査報』02.4) 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.1)
留 A Q34 C	国か個人か：子どもの教育	OP5CCED	GOVEDOP	1983.1 2001.7	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
留 A Q34 D	国か個人か：保育・育児	OP5CCARE	AIDKIDS	1983.1 2001.7 2007.1	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 内閣府「社会意識に関する世論調査」
留 A Q35 留 B Q26	政治意識(保革5段階)	OP5RADCA	POLVIEWS POLVIEWY	2001	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q36	所得税の負担感	OP6TAXHI	INCTAX TAX	2001.11	読売新聞「税金」(『日本の世論』)

留 A Q37 A	政府の支出：環境問題	BD3ENVA	NATENVIR NATENVIV NATENVIZ SPENVIRO	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」(小野寺典子「人々は政府に何を期待しているか」『放送研究と調査』00.4) 1998.1 総理府「社会意識に関する世論調査」 2000 NES2000pre 2000.12 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」(荒牧央「強まる環境破壊への危機感」『放送研究と調査』01.5) 2001.9 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post
留 A Q37 B	政府の支出：犯罪取締	BD3CRIME	NATCRIME NATCRIMY NATCRIMZ SPPOLICE	1993 統数研「日本人の国民性」第9次全国調査 1996 NHK「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001.9 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post
留 A Q37 C	政府の支出：教育	BD3EDUC	NATEDUC NATEDUCY NATEDUCZ SPSCHOOL SPHEADST SPPOORKD SPWRKPAR SPDRUGS	1996 NHK「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001.9 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post
留 A Q37 D	政府の支出：安全保障	BD3SAFTY	DEFSPDR NATARMS NATARMSY NATARMSZ SPARMS	2000 NES2000pre 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post 2006.10 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q37 E	政府の支出：海外援助	BD3ODA	NATAID NATAIDY NATAIDZ	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 2000 NES2000pre 2001.1 内閣府「外交に関する世論調査」(『月刊世論調査』02.6) 2001.1 読売新聞「外交・安保」(『日本の世論』) 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post
留 A Q37 F	政府の支出：土木事業	BD3CNSTR	NATROAD NATROADZ	2000 NES2000pre 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post
留 A Q37 G	政府の支出：社会保障	BD3WFR	NATSOC NATFARE NATFAREY NATSOCZ SPRETIRE NATFAREZ SPPREGNT SPHLTHKD SPPOORKD SPWRKPAR SPHOMEKD SPDSABKD SPFOODKD	1993 統数研「日本人の国民性」第9次全国調査 1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査 1996 NHK「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post 2006.10 内閣府「国民生活に関する世論調査」

留 A Q37 H	政府の支出：雇用対策	BD3EMPLY	SPUNEMP	1996 NHK「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre/post 2006.10 内閣府「国民生活に関する世論調査」
留 A Q38 A	開発援助：援助は不可欠	OPADVITL		
留 A Q38 B	開発援助：援助は義務	OPADOBL		
留 A Q38 C	開発援助：財政状況に応じて減らすべき	OPADFIN		
留 A Q38 D	開発援助：日本人への説明が不十分	OPADEXP		
留 A Q38 E	開発援助：現地人への伝達が不十分	OPADINFO		
留 A Q38 F	開発援助：外交に応じて調整すべき	OPADDIPL		
留 A Q39	開発国支援の経験：募金	XADDONAT		
留 A Q40	開発国支援の経験：ボランティア	XADVOL		
留 A Q41 留 B Q25	安楽死の賛否	QDDKILLA	LETDIE1	2000 電通総研「世界価値観調査」 2001.12 読売新聞「医療」(『日本の世論』) 2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」(加藤元宣「最先端の生殖医療“容認”は少数」『放送研究と調査』02.6)
留 A Q42	貧富解消政策への賛否	Q5GVEQAA	EQINCOME EQUALIZE EQWLTH EQWLTHY GOVEQINC HELPPOR	
留 A Q43-1	憲法9条改正への意見	OPAMND9		2005.1 NHK放送文化研究所「憲法と司法制度に関する世論調査」 2006.3 読売新聞社「憲法」 2006.4 朝日新聞社「戦争責任に関する意識調査」 朝日新聞社「憲法調査」(『朝日総研レポート』07.6)
留 A Q43-2	憲法9条改正の理由	WHYAMND9		2005.1 NHK「憲法と司法制度に関する世論調査」 2006.3 読売新聞社「憲法」 2007.4 朝日新聞社「憲法調査」
留 A Q44	女性天皇への賛否	OPEMPF		2005.11 朝日新聞社「全国世論調査」 2005.12 読売新聞社「読売全国世論調査」 2006.10 時事通信社「『女性天皇』についての世論調査」(『中央調査報』01.12)
留 A Q45	女系天皇への賛否	OPEMPFL		2005.11 朝日新聞社「全国世論調査」 2005.12 読売新聞社「読売全国世論調査」
留 A Q46	長子天皇への賛否	OPEMP1C		2005.11 朝日新聞社「全国世論調査」 2005.12 読売新聞社「読売全国世論調査」

留 A Q47 留 B Q27	支持政党	XX8PLPTY	PARTYID	2000 朝日新聞「政治意識に関する世論調査」 2000 読売新聞「読売全国世論調査」 2000 時事通信「時事世論調査」 2000 NES2000pre/post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NHK「転換期の政治意識・2002調査」 2002 NES2002pre/post 2003 池田謙一ほか「アジアン・パロメータ」 2007.4 朝日新聞「政治意識世論調査」(『朝日総研レポート』07.9) ~5 2007.6 NHK「政治意識月例調査」(『放送研究と調査』07.7) 2007.8 朝日新聞「参院戦後世論調査」(『朝日総研レポート』07.9)
留 A Q48 1	政権担当能力政党：自民党	OLDPOK		1983 「日本人の選挙行動調査」 1998 「日本人の選挙行動調査」 2000 NES2000pre 2001 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 ~2006 2002 NES2002pre
留 A Q48 2	政権担当能力政党：民主党	ODPOK		
留 A Q48 3	政権担当能力政党：公明党	OKOMEIOK		
留 A Q48 4	政権担当能力政党：共産党	OCOMMPOK		
留 A Q48 5	政権担当能力政党：社民党	OSDPOK		
留 A Q48 6	政権担当能力政党：その他の政党	OOTHEROK		
留 A Q48 7	政権担当能力政党：ない	ONOPLPOK		
留 A Q48 8	政権担当能力政党：わからない	OPLPDONT		
留 A Q49	自宅周辺の危険な場所の有無	FEARWALK	FEAR	2002.10 内閣府「国民生活選好調査」 2004.1 朝日新聞「定期国民意識調査」(永島学「広がる犯罪への不安」『朝日総研レポート』04.4) 2004.7 内閣府「治安に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.12)
留 A Q50	強盗等の被害経験	XROBBD1Y	LAW1 ROBBRY	2000.9 内閣府「犯罪被害者に関する世論調査」(『月刊世論調査』01.3) 2004.7 内閣府「治安に関する世論調査」
留 A Q51	空き巣被害経験	XSTOLN1Y	BURGLR LAW3	2000.9 内閣府「犯罪被害者に関する世論調査」 2004.1 朝日新聞「定期国民意識調査」 2004.7 内閣府「治安に関する世論調査」
留 A Q52 1	防犯対策：警備会社と契約	DOACSECC		2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
留 A Q52 2	防犯対策：監視カメラを設置	DOACCAM		2003.9 杉並区「監視(防犯)カメラに関する区民意識調査」 2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
留 A Q52 3	防犯対策：防犯のために犬を飼う	DOACDOG		
留 A Q52 4	防犯対策：ドアや窓の鍵に工夫	DOACKKEY		2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
留 A Q52 5	防犯対策：その他	DOACOTHTR		2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
留 A Q52	防犯対策：明かりに工夫	DOACLIT		2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」

留 A Q52 6	防犯対策：特にしていない	DOACNONE		2003.12	富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
留 A Q53 A	防犯対策への意見：路上カメラ	OPACCAM		2003.9 2003.12	杉並区「監視（防犯）カメラに関する区民意識調査」 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
留 A Q53 B	防犯対策への意見：性犯罪者の住所公表	OPACSEXC			
留 A Q53 C	防犯対策への意見：住民パトロール	OPACPTL		2006.8	内閣府「子どもの防犯に関する特別世論調査」
留 A Q53 D	防犯対策への意見：インターネットの監視	OPACINET		2007.7	内閣府「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査」
留 A Q54	インターネット自殺への意見	OPSCDIN			
留 A Q55	自殺への意見	OPSCD	(SUISIDE1~4)		
留 A Q56	自殺願望の経験	XWNTSCD			
留 A Q57 A 留 B Q23 A	重要な教育：習い事	IMEDLSSN		2003.12	ベネッセコーポレーション・朝日新聞「学校教育に対する保護者の意識調査」
留 A Q57 B 留 B Q23 B	重要な教育：塾・予備校	IMEDCRAM		1995.9 2005.1	連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」 読売新聞社「読売全国世論調査」
留 A Q57 C 留 B Q23 C	重要な教育：大学	IMEDUNIV		1995.9 2003.12	連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」 ベネッセコーポレーション・朝日新聞「学校教育に対する保護者の意識調査」
留 A Q57 D 留 B Q23 D	重要な教育：高レベルの大学	IMEDHRU		1995.9 2002.2 2003.12	連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」 読売新聞社「読売全国世論調査」 ベネッセコーポレーション・朝日新聞「学校教育に対する保護者の意識調査」
留 A Q58 A 留 B Q24 A	教育観：高い学歴で希望職に就ける	OP4EDJOB	(OPEDUC) (USCLASS3)	1995.9	連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」
留 A Q58 B 留 B Q24 B	教育観：高い学歴は収入面に恵まれる	OP4EDINC	EDUCEMP OPEDUC PAYEDTRN PAYEDUC REDUCEMP REWRDINT	2002.6	朝日新聞「教育問題に関する世論調査」
留 A Q58 C 留 B Q24 C	教育観：高い学歴でよい結婚ができる	OP4EDMG			
留 A Q59	経済的理由で進学を断念した経験	XQTEDU		2006.11	ライセンスアカデミー社「大学の学費に関するアンケート」
留 A Q60-1	将来なりたかった職業の有無	WNTJB		2004.1 ~3	お茶の水女子大学「Japan Education Longitudinal Study」(中学3年本人対象)
留 A Q60-2	将来なりたかった職業	WNTJBX		2005.5 2006.1	東京大学社会科学研究所「職業の希望に関するアンケート」 Benesse 教育研究開発センター「若者の仕事生活実態調査」
留 A Q60-3	なりたかった職業は親の職業か	WNTJBPM			
留 A Q60-4	なりたかった職業に就けたか	XWNTJOB		2005.5	東京大学社会科学研究所「職業の希望に関するアンケート」
留 A Q61-1 1	地域活動：清掃活動	LACLN			
留 A Q61-1 2	地域活動：リサイクル品の回収	LARCYC	(RECYCLE)		

留 A Q61-1 3	地域活動：パトロール	LAPTRL		2004.10	社会安全研究財団「社会生活における不安感に関するアンケート」
留 A Q61-1 4	地域活動：いずれも行なわれていない	LANONE			
留 A Q61-1 5	地域活動：わからない	LADK			
留 A Q61-2 1	地域活動への参加：清掃活動	DOLACLN		1995.11 2005.8	連合総合生活開発研究所「ボランティア活動についてのアンケート調査」 内閣府（国民生活局）「NPO（民間非営利組織）に関する世論調査」
留 A Q61-2 2	地域活動への参加：リサイクル品の回収	DOLARCYC		1995.11 2005.8	連合総合生活開発研究所「ボランティア活動についてのアンケート調査」 内閣府（国民生活局）「NPO（民間非営利組織）に関する世論調査」
留 A Q61-2 3	地域活動への参加：パトロール	DOLAPTRL		2004.10	社会安全研究財団「社会生活における不安感に関するアンケート」
留 A Q61-2 4	地域活動への参加：いずれも参加していない	DOLANONE			
留 A Q62	希望する子どもの性別	APPCCSXB	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995 1997 1998 2000 2002 2003 2005 2005 2006	電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 統数研「日本人の国民性」全国調査 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 「出生動向基本調査」 「日本人の国民性」全国調査 「出生動向基本調査」 「消費生活に関するパネル調査」 「消費生活に関するパネル調査」
留 A Q63 A	意見についての賛否：離婚	Q4DIVOK	DIVBEST MARDIV MARNOMAR	2002.12 2004.1 2005.1	朝日新聞社「定期国民意識調査」 日本家族社会学会全国家族調査特別委員会「第2回全国家族調査」 内閣府「国民生活選好度調査」
留 A Q63 B	意見についての賛否：妻の仕事	Q4WWJBIA	FEWORK FEWORKIF	1999.7 2005	家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」(『中央調査報』06.11)
留 A Q63 C	意見についての賛否：女性の幸福	Q4WNMGA	FEMARRY	2003.6 2004.11 2004.12	NHK「日本人の意識」第7回調査 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 NHK「現代日本人のライフスタイル 2004 調査」(加藤元宣・諸藤絵美「幸せになりたいが、ためらう結婚」『放送研究と調査』05.5)
留 A Q63 D	意見についての賛否：男性の家事	Q4MNCOOK	MEHHWORK	2004.11 2005	内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」(『中央調査報』06.11)
留 A Q63 E	意見についての賛否：性役割分担	Q4WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOM	2001.1 2002.11 2002.12 2003.6 2003.7 2004.11 2005 2006.1	読売新聞「家族像」(『日本の世論』) NHK「家庭と男女と役割に関する調査」 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 NHK「日本人の意識」第7回調査 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 第一生命経済研究所「定点調査から見えてくる家族の変化」(『中央調査報』06.11) 内閣府男女共同参画局「男女の働き方と仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する調査」
留 A Q63 F	意見についての賛否：男性の幸福	Q4MNMGA	MEMARRY	2003.6 2004.12	NHK「日本人の意識」第7回調査 NHK「現代日本人のライフスタイル 2004」

留 A Q63 G	意見についての賛否：子どもへの影響	Q4JBMCC	FEPRESCH KIDSUFFR	1994 1999.2	NHK 世論調査部「家庭と仕事についての国際比較調査」 総理府「少子化に関する世論調査」
留 A Q63 H	意見についての賛否：子どもをもつ必要	Q4NOCCMG	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	2001.1 2003.6 2004.4 2004.11 2004.12 2005.1 2005	読売新聞「家族像」(『日本の世論』) NHK「日本人の意識」第7回調査 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回世論調査 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 NHK「現代日本人のライフスタイル 2004」 内閣府「国民生活選好度調査」 第一生命経済研究所「定点調査から見える家族の変化」(『中央調査報』06.11)
留 A Q63 I	意見についての賛否：妻は夫の手助け	Q4WWHPHH	FEHELP	1992.11	総理府「男女平等に関する世論調査」
留 A Q64	人間観(一般)：人は信用できる	OP3TRUST	CANTRUST TRUST TRUSTY	2000.7 2003.9	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」(電通総研・日本リサーチセンター『世界60カ国価値観データブック』04 同友館) 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査
留 A Q65	人間観(一般)：人間の本性	OP7GDEVO	WORLD4	2000.7 2003.9	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査
留 A Q66 A	組織への所属：政治団体	MEMPLTGP	GRPPARTY GRPPOL MEMPOLIT TYPOLIT	2000 2000.1 2001 ~ 2006 2002 2003	NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
留 A Q66 B	組織への所属：業界団体	MEMIND	GRPUNION GRPWORK MEMFARM MEMPROF TYPFARM TYPFARM	2000 2000.1 2001 ~ 2006 2002 2003	NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
留 A Q66 C	組織への所属：ボランティアのグループ	MEMVLNTR	GRPCHRTY MEMSERV TYPSEV	2000 2000 2000.1 2001 ~ 2006 2002 2002.11 2003	経企庁「国民生活選好度調査」 NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002調査」(河野啓「市民意識・社会参加・政治への信頼」『放送研究と調査』03.4) 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
留 A Q66 D	組織への所属：市民運動のグループ	MEMCIVIL	FEJOIN GRNGROUP MEMNAT RACJOIN	2000 2000.1 2001 ~ 2006 2002 2002.11 2003	NES2000post JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 NES2002post NHK「転換期の政治意識・2002調査」 池田謙一ほか「アジア・バロメータ」
留 A Q66 E	組織への所属：宗教の団体や会	MEMRL	CHURCHMEN CHURCHTX GRPCHURH GRPRELIG MEMCHURH TYPCHURCH	2000.7	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」

留 A Q66 F	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	MEMSPORT	GRPSPORT GRPSPRTS MEMSPORT TYPSPORT	2006.8	内閣府「体力とスポーツに関する世論調査」
留 A Q66 G	組織への所属：趣味の会	MEMHOBBY	GRPSPORT MEMHOBBY MEMLIT TYPLIT TYPHOBBY	2000.7	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q67-1 留 B Q9-1	信仰する宗教の有無（本人）	DORL	RELIG	2000.7 2001.12 2002.12 2003.7 2003.9	電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 読売新聞「宗教観」（『日本の世論』） 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 NHK「日本人の意識」第7回調査 統数研「日本人の国民性」第11回調査
留 A Q67-2 留 B Q9-2	信仰する宗教（本人）	XXRL	RELIG	1998.11 2000.7	「ISSP 国際比較調査『宗教』」 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q67-3 留 B Q9-3	信仰の度合い（本人）	DO3PIOUS	FEELREL RELITEN RELPERSN	1998.11 2000.7	「ISSP 国際比較調査『宗教』」 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q68 A	組織への信頼：大企業	TR3CORPZ	CONBIZ CONBUS CONBUSY	2000.4 2000.7 2002.11 2007.7	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」（『中央調査報』07.9）
留 A Q68 B	組織への信頼：宗教団体	TR3RLGPZ	CONCHURH CONCLERG CONCLERY	2000.4 2000.7	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q68 C	組織への信頼：学校	TR3SCHLZ	CONEDUC CONEDUCY CONSCHLS	2000.4 2001.2 2002.12 2007.7	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 読売新聞「教育」（『日本の世論』） 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 D	組織への信頼：中央官庁	TR3BCRAZ	CONFED CONFEDY CONGOVT FEDTRUST	2000.4 2000.7 2002.11 2007.7	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 E	組織への信頼：労働組合	TR3UNNZ	CONLABOR CONLABOY	2000.4 2000.7	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q68 F	組織への信頼：新聞	TR3NWSPZ	CONPRESS CONPRESY	2000.4 2000.7 2001.9 2002.11 2002.11 2002.12 2007.7	野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」（横山滋・米倉律「同居する『信頼』と『批判』」『放送研究と調査』03.3） NHK「転換期の政治意識・2002 調査」 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」

留 A Q68 G	組織への信頼：病院	TR3HSPLZ	CONMEDIC CONMEDIY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.9 読売新聞「社会保障」(『日本の世論』) 2002.1 NHK「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞「医療」(朝日新聞総合研究センター『朝日総研レポート』02.6) 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 H	組織への信頼：テレビ	TR3TVZ	CONTV CONTVY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2002.11 NHK放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 I	組織への信頼：裁判所	TR3SPCAZ	CONCOURT CONJUDGE CONJUDGY	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 J	組織への信頼：学者・研究者	TR3ACDAZ	CONSCI CONSCIY TRSTPROF	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
留 A Q68 K	組織への信頼：国会議員	TR3CGMNZ	CONCONG CONLEGIS CONLEGY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.5 読売新聞「政治意識」(『日本の世論』) 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 L	組織への信頼：市区町村議会議員	TR3CITYZ	LOCCARE LOCTRUST	1999.3 読売新聞「地域住民意識」(『日本の世論』)
留 A Q68 M	組織への信頼：自衛隊	TR3DEFZ	CONARMY CONARMY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2006.2 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」(『月刊世論調査』06.9) 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 N	組織への信頼：警察	TR3COPZ		2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2000.11 読売新聞「治安」(『日本の世論』) 2001.12 朝日新聞「揺らく『生活の安全』」(『朝日総研レポート』02.4) 2002.11 NHK「転換期の政治意識・2002調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
留 A Q68 O	組織への信頼：金融機関	TR3FINZ	CONFINAN CONFINAY	

留 B Q6-1 1	ペットの保有：犬（室外で）	DOPDOGE			
留 B Q6-1 2	ペットの保有：犬（室内で）	DOPDOGI		2000.11 2002.2	総理府「世論調査 動物愛護」 時事通信社「ペットに関する意識調査」 （『中央調査報』02.4）
留 B Q6-1 3	ペットの保有：猫（室外で）	DOPCATE		2003.12	内閣府「世論調査 動物愛護」
留 B Q6-1 4	ペットの保有：猫（室内で）	DOPCATI		1994 ～2006	ペットフード工業会「犬猫飼育率全国調査」
留 B Q6-1 5	ペットの保有：その他	DOPOTHR		2007.3	時事通信社「ペットに関する世論調査」 （『中央調査報』07.6）
留 B Q6-1 6	ペットの保有：何も飼っていない	DOPNONE			
留 B Q6-2 1	世話をしているペット：犬（室外で）	DOPCDOGE			
留 B Q6-2 2	世話をしているペット：犬（室内で）	DOPCDOGI			
留 B Q6-2 3	世話をしているペット：猫（室外で）	DOPCCATE			
留 B Q6-2 4	世話をしているペット：猫（室内で）	DOPCCATI			
留 B Q6-2 5	世話をしているペット：その他	DOPCOTHR			
留 B Q6-2 6	世話をしているペット：世話はしていない	DOPCNONE			
留 B Q7	ペットの死の経験	XDTHPET			
留 B Q8 A	ペットへの意見：厳しく規制	OPPTREG			
留 B Q8 B	ペットへの意見：気持ちがなごむ	OPPTCALM		2000.11 2003.12	総理府「世論調査 動物愛護」 内閣府「世論調査 動物愛護」
留 B Q8 C	ペットへの意見：安楽死	OPPTKILL			
留 B Q10	健康状態（本人）（EASS 尺度）	OP5HLTHE	HEALTH HEALTH1	2000.2 2002.12 2006.8 2007.4	総理府「生活習慣病に関する世論調査」 （『月刊世論調査』00.10） 朝日新聞「第 25 回定期国民意識調査」 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 （『中央調査報』07.6）
留 B Q11-1 1	症状の有無：アトピー性皮膚炎（本人）	HAATOPI		2003.6	厚生労働省「平成 15 年保健福祉動向調査」
留 B Q11-1 2	症状の有無：花粉症（本人）	HAKAFUN		1998 2001.4 ～7 2003.6 2005.2	馬場廣太郎「全国耳鼻科医家族調査」 日本アレルギー協会「全国疫学調査」 厚生労働省「平成 15 年保健福祉動向調査」 朝日新聞「定例 RDD 調査「花粉症」」（中村純「花粉症は『国民病』。小泉政権『完投』期待増のナゾ」『朝日総研レポート』05.3）
留 B Q11-1 3	症状の有無：ぜんそく（本人）	HAZENSOK		2003.6 2005	厚生労働省「平成 15 年保健福祉動向調査」 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率および QOL に関する全年齢階級別全国調査に関する研究」
留 B Q11-1 4	症状の有無：食物アレルギー（本人）	HAFOOD		1997	日本薬剤師会「食物アレルギーに関する調査」
留 B Q11-1 5	症状の有無：いずれもない（本人）	HANONE		2003.4 ～5	日本能率協会総合研究所「アレルギー性疾患に関する構造基本調査」
留 B Q11-2 1	症状の有無：アトピー性皮膚炎（同居家族）	FAATOPI		1992 ～1994 2000.9 2000 ～2002 2004 ～2005	厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 日本小児保健協会「平成 12 年度幼児健康度調査」 厚生省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「アトピー性皮膚炎の診断のための質問票」 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象）

留 B Q11-2 2	症状の有無：花粉症（同居家族）	FAKAFUN		1992 ～1994 1992 ～1995 2004 ～2005 2006.3	厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 環境庁「窒素酸化物等健康影響継続観察調査」 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象） ロート製薬「子どもの花粉症調査」
留 B Q11-2 3	症状の有無：ぜんそく（同居家族）	FAZENSOK		1967 ～2005 1992 ～1994 1992 ～1995 2000.9 1996 ～2002 2004 ～2005 2005	文部科学省「学校保健統計調査」 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 環境庁「窒素酸化物等健康影響継続観察調査」 日本小児保健協会「平成12年度幼児健康度調査」 環境省「平成8-14年度環境保健サーベイランス調査」 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象） 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究」
留 B Q11-2 4	症状の有無：食物アレルギー（同居家族）	FAFOOD		1992 ～1994 1992 1994 1996 1997 1998 2000 2002.1 2004 ～2005	厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 日本薬剤師会「食物アレルギーに関する調査」 「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 昭和大学小児科「アレルギー疾患児における食生活の実態調査」 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象）
留 B Q11-2 5	症状の有無：いずれもない（同居家族）	FANONE		2003.4 ～5	日本能率協会総合研究所「アレルギー性疾患に関する構造基本調査」
留 B Q11-2 6	症状の有無：非該当（同居家族はいない）	FANOFF			
留 B Q13-1	介護経験（本人）	XCARE	CARESICK CARESIK1	1987.5 1990.9 2001.3 2002.1	生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJS01）
留 B Q13-2 1	介護の相手（本人）：配偶者	XC2SS		1987.5	生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」
留 B Q13-2 2	介護の相手（本人）：回答者の親	XC2PM		1990.9	生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」
留 B Q13-2 3	介護の相手（本人）：配偶者の親	XC2SSPM		2001.3	連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」
留 B Q13-2 4	介護の相手（本人）：その他	XC2OTHR		2002.1	日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJS01）

留 B Q15	生活満足度：全般	STALLLF		1995.10 2001.7 2003.6 2004.1	1995年SSM調査研究会「1995年SSM調査」 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 内閣府「国民生活に関する世論調査」 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回家族についての全国調査」(NFRJ03)
留 B Q22 A	国が家族か：高齢者の生活保障 (EASS 尺度)	OP5SRWFE	AIDOLT EQUAL4 KIDPARS	1996 2001.9 2007.1	National Opinion Research Center 「International Social Survey Programme 政府の役割調査」 読売新聞「社会保障」(『日本の世論』) 内閣府「社会意識に関する世論調査」
留 B Q22 B	国が家族か：高齢者の医療・介護 (EASS 尺度)	OP5SRMDE	EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	1996 2003.7	National Opinion Research Center 「International Social Survey Programme 政府の役割調査」 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」(『月間世論調査』04.1)
留 B Q22 C	国が家族か：子どもの教育費 (EASS 尺度)	OP5CCED		1983.1 2001.7	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
留 B Q22 D	国が家族か：保育・育児 (EASS 尺度)	OP5CCREE	AIDKIDS	1983.1 2001.7	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
留 B Q28	希望する子どもの性別 (EASS 尺度)	APPCCSX	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995 1997 1998 2000 2002 2003 2005 2005 2006	電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 統数研「日本人の国民性」全国調査 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 「出生動向基本調査」 「日本人の国民性」全国調査 「出生動向基本調査」 「消費生活に関するパネル調査」 「消費生活に関するパネル調査」
留 B Q29	理想的な子どもの人数 (一般論)	APPCCNUM	CHLDIDEL FOURKIDS NOKIDS NUMKIDS ONEKID THREKIDS TWOKIDS	1995.6 1995 1997 1997.7 1998 1999.2 2000.7 2002 2003.1 2003.6 2004.1 2004.2 ~ 3 2004.4 2004.10 2005.1 2005 2005 2006 2007	総理府「人口問題に関する意識調査」 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 厚生労働省「結婚と出生・育児に関する基礎調査」 NHK「日本人の意識」第6回調査 総理府「少子化に関する世論調査」 「世界価値観調査」 内閣府「社会意識に関する世論調査」 内閣府「若年層の意識実態調査」 NHK「日本人の意識」第7回調査 「社会意識に関する世論調査」 厚生労働省「少子化に関する意識調査」 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回調査(『毎日新聞』04.7.27) 朝日新聞「携帯電話・インターネット・少子化」定例面接調査(吉田貴文「少子化問題『女性に負担』の構図変わらず」(『朝日総研レポート』04.12) 「社会意識に関する世論調査」 「出生動向基本調査」 「世界価値観調査」 「社会意識に関する世論調査」 「社会意識に関する世論調査」

留 B Q29 5	理想的な子どもの人数：5人以上の場合（具体的記述）	APPCCNMX	CHLDIDEL NUMKIDS		
留 B Q30	三世同居観	OP2GNR	AGED	2002.12	朝日新聞「第25回定期国民意識調査」
留 B Q31 A	世代間援助への意見：既婚男性から自分の親	OPISMM			
留 B Q31 B	世代間援助への意見：既婚女性から自分の親	OPISMW			
留 B Q32 A	世代間援助への意見：未婚男性から自分の親	OPISUM			
留 B Q32 B	世代間援助への意見：未婚女性から自分の親	OPISUW			
留 B Q33 A	世代間援助への意見：既婚男性から妻の親	OPISMMSS			
留 B Q33 B	世代間援助への意見：既婚女性から夫の親	OPISMWSS			
留 B Q34	老親の世話の責任	OPPPCARE	(KIDPARS)	1983.10 2001.5 2004.1	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査 家族と生活に関する国民意識」 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回家族についての全国調査」(NFRJ03)
留 B Q35 A	家系継承規範：父親の権威を尊重	Q7FFAUTH	(TALKBACK)	1983.10 1991.5	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 ドイツ日本研究所、ウルリッヒ・メーワルト「日本人の価値意識に関する調査」
留 B Q35 B	家系継承規範：子どもは親の誇りに	Q7FFHNR			
留 B Q35 C	家系継承規範：長男が多く相続	Q7FFMAN		1986.3 2001.5	内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査 家族と生活に関する国民意識」
留 B Q35 D	家系継承規範：親の世話をした子が多く相続	Q7FFCARE		2001.5	内閣府国民生活局「国民生活選好度調査 家族と生活に関する国民意識」
留 B Q35 E	家系継承規範：息子が必要	Q7FFNDMN		1986.3 2001.5	内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査 家族と生活に関する国民意識」
留 B Q35 F	家系継承規範：墓を守る	Q7FFGRV		1986.3 2001.5 2003.10	内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査 家族と生活に関する国民意識」 第一生命経済研究所「墓に関する意識調査」
留 B Q36 A	家優先規範：妻より夫の親族を優先	Q7PRMAN			
留 B Q36 B	家優先規範：自分より家族を優先	Q7PRFF		1983.10 1994.8 2001.5	生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 生命保険文化センター「夫婦の生活意識に関する調査」 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査 家族と生活に関する国民意識」
留 B Q37-1	両親の存否	PMDTH	PADEATH PALIVE PALIVE1 MADEATH MALIVE MALIVE1		
留 B Q37-2 A	世代間の経済的援助：回答者から両親	HLPE2PM		2003.7	国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
留 B Q37-2 B	世代間の実践的援助：回答者から両親	HLPP2PM			
留 B Q37-3 A	世代間の経済的援助：両親から回答者	HLPEFPM	(BORROW1) (BORROW2)	2004.1 ~2	日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」
留 B Q37-3 B	世代間の実践的援助：両親から回答者	HLPPFPM	CHORES1 CHORES2	2004.1 ~2	日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」

留 B Q37-4	父親：健康状態	PPHLTH	(PADEATH) (PALIVE) (PALIVE1)	
	母親：健康状態	MMHLTH	(MADEATH) (MALIVE) (MALIVE1)	
留 B Q38 A	結婚規範：夫は年上	Q7MGOLD		2002.6 国立社会保障・人口問題研究所「第12回出生動向基本調査」
留 B Q38 B	結婚規範：子どもをもつ必要	Q7MGCC	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』)
				2003.6 NHK「日本人の意識」第7回調査
				2004.4 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回世論調査
				2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
2004.12 NHK「現代日本人のライフスタイル2004」				
留 B Q38 C	結婚規範：男性の結婚は幸福	Q7MGMNHP	MEMARRY	2003.6 NHK「日本人の意識」第7回調査 2004.12 NHK「現代日本人のライフスタイル2004」
留 B Q38 D	結婚規範：女性の結婚は幸福	Q7MGWNHP	FEMARRY	2003.6 NHK「日本人の意識」第7回調査 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(『月刊世論調査』05.5) 2004.12 NHK「現代日本人のライフスタイル2004」
留 B Q38 E	結婚規範：同棲はかまわない	Q7MGCOH	COHABOK COHABFST	2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2005 第一生命経済研「定点調査から見えてくる家族の変化」
留 B Q38 F	結婚規範：離婚は子が育つまで待つ	Q7MGDVCC	(DIVIFKD1)	2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」
留 B Q38 G	結婚規範：離婚はよい手段	Q7MGDVG D	DIVBEST MARDIV MARNOMAR	1997.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「少子化と親子関係に関する調査」
				2003.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
				2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「家族についての全国調査」
				2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」
				2005 第一生命経済研「定点調査から見えてくる家族の変化」
留 B Q39	夫婦別姓意識	OP4NAME		1990.9 総務庁「女性に関する世論調査」(『月刊世論調査』91.3)
				1994 NHK「現代日本人のライフスタイル調査」
				1996.6 総理府「家族法に関する世論調査」(『月刊世論調査』97.1)
				2000.1 読売新聞「結婚観」(『日本の世論』)
				2001.5 内閣府「選択的夫婦別氏制度に関する世論調査」(『月刊世論調査』01.12)
				2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」
				2003.6 NHK「日本人の意識」第7回調査
				2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
				2003.12 時事通信社「時事世論調査」
				2005 第一生命経済研「定点調査から見えてくる家族の変化」
留 B Q40 A	性別規範：妻は夫の手助け	Q7WWHPHH	FEHELP	1992.11 総理府「男女平等に関する世論調査」
留 B Q40 B	性別規範：性役割分担	Q7WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOD	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』)
				2002.11 NHK「家庭と男女と役割に関する調査」
				2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」
				2003.1 第一生命経済研究所「2004-05 ライフデザイン白書」(生活情報センター『日本人の価値観 データで見る30年の変遷』)
				2003.6 NHK「日本人の意識」第7回調査
				2004.8 労働政策研究・研修機構「第4回勤労生活に関する調査」(『中央調査報』05.4)
2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」				

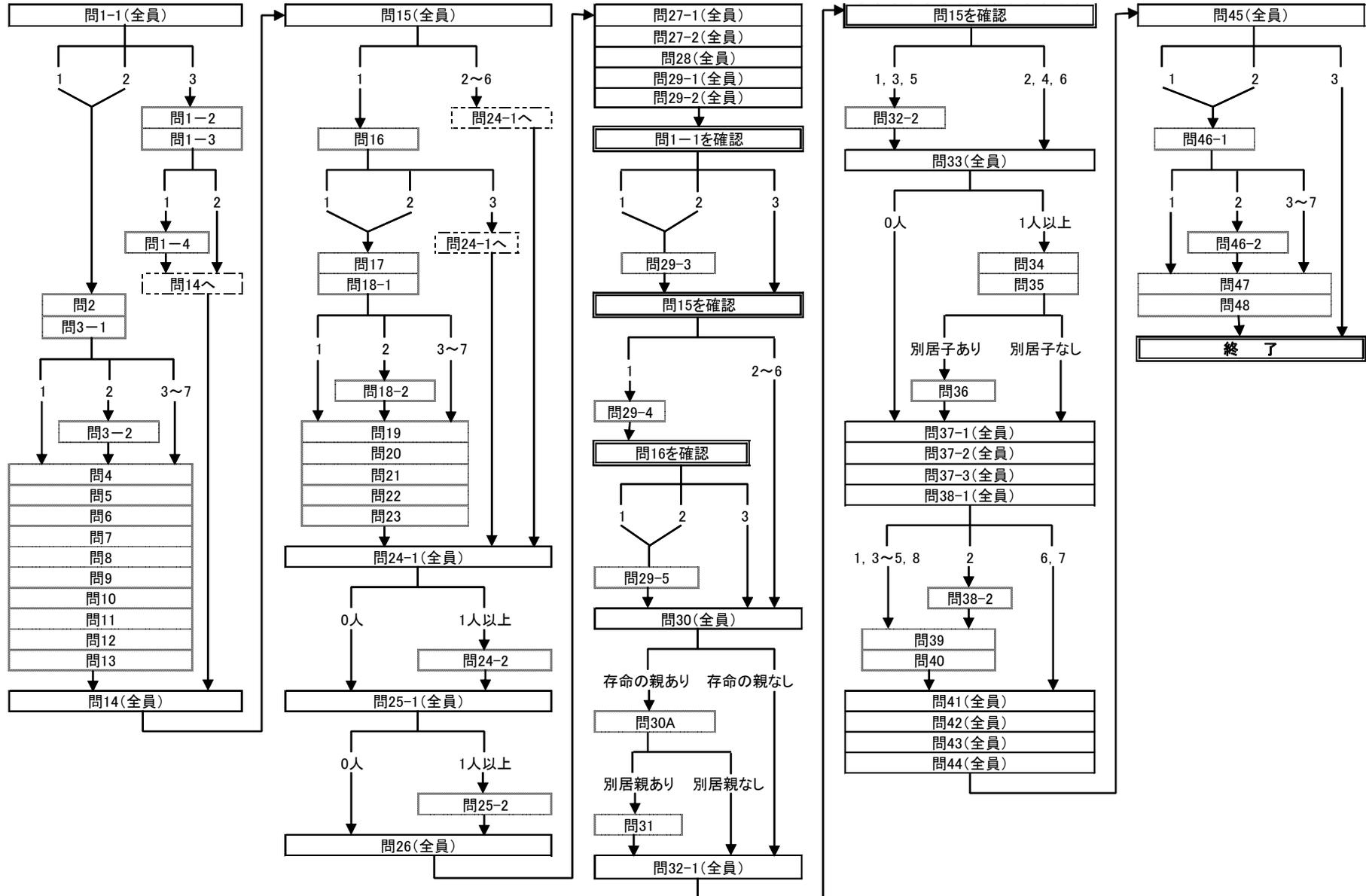
留 B Q40 C	性別規範：男性の家事	Q7WWMNCK	MEHHWORK	2004.11 2004.11	内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 朝日新聞社「IT・少子化問題調査」
留 B Q40 D	性別規範：女性を先に解雇	Q7WWLOFF	LAYOFFS (FEJOBFAFF)		
留 B Q41 A	離婚後の子どもへの意見：両親と接触	OPDVCNT		1986.3	内閣官房広報室「家族・家庭に関する世論調査」
留 B Q41 B	離婚後の子どもへの意見：連れ子	OPDVSTEP			
留 B Q41 C	離婚後の子どもへの意見：ひとり親	OPDVSGL	SINGLEPAR MARMAKID MARPAKID		
留 B Q42	家族そろった夕食の頻度 (EASS 尺度)	FQFFDNRE			
留 B Q43	家族一緒にレジャー活動の頻度	FQFFLSR			
留 B Q44 A	食産業の利用頻度：外食	FQFDOUT	(EATOUT)		
留 B Q44 B	食産業の利用頻度：弁当	FQFDBOX	(EATOUT)		
留 B Q44 C	食産業の利用頻度：惣菜・冷凍食品	FQFDFRZN			
留 B Q45	結婚経験	XMARRY	MARITAL		
	結婚の回数	NUMMARRY	MARNUM		
留 B Q46 1	初婚年齢	AGE1MG	AGEWED		
留 B Q46 2	結婚した年齢：2 回目	AGE2MG			
留 B Q46 3	結婚した年齢：3 回目	AGE3MG			
留 B Q46 4	結婚した年齢：4 回目	AGE4MG			
留 B Q47	結婚状況(留置 B 票のみ)	DOMARRYZ	MARITAL		
留 B Q48	配偶者の年齢(留置 B 票のみ)	SPAGEZ	SPYRBORN		
留 B Q49	健康状態 (配偶者) (EASS 尺度)	SS5HLTHE		1999.1	日本家族社会学会「全国家族調査」
留 B Q50 A	夕食の用意：頻度 (配偶者)	SSFQ7CK	COOKING1 DINNER HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 1999.1 1999.2 1999.7 2004.11	総理府「家庭・家族に関する世論調査」 日本家族社会学会「全国家族調査」 総理府「少子化に関する世論調査」 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
留 B Q50 B	洗濯：頻度 (配偶者)	SSFQ7WSH	HHWKFAIR LAUNDRY LAUNDRY1 SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 1999.1 1999.2 1999.7 2000.8	総理府「家庭・家族に関する世論調査」 日本家族社会学会「全国家族調査」 総理府「少子化に関する世論調査」 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
留 B Q50 C	買い物：頻度 (配偶者)	SSFQ7SHP	HHWKFAIR SHOP1 SHOPFOOD SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 1999.1 1999.2 1999.7 2000.8	総理府「家庭・家族に関する世論調査」 日本家族社会学会「全国家族調査」 総理府「少子化に関する世論調査」 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
留 B Q50 D	家の掃除：頻度(配偶者)	SSFQ7CLN	CLEAN1 HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 1999.1 1999.2 1999.7 2004.11	総理府「家庭・家族に関する世論調査」 日本家族社会学会「全国家族調査」 総理府「少子化に関する世論調査」 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」

留 B Q50 E	ゴミ出し：頻度（配偶者）	SSFQ7GRB	HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK		
留 B Q51-1	介護経験（配偶者）	SSCARE	CARESICK CARESIK1	1987.5 1990.9 2000.8 2001 2001.3 2002.1 2003.7	生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJS01) 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.1)
留 B Q51-2 1	介護の相手（配偶者）：回答者	SSC2R		1987.5	生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」
留 B Q51-2 2	介護の相手（配偶者）：回答者の親	SSC2PM		1990.9	生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」
留 B Q51-2 3	介護の相手（配偶者）：配偶者の親	SSC2SSPM		2000.8	内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
留 B Q51-2 4	介護の相手（配偶者）：その他	SSC2OTHR		2001 2001.3 2002.1 2003.7	内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJS01) 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」(『月刊世論調査』04.1)
留 B Q52	配偶者との情緒的関係：配偶者が悩みを聞く	SSTRNSTN	(BRKDHL1 ~ 3) (DOWN1 ~ 2) (DOWN1A ~ 2A) (CHANGE1 ~ 2)	1999.1 1999	日本家族社会学会全国家族調査委員会「家族についての全国調査」(NFRJ98) 家計経済研究所「現代核家族調査」
留 B Q53	配偶者との情緒的関係：あなたが悩みを聞く	SSTRSPK		1999	家計経済研究所「現代核家族調査」
留 B Q54 A	家庭内の意思決定者：子どもの教育	DMCCED	DECKIDS	1992.11	総理府「男女平等に関する世論調査」
留 B Q54 B	家庭内の意思決定者：親の世話	DMPPSPPT		1992.11	総理府「男女平等に関する世論調査」
留 B Q54 C	家庭内の意思決定者：家計の管理	DMEXP	FAMBUDGT FAMFINAN	1999.1 1999.2 1999.7 2002.7 2004.11	日本家族社会学会「全国家族調査」 総理府「少子化に関する世論調査」 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(『月刊世論調査』05.5)
留 B Q54 D	家庭内の意思決定者：高価な品物の購入	DMHIEXP	BUYTHNGS (DECAUTO) (DECBED)	1992.11	総理府「男女平等に関する世論調査」
留 B Q55-1	義親の存否	PMLDTH			
留 B Q55-2 A	世代間の経済的援助：回答者から義親	HLPE2PML		2003.7	国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
留 B Q55-2 B	世代間の実践的援助：回答者から義親	HLPP2PML			
留 B Q55-3 A	世代間の経済的援助：義親から回答者	HLPEFPML		2004.1 ~ 2	日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」
留 B Q55-3 B	世代間の実践的援助：義親から回答者	HLPPFPML			
留 B Q55-4	義父：健康状態	PPLHLTH			
	義母：健康状態	MMLHLTH			

留 B Q56	生活満足度：結婚生活	STMGLF	HAPMAR	1999.1 1999.2 1999.7 2004.12	日本家族社会学会「全国家族調査」 総理府「少子化に関する世論調査」 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 NHK「現代日本人のライフスタイル 2004」
留 B Q57-1	配偶者との出会いのきっかけ	FSTMTSS		2002.1 2005.6	日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJS01) 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(夫婦調査)」
留 B Q57-2A	配偶者の紹介者	WHOINTSS		2005.6	国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(夫婦調査)」
留 B Q57-2B	配偶者と出会った場所	WHRMTSS		2005.6	国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(夫婦調査)」
留 B Q58	配偶者の初婚・再婚	XSSRMG	SPMARNUM		
留 B Q59	結婚の決定への親の影響力	INFLPMMG		2004.1	日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査(NFRJ03)」
留 B Q60	結婚時の親からの援助	HFLPMGPM		2006.9	家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」(第14年度)
留 B Q61	結婚時の義親からの援助	HFLPMGPML			
留 B Q62	18歳以上の子どもの有無	XCC18	DAUNUM KIDNUM SONNUM		
留 B Q63	もっとも接している18歳以上の子ども	CC18CNT	KIDMOST (DAUVISIT) (KIDVISIT) (SONVISIT)		
留 B Q64	子どもとの同居	LVTGCC18	(KIDVISIT)		
留 B Q65 A	世代間の経済的援助：回答者から子ども	HLPE2CC		2003.7	国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
留 B Q65 B	世代間の実践的援助：回答者から子ども	HLPP2CC			
留 B Q66 A	世代間の経済的援助：子どもから回答者	HLPEFCC	(BORROW1) (BORROW2)	2004.1 ~2	日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」
留 B Q66 B	世代間の実践的援助：子どもから回答者	HLPPFCC	(CHORES1) (CHORES2)		
	ウエイト	WEIGHT	PORMWT OVERSAMP		

(木村雅文・杉田陽出)

. 8 フローチャート



2006年10月  
JGSS-2006 面接調査票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第6回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

**IDUSE** 識別番号  
**BLOCK** 地域ブロック  
**PREF** 都道府県名  
**SIZE** 市郡規模  
**SIZE2K** 市郡規模（2000年時点）

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。  
10回を越えた訪問の記録は不要。  
接触ができるまで、必ず4日以上訪問する。  
(同日に2度訪問しても1日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)

回収状況
<b>面接票 DATE</b> 1 面接完了 ( 月 日) <b>MONTH DAY</b> 2 面接不能
<b>留置票 DATEB</b> 1 回収完了 ( 月 日) <b>MONTHB DAYB</b> 2 回収不能
一方で調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。
留置票の 受取予定日時

**SEXA** 性別  
**DOBYEAR** 生年(西暦)  
**AGEB** 年齢  
**MARC** 配偶者(DOMARRYの転記)  
**FORM** 留置票の種別

面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。

N1 調査不能と決定した日時

月   日   
 1 午前   時   分頃   
 2 午後

N2-1 対象者の家の種類

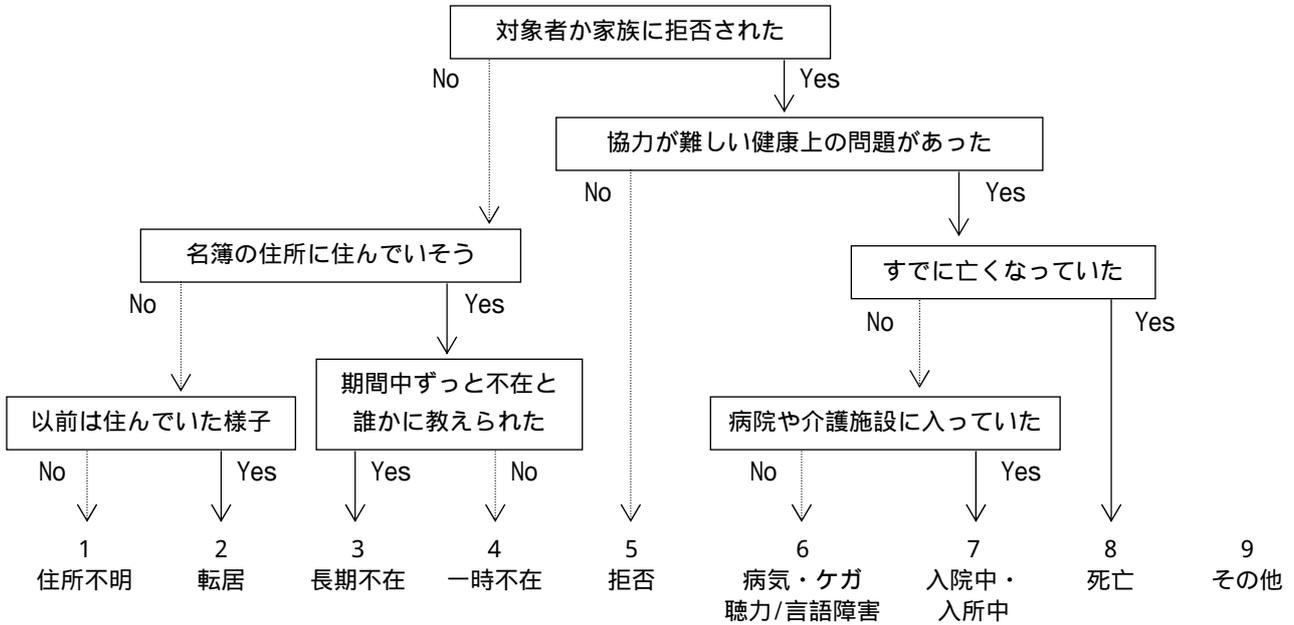
- 1 一戸建て                      2 集合住宅（アパート・マンションなど）                      3 不明

↓

N2-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

1 はい                      2 いいえ

N3 調査不能の理由



上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に をつけ、下の欄を詳しく記入する。

ここで をつけた番号は、対象者名簿の「欠票 No」に転記する。

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）

はじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1〔回答票 1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていま  
したか。この中からあげてください。

**XJOB1WK**

- |          |                                 |          |
|----------|---------------------------------|----------|
| 1<br>(ア) | 2<br>(イ)                        | 3<br>(ウ) |
| 仕事をした    | 仕事をもっているが、<br>病気、休暇などで先週は仕事を休んだ | 仕事をしていない |

問 1-2〔回答票 2〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

**TP5UNEMP**

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 (ア) 失業中         | 4 (エ) 主に家事をしている  |
| 2 (イ) 定年などで仕事をやめた | 5 (オ) その他(具体的に ) |
| 3 (ウ) 学生          | 6 わからない          |

問 1-3 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

**XWORK**

- |      |       |               |
|------|-------|---------------|
| 1 はい | 2 いいえ | → 6 ページ問 14 へ |
|------|-------|---------------|

問 1-4 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

**AGESTPWK**

		歳
--	--	---

6 ページ問 14 へ

問 2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2 つ以上仕事をお持ちの場合は、主な  
仕事 1 つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

サービス残業も含め、実際に働いた時間数を答えてもらう。

副業を持っていない場合は、副業の時間数に 0 (ゼロ) と記入する。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

主な仕事を週合計で 



 時間

副業を週合計で 



 時間

お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問3-1〔回答票3〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1(ア)「経営者」と5(オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPJOB**

- |                        |                            |                                    |                  |                           |                   |            |
|------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用(パート・<br>アルバイト・内職) | 4<br>(エ)<br>派遣社員 | 5<br>(オ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 6<br>(カ)<br>家族従業者 | 7<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------|------------|

問3-2〔回答票4〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPJOBP**

- 1(ア) 役職なし
- 2(イ) 職長・班長・組長など
- 3(ウ) 係長(係長相当)
- 4(エ) 課長(課長相当)
- 5(オ) 部長(部長相当)
- 6(カ) その他の役職(具体的に )
- 7 わからない

問4〔回答票5〕あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT**

	1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)
SZCMTTL			
およそ	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分	住まいと 職場は同じ
	<b>SZCMTHR</b>	<b>SZCMTMIN</b>	日によって 行き先が違う

問5〔回答票6〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**TP4WPLA**

- 1(ア) 官公庁
- 2(イ) 単独事業所(他に事業所はない)
- 3(ウ) 支店・支所(本社・本店は他にある)
- 4(エ) 本社・本店(他に支店・支所などがある)
- 5 わからない

問6 あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**XXWPL**  
**XXWPLE**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

XXJOB  
XXJOBE

(できるだけ詳しく具体的に。)

問8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。  
先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

XJOBDDWK

週  日

問9 あなたの仕事は、規則や契約で1週間に働く時間が決められていますか。決められている場合は、その時間数を教えてください。

XJOBREG

	XJOBREGH	1	2
週合計で	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間と決められている
			決められていない

問10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR

年間 1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。

問11〔回答票7〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SZTTLSTA

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

問12〔回答票8〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

JOINUNI

1	2	3	4
(ア)	(イ)	(ウ)	
職場の労働組合に入っている	職場以外の労働組合に入っている	入っていない	わからない

問13〔回答票9〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

ST5JOB

1	2	3	4	5	6
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	
満足している	どちらかといえ 満足している	どちらとも いえない	どちらかといえ 不満である	不満である	わからない

(全員に)

問 14 あなたは現在、仕事を探していますか。

**DOLOOKJB**

- 1 はい 2 いいえ

ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。

問 15〔回答票 10〕あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

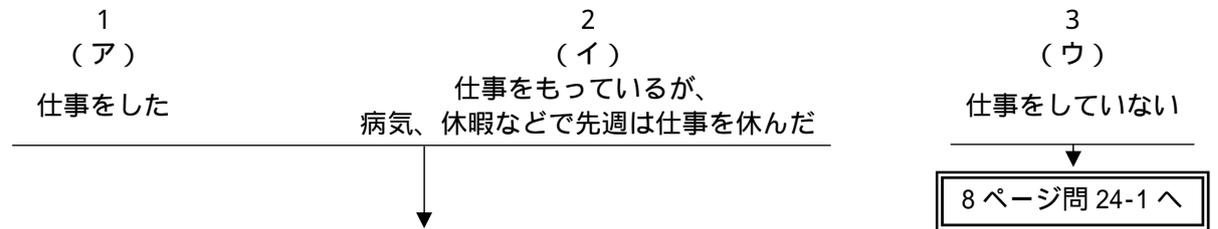
選択肢 5、6 は、あえてそのように答えた場合にのみ印を付ける。

**DOMARRY**



問 16〔回答票 11〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

**SSJB1WK**



問 17 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

副業を持っていない場合は、副業の時間数に0(ゼロ)と記入する。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

<b>SSJBHRWK</b>	<b>SSSJBHWK</b>
主な仕事を週合計で <input style="width: 60px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間	副業を週合計で <input style="width: 60px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。

2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 18-1〔回答票 12〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1(ア)「経営者」と5(オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**SSTPJOB**

- |            |                |                        |          |               |          |       |
|------------|----------------|------------------------|----------|---------------|----------|-------|
| 1<br>(ア)   | 2<br>(イ)       | 3<br>(ウ)               | 4<br>(エ) | 5<br>(オ)      | 6<br>(カ) | 7     |
| 経営者<br>・役員 | 常時雇用の<br>一般従業者 | 臨時雇用(パート・<br>アルバイト・内職) | 派遣社員     | 自営業主<br>・自由業者 | 家族従業者    | わからない |

問 18-2〔回答票 13〕配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJOBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長(係長相当)
- 4 (エ) 課長(課長相当)
- 5 (オ) 部長(部長相当)
- 6 (カ) その他の役職(具体的に )
- 7 わからない

問 19 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX  
SSXXHQXE

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問 20 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

SSXXJOB  
SSXXJOBE

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 21 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

SSJBDWK

週  日

問 22 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

SSSZWKYR

年間

1 年未満の場合は 0（ゼロ）と記入。

問 23〔回答票 14〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SSSZTFA

- |                 |                   |                        |
|-----------------|-------------------|------------------------|
| 1 (ア) 1 人       | 5 (オ) 30 ~ 99 人   | 9 (ケ) 1,000 ~ 1,999 人  |
| 2 (イ) 2 ~ 4 人   | 6 (カ) 100 ~ 299 人 | 10 (コ) 2,000 ~ 9,999 人 |
| 3 (ウ) 5 ~ 9 人   | 7 (キ) 300 ~ 499 人 | 11 (サ) 1 万人以上          |
| 4 (エ) 10 ~ 29 人 | 8 (ク) 500 ~ 999 人 | 12 (シ) 官公庁             |
|                 |                   | 13 わからない               |

SPAGEX 配偶者の年齢

(全員に)

問 24-1 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

いない場合(回答者が一人暮らしの場合)は0(ゼロ)と記入し、問 25-1 へ。

二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。

**SZFFONLY**

回答者を除いて

人

問 24-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。タテ方向(同居者(1)についてA,B,C...の順)に尋ねるのではなく、ヨコ方向(Aについて同居者(1),同居者(2)...の順)に尋ねる。

	同居者(1)	同居者(2)	同居者(3)
A あなたからみた続柄を順に教えてください。具体的に記入した上で、 <input type="text"/> にコードを記入する。「本人」は不要。 <b>FF**REL</b>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
B その方の性別を順に教えてください。 <b>FF**SEX</b>	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
C その方の年齢を順に教えてください。 <b>FF**AGE</b>	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
〔回答票 15〕 D その方は、現在、結婚していますか。この中から選んで、順に教えてください。 <b>FF**MG</b>	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
E その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。 <b>FF**JOB</b>	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない

問 25-1 あなたには、ここにあげるような理由で(〔回答票 16〕を見せる)一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。いらっしゃる場合、何人ですか。

いない場合は0(ゼロ)と記入し、問 26 へ。結婚して家を離れている子どもは含めない。

**SZFFOUT**

人 (5人以上の場合は、補助用紙を使用)

問 25-2 その全員について、うかがいます。

	一時的な別居家族(1)	一時的な別居家族(2)	一時的な別居家族(3)	一時的な別居家族(4)
A あなたからみた続柄を順に教えてください。具体的に記入した上で、 <input type="text"/> にコードを記入する。 <b>FFO**REL</b>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
〔回答票 16〕 B その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由は何ですか。この中から選んで、順に教えてください。 <b>FFO**WHY</b>	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他( )

(9人以上の場合は、補助用紙を使用)

同居者(4)	同居者(5)	同居者(6)	同居者(7)	同居者(8)
_____ <input type="text"/>				
1 男性 2 女性				
<input type="text"/> 歳				
1 (ア)現在、配偶者がいる 2 (イ)離別 3 (ウ)死別 4 (エ)未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中				
1 している 2 していない				

問 26 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

具体的に続柄を記入した上で  にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず1名に絞ってもらう。

FFHEAD \_\_\_\_\_

続柄コード表 養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。

00 本人			30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	12 次男	22 次女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	13 三男	23 三女		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫					
	15 次男の妻	25 次女の夫					
	16 三男の妻	26 三女の夫					
							97 その他・不明
							99 無回答

問 27-1〔回答票 17〕現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

問 27-2〔回答票 17〕そのうち、一番中心となる収入源を 1 つだけ答えてください。

問 27-1 であてはまるものが 1 つしかなければ、問 27-2 では同じものに をつける。

		問 27-1 あてはまる収入源 すべてに	INCMAIN 問 27-2 中心となる収入源 1 つだけに
INCSELF	自分の収入	1 (ア)	1 (ア)
INCSP	配偶者の収入	2 (イ)	2 (イ)
INCPAR	親の収入	3 (ウ)	3 (ウ)
INCFAM	配偶者・親以外の家族の収入	4 (エ)	4 (エ)
INCPEN	年金	5 (オ)	5 (オ)
INCUEB	失業保険	6 (カ)	6 (カ)
INCSAVE	貯蓄	7 (キ)	7 (キ)
INCSOC	社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	8 (ク)	8 (ク)
INCIRR	不定期的な仕事	9 (ケ)	9 (ケ)
INCOTHER	その他 (具体的に )	10 (コ)	10 (コ)
INCNOKN	わからない	11	11

問 28〔回答票 18〕かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入りますか。

OP10LVL

一番上      1      2      3      4      5      6      7      8      9      10      一番下

問 29-1〔回答票 19〕昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 29-2〔回答票 19〕そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 29-3（仕事をしている方のみ質問）〔回答票 19〕あなたの収入は、先ほどいかがだった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 1-1 で 1（ア）「仕事をした」または 2（イ）「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3（ウ）「仕事をしていない」の場合は、問 29-3 の 23 に をつけ、問 29-4 へ。

問 29-4（現在、配偶者がいる方のみ質問）〔回答票 19〕配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

問 15 で 1（ア）「現在配偶者がいる」と回答した者にのみ質問する。問 15 でそれ以外に回答した場合は、問 29-4 と問 29-5 の 22 に をつけ、問 30 へ。

問 29-5（配偶者が仕事をしている方に）〔回答票 19〕配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 16 で 1（ア）「仕事をした」または 2（イ）「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3（ウ）「仕事をしていない」の場合は、問 29-5 の 23 に をつけ、問 30 へ。

	SZHSINCM 問 29-1 世帯全体	SZINCOMA 問 29-2 本人	SZINCOMX 問 29-3 本人の 主な仕事	SSSZINCA 問 29-4 配偶者	SSSZINCM 問 29-5 配偶者の 主な仕事
なし	1（ア）	1（ア）	1（ア）	1（ア）	1（ア）
70万円未満	2（イ）	2（イ）	2（イ）	2（イ）	2（イ）
70～100万円未満	3（ウ）	3（ウ）	3（ウ）	3（ウ）	3（ウ）
100～130万円未満	4（エ）	4（エ）	4（エ）	4（エ）	4（エ）
130～150万円未満	5（オ）	5（オ）	5（オ）	5（オ）	5（オ）
150～250万円未満	6（カ）	6（カ）	6（カ）	6（カ）	6（カ）
250～350万円未満	7（キ）	7（キ）	7（キ）	7（キ）	7（キ）
350～450万円未満	8（ク）	8（ク）	8（ク）	8（ク）	8（ク）
450～550万円未満	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）
550～650万円未満	10（コ）	10（コ）	10（コ）	10（コ）	10（コ）
650～750万円未満	11（サ）	11（サ）	11（サ）	11（サ）	11（サ）
750～850万円未満	12（シ）	12（シ）	12（シ）	12（シ）	12（シ）
850～1,000万円未満	13（ス）	13（ス）	13（ス）	13（ス）	13（ス）
1,000～1,200万円未満	14（セ）	14（セ）	14（セ）	14（セ）	14（セ）
1,200～1,400万円未満	15（ソ）	15（ソ）	15（ソ）	15（ソ）	15（ソ）
1,400～1,600万円未満	16（タ）	16（タ）	16（タ）	16（タ）	16（タ）
1,600～1,850万円未満	17（チ）	17（チ）	17（チ）	17（チ）	17（チ）
1,850～2,300万円未満	18（ツ）	18（ツ）	18（ツ）	18（ツ）	18（ツ）
2,300万円以上	19（テ）	19（テ）	19（テ）	19（テ）	19（テ）
回答したくない	20	20	20	20	20
わからない	21	21	21	21	21
配偶者はいない				22 ---->	22
仕事はしていない			23		23

ここからは、ご両親のことについて、おうかがいします。

タテ方向（父親について問 30A, 問 31A, B, C...の順）に尋ねるのではなく、ヨコ方向（問 30A について父親、母親...の順に尋ね、続いて問 31A について父親、母親...の順）に尋ねる。

問 30 あなた（と配偶者）のご両親のうち、現在もご存命の方はどなたですか。

存命の親に をつけ、その親についてのみ尋ねる。現在、配偶者がいる回答者には、配偶者の親も尋ねる。存命の親が 1 人もいない場合は問 32-1 へ。

存命の親に	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
A その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。	<b>PPLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「あなたの父親」に	<b>MMLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「あなたの母親」に	<b>PPLLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「配偶者の父親」に	<b>MMLLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「配偶者の母親」に

問 31 あなた（と配偶者）のご両親のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのみうかがいます。

問 30 で「別居」の親についてのみ尋ねる。「同居」、「亡くなっている」場合は尋ねない。

別居の親がない場合は問 32-1 へ。

別居している親に	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
A その方の年齢を順に教えてください。	<b>PPAGE</b> <input type="text"/> 歳	<b>MMAGE</b> <input type="text"/> 歳	<b>PPLAGE</b> <input type="text"/> 歳	<b>MMLAGE</b> <input type="text"/> 歳
〔回答票 20〕 B その方は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。	<b>PPMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>MMMGM</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>PPLMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>MMLMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
〔回答票 21〕 C その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで、順に教えてください。  複数の子供と同居している場合（1（ア）、2（イ）、3（ウ）のうち複数の選択肢をあげた場合は数字の小さい選択肢を優先する。）	<b>PPFAM</b> 1 (ア) あなたの既婚の兄や弟 2 (イ) あなたの既婚の姉や妹 3 (ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )	<b>MMFAM</b> 1 (ア) あなたの既婚の兄や弟 2 (イ) あなたの既婚の姉や妹 3 (ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )	<b>PPLFAM</b> 1 (ア) 配偶者の既婚の兄や弟 2 (イ) 配偶者の既婚の姉や妹 3 (ウ) 配偶者の未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )	<b>MMLFAM</b> 1 (ア) 配偶者の既婚の兄や弟 2 (イ) 配偶者の既婚の姉や妹 3 (ウ) 配偶者の未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )
D その方は、現在、収入をとまなう仕事をしてますか。順に教えてください。	<b>PPJOB</b> 1 している 2 していない	<b>MMJOB</b> 1 している 2 していない	<b>PPLJOB</b> 1 している 2 していない	<b>MMLJOB</b> 1 している 2 していない

(続き)	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
〔回答票 22〕 E その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。	<b>PPDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) " 1時間以内 5 (オ) " 3時間以内 6 (カ) それより遠い	<b>MMDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) " 1時間以内 5 (オ) " 3時間以内 6 (カ) それより遠い	<b>PPLDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) " 1時間以内 5 (オ) " 3時間以内 6 (カ) それより遠い	<b>MMLDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) " 1時間以内 5 (オ) " 3時間以内 6 (カ) それより遠い
〔回答票 23〕 F その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。	<b>PPCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>PPLCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMLCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない
〔回答票 23〕 G その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。	<b>PPCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>PPLCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMLCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない

問 32-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は0(ゼロ)を記入。養子・連れ子などの場合に、誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。

あなたの兄弟姉妹

XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 32-2 現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。

配偶者の兄弟姉妹

XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 33 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。  
いない場合は0(ゼロ)と記入し、問 37-1 へ。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。

CCNUMTTL  人

問 34 [ 回答票 24 ] 昨年 1 年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりま  
すか。社会人入学の学費は除きます。

子どもには、学業を終えていない子どもをすべて含む(幼児から専門学校生、大学生、大学院生まですべて)、  
教育費には、在学中の子どもの下宿代・仕送りを含む。

**SZEXED**

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし            | 10 (コ) 100 ~ 200 万円未満   |
| 2 (イ) 3 万円未満        | 11 (サ) 200 ~ 300 万円未満   |
| 3 (ウ) 3 ~ 5 万円未満    | 12 (シ) 300 ~ 400 万円未満   |
| 4 (エ) 5 ~ 10 万円未満   | 13 (ス) 400 ~ 500 万円未満   |
| 5 (オ) 10 ~ 15 万円未満  | 14 (セ) 500 万円以上         |
| 6 (カ) 15 ~ 20 万円未満  | 15 (ソ) すべての子どもが学業を終えている |
| 7 (キ) 20 ~ 30 万円未満  | 16 回答したくない              |
| 8 (ク) 30 ~ 50 万円未満  | 17 わからない                |
| 9 (ケ) 50 ~ 100 万円未満 |                         |

問 35 それぞれのお子様についてうかがいます。亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順に  
お答えください。

タテ方向(第一子についてA,B,Cの順)に尋ねるのではなく、ヨコ方向(Aについて第一子,第二子...の順)に尋ねる。問 33 の  
人数に合わせる。5人以上の場合は、補助用紙を使用。

	第一子	第二子	第三子	第四子
<b>CC**SEX</b> A その方の性別を順に教 えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
<b>CC**SCH</b> B その方は、すでに学業 を終えていますか。順 に教えてください。	1 終えている 2 まだ終えていない 3 亡くなっている			
<b>CC**LVTG</b> C その方は、あなたと一 緒に暮らしています か。順に教えてください。	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 問 36 の 「第一子」に	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 問 36 の 「第二子」に	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 問 36 の 「第三子」に	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 問 36 の 「第四子」に

問 36 お子様のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのほうがいます。

問 35 で「別居」の子どものみ尋ねる。タテ方向（第一子について A,B,C...の順）に尋ねるのではなく、ヨコ方向（A について第一子,第二子...の順）に尋ねる。「同居」、「亡くなっている」場合は尋ねない。別居の子どもがいない場合は問 37-1 へ。第五子以降で別居子がいる場合は、補助用紙を使用。

別居の子に	第一子	第二子	第三子	第四子
<b>CC**AGE</b> A その方の年齢を順に教えてください。	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
<b>CC**MG</b> 〔回答票 25〕 B その方は、現在、結婚していますか。順に教えてください。	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
<b>CC**JOB</b> C その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない
<b>CC**DIST</b> 〔回答票 26〕 D その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い
<b>CC**CNTA</b> 〔回答票 27〕 E その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない
<b>CC**CNTB</b> 〔回答票 27〕 F その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない





あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。  
 在学中の就業を、回答者が初めての仕事と置いていけば、それについて尋ねる。

問 45〔回答票 34〕あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

**XGETJOB**

- |                                      |                           |                         |
|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1<br>(ア)<br>すぐついた<br>(3ヶ月たたないうちについた) | 2<br>(イ)<br>3ヶ月以上たってからついた | 3<br>(ウ)<br>仕事についたことはない |
|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------|

これで終わりです。長時間のご協力誠にありがとうございました。

問 46-1〔回答票 35〕あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1(ア)「経営者」と5(オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
 公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPFSTJB**

- |                        |                            |                                    |                  |                           |                   |            |
|------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用(パート・<br>アルバイト・内職) | 4<br>(エ)<br>派遣社員 | 5<br>(オ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 6<br>(カ)<br>家族従業者 | 7<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------|------------|

問 46-2〔回答票 36〕当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPFSTJBP**

- |                     |
|---------------------|
| 1 (ア) 役職なし          |
| 2 (イ) 職長・班長・組長など    |
| 3 (ウ) 係長(係長相当)      |
| 4 (エ) 課長(課長相当)      |
| 5 (オ) 部長(部長相当)      |
| 6 (カ) その他の役職(具体的に ) |
| 7 わからない             |

問 47 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

**XXFSTJB**

**XXFSTJBE** (できるだけ詳しく具体的に。)

問 48〔回答票 37〕同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SZSTFFST**

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

これで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

**COOP**

- |        |                 |                   |                   |
|--------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 1      | 2               | 3                 | 4                 |
| とても協力的 | どちらかといえば<br>協力的 | それほど<br>協力的ではなかった | まったく<br>協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

**USTAND**

- |       |            |         |          |
|-------|------------|---------|----------|
| 1     | 2          | 3       | 4        |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

（できるだけ詳しく具体的に）

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

（謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に）

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

**AREA**

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

F6 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

**PROC**

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 面接が先 | 2 留置が先 |
|--------|--------|

F7 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい。

所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。

この面接調査票の調査時刻		DURATION 所要時間
（開始）__時__分頃	（終了）__時__分頃	およそ__分

補助用紙（問 24-2 用）

問 24-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。

一緒に暮らしている人が 9 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

	同居者（9）	同居者（10）	同居者（11）	同居者（12）
A あなたからみた続柄を順に教えてください。具体的に記入した上で、□□ にコードを記入する。	_____ □□	_____ □□	_____ □□	_____ □□
B その方の性別を順に教えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
C その方の年齢を順に教えてください。	□□□□ 歳	□□□□ 歳	□□□□ 歳	□□□□ 歳
〔回答票 15〕 D その方は、現在、結婚していますか。この中から選んで、順に教えてください。	1（ア）現在、配偶者がいる 2（イ）離別 3（ウ）死別 4（エ）未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1（ア）現在、配偶者がいる 2（イ）離別 3（ウ）死別 4（エ）未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1（ア）現在、配偶者がいる 2（イ）離別 3（ウ）死別 4（エ）未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1（ア）現在、配偶者がいる 2（イ）離別 3（ウ）死別 4（エ）未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
E その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない

補助用紙（問 25-2 用）

（問 25-1 で挙げられた「一時的に離れて暮らしているご家族」について）  
 問 25-2 その全員について、うかがいます。

一時的に離れて暮らしている家族が 5 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

	一時的な別居家族(5)	一時的な別居家族(6)	一時的な別居家族(7)	一時的な別居家族(8)
A あなたからみた続柄を 順に教えてください。 具体的に記入した上で □□ にコードを記入す る。	_____ □□	_____ □□	_____ □□	_____ □□
〔回答票 16〕 B その方と一時的に離 れて暮らしている、主 な理由は何ですか。こ の中から選んで、順に 教えてください。	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他(        )	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他(        )	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他(        )	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他(        )

補助用紙（問 35 用）

問 35 それぞれのお子様についてうかがいます。亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順にお答えください。

子どもが 5 人以上の場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

	第五子	第六子	第七子	第八子
A その方の性別を順に教えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
B その方は、すでに学業を終えていますか。順に教えてください。	1 終えている 2 まだ終えていない 3 亡くなっている			
C その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 補助用紙問 36 の「第五子」に	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 補助用紙問 36 の「第六子」に	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 補助用紙問 36 の「第七子」に	1 同居 2 別居 3 亡くなっている ↓ 補助用紙問 36 の「第八子」に

補助用紙 ( 問 36 用 )

( 問 35 の子どものうち、別居している子どもについて )

問 36 お子様のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのみうかがいます。

第五子以降で別居子がいる場合に使用

支局 番号	地点 番号	対象 番号

別居の子に	第五子	第六子	第七子	第八子
A その方の年齢を順に教えてください。	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
〔回答票 25〕 B その方は、現在、結婚していますか。順に教えてください。	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離 別 3 (ウ) 死 別 4 (エ) 未 婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
C その方は、現在、収入をと もなう仕事をしています か。順に教えてください。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない
〔回答票 26〕 D その方は、あなたの家から どのくらい離れた所に住 んでいますか。この中から 選んで順に教えてください。	1 (ア) 隣、同じ建物、 同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、 同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、 同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、 同じ通り 2 (イ) 歩いて 15 分以内 3 (ウ) 車や電車等で 30 分以内 4 (エ) " 1 時間以内 5 (オ) " 3 時間以内 6 (カ) それより遠い
〔回答票 27〕 E その方と直接会うことは、 どのくらいありますか。 この中から選んで順に教 えてください。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない
〔回答票 27〕 F その方とは、直接会う以外 に、電話・手紙・電子メー ルなどで、どのくらい連絡 を取り合っていますか。こ の中から選んで順に教えて ください。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に 1 回程度 4 (エ) 月に 1 回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に 1 回程度 7 (キ) 年に 1 回もない

.10 面接調査票 回答票 ( サンプル )

面接調査では、ほとんどの設問において調査対象者に下記のような回答票を示して、該当する番号を答えてもらっている。下記は実際に使用した回答票を縮小したものである。

問 1-1

〔回答票 1〕

---

(ア) 仕事をした

(イ) 仕事をもっているが、  
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ

(ウ) 仕事をしていない

問 11

〔回答票 7〕

---

(ア) 1 人

(イ) 2 ~ 4 人

(ウ) 5 ~ 9 人

(エ) 10 ~ 29 人

(オ) 30 ~ 99 人

(カ) 100 ~ 299 人

(キ) 300 ~ 499 人

(ク) 500 ~ 999 人

(ケ) 1,000 ~ 1,999 人

(コ) 2,000 ~ 9,999 人

(サ) 1 万人以上

(シ) 官公庁

問 28

〔回答票 18〕

---

一番上	1
↑	2
↑	3
↑	4
↑	5
↑	6
↑	7
↑	8
↑	9
↑	10
一番下	

問 31 C

〔回答票 21〕

---

(ア) あなた(配偶者)の既婚の兄や弟

(イ) あなた(配偶者)の既婚の姉や妹

(ウ) あなた(配偶者)の未婚の兄弟姉妹

(エ) 夫婦で二人暮らし

(オ) 一人暮らし

(カ) 施設に入所

(キ) その他(具体的に )

A票

2006年10月

JGSS-2006 留置調査票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第6回 生活と意識についての国際比較調査」

(調査企画) 大阪商業大学 比較地域研究所  
東京大学 社会科学研究所  
(調査実施) 社団法人中央調査社

この調査は、文部科学省からの研究助成を得て、現代の日本の社会や人びとの考え方について、さまざまな分野から研究するための共同学術調査です。どうかご協力をお願い申し上げます。

調査対象者については、地域や性別、年代がかたよらないように、全国の市町村の選挙人名簿または住民基本台帳から何人おき、という具合にまったく無作為に選ばせていただきました。名簿の閲覧においては、お名前などを漏らさないことを書面で誓約し、法律の定めるとおり情報を厳重に管理しています。お答えは、決して漏らしません。ご安心ください。

どうしても答えたくない質問には「ノーコメント」などとお書きくださって構いません。しかしながら、多角的な研究のために、何とぞ極力ご回答をお願いします。

この質問用紙は、お預けしてご本人様に記入していただきます。

これとは別に、調査員がご本人様に就労状況などを面接方式でお聞きします。お手数ですが、合わせてご協力をお願いします。

### 回答について

- ・ご記入は、鉛筆または黒や青のボールペンなどをお願いします。
- ・質問番号順にお答えください。
- ・お答えは、回答番号に 印をつけてください。
- ・( ) や  には、具体的にご記入ください。
- ・ご記入が終わりましたら、もう一度、回答漏れがないかどうかお確かめ願います。

ご回答いただきました質問用紙は、

中央調査社の  が  月  日  に、いただきにうかがいます。

それまでにご回答くださいますようお願い申し上げます。

### 調査員記入欄



支局番号		地点番号		対象番号		A欄	C欄	D欄			調査員	点検者
						1		1	2	3		
						2		4	5	6		

最初に、あなたの日常的な生活についておうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV (AB 共通 B 票 Q1)  時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ (AB 共通 B 票 Q2)

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP (AB 共通 B 票 Q3)

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに をつけてください。

<b>DOCOMPJ</b>	<b>DOCOMP</b>	<b>DOPHS</b>	<b>DONONEX</b>
1	2	3	4
パソコン (職場・学校で)	パソコン (自宅で)	携帯電話 (PHSを含む)	いずれも利用 していない

Q4-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話 (PHS を含む) のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

<b>DOINBR</b>	<b>DOINSHOP</b>	<b>DOINBANK</b>	<b>DOINHP</b>	<b>DOINNONE</b>
1	2	3	4	5
情報検索	インターネット ショッピング	インターネット バンキング	ホームページの 作成	いずれも 行なっていない

Q4-3 あなたは、携帯電話 (PHS を含む) やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

	1日に 5回以上	1日に 3~4回	1日に 1~2回	週に 数回	週に 1回以下	まったく利用 していない
<b>FQMPTALK</b>						
A 携帯電話 (PHS を含む) での通話	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6
<b>FQMPMAIL</b>						
B 携帯電話 (PHS を含む) からの メール送信	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6
<b>FQPCMAIL</b>						
C パソコンからのメール送信	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。

FQSPORT

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行(仕事以外)をしますか。

**FQ5TRIP** (AB 共通 B 票 Q4)

1 月に数回                      2 月に1回程度                      3 年に数回                      4 年に1回程度                      5 まったくしない

Q7 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

	ほぼ毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしていない
<b>FQ7FFDNR</b>							
A 家族と一緒にの夕食-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
<b>FQ7FRSEE</b>							
B 友人との会食や集まり-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
<b>FQ7CKDNR</b> (AB 共通 B 票 Q5A)							
C 夕食の用意-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
<b>FQ7WASH</b> (AB 共通 B 票 Q5B)							
D 洗濯-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
<b>FQ7SHOP</b> (AB 共通 B 票 Q5C)							
E 買い物(日用品や食料品の買い物)	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
<b>FQ7CLEAN</b> (AB 共通 B 票 Q5D)							
F 家の掃除-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
<b>FQ7GARB</b> (AB 共通 B 票 Q5E)							
G ゴミ出し-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7

Q8 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

	よくする	時々する	あまりしない	まったくしない / 知らない
<b>FQ4DRIVE</b>				
A ドライブ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4KARA</b>				
B カラオケ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4MOVIE</b>				
C 映画鑑賞(ビデオを含む)-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4MUSIC</b>				
D 音楽鑑賞(CD・ラジオ・コンサートなど)-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4GAME</b>				
E テレビゲーム(PCゲーム・携帯用を含む)-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4GREEN</b>				
F 園芸・庭いじり-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4SHGIG</b>				
G 将棋・囲碁-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4LOTTO</b>				
H 宝くじ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>FQ4PACHI</b>				
I パチンコ・パチスロ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4

Q9 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

**OP5HLTHZ**

1 2 3 4 5  
 良い 悪い



Q10-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

**DOSMOKEX**

1  
現在  
吸っている

2  
以前は吸って  
いたがやめた

3  
ほとんど/まったく  
吸ったことはない

Q10-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

**XQTSMOKE**

1 はい 2 いいえ

Q11 あなたは、普段お酒を飲みますか。

**DO7DRINK**

1 ほとんど毎日  
2 週に数回  
3 週に1回程度  
4 月に1回程度  
5 年に数回  
6 年に1回程度  
7 まったく飲まない

Q12 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

**XTRAUM5Y** (AB 共通B票 Q12)

0 なし  
1 1回  
2 2回  
3 3回  
4 4回以上

Q13 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

満足 ←————→ 不満

( 回答例 )	1	2	3	4	5	
<b>ST5AREAY</b> (AB 共通 B 票 Q14A) A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
<b>ST5LEISY</b> (AB 共通 B 票 Q14B) B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
<b>ST5LIFEY</b> (AB 共通 B 票 Q14C) C 家庭生活	1	2	3	4	5	
<b>ST5ECNY</b> (AB 共通 B 票 Q14D) D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
<b>ST5FRIY</b> (AB 共通 B 票 Q14E) E 友人関係	1	2	3	4	5	
<b>ST5HLTHY</b> (AB 共通 B 票 Q14F) F 健康状態	1	2	3	4	5	
<b>ST5SSREL</b> (AB 共通 B 票 Q14G) G 配偶者（夫や妻）との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q14 あなたは、現在幸せですか。

**OP5HAPPZ**

1 幸せ  
2  
3  
4  
5 不幸せ

ここからは、あなたと外国語や外国人との関わりについて、おうかがいします。

Q15 あなたは過去1年間に、以下のことで英語を読んだり、聴いたり、話したりしたことが少しでもありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

- EABUS 1 仕事
- EASOC 2 外国人の友人や知人とのつき合い
- EAART 3 映画鑑賞・音楽鑑賞・読書
- EAINET 4 インターネット
- EATRIP 5 海外旅行
- EAOTHER 6 その他(具体的に )
- EANONE 7 まったく使ったことがない
- EALEARN 学習

Q16 あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに1つだけ をつけてください。

**ENGTALK**

- 1 日常生活や仕事の英会話が、充分できる
- 2 日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度
- 3 道をたずねたり、レストランで注文できる程度
- 4 あいさつができる程度
- 5 ほとんど話せない

Q17 あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに1つだけ をつけてください。

**ENGREAD**

- 1 英語の本や新聞が、スラスラ読める
- 2 英語の本や新聞を、なんとか読める
- 3 短い英語の文章なら読める
- 4 簡単な英単語ならわかる
- 5 ほとんど読めない

Q18 あなたは今後、英語を学習するつもりですか。

**WLRNENG**

- |                 |                 |               |                |
|-----------------|-----------------|---------------|----------------|
| 1               | 2               | 3             | 4              |
| 積極的に<br>学習するつもり | 機会があれば<br>学習したい | しかたなく<br>学習する | 学習する<br>つもりはない |

Q19 あえて英語以外の外国語を学ぶとすれば、あなたは何語を学ぶことに興味がありますか。もっとも興味がある外国語1つに をつけてください。

**INTFLANG**

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ドイツ語</li> <li>2 フランス語</li> <li>3 スペイン語</li> <li>4 ポルトガル語</li> <li>5 イタリア語</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>6 ロシア語</li> <li>7 中国語</li> <li>8 ハンゲル(韓国・朝鮮語)</li> <li>9 アラビア語</li> <li>10 その他(具体的に )</li> <li>「その他」の具体的記述から追加</li> <li>11 興味がある外国語はない</li> </ul> |
|---|--|



Q24 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

**XLIVEYR** (AB 共通 B 票 Q17)

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 生まれてからずっと | 5 | 5年～10年未満  |
| 2 | 1年未満      | 6 | 10年～20年未満 |
| 3 | 1年～3年未満   | 7 | 20年～30年未満 |
| 4 | 3年～5年未満   | 8 | 30年以上     |

Q25 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

**WLLIVE**

- |      |       |            |            |
|------|-------|------------|------------|
| 1    | 2     | 3          | 4          |
| ずっと  | 当分の間は | できれば       | すぐにも       |
| 住みたい | 住みたい  | 他の地域に引越したい | 他の地域に引越したい |

Q26-1 あなたは、現在、何か収入をとまなう仕事を持っていますか。

**XJOBX**

- |       |        |
|-------|--------|
| 1     | 2      |
| 持っている | 持っていない |

Q26-2 今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA**

- |        |        |         |       |
|--------|--------|---------|-------|
| 1      | 2      | 3       | 4     |
| 近いうちに  | 当分やめる  | まったくやめる | わからない |
| やめるつもり | つもりはない | つもりはない  |       |

Q26-3 今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

**OP4UNEMP**

- |       |        |       |        |       |
|-------|--------|-------|--------|-------|
| 1     | 2      | 3     | 4      | 5     |
| かなりある | ある程度ある | あまりない | まったくない | わからない |

Q26-4 もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB**

- |       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| 1     | 2     | 3      | 4     |
| 非常に   | ある程度  | 容易ではない | わからない |
| 容易である | 容易である |        |       |

Q27 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

**OP3ECN3A**

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1     | 2     | 3     |
| 良くなった | 悪くなった | 変わらない |

Q28 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

**OP5FFINX** (AB 共通 B 票 Q18)

- |        |      |      |      |       |
|--------|------|------|------|-------|
| 1      | 2    | 3    | 4    | 5     |
| 平均より   | 平均より | ほぼ平均 | 平均より | 平均より  |
| かなり少ない | 少ない  |      | 多い   | かなり多い |





Q41 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

**QDDKILLA** (AB 共通 B 票 Q25)

1	2	3
はい	いいえ	わからない

Q42 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**Q5GVEQAA**

1	2	3	4	5
賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対

Q43-1 あなたは、戦争を放棄し、戦力を持たないことを決めている憲法第 9 条を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。

**OPAMND9**

1 あると思う	2 ないと思う
↓	↓

Q43-2 それでは、第 9 条を改正する必要があると思う最大の理由は何ですか。最も近いもの 1 つに をしてください。

**WHYAMND9**

- 1 自衛隊を含めた軍事力を放棄することを明確にすべきだから
- 2 同盟国とともに海外での武力行使が行えるようにすべきだから
- 3 国連を中心とする軍事活動にも貢献できるようにすべきだから
- 4 自衛力を持つてることを憲法に明記すべきだから

Q44 女性が天皇になることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**OPEMPF**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対

Q45 皇族の女性と民間の男性との間に生まれた子どもが天皇になること（女系天皇制）に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**OPEMPFL**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対

Q46 性別にかかわらず、天皇の第一子が次の天皇になることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**OPEMP1C**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対

Q47 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY (AB 共通 B 票 Q27)

- 1 自民党
- 2 民主党
- 3 公明党
- 4 共産党
- 5 社民党
- 6 その他の政党 ( )
- 7 特に支持する政党はない
- 8 わからない

Q48 政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

- OLDPOK 1 自民党
- ODPOK 2 民主党
- OKOMEIOK 3 公明党
- OCOMMPOK 4 共産党
- OSDPOK 5 社民党
- OOTHEROK 6 その他の政党 ( )
- ONOPLPOK 7 そのような政党はない
- OPLPDONT 8 わからない

ここからは、防犯についてのあなたのお考えを、おうかがいします。

Q49 あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK

- 1 はい
- 2 いいえ

Q50 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと(例えば、強盗、恐喝やひったくり)がありますか。

XROBBD1Y

- 1 はい
- 2 いいえ

Q51 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y

- 1 はい
- 2 いいえ

Q52 あなた、またはあなたの住居の管理者は、防犯のために次のようなことをしていますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

- DOACSECC 1 警備会社と契約
- DOACCAM 2 監視カメラを設置
- DOACDOG 3 防犯のために犬を飼う
- DOACKEY 4 ドアや窓の鍵に工夫(オートロックを含む)
- DOACOTHR 5 上記以外の防犯対策(具体的に )
- DOACNONE 6 特に防犯対策はしていない
- DOACLIT 明かりに工夫

Q53 あなたは、防犯のために次のような対策をとることについて、どう思いますか。

		賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対
OPACCAM	A 路上を監視するカメラの設置-----	1	2	3	4
OPACSEXC	B 性犯罪歴のある人の住所の公表-----	1	2	3	4
OPACPTRL	C 地域住民によるパトロール-----	1	2	3	4
OPACINET	D インターネットの書き込み内容の監視---	1	2	3	4

Q54 いっしょに自殺をしてくれる仲間をインターネットなどで探す人がいます。あなたは、このような人の気持ちが理解できますか。

OPSCDIN

1	2	3	4
よく 理解できる	ある程度 理解できる	あまり 理解できない	まったく 理解できない

Q55 どうしようもない困難に陥った人は、自殺をしてもやむをえないと思いますか。

OPSCD

1	2	3	4
そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない

Q56 あなたは、ここ5年の間に「自殺をしたい」と考えたことがありましたか。

XWNTSCD

1	2	3
あった	ここ5年はないが、それ以前にはあった	一度もない

ここからは、教育についてのあなたのお考えを、おうかがいします。

Q57 一般的に、子どもにとって以下のことはどの程度重要だと思いますか。

(AB 共通 B 票 Q23A~D)

		非常に 重要である	重要である	少しは 重要である	重要でない
<b>IMEDLSSN</b>	A 習い事をする事-----	1	2	3	4
<b>IMEDCRAM</b>	B 塾や予備校に通う事-----	1	2	3	4
<b>IMEDUNIV</b>	C 大学に入ること-----	1	2	3	4
<b>IMEDHRU</b>	D 大学のなかでも高いレベルの大学に入る事-----	1	2	3	4

Q58 教育について次のような意見があります。それぞれについてあなたはどう思いますか。

(AB 共通 B 票 Q24A~C)

		そう 思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない
<b>OP4EDJOB</b>	A 高い学歴を得れば、希望する仕事につくことができる-----	1	2	3	4
<b>OP4EDINC</b>	B 高い学歴を得れば、収入面で恵まれる-----	1	2	3	4
<b>OP4EDMG</b>	C 高い学歴を得れば、よりよい結婚ができる-----	1	2	3	4

Q59 あなたご自身は、経済的な理由で進学を断念したことがありますか。

XQTEDU

1	2
あ る	な い

Q60-1 あなたは中学3年の頃、将来なりたい職業を考えていましたか。旧制の学校を卒業された方は尋常小学校や国民学校の最終学年の頃について、お答えください。

**WNTJB**

- |                    |                           |                       |                          |
|--------------------|---------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 1<br>具体的に<br>考えていた | 2<br>ぼくぜん<br>漠然と<br>考えていた | 3<br>まったく考えて<br>いなかった | 4<br>職業につこうと<br>思っていなかった |
|--------------------|---------------------------|-----------------------|--------------------------|

Q60-2 そのなかで最もなりたかった職業の内容を具体的に記入してください。  
(例えば、中学校の教員、プロ野球選手、医師、美容師、デザイナー、トラック運転手、警察官、看護師、大工、農業、職業軍人、ケーキ屋、建築技術者、パイロット、保育士、役場の事務員など)

**WNTJBX**

(具体的に)

Q60-3 その最もなりたかった職業は、あなたの親と同じ職業でしたか。

**WNTJBPM**

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q60-4 その最もなりたかった職業に、あなたはついたことがありますか。

**XWNTJOB**

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

ここからは、人づきあいや家庭生活についての、あなたのお考えをおうかがいします。

Q61-1 あなたがお住まいの地域では、次のような地域でのボランティア活動が行なわれていますか。行なわれているものすべてにをつけてください。

- |                              |                                     |                                    |  |                           |
|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------|
| <b>LACLN</b><br>1<br>地域の清掃活動 | <b>LARCYC</b><br>2<br>リサイクル品の<br>回収 | <b>LAPTRL</b><br>3<br>地域の<br>パトロール | <b>LANONE</b><br>4<br>いずれも<br>行なわれていない | <b>LADK</b><br>5<br>わからない |
|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------|

Q61-2 あなた自身はそのような活動に参加していますか。参加しているものすべてにをつけてください。

- |                                |                                       |                                      |   |
|--------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| <b>DOLACLN</b><br>1<br>地域の清掃活動 | <b>DOLARCYC</b><br>2<br>リサイクル品の<br>回収 | <b>DOLAPTRL</b><br>3<br>地域の<br>パトロール | <b>DOLANONE</b><br>4<br>いずれも<br>参加していない |
|--------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|

Q62 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

**APPCCSXB**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 男の子 | 2 女の子 |
|-------|-------|



Q67-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

**DORL** (AB 共通 B 票 Q9-1)

1 ある

2 特に信仰していないが、家の宗教はある

3 ない

Q67-2 それは何ですか。

**XXRL** (AB 共通 B 票 Q9-2)

(具体的に )

Q67-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

**DO3PIOUS** (AB 共通 B 票 Q9-3)

1 熱心である

2 まあまあ熱心である

3 そんなに熱心ではない

Q68 次にあげる A~O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

		とても 信頼している	少しは 信頼している	ほとんど 信頼していない	わからない
<b>TR3CORPZ</b>	A 大企業	1	2	3	4
<b>TR3RLGPZ</b>	B 宗教団体	1	2	3	4
<b>TR3SCHLZ</b>	C 学 校	1	2	3	4
<b>TR3BCRAZ</b>	D 中央官庁	1	2	3	4
<b>TR3UNNZ</b>	E 労働組合	1	2	3	4
<b>TR3NWSPZ</b>	F 新 聞	1	2	3	4
<b>TR3HSPLZ</b>	G 病 院	1	2	3	4
<b>TR3TVZ</b>	H テレビ	1	2	3	4
<b>TR3SPCAZ</b>	I 裁判所	1	2	3	4
<b>TR3ACDAZ</b>	J 学者・研究者	1	2	3	4
<b>TR3CGMNZ</b>	K 国会議員	1	2	3	4
<b>TR3CITYZ</b>	L 市区町村議会議員	1	2	3	4
<b>TR3DEFZ</b>	M 自衛隊	1	2	3	4
<b>TR3COPZ</b>	N 警 察	1	2	3	4
<b>TR3FINZ</b>	O 金融機関	1	2	3	4

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

**WEIGHT**

B票

2006年10月

JGSS-2006 留置調査票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第6回 生活と意識についての国際比較調査」

(調査企画) 大阪商業大学 比較地域研究所  
東京大学 社会科学研究所  
(調査実施) 社団法人中央調査社

この調査は、文部科学省からの研究助成を得て、現代の日本の社会や人びとの考え方について、さまざまな分野から研究するための共同学術調査です。どうかご協力をお願い申し上げます。

調査対象者については、地域や性別、年代がかたよらないように、全国の市町村の選挙人名簿または住民基本台帳から何人おき、という具合にまったく無作為に選ばせていただきました。名簿の閲覧においては、お名前などを漏らさないことを書面で誓約し、法律の定めるとおり情報を厳重に管理しています。お答えは、決して漏らしません。ご安心ください。

どうしても答えたくない質問には「ノーコメント」などとお書きくださって構いません。しかしながら、多角的な研究のために、何とぞ極力ご回答をお願いします。

この質問用紙は、お預けしてご本人様に記入していただきます。

これとは別に、調査員がご本人様に就労状況などを面接方式でお聞きします。お手数ですが、合わせてご協力をお願いします。

### 回答について

- ・ご記入は、鉛筆または黒や青のボールペンなどをお願いします。
- ・質問番号順にお答えください。
- ・お答えは、回答番号に 印をつけてください。
- ・( ) や  には、具体的にご記入ください。
- ・ご記入が終わりましたら、もう一度、回答漏れがないかどうかお確かめ願います。

ご回答いただきました質問用紙は、

中央調査社の  が  月  日に、いただきにうかがいます。  
それまでにご回答くださいますようお願い申し上げます。

### 調査員記入欄



支局 番号	地点 番号	対象 番号	A 欄	C 欄	D 欄	調査員	点検者
			1		面問 15 : 1 2 3 4 5 6		
			2		 留問 BQ47: 1 2 3		

最初に、あなたの日常的な生活についておうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV(AB 共通 A 票 Q1)

--	--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ(AB 共通 A 票 Q2)

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP(AB 共通 A 票 Q3)

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行(仕事以外)をしますか。

FQ5TRIP(AB 共通 A 票 Q6)

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしない

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

	ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
FQ7CKDNR(AB 共通 A 票 Q7C)							
A 夕食の用意-----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH(AB 共通 A 票 Q7D)							
B 洗濯-----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP(AB 共通 A 票 Q7E)							
C 買い物(日用品や食料品の買い物)	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN(AB 共通 A 票 Q7F)							
D 家の掃除-----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB(AB 共通 A 票 Q7G)							
E ゴミ出し-----	1	2	3	4	5	6	7

Q6-1 あなたの家では、現在、犬・猫またはその他のペットを飼っていますか。あてはまるものすべてにつけてください。

DOPDOGE	DOPDOGI	DOPCATE	DOPCATI	DOPOTHR	DOPNONE
1	2	3	4	5	6
犬(室外で)	犬(室内で)	猫(室外で)	猫(室内で)	その他のペット	何も飼っていない

↓

Q6-2 あなた自身は、そのペットの世話をしていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

DOPCDOGE	DOPCDOGI	DOPCCATE	DOPCCATI	DOPCOTHR	DOPCNONE
1	2	3	4	5	6
犬(室外で)	犬(室内で)	猫(室外で)	猫(室内で)	その他のペット	世話はしていない

↓

Q7 あなたは、これまでに、飼っていた犬または猫の死を経験したことがありますか。

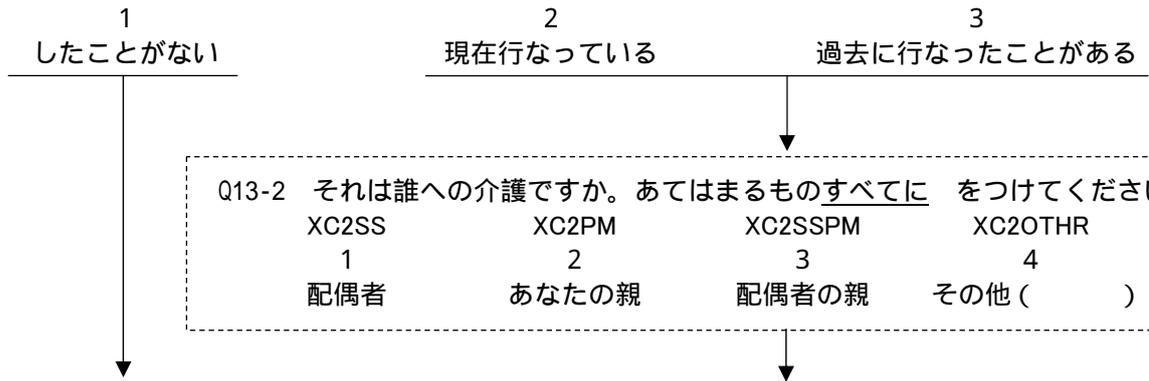
XDTHPET

1	2
ある	ない



Q13-1 あなたは、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。

XCARE



Q14 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

満 足 ← → 不 満

( 回答例 )	1	2	3	4	5	
ST5AREAY(AB 共通 A 票 Q13A) A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY(AB 共通 A 票 Q13B) B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY(AB 共通 A 票 Q13C) C 家庭 生活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY(AB 共通 A 票 Q13D) D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY(AB 共通 A 票 Q13E) E 友 人 関 係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY(AB 共通 A 票 Q13F) F 健 康 状 態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL(AB 共通 A 票 Q13G) G 配偶者(夫や妻)との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q15 あなたは、現在の生活全般に満足していますか。

STALLLF

非常に満足 ← → 非常に不満

1 2 3 4 5

ここからは、あなたの暮らし向きや政治に関するお考えについておうかがいします。

Q16-1 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE(AB 共通 A 票 Q23-1)

- 1 持ち家(親などが持ち主の場合も含む)
- 2 民間の賃貸住宅
- 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 その他(具体的に\_\_\_\_\_)







Q35 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ

Q7FFAUTH

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

B 親の誇りとなるように、子どもは努力するべきだ

Q7FFHNR

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

C 長男が、多くの財産を相続するべきだ

Q7FFMAN

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

D 親の世話をした子どもが、多くの財産を相続するべきだ

Q7FFCARE

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

E 家系の存続のためには、息子を少なくとも1人もつべきだ

Q7FFNDMN

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

F 先祖伝来の墓は、大切に守って子どもに伝えるべきだ

Q7FFGRV

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

Q36 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫と妻の両方の親族が、妻の助けを必要としている時には、妻は夫の親族を優先して助けるべきだ

Q7PRMAN

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

B 自分の幸福よりも、家族の幸福や利益を優先するべきだ

Q7PRFF

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえは賛成	どちらともいえない	どちらかといえは反対	反対	強く反対

Q37-1 あなたご自身のご両親との関係についておうかがいします。あなた自身のご両親はご存命ですか。

PMDTH

1	2	3	4
両親とも存命	父親のみ存命	母親のみ存命	両親ともすでに亡くなっている

Q37-2 過去1年間に、あなたはご自身の親へ、次のことをどの程度しましたか。

		あなた	親	非常に 頻繁に	頻繁に	時々	ほとん どない	まった くない
HLPE2PM	A 経済的な支援-----	1	2	3	4	5		
HLPP2PM	B 家事(掃除・料理・買い物・雑用 など)や介護-----	1	2	3	4	5		

Q37-3 過去1年間に、あなたの親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

		親	あなた	非常に 頻繁に	頻繁に	時々	ほとん どない	まった くない
HLPEFPM	A 経済的な支援-----	1	2	3	4	5		
HLPPFPM	B 家事(掃除・料理・買い物・雑用 など)や育児-----	1	2	3	4	5		

Q37-4 ご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

		非常に良い					非常に悪い	亡くなっている
PPHLTH	あなたの父親--	1	2	3	4	5	6	
MMHLTH	あなたの母親--	1	2	3	4	5	6	

ここからは、結婚や夫婦の関係について、あなたのご意見をおうかがいします。

Q38 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫は、妻より年上であるべきだ

Q7MGOLD

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

B 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

Q7MGCC

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

C 結婚している男性は、結婚していない男性より幸せだ

Q7MGMNHP

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

D 結婚している女性は、結婚していない女性より幸せだ

Q7MGWNHP

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

E 結婚するつもりがなくても、男女が同棲するのはかまわない

Q7MGCOH

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

F 離婚したくても、子どもが大きくなるまで待つべきだ

Q7MGDVCC

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

G 結婚生活がうまくいかなかったら、たいていの場合、離婚するのが一番よい

Q7MGDVGD

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q39 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ
- 2 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい
- 3 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい
- 4 わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでもよい

Q40 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 妻にとっては、自分自身の仕事よりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

Q7WWHPHH

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

B 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q7WWHHX

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

C 男性はもっと家事をするべきだ

Q7WWMNCK

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

D 景気が悪いときには、男性よりも女性を先に解雇してよい

Q7WWLOFF

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q41 次の意見について、あなたはどのように思いますか。

A 夫婦が離婚した後、子どもは両方の親と接するほうがよい

OPDVCNT

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

B 結婚相手の連れ子に対しても、実の親と同じように育てることができる

OPDVSTEP

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

C ひとり親家庭であっても、子どもは立派に育つ

OPDVSQL

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

ここからは、あなたご自身の家庭生活について、おうかがいします。

Q42 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒に夕食をとることがどのくらいありますか。(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

FQFFDNRE

1	2	3	4	5	6	7	8
ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	年に1回 もない	家族とは一緒に 暮らしていない

Q43 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒にレジャー活動を行なうことがどのくらいありますか。(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

FQFFLSR

1	2	3	4	5	6	7	8
ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	年に1回 もない	家族とは一緒に 暮らしていない

Q44 あなたは家族と一緒に夕食をとるときに、以下のものをどの程度利用していますか。ひとり暮らしの方は、あなたご自身のことについてお答えください。

FQFDOUT

A 外食----- 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7

FQFDBOX

B 市販の弁当----- 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7

FQFDFRZN

C 市販の惣菜・調理済み冷凍食品 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7

Q45 あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。ある方は何回ありますか。

XMARRY

NUMMARRY

1

2

回結婚したことがある

結婚したことがない →

これで終わりです。  
長時間のご協力、誠にありがとうございました。

Q46 結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

AGE1MG

AGE2MG

AGE3MG

AGE4MG

1回目  歳    2回目  歳    3回目  歳    4回目  歳

Q47 現在、配偶者（夫や妻）はいますか。

DOMARRYZ

1 現在、配偶者がいる

2 離婚した

3 死に別れた

15 ページ Q62 へ

14 ページ Q57-1 へ

Q48 配偶者の方の現在の年齢を教えてください。

SPAGEZ

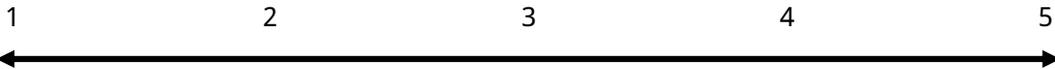
		歳
--	--	---

Q49 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHE

非常に良い

非常に悪い



Q50 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

	ほぼ毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしていない
SSFQ7CK A 夕食の用意-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
SSFQ7WSH B 洗濯-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
SSFQ7SHP C 買い物(日用品や食料品の買い物)	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
SSFQ7CLN D 家の掃除-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
SSFQ7GRB E ゴミ出し-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7

Q51-1 あなたの配偶者は、家族を介護（1ヶ月以上）したことがありますか。（あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含まれます）

SSCARE

1  
したことがない

2  
現在行なっている

3  
過去に行なったことがある

Q51-2 それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてにをつけてください。

SSC2R	SSC2PM	SSC2SSPM	SSC2OTHR
1	2	3	4
あなた	あなたの親	配偶者の親	その他( )

Q52 あなたの配偶者は、あなたの悩みを聞いてくれますか。

SSTRLSTN

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q53 あなたの配偶者は、あなたに悩みを打ち明けてくれますか。

SSTRSPK

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q54 次のことは、主にどなたが決めていますか（決めていましたか）。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	いつも私	だいたい私	私と配偶者が同程度に	だいたい配偶者	いつも配偶者	その他の家族	そのようなことを決める機会はなかった
DMCCED							
A 子どものしつけや教育----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5	6	7
DMPPSPPT							
B 自分の親の世話の仕方----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5	6	7
DMEXP							
C 家計の管理-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5	6	7
DMHIEXP							
D 高価な品物の購入-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5	6	7

Q55-1 配偶者のご両親はご存命ですか。

PMLDTH

1	2	3	4
両親とも存命	父親のみ存命	母親のみ存命	両親ともすでに亡くなっている

Q55-2 過去1年間に、あなたは配偶者の親へ、次のことをどの程度しましたか。

あなた	配偶者の親	非常に頻繁に	頻繁に	時々	ほとんどない	まったくない
HLPE2PML	A 経済的な支援-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5
HLPP2PML	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5

Q55-3 過去1年間に、配偶者の親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

配偶者の親	あなた	非常に頻繁に	頻繁に	時々	ほとんどない	まったくない
HLPEFPML	A 経済的な支援-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5
HLPPFPML	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児-----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5

Q55-4 配偶者のご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

	非常に良い	非常に悪い	亡くなっている
PPLHLTH	配偶者の父親-- 1 2 3 4 5 6		
MMLHLTH	配偶者の母親-- 1 2 3 4 5 6		

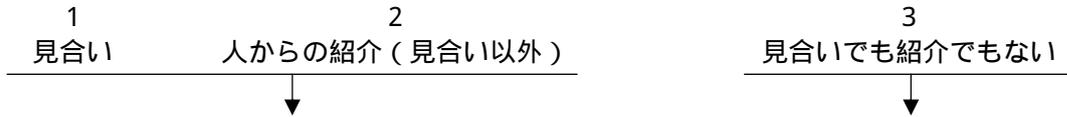
Q56 あなたは、現在の結婚生活に全体として満足していますか。

STMGLF

非常に満足	非常に不満
1	5
2	
3	
4	

ここからは、あなたが結婚した時のことについておうかがいします。  
再婚した方は、一番最近の結婚についてお答えください。

Q57-1 あなたは配偶者の方とどのようなかたちで出会いましたか。  
FSTMTSS



Q57-2A どなたがお相手を紹介したり、見合いの準備をしたりしましたか。

WHOINTSS

- 1 きょうだい・いとこ
- 2 親・その他の親族
- 3 友人・クラスメイト
- 4 同僚
- 5 近所の人
- 6 結婚相手を紹介する個人や機関
- 7 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q57-2B どこで配偶者の方と出会いましたか。

WHRMTSS

- 1 近所で
- 2 学校で
- 3 職場で
- 4 その他の機会  
（具体的に\_\_\_\_\_）

Q58 配偶者の方にとって、あなたとの結婚は初婚でしたか、再婚でしたか。

XSSRMG

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 初 婚 | 2 再 婚 |
|-------|-------|

Q59 あなたが配偶者の方との結婚を決めた時、あなたの親の意見はどの程度影響しましたか。

INFLPMMG

- 1 かなり影響した
- 2 ある程度影響した
- 3 あまり影響しなかった
- 4 まったく影響しなかった
- 5 親はその時すでに亡くなっていた

Q60 結婚後、あなたは、あなた自身の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

HLPMPGM

- 1 かなり受けた
- 2 少し受けた
- 3 まったく受けていない
- 4 親は結婚前に亡くなっていた

Q61 結婚後、あなたは、配偶者の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

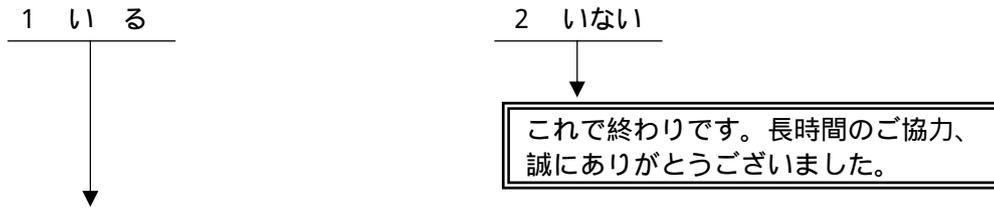
HLPMPML

- 1 かなり受けた
- 2 少し受けた
- 3 まったく受けていない
- 4 配偶者の親は結婚前に亡くなっていた

最後に、お子さんとのご関係についておうかがいします。

Q62 あなたには、18歳以上の子どもがいますか。

XCC18



Q63 18歳以上のお子さんのうち、日ごろ、あなたともっともよく接しているのは、次のうちどなたですか。電話やメール、インターネットでのやり取りも含みます。やり取りが同じくらいのお子さんが、2人以上いる場合は、最近、もっともよく話しているお子さん1人を選んでください。

CC18CNT

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 息子（長男）   | 5 娘（長女）の夫    |
| 2 息子（長男以外） | 6 娘（長女以外）の夫  |
| 3 娘（長女）    | 7 息子（長男）の妻   |
| 4 娘（長女以外）  | 8 息子（長男以外）の妻 |

Q64 そのお子さんとは同居されていますか。

LVTGCC18

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q65 過去1年間に、あなたはその子どもへ、次のことをどの程度しましたか。

		あなた	その子ども		非常に <small>ひんぱん</small> 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど ない	まったく ない				
HLPE2CC	A	経済的な支援-----			1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
HLPP2CC	B	家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や 育児-----			1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5

Q66 過去1年間に、その子どもはあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

		その子ども	あなた		非常に <small>ひんぱん</small> 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど ない	まったく ない				
HLPEFCC	A	経済的な支援-----			1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
HLPPFCC	B	家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や 介護-----			1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。

WEIGHT



文部科学省指定

学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第6回 生活と意識についての国際比較調査」 ご協力をお願い

私ども[大阪商業大学 比較地域研究所]と[東京大学 社会科学研究所]では、文部科学省からの助成を受け、1999年から継続して調査研究を行なっております。今回、第6回目の調査の実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、余暇活動など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で正確に把握し、その結果を社会に還元することです。調査結果は、これまでに日本や海外のさまざまな教育・研究機関において活用され（学生など、のべ約7,000人）、日本人の意識や行動の傾向や、現代社会のさまざまな問題が分析されております。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることはございません。調査の実施を委託しております(社)中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が10月3日～12月3日の間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいた図書カード(500円分)は、突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びとしてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500円分)とペンセットを御用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2006年10月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎(大阪商業大学 学長・教授)

仁田 道夫(東京大学社会科学研究所・教授)



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第6回 生活と意識についての国際比較調査」について

(調査企画) 大阪商業大学 比較地域研究所  
東京大学 社会科学研究所  
(調査実施) 社団法人 中央調査社

### 調査の目的

この調査は、学術調査として文部科学省からの指定を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外のさまざまな教育・研究機関、行政機関において活用され、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会の問題が分析されます。

### 調査の時期

調査は10月3日～12月3日までの2ヶ月間に全国いっせに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだプロの調査員が、皆様のご都合をお聞きしてから、調査を実施します。調査員は調査員証(図：右)を携帯しております。



### ご協力をお願いする回答者の皆様

9月1日時点で日本に在住する満20～89歳の8,000人の方々です。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民リスト(選挙人名簿または住民基本台帳)を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきという具合に、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

### お問い合わせ先(勝手ながら、お電話は月～金曜日の9:00～17:00にお願いいたします)

#### ○調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

社団法人 中央調査社 E-mail: office@crs.or.jp  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 TEL:0120-48-5351(フリーダイヤル)

#### ○調査の趣旨や調査の内容についてのご質問

大阪商業大学 JGSS事務局(担当:岡本) E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL: 06-6785-6013  
FAX: 06-6785-6011

東京大学 社会科学研究所(担当:三輪) E-mail: miwa@iss.u-tokyo.ac.jp  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL: 03-5841-4977  
FAX: 03-5841-4905

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

## [Q&A] よくあるご質問と回答

### ◇ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、文部科学省からの指定を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。日常的生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動の基礎的なデータ（資料）を集めます。調査は毎年、または2年に1回、継続して行なわれ、今回で6回目となります。外国の調査結果と比較しながら分析され、さまざまな教育・研究機関や行政機関において活用されています（これまでに学生などのべ約7,000人）。

### ◇ どんな質問？

お仕事、レジャー、家族関係、友人関係、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

### ◇ どんな調査方法？

まず、調査員が皆様のご都合をお聞きします。調査にご協力いただける場合には、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡しください。

### ◇ 調査員はいつ来るの？

10月3日から12月3日までの間にうかがいます。

### ◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約500箇所を選び、それぞれの地点でさらに約15人の方々（合計で8,000人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、そのリストから何人おきという具合に、まったく無作為に選ばれています（20歳～89歳の男女個人を対象に、層化2段無作為抽出法で、全国526地点、各地点から15名程度）。

### ◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡いただければ幸いです。

### ◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。口頭での面接の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

### ◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約 1 年半後（2008 年 3 月）に、結果をまとめた基礎集計と研究論文集が出版されます。2000 年度の調査結果については、『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』として有斐閣より解説書が出ています（図：左）。また、調査の概要、プロジェクトのメンバー、研究報告（図：中）、基礎集計、質問内容、個人情報保護への取り組みなどは、ホームページ（図：右）

（<http://jgss.daishodai.ac.jp>）にも掲載されています。



### ◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する（社）中央調査社は、（財）日本情報処理開発協会の審査を受け、適正なプライバシー保護を行なっている機関の証となる「プライバシーマーク（図：左）」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、回答結果や誰にアンケートを行なったのかを第三者に漏らすことは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、専門的な知識や実践能力、倫理観を身につけた複数の「専門社会調査士」（社会調査士資格認定機構が認定）が指導にあたります。回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果や分析からは回答者個人を特定することはできません。個人情報情報は一定期間後、破棄します。本調査プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動を続けることができております。2003 年 11 月 28 日には、（財）日本統計協会から平成 15 年度「統計活動奨励賞」をいただいております（図：右）。



調査にご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社（TEL: 0120-48-5351 / [office@crs.or.jp](mailto:office@crs.or.jp)）までご一報いただければ幸いです。

## これまでの調査を生かした結果の一部

性別や年齢で、働き方はどうちがっているの？

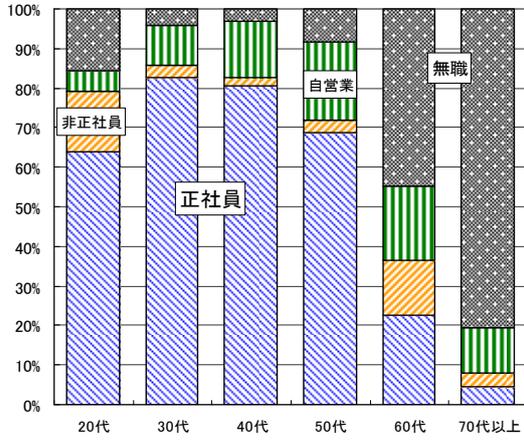


図1 男性の働き方 (2000-2003)

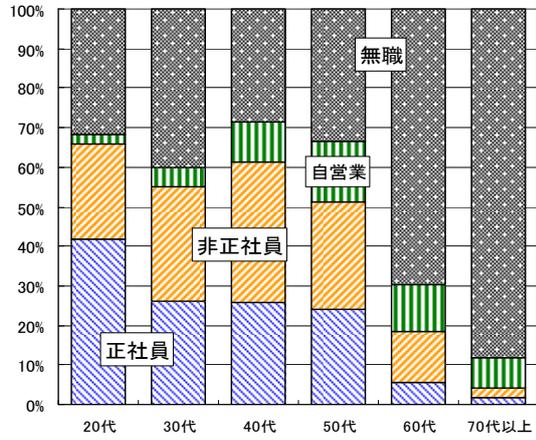


図2 女性の働き方 (2000-2003)

注) 非正社員は、派遣社員、臨時雇用・パート、内職。自営業には、家族従業員を含む。ウエイト値を使用。

パソコンや携帯電話は、どのくらいの人が使っているの？

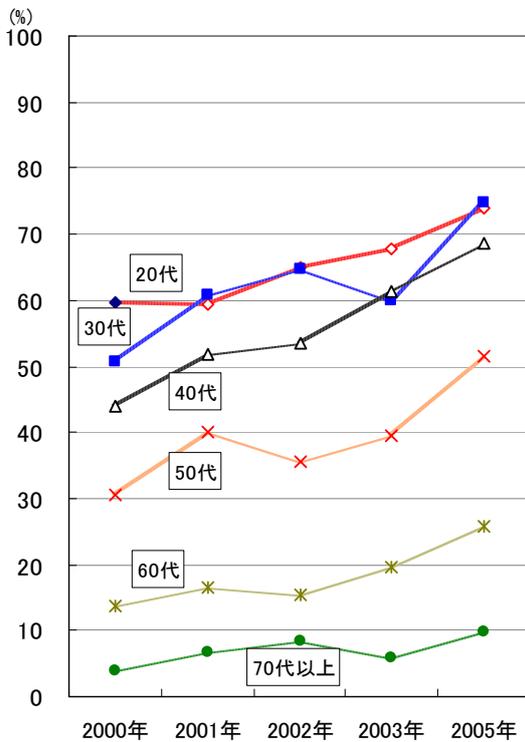


図3 パソコンの利用率の推移

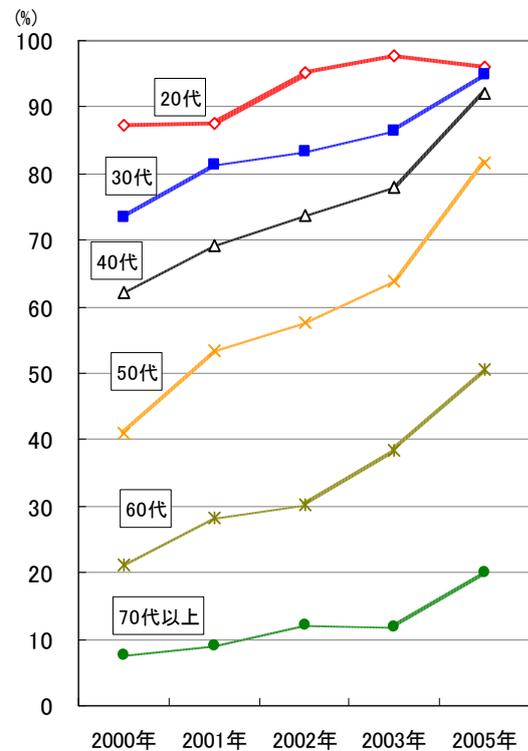


図4 携帯電話の利用率の推移

皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。



## 第6回 生活と意識についての国際比較調査

### 〔 調査要領 〕

2006年10月(社)中央調査社

#### 1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票（ページユ）	
回答票	面接調査で使用
補助用紙（緑色）	面接調査で必要があれば使用
留置調査票 A（青色）	対象者名簿の指示通り使用
留置調査票 B（ふじ色）	対象者名簿の指示通り使用
郵送用依頼状（封書）	調査員が事前に対象者に郵送 500 円分の図書カード同封
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書カード 500 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	対象者から提示が求められることがある
その他	（何かあれば中央調査社が記入）

#### 2. この調査の特徴

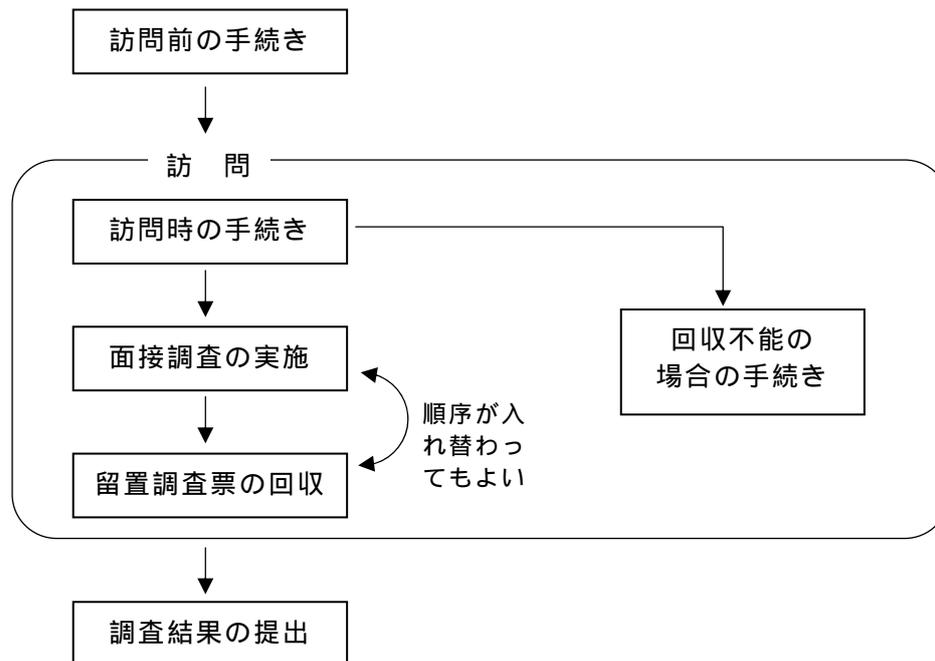
「生活と意識についての国際比較調査」は、正式名称を JGSS (Japanese General Social Surveys=日本版総合的社会調査) とし、過去に 5 回行なわれている継続調査である。社会科学の諸分野にわたる大学研究者たちが共同で行なっている学術調査であり、文部科学省からの助成を受けて実施されている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に調査しており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている（対象者への説明は 8 ページ参照）。

調査の実施にあたって、特に以下の点については、他の調査と異なる場合が多いので、注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・ 1 人の対象者が 2 つの調査票（面接調査票と留置調査票）に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・ 留置調査票は、A 票と B 票の 2 種類がある。A 票・B 票のどちらを使うかは、回答者ごとに事前に決まっているので、対象者名簿の記載どおりに使用する。
- ・ 対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。この依頼状のなかには、500 円分の図書カードが既に同封されている。調査に協力してくれた回答者には、さらに 500 円分の図書カード（合計 1000 円分）を渡すこと。
- ・ どのような理由でも予備対象者との置き換えは行なわない（予備は用意していない）。

### 3. 調査の流れ

調査員は以下の流れで調査を実施する。



### 4. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

#### a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。また、今回の調査では、留置票が AB の 2 種類用意されている。対象者名簿に記載されている通りに留置票を用いる。

#### b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 9 月 1 日現在のものになっていることを本紙 9 ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。また、「対象数」の欄には、留置票 AB のそれぞれの数が記載されている。留置票が数通りに配布されているか確認する。留置票 AB は、各調査地点の対象者に ABAB...（または BABA...）の順に、交互に振り分けられている。

#### c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する（このなかには持参する 500 円分の図書カードとは別に、500 円分の図書カードが既に同封されている）。訪問を予告することで警戒をやわらげる意味があるので、必ず発送すること。発送の時期は、訪問の 2 週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

5. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

b) 訪問日時の記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでよい。

(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	午前・午後 11時 15分頃	本人 家族のみ <del>不在</del>
2	9月 11日(日)	午前・ <del>午後</del> 2時 00分頃	本人 <del>家族のみ</del> 不在
3	9月 12日(月)	午前・ <del>午後</del> 3時 30分頃	<del>本人</del> 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

本人と会えた際の訪問まで記録  
その後の記録は不要

c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。不在が多い場合も、会うことができるまで何度でも訪問する(7ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、「その対象者を、4日以上にわたって訪問する」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない(拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る)。

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日=計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない(ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、調査の趣旨を理解してもらい、できるかぎり多くの方に協力をしてもらえるように努力する(ノルマはないが、逆にこれで十分という上限もない)。以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる(持参用依頼状: お願いの文書と説明のパンフレットの両方を見せながら)。
- ・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
- ・清潔な服装をこころがける(ただし、訪問販売と誤解されそうな服装は避ける)。
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、文部科学省の助成、社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に5回行われている、他の人では回答できない、対象者が選ばれた理由、プライバシーの保護、必要な時間、すべて答えなくてもよい、等々(依頼状・パンフレットや本紙の8ページなどを参照)

e) 謝礼品について

持参した図書カードは、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。回収不能になった場合でも、ペンセットは渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける（電話ボックスでの置き忘れなどがよく発生する）。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

6. 面接調査の実施

調査への協力が承諾されたならば、面接調査票と留置調査票の両方に回答をしてもらう。状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中の網がけ（）の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票 〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 24-2（同居家族が 9 人以上の場合）、問 25-2（一時別居家族が 5 人以上の場合）、問 35 と問 36（子どもが 5 人以上の場合）のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

f) 年齢の記入について

対象者本人の年齢は「9月1日現在の」年齢であるが、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、9月1日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。対象者が対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢を年号や西暦で答えた場合は、9 ページの年齢早見表（0 歳から 100 歳まで記載されている）を参照する。対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、対象者本人もはっきり覚えていないことが多いため、あまり厳密に考えることはない。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている場所の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみでの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。
- ・職業の内容を詳しく聞くときには、特に、資格が必要な仕事かどうか注意到する。例えば、「福祉関係の仕事」では資格が要るかどうか分からないので、「ケアマネージャー」「介護福祉士」「訪問介護の手伝い(資格はない)」などと、資格の有無を含めて、職業の内容を記述する。また、物を作る仕事の場合には、手作業で行う仕事なのか、機械を操作する仕事なのかを区別するように注意する。例えば、「人形作り」では手作業か機械操作かわからないので、「手作業で人形に色付けをする仕事」「人形の型に材料を流し込む機械の操作」というように詳しく記述する。
- ・楷書体で丁寧に書く(面接時に速記しても、後で書き直しておく)。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。  
(例)セイ産技術 生産技術、コセキジム 戸籍事務、ジキ 磁気、ソージ 掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。  
(例)大学ノ教授 大学の教授、子供服ノ販売 子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。  
(例)「公用車、運転業務」 「公用車の運転業務」  
「看護婦、市立病院」 「市立病院の看護婦」 など

#### h) 同居家族成員や親、子どもの設問について

今回の調査では、問 24-2、問 25-2、問 30、問 31、問 35、問 36 といった回答者の家族や親族の一人一人の情報を聞き取る設問が非常に多くなっている。これらの設問は、回答票の使用や、調査時間の短縮を考慮して、タテ方向(列方向=人単位)ではなく、ヨコ方向(行方向=設問単位)の順序で尋ねること。

#### i) 面接調査後の記入

面接票・留置 A 票・留置 B 票の表紙下部の D 欄には、面接票 問 15(婚姻状態)の回答と同じ数字に をつける。面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

### 7. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

#### a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す（記入していないと、ずさんな調査という印象をもたれることがある）。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。当然であるが、約束の日時には必ず訪問する。

d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行う。

- ・「様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」  
 「かまわない」 確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。  
 記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。  
 「見られたくない」 回答者本人に、記入漏れがないかもう一度確認してもらう。
- ・この確認作業の際、今回の調査では次のことに特に注意する。面接票問 15 と留置 B 票 Q47 の設問（両方とも婚姻状態の設問）は同一である。この 2 つの設問で回答が異なることは重大な矛盾になる。留置 B 票回収時に面接票問 15 と留置 B 票 Q47 の回答が一致しているかを、留置 B 票の表紙「D 欄」で確認する。（問 15 と Q47 が 1-1（有配偶） 2-2（離別） 3-3（死別） 4-[回答なし]（未婚）のように対応しているかを確認する。問 15 が 5（別居中）や 6（同棲中）の場合は、どう対応していても構わない）不一致の場合は、回答者に修正を求めること。

e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号」を 印で囲む。

8. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄の面接不能 / 回収不能に印を付ける。
- ・面接調査票の 2 ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「欠票 No.」に、面接調査票の「調査不能の理由」から番号を転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」の上から × 印を付ける。

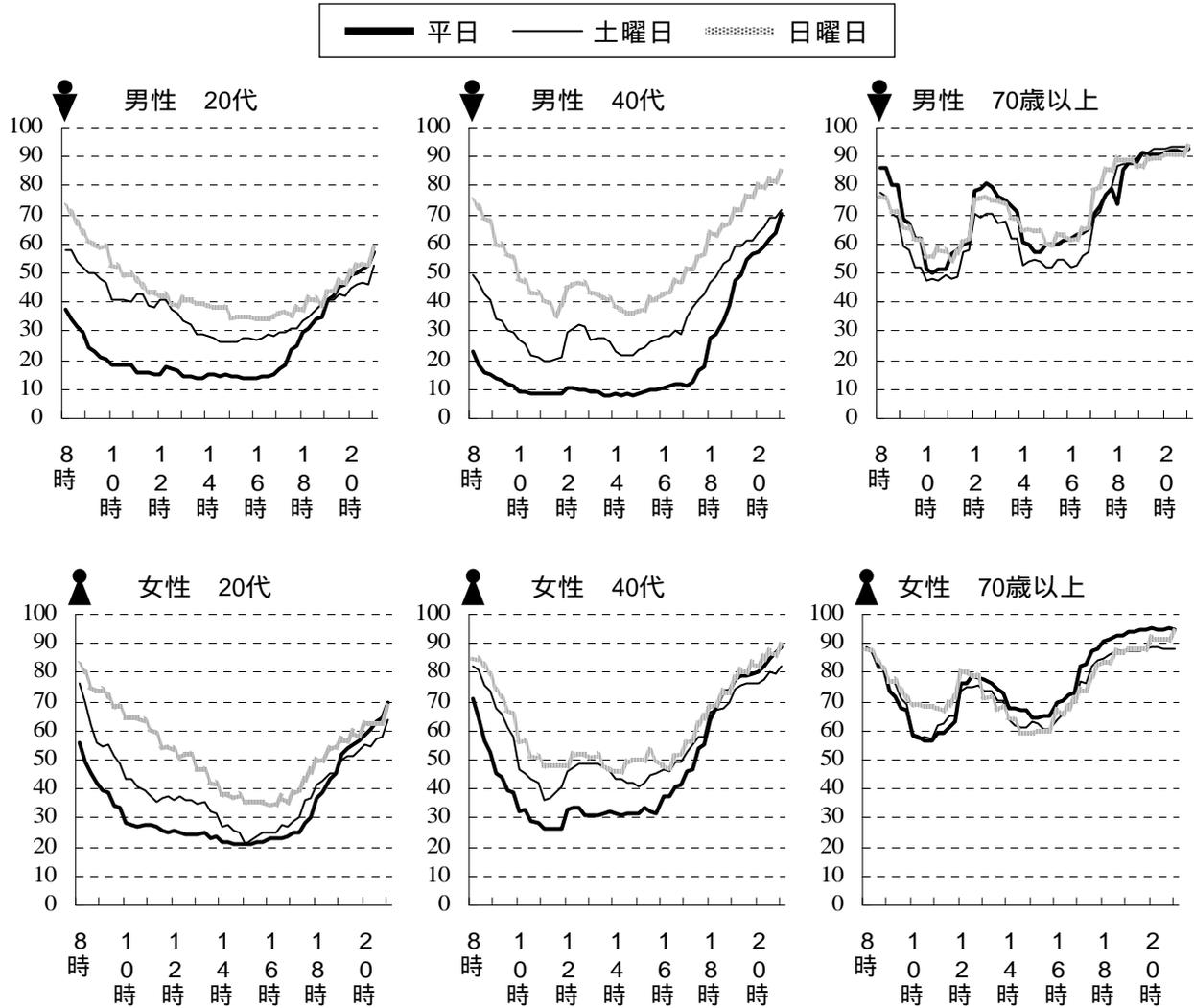
9. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・対象者名簿の「対象番号」に 印か × 印のいずれかが付いていることを確認する。
- ・1 人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。  
 （調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する）
- ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

## 在宅率の情報

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



## 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例

### Q.この調査の目的は？

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを分析し、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

### Q.依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。1999年から継続しています。

### Q.どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約 500 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名を選ばせていただきました（合計で 8,000 人の回答者になります）。回答者は、全国の自治体の住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民リストを閲覧しています。

### Q.どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から約 500 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 8,000 人を無作為に選びました。

### Q.どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、だいたい面接 20 分、留め置きに 20 分程度です。

### Q.家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

### Q.プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

### Q.どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

### Q.調査の結果は発表するのか？

調査実施から約 1 年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なっています。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS のホームページ ..... <http://jgss.daishodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ ..... <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

### 年齢早見表（2006年版）

対象者本人の年齢は、9月1日現在のものとするが、目安であり厳密でなくてよい。この表は、誕生日が1月1日～9月1日の場合の年齢を示している。誕生日が9月2日以降の場合は、年齢を1つ引くこと。

また、面接票のなかでは、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢も聞いている。対象者以外の人年齢は、9月1日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。年号や西暦で答えた場合に、この表を参照すればよい。誕生日の月日まで答えた場合は、誕生日が調査時点以降の場合に、年齢を1つ引くこと。

年号	西暦	干支	年齢
明治 39	1906	午 うま	100
40	1907	未 ひつじ	99
41	1908	申 さる	98
42	1909	酉 とり	97
43	1910	戌 いぬ	96
44	1911	亥 いのしし	95
45/元	1912	子 ねずみ	94
大正 2	1913	丑 うし	93
3	1914	寅 とら	92
4	1915	卯 うさぎ	91
5	1916	辰 たつ	90
6	1917	巳 へび	89
7	1918	午 うま	88
8	1919	未 ひつじ	87
9	1920	申 さる	86
10	1921	酉 とり	85
11	1922	戌 いぬ	84
12	1923	亥 いのしし	83
13	1924	子 ねずみ	82
14	1925	丑 うし	81
15/元	1926	寅 とら	80
昭和 2	1927	卯 うさぎ	79
3	1928	辰 たつ	78
4	1929	巳 へび	77
5	1930	午 うま	76
6	1931	未 ひつじ	75
7	1932	申 さる	74
8	1933	酉 とり	73
9	1934	戌 いぬ	72
10	1935	亥 いのしし	71
11	1936	子 ねずみ	70
12	1937	丑 うし	69
13	1938	寅 とら	68
14	1939	卯 うさぎ	67

年号	西暦	干支	年齢
昭和 15	1940	辰 たつ	66
16	1941	巳 へび	65
17	1942	午 うま	64
18	1943	未 ひつじ	63
19	1944	申 さる	62
20	1945	酉 とり	61
21	1946	戌 いぬ	60
22	1947	亥 いのしし	59
23	1948	子 ねずみ	58
24	1949	丑 うし	57
25	1950	寅 とら	56
26	1951	卯 うさぎ	55
27	1952	辰 たつ	54
28	1953	巳 へび	53
29	1954	午 うま	52
30	1955	未 ひつじ	51
31	1956	申 さる	50
32	1957	酉 とり	49
33	1958	戌 いぬ	48
34	1959	亥 いのしし	47
35	1960	子 ねずみ	46
36	1961	丑 うし	45
37	1962	寅 とら	44
38	1963	卯 うさぎ	43
39	1964	辰 たつ	42
40	1965	巳 へび	41
41	1966	午 うま	40
42	1967	未 ひつじ	39
43	1968	申 さる	38
44	1969	酉 とり	37
45	1970	戌 いぬ	36
46	1971	亥 いのしし	35
47	1972	子 ねずみ	34
48	1973	丑 うし	33

年号	西暦	干支	年齢
昭和 49	1974	寅 とら	32
50	1975	卯 うさぎ	31
51	1976	辰 たつ	30
52	1977	巳 へび	29
53	1978	午 うま	28
54	1979	未 ひつじ	27
55	1980	申 さる	26
56	1981	酉 とり	25
57	1982	戌 いぬ	24
58	1983	亥 いのしし	23
59	1984	子 ねずみ	22
60	1985	丑 うし	21
61	1986	寅 とら	20
62	1987	卯 うさぎ	19
63	1988	辰 たつ	18
64/元	1989	巳 へび	17
平成 2	1990	午 うま	16
3	1991	未 ひつじ	15
4	1992	申 さる	14
5	1993	酉 とり	13
6	1994	戌 いぬ	12
7	1995	亥 いのしし	11
8	1996	子 ねずみ	10
9	1997	丑 うし	9
10	1998	寅 とら	8
11	1999	卯 うさぎ	7
12	2000	辰 たつ	6
13	2001	巳 へび	5
14	2002	午 うま	4
15	2003	未 ひつじ	3
16	2004	申 さる	2
17	2005	酉 とり	1
18	2006	戌 いぬ	0

お願い

この基礎集計表・コードブックを利用して発表を行なわれた方は、その掲載誌などを下記の JGSS 事務局宛に 1 部お送り下さい。本誌の掲載内容やデータの修正については、JGSS ホームページで掲示いたします。

JGSS 事務局

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10  
大阪商業大学 比較地域研究所

Tel:06-6785-6013 Fax:06-6785-6011  
E-mail:jgss@daishodai.ac.jp  
<http://jgss.daishodai.ac.jp/>

2008 年 3 月 31 日発行（非売品）

《文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト》

日本版 General Social Surveys  
基礎集計表・コードブック  
JGSS-2006

編 集 大阪商業大学 比較地域研究所  
東京大学 社会科学研究所

発 行 大阪商業大学 比較地域研究所  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4 丁目 1 番 10 号

印 刷 (株)NPCコーポレーション